

《基礎教育科目 基礎教育科目 思考力養成》

科目名	情報処理法			授業科目番号	1101010
担当者氏名	船津 誠也			実務経験のある 教員等による授業科目	
授業方法	演習	単位	1単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	1年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		1-1 幅広い教養と多様性を理解する力、○3-1 地域のネットワークを共有する力、 ○4-2 看護を追究する基礎的研究能力			

《授業の概要》

パーソナルコンピュータを用いて、学生生活で必要な情報処理の基礎的な知識と操作技術の獲得を目指す。パーソナルコンピュータの仕組みを知る。そのうえで、ワードプロセッサの基礎的な使用方法、表計算ソフトの基礎的な使用方法、プレゼンテーションソフトの基礎的な使用方法を学ぶ。また、電子メールの受発信、インターネットを通しての情報収集の基礎的な知識と技術を学ぶ。収集した情報の加工、蓄積、検索、利用、廃棄などの情報管理の手法について学ぶとともに、収集したデータの二次的活用方法について学ぶ。

本科目は、情報を適切に活用できる基礎的な知識やスキルを習得することを目的とし、情報の収集・整理・保管・表現に関する活用力を身に付ける。具体的には、以下の「授業の到達目標」にあげる力を身に付けることを目標とする。

《授業の到達目標》

知識・技能の観点：(1)適切なツールを使って効率良く情報を集めることができる。(2)情報を使いやすく整理・管理することができる。(3)適切なツールを使ってプレゼンテーション資料やビジネス文書の作成を行うことができる。思考・判断・表現の観点：(4)集めた情報を検証することができる。(5)情報を必要に応じて適切に活用することができる。主体性・協働性の観点：(6)分かりやすい表現で、情報を他者に伝え、相手の理解や納得を得ることができる。

《評価の方法》

プレゼンテーションソフトウェア、文書作成ソフトウェアの演習課題、60-80%、タイピング能力のテスト 10-20%程度 これらの評価は、授業の際の演習への取り組み状況も考慮する。A以上の評定値は、課題への取組状況が良好な者に対して与える。

《テキスト》

『考える 伝える 分かち合う 情報活用力』（noa出版著 ワークアカデミー 2017年）

《参考図書》

《履修上の留意点》

予習と復習をしっかりと行うこと。演習課題は必ず自ら行うこと。

《備考》

養護教諭二種教育課程必修科目 課題については、課題提出締め切り後の授業で解説を行なう。

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	ガイダンス	(1)授業の進め方の説明、(2)情報処理室利用の注意事項、(3)スマートフォンセキュリティその1(DVD視聴)、(4)タッチタイピング(美香のタイプトレーナ、タイプウェル国語R) Windowsの基本操作について予習しておくこと(60分) タイピング練習、毎日練習(15分)、第11回授業で検定を実施	船津 誠也
2	パソコンの基本操作	(1)入力装置の基本操作について、(2)ファイルの保存と管理について、(3)プリンタへの出力について、(4)スマートフォンセキュリティその2(DVD視聴)、(5)タイピング練習 Windowsの基本操作について復習しておくこと(60分) タイピング練習(15分)	船津 誠也
3	電子メール	(1)メールの使い方、(2)情報倫理・セキュリティに関する注意事項、(3)メール利用上の注意事項、(4)スマートフォンセキュリティその3(DVD視聴)、(5)タイピング練習 Windowsの基本操作について復習しておくこと(60分) タイピング練習(15分)	船津 誠也
4	プレゼンテーション 1	(1)情報活用力テキスト Section11 プレゼンテーション、(2)プレゼン資料作成演習第1回 PowerPointの基本操作について予習しておくこと(60分) タイピング練習(15分)	船津 誠也
5	情報検索	(1)情報活用力テキスト Section1 情報検索、(2)出発地から目的地までの経路検索 Webブラウザ、Wordの基本操作について予習しておくこと(60分) タイピング練習(15分)	船津 誠也

科目名	情報処理法	授業科目番号	1101010
担当者氏名	船津 誠也		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	プレゼンテーション 2	(1)デザインの基本原則, (2)スライドマスタの利用, (3)プレゼン資料作成演習第2回 PowerPointの基本操作について予習しておくこと(60分) タイピング練習(15分)	船津 誠也
7	プレゼンテーション 3	(1)情報活用力テキスト Section12 プレゼンテーション, (2)プレゼン資料作成演習第3回 PowerPointの基本操作について予習しておくこと(60分) タイピング練習(15分)	船津 誠也
8	プレゼンテーション 4	(1)情報活用力テキスト Section13 プレゼンテーション, (2)課題1: PowerPointによる架空の発表資料作成 PowerPointの基本操作について予習しておくこと(60分) PowerPointの基本操作(今回)について復習しておくこと(60分) タイピング練習(15分)	船津 誠也
9	ファイル・データ管理	(1)情報活用力テキスト Section6 ファイル・データ管理, (2)タイピング練習 Windowsの基本操作について復習しておくこと(60分) タイピング練習(15分)	船津 誠也
10	ワープロ 1	(1)情報活用力テキスト Section9 文書表現(文章作成のポイント, 文書の体裁を整える), (2)タイピング練習 Wordの基本操作について予習しておくこと(60分) タイピング練習(15分)	船津 誠也
11	タイピング検定	(1)タイピング練習, (2)課題2: タイピング検定 タッチタイピングの練習をしておくこと タイピング練習をしておくこと(スムーズにタッチタイピングができるまで)	船津 誠也
12	ワープロ 2	(1)情報活用力テキスト Section9 文書表現(さまざまな文書), (2)ビジネス文書作成演習 Wordの基本操作について予習しておくこと(60分)	船津 誠也
13	ワープロ 3	(1)情報活用力テキスト Section9 文書表現(さまざまな文書), (2)ビジネス文書作成演習 Wordの基本操作について予習しておくこと(60分)	船津 誠也
14	レポート 1	(1)レポートの基本・構成・作成手順, (2)文書作成ドリル第1回 Webブラウザ, Word, Excelの基本操作について予習しておくこと(60分)	船津 誠也
15	レポート 2	(1)文書作成ドリル第2回, (2)課題3: Wordによるレポート作成 Webブラウザ, Word, Excelの基本操作について復習しておくこと(60分)	船津 誠也

科目名	ベーシック英語			授業科目番号	1102090
担当者氏名	川崎 眞理子			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	1年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		1-1 幅広い教養と多様性を理解する力、○5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力			

《授業の概要》

国際化する社会の一員として必要となる英語の4技能を発展させる。基礎的な英語の規則を確認し、知りたいことを的確に理解する能力を養成する。目的に応じた正しい英文を書く能力を養成する。一般的な日常生活・看護現場を題材とし、英語運用の練習をする。この過程で、地域社会や国際社会の課題を意識し、解決方法を考える。ここで身につけた基礎力を基盤に「看護に活かすコミュニケーション英語」で専門的知識を英語で使うことに発展させ、さらに「医療英語」「英文購読」では学術英語の使用へと発展させる。

授業では主体的に学ぶ姿勢を求める。ペアやグループでの作業や各自の振り返りの記録を必須とする。また、自分で知識の定着や技能の伸びを確認するための、クイズや練習、活用や応用を試みる発表やスキットの作成や発表を行います。

《授業の到達目標》

- 基本的な英語のしくみ（特に日本語と異なる点）を理解している。
- 親しみのある内容あれば、音声・文字で受信・発信できる。
- 辞書・翻訳ツール・生成AIを適切に活用して、コミュニケーションを図る努力ができる。
- 医療・看護関係のまとまりのある話を理解し、課題解決のために、必要な情報を収集することができる。

《評価の方法》

授業中の協働・英語使用状況20%（ ）、ウィークリークイズ20%（ ） 多読課題30%（ ）、課題30%（ ）
グーグルクラスルームで校閲・評価を行う。

《テキスト》

『Talking with Your Patients in English (アニメで学ぶ看護英語)』（平野美津子 他著 成美堂 2019年）

《参考図書》

《履修上の留意点》

授業は協働学習の場です。互いに学び高め合う姿勢を求め、評価します。授業外学修時間を確保するための、多読や既習事項に基づく練習は必須です。常に辞書や翻訳ツールが使用できる端末やPCなどを携帯してください。言語使用の実践の場ですから、原則英語で意思疎通を図ります。シラバスは最適な学修の促進と支援のために変更することがあります。

《備考》

看護教諭二種教育課程必修科目

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	シラバス確認 運用能力・自己調整能力(現状と目標) (Proficiency, self-regulation, memory and learning)	シラバスに沿って目的・目標・評価方法・クラスルール等を確認する。 運用能力の確認(CEFR-Jレベル評価、語彙サイズ、音読速度、シャドーイング再生率)と学習分析 達成目標の設定 学習と記憶 多読に関する説明(図書館)	川崎眞理子
2	施設 (Patient, hospital)	多読 Chapter 1 Welcoming a Patient 位置を示す表現/施設 授業外学習:多読(15分/日、約1.5時間/週)、既習ページの復習・シャドーイングと音読(30分/日、約2.5時間/週)	川崎眞理子
3	機器 (Vital sign, measurement)	多読 Chapter 2 Taking Vital Signs バイタルを測る機器類/看護物品 授業外学習:多読(15分/日、約1.5時間/週)、既習ページの復習・シャドーイングと音読(30分/日、約2.5時間/週)	川崎眞理子
4	痛みの問診 (Pain, assessment)	多読 Chapter 3 Pain Assessment 痛みを表す表現/痛みの問診術 授業外学習:多読(15分/日、約1.5時間/週)、既習ページの復習・シャドーイングと音読(30分/日、約2.5時間/週)	川崎眞理子
5	症状 (Symptom)	多読 Chapter 4 Feeling So Sick! 症状チェック表/様々な症状 授業外学習:多読(15分/日、約1.5時間/週)、既習ページの復習・シャドーイングと音読並びに課題1(30分/日、約2.5時間/週)	川崎眞理子

《基礎教育科目 基礎教育科目 表現力養成》

科目名	ベーシック英語	授業科目番号	1102090
担当者氏名	川崎 真理子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	体位や動き (Position, movement transfer)	多読 Chapter 5 Transferring a Patient 体位 / 動きの表現 授業外学習: 多読(15分 / 日、約1.5時間 / 週)、既習ページの復習・シャドーイングと音読並びに課題1(30分 / 日、約2.5時間 / 週)	川崎真理子
7	診療科と検査 (Department, examination)	多読 Chapter 6 Medical Departments 診療科と専門医 / 検査のための表現 課題1 発表 授業外学習: 多読(15分 / 日、約1.5時間 / 週)、既習ページの復習・シャドーイングと音読(30分 / 日、約2.5時間 / 週)	川崎真理子
8	まとめ 医療英語と医学英文 (Medical reading, scanning, retelling)	Chapter 7 Review & Medical Terminology ここまでのまとめと医学英語について Chapter 14 Review & Medical Reading まとめと医学英文読解 課題2 医学・看護関係英文サマリー 授業外学習: 多読(15分 / 日、約1.5時間 / 週)、既習ページの復習・シャドーイングと音読並びに課題1(30分 / 日、約2.5時間 / 週)	川崎真理子
9	日常生活援助 (Personal care, assistance, support)	多読 Chapter 8 Personal Care 身だしなみ用具 / 日常生活援助表現 医学・看護関係英文記事等の確認 授業外学習: 多読(15分 / 日、約1.5時間 / 週)、既習ページの復習・シャドーイングと音読並びに課題2(30分 / 日、約2.5時間 / 週)	川崎真理子
10	投薬 (Medication, prescription, dose)	多読 Chapter 9 Giving Medication to a Patient 薬剤の種類 / 投薬指示関連の表現 授業外学習: 多読(15分 / 日、約1.5時間 / 週)、既習ページの復習・シャドーイングと音読並びに課題2(30分 / 日、約2.5時間 / 週) 課題2 提出	川崎真理子
11	排泄 (Elimination, bowel movement, urination)	多読 Chapter 10 Elimination (Bowel movement / Urination) 排泄の表現 / 排尿の仕組み 多読(15分 / 日、約1.5時間 / 週)、既習ページの復習・シャドーイングと音読並びに課題2(30分 / 日、約2.5時間 / 週) 課題2 発表準備	川崎真理子
12	慢性病、周手術期看護 (Chronic, acute, critical, operating)	多読 Chapter 11 Chronic Diseases 患者情報収集 / 慢性病とは? Chapter 12 Critical Care / Operating Room 救急室で / 周手術期看護 授業外学習: 多読(15分 / 日、約1.5時間 / 週)、既習ページの復習・シャドーイングと音読並びに課題2(30分 / 日、約2.5時間 / 週)	川崎真理子
13	出産、認知症 (Memory, cognition, impairment)	Chapter 13 Pregnancy Check-up 妊娠初期・中期 / 陣痛と出産 Chapter 14 Memory Impairment 認知症高齢者とその家族 授業外学習: 多読(15分 / 日、約1.5時間 / 週)、既習ページの復習・シャドーイングと音読並びに課題2(30分 / 日、約2.5時間 / 週)	川崎真理子
14	テスト PBL 思考ツール (Problem solving)	テストと回答解説 PBL(課題解決型学習)(思考ツール) 授業外学習: 多読(15分 / 日、約1.5時間 / 週)、既習ページの復習・シャドーイングと音読並びに課題2(30分 / 日、約2.5時間 / 週)	川崎真理子
15	まとめ 学術記事 発表 (Proficiency, metacognition, reflection)	運用能力の確認(CEFR-Jレベル評価、語彙サイズ、音読速度、シャドーイング再生率) 目標達成度確認 課題2 医学・看護関係英文サマリー発表 課題3 授業外学習: 多読(15分 / 日、約1.5時間 / 週)	川崎真理子

《基礎教育科目 基礎教育科目 表現力養成》

科目名	日本語表現			授業科目番号	1102130
担当者氏名	渡部 洋一郎			実務経験のある 教員等による授業科目	
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	必修	開講年次	1年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		1-1 幅広い教養と多様性を理解する力、○4-2 看護を追究する基礎的研究能力			

《授業の概要》

論理的な文章を演繹的に読解する力、社会生活で必要となる日本語を的確に運用・表現できる力を習得する。
評論や論説などを読解し、文章の構成や展開を把握し、各意味段落の役割を基に文の意味を演繹的に理解し、語や表現の意味を考える。また、主語と述語、修飾語や接続、文体など、正確な文を構成する上で不可欠な基礎文法と社会生活に必要不可欠な現代敬語を口語表現中心に修得し、文章表現に応用する力を養う。

《授業の到達目標》

日本語の表現構造を踏まえ、ポイントを押さえた文章要約法について学ぶとともに、理解と表現の相互関係についても探求を深める。また、平易な文章題を読み、論理的に思考しながら、その解に至る道筋を理解し、どのような解き方をすれば妥当性のある答えを導けるのかについて主体的に考えられることを目標とする。

《評価の方法》

定期試験40%、授業時間内に実施する小課題40%、グループワーク参加態度20%

《テキスト》

毎回、使用プリントを適宜配布します。

《参考図書》

参考にすべき図書も授業時間内に提示しますが、特に購入の必要はありません。

《履修上の留意点》

小課題を実施する場合は、グループを形成し協働でそれにあたります。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	日本語の統語的構造とその特質 (文の構成)	私たちが用いる日本語にはどのような特徴があるのか、その成り立ちについて、特に文の構成という観点から理解を深めます。	渡部洋一郎
2	評論文の特徴と筆者の主張 (主張の組み立て)	評論文における筆者の主張とは何か、また、それはどのような手法に基づいて文章内に展開されているのかを実際の文章を読み解くことで理解します。	渡部洋一郎
3	説明文における実験の手順と説明の論理 (実験観察型説明文の論理)	説明文には、実験や観察したことに基づいて書かれている科学的な文章群が存在します。そこに書かれている実験の順番や観察の条件を変えるとどのようなことが起こるのか、実際に確かめてみましょう。	渡部洋一郎
4	疑問詞及び逆接の接続詞に着目した文章要約法 (長文の要点を短時間で把握する方法)	ある特徴を持った説明文は、3つの観点に着目することで容易に文章の骨子を把握することができます。ここではそれを検討します。	渡部洋一郎
5	文学的文章を読み解く視点 (物語文法)	物語文法という理論について学び、それを民話や昔話に当てはめて実際の構造を確認してみましょう。	渡部洋一郎

科目名	日本語表現	授業科目番号	1102130
担当者氏名	渡部 洋一郎		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	物語文法という理論について学び、それを民話や昔話に当てはめて実際の構造を確認してみましょう。	星新一のショートショートを使います。どのようなテクニックが文章内に隠されているのかを探ります。	渡部洋一郎
7	これまでに学んだことを踏まえて、実際の文章題などを解いてみましょう。	様々な表現の文章題を例にとり、これまで学んだことがどのような点で役に立つのかを実際に試してみます。	渡部洋一郎
8	総合的なまとめ	「日本語」で学んだ文章構造や日本語の論理性、書き手の工夫などについて、授業全体を振り返り、内容をまとめます。	渡部洋一郎
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

《基礎教育科目 基礎教育科目 人間力養成》

科目名	地域活動論			授業科目番号	1103010
担当者氏名	平澤 則子、田辺 生子、大平 富美			実務経験のある教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	選択	開講年次	1年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力		○1-1 幅広い教養と多様性を理解する力、○3-1 地域のネットワークを共有する力、5-2 地域社会に貢献する態度			

《授業の概要》

市民としての社会的責任に関する態度や素養を養成するとともに、大学生活でも社会生活においても、自らやるべきことを見つけて積極的に取り組む姿勢を育む。つまり、自ら設定した目標に対して、それを行動に移し、粘り強く取り組む姿勢を涵養する。具体的には、地域貢献活動の意義や役割を知る。出身地域における地域貢献活動の課題を考え、自らができることを考察する。その後、学生が考えた課題に関連する内容をフィールドワークを行い学びを深める。最後に、地域活動に関する理解を深めるとともに、参画意識を高め、積極的に地域貢献できる力を育む。

位置づけ：地域社会に貢献する態度を身につけるための必修科目に位置付けられている。

《授業の到達目標》

1. 地域活動やボランティアの基礎知識・現状・課題及び社会的役割が理解できる。
2. 地域活動に興味を持ち参加する心構えを理解する。
3. 「地域の課題」を見つけ、自らが「地域活動」を立ち上げ、「社会貢献」したいことを企画できる。
4. 授業内容を通して、看護職の倫理綱領の中にもある「ウェルビーイング」について考えることができる。

《評価の方法》

レポート作成 40%（到達目標1.3.4）

定期試験 60%（到達目標1.2.3）

《テキスト》

『テキスト市民活動論』（社会福祉法人大阪ボランティア協会編 社会福祉法人大阪ボランティア協会 2017年）

その他随時授業で紹介

《参考図書》

《履修上の留意点》

授業は講義とグループワークや発表などを中心とする。初回講義内で成績評価の方法・基準、試験の方法等を説明する。レポートは最終講義でコメント共に返却する。看護において市民との協働はとても重要です。学生自身が社会的責任に関する態度や素養を身につけましょう。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	オリエンテーション 社会が変われば社会保障も変わる	授業の概要と目的の説明。地域活動とは、地域社会が求めているもの考える。 予習：日本の将来の社会（人口8000万人）を想像してみる（20分） 復習：自分のボランティア体験をレポートにまとめる（40分）	平澤 則子
2	ボランティア ボランティアの歴史と理念	ボランティアの歴史・背景・理念を理解する。（グループワーク） 予習：テキストp8～30を読み「ボランティア」という単語に対する自分なりにイメージをしておく（30分） 復習：学習内容を振り返り、「ボランティア」を自分なりに解釈できる（30分）	平澤 則子
3	ボランティア ボランティア活動の対象分野	ボランティア活動の種類と活動の範囲を理解する。（グループワーク） 予習：テキストp36～39を参考に、自分のボランティア体験時の気持ちを思い出しワークシートに記載する（30分） 復習：学習内容を振り返り、人はなぜボランティアをするのか解釈できる（30分）	平澤 則子
4	ボランティア 社会福祉協議会・ボランティアセンター・NPO	ボランティア活動の窓口 社会福祉協議会・ボランティアセンター・NPOの機能と役割を理解する。 ボランティア休暇 ボランティア保険について理解する。 予習：出身地の社会福祉協議会の場所と事業内容を調べる。テキストp40～53を読む。（30分） 復習：NPOの活動分野と活動の実際を調べ理解を深める（30分）	平澤 則子
5	ボランティア コミュニティセンター	教育とボランティア 大学生とボランティア 深オコミュニティセンターの地域活動を理解し学生ができることを考える。 予習：これまでに学校で体験したボランティア活動は「ボランティア」といえるのか考える（30分） 復習：自分はボランティア活動で充実感を得ることができるのか考える（30分）	平澤 則子

科目名	地域活動論	授業科目番号	1103010
担当者氏名	平澤 則子、田辺 生子、大平 富美		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	地域活動 子育て支援分野	NP0マミーズネットの活動を通して子育て支援分野における地域活動を理解する。 予習：マミーズネットの設立理念・活動内容を調べる。(20分) 復習：出身地における子育て支援とマミーズネットの活動を比較し、子育て支援のあり方を確認する。(30分)	平澤 則子
7	地域活動 貧困の連鎖	社会のひずみ(孤独と格差・就労支援・多問題家族・学習支援)と地域活動について考える。 予習：「こども食堂」の目的と活動を調べる(30分) 復習：貧困問題を確認し地域活動の必要性を考え、レポートを作成する。(30分)	平澤 則子
8	地域活動 まちづくり	人口減少に対応する地域活動実践事例をワークシートにまとめて整理する。 予習：人口減少に対応する地域活動を調べる。(30分) 復習：学習内容を振り返り、「ボランティア」を自分なりに解釈できる(30分)	平澤 則子
9	地域活動 仕事と地域活動	看護職が取り組む地域活動を学び、市民としての社会的役割が理解できる。(グループワーク) 予習：医療的ケア児、ひきこもりの人々を対象とする地域活動を調べる。(30分) 復習：学習内容を振り返り、「ボランティア」を自分なりに解釈できる(30分)	平澤 則子 田辺 生子 大平 富美
10	地域活動への参加に向けて 地域の課題	自分の出身地の課題と地域活動を調べ、必要な活動を考え計画する。 予習：地域の課題には何があるのかイメージしておく。(30分) 復習：自分が興味のある活動を理解する。(30分)	平澤 則子
11	地域活動への参加に向けてII 社会貢献したいこと	これまでの授業を振り返り、これからの地域活動への参加に向けて自らが「地域活動」を立ち上げて「社会貢献」したいことをまとめる。 予習：自分が取り組んでみたい活動をいくつか考えてみる。(30分) 復習：取り組んでみたい活動の将来像をイメージしてみる。(20分)	平澤 則子
12	地域活動への参加に向けて 社会貢献したいこと	地域活動に取り組むために必要な仲間や資源、環境を考える。 予習：テキストp78～99を読む。地域活動計画の場の環境等を調べる。(20分) 復習：地域活動計画を作成する(レポートの一部)。(40分)	平澤 則子
13	フィールドワーク	まちづくり活動に参加する。(休日や夏季休業で参加) 予習：参加する地域活動を調べ、参加のための手続きを行う。(20分) 復習：地域活動を活動記録用紙にまとめる(レポートの一部)。(40分)	平澤 則子
14	地域活動への参加に向けて 社会貢献したいこと	地域活動計画を発表し、実現可能性を考える。(プレゼンテーションと討議) 予習：発表の練習をする。(30分) 復習：学習内容を振り返り、「ボランティア」を自分なりに解釈できる(30分)	平澤 則子
15	まとめ	看護職の倫理綱領の中にもある「ウェルビーイング」について考える。(グループワーク) 予習：看護職の倫理綱領を読む。(30分) 復習：地域医療・看護における地域活動の意義を考える。(30分)	平澤 則子

《基礎教育科目 基礎教育科目 社会力養成》

科目名	キャリアデザイン			授業科目番号	1104010
担当者氏名	近藤 ふさえ、藤田 勇			実務経験のある 教員等による授業科目	
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	必修	開講年次	1年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		○1-1 幅広い教養と多様性を理解する力、○3-3 保健医療福祉制度と看護の役割、 4-1 看護学を探究する意欲			

《授業の概要》

看護職として自律的に自分のキャリアを選択し自分の働きがいを見つけていけるようなキャリア形成支援を目的とする。まず、看護のイメージや看護専門職に社会が求めるものについて理解し、生涯学習を实践、継続する必要性の理解と意欲を育む。さらに、自己にとって看護の道を選択したことの意味を思考するとともに、看護専門職がどのようなキャリア形成支援を受けながら自立し、看護師として成長を続けるのかについて展望する。また、キャリアの選択にむけて様々な看護の仕事の場やそれぞれの特徴について学ぶ。

位置づけ：本学での学修の導入であり、自己の将来像を見据えた学習につなげていく。

《授業の到達目標》

1. 自分自身のキャリアとライフイベントについて考えることができる。
2. 自己理解およびキャリア理論について知ることができる。
3. 様々な看護の場やそれぞれの特徴を説明することができる。
4. 自分の看護観にそった将来のキャリアについての考えを述べることができる。

《評価の方法》

ワークシート 1～3 25%（到達目標1.2.）、毎回のコメントシート 45%（第1回～第4回：15%（到達目標1.2.）、第5回～第8回：30%（到達目標3.4.）、最終レポート 30%（到達目標4.）

《テキスト》

指定なし

《参考図書》

『大学生のためのキャリアデザイン入門』（岩上真珠、大槻奈巳編 有斐閣 2014年）

『看護師のためのキャリアデザインBOOK』（濱田安岐子監修 つちや書店 2022年）

《履修上の留意点》

キャリアデザイン は、4年次のキャリアデザイン の基礎となる科目である。学生から社会人へと成長する過程を1年次からの時間を着実に刻んでいくための学びとする機会とすることを期待する。

レポートのフィードバックは各授業の最後に行い、最終レポートはコメントを入れて返却する予定である。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	キャリアって何？ (キャリア、キャリアデザイン、キャリア・アンカー、看護の動向、大学入学の目的・目標)	・キャリアデザインについて知る。 ・自分のキャリア・アンカーについて考える。 ・看護の動向について学ぶ。 ・大学に入学した目的と目標を再確認する。 (予習) キャリアについて調べてくる(60分)。 【事後学習】 自分自身の大学入学の目的・目標、看護職になろうと思った動機やきっかけについて記述する(ワークシート1)(60分)。	近藤ふさえ
2	キャリアとライフイベント (ライフワーク、ライフイベント、キャリア、キャリアパス、生涯学習)	・ライフワークについて考える。 ・キャリアとライフイベントについて知る。 ・看護の仕事およびキャリアパスについて知る。 ・新人看護師の職場選択と新人教育研修について知る。 (予習) ライフイベントについて調べてくる(60分)。 【事後学習】 様々な看護専門職のうち関心のある病院や専門コースについて調べる(ワークシート2)(60分)。	近藤ふさえ
3	自己理解の基礎 (自己理解、エゴグラム、リーダーシップ・スタイル、リフレミング)	・エゴグラムやリフレミングを用いて自己理解を試みる。 ・失敗を学びの機会に変えることについて知る。 ・逆境を才能の発掘や成長の機会に変える発想について考える。 (予習) 自分の失敗について思い起こしてくる(60分)。 【事後学習】 過去の失敗例を記述し、そこから何を成長に変えることができたのかを振り返る(ワークシート3)(60分)。	藤田 勇
4	ワーク・ライフ・バランスとキャリア理論 (ワーク・ライフ・バランス、ブランド・ハップンスタンス理論、トランジション理論)	・自分のワーク・ライフ・バランスについて考える。 ・ブランド・ハップンスタンス理論について知る。 ・トランジション理論について知る。 (予習) ワーク・ライフ・バランスについて調べてくる(60分)。 (復習) 授業中に学んだ内容を整理する(60分)。	近藤ふさえ
5	長岡保健所保健師 (行政)	行政の場である、保健所および保健所の保健師としての役割りを理解する。 保健師として、仕事上心がけていることを理解する。 (予習) 保健所および保健師の役割りについて調べてくる(60分)。 (復習) 授業中に学んだ内容を整理する(60分)。	近藤ふさえ (特別講師)

科目名	キャリアデザイン	授業科目番号	1104010
担当者氏名	近藤 ふさえ、藤田 勇		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	柏崎市教育委員会学校教育課 (養護教諭)	教育の場である、養護教諭および養護教諭としての役割を理解する。 養護教諭として、仕事上心がけていることを理解する。 (予習) 養護教諭および養護教諭の役割について調べてくる(60分)。 (復習) 授業中に学んだ内容を整理する(60分)。	近藤ふさえ (特別講師)
7	こぶし訪問看護ステーション 看護師 (在宅)	在宅の場である、訪問看護ステーションおよび訪問看護ステーションの 管理者としての役割を理解する。 訪問看護師として、仕事上心がけていることを理解する。 (予習) 訪問看護ステーションおよび訪問看護師の役割について調べ てくる(60分)。 (復習) 授業中に学んだ内容を整理する(60分)。	近藤ふさえ (特別講師)
8	大学教員 専門職業人としての必要な要素 (教育、心構え)	教育の場である、大学教員および大学教員としての役割を理解する。 専門職業人として、どういうことを身に付けておかなければならないの かについて理解する。 (予習) 大学教員について調べてくる(60分)。 (復習) 課題のレポートについてまとめる(60分)。	近藤ふさえ
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

《基礎教育科目 基礎教育科目 人間の理解》

科目名	発達心理学			授業科目番号	1105010
担当者氏名	宮崎 隆穂			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	選択	開講年次	1年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		1-1 幅広い教養と多様性を理解する力、○2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力			

《授業の概要》

発達心理学の基本的な理論である、フロイトの心理性的発達理論、ゲゼルの成熟優位説、行動主義の学習理論、ピアジェの発生的認識論、バンデューラの社会的認知理論、エリクソンの社会的発達理論を学ぶ。また、論理的思考の発達として、人が年齢とともにどのように思考様式を変化させて行くのかや言葉と概念の発達、発達における教育の役割、対人関係と養育者と子どものアタッチメント、思いやりなどの社会的行動の発達、アイデンティティやパーソナリティの発達などについて、誕生から老年期に至るまでを学び、その心理的な特徴が各ライフステージの行動に影響していることを理解する。

《授業の到達目標》

1. 人間の発達に関する主要な理論的枠組みについて理解し、説明することができる。
2. 思考、言語、社会性、人格などの各側面における人間の時間の経過に伴う変化について、共通点や差異を類別し、論理的に述べることができる。

《評価の方法》

学習態度30%：毎回授業内で行うリアクシヨンプーパーへの質問内容、その他授業内での態度をもとに評価する。（到達目標1.2）
定期試験70%：授業の内容について、主に間違い探し修正法をもちいた客観テストを期末に行う。（到達目標1.2）

《テキスト》

『保育士を育てる 保育の心理学』（瀧口綾、福田真奈編著 一藝社 2020年）

《参考図書》

『ゼロからはじめる心理学・入門』（金沢創、市川寛子、作田由衣子著 有斐閣 2015年）

《履修上の留意点》

毎回のリアクシヨンプーパーに当たるものはweb上のシステムで行う予定です。感想でもよいのですが、なるべく自分の質問を考えましょう。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	オリエンテーション・発達心理学とは何か	授業の進め方・目標・方向性について解説する。発達心理学はどのような問題を扱っているかを解説する。 (予習)教科書の目次に目を通しておく	宮崎 隆穂
2	人間を取り巻く環境と発達(環境・遺伝・発達・相互作用)	発達にかかわる様々な要因(遺伝・環境)を取り上げ、どのような相互作用が考えられるか概説する。 (予習)教科書第一章p.9-16を読んでおく (復習)授業の内容をもとに質問を考える	宮崎 隆穂
3	生涯発達心理学の視点(発達観・生涯発達・遺伝か環境か)	さまざまな発達観があることを概説し、その中で生涯発達心理学の視点、目標はどこにあるのかを遺伝か環境か論争に関連させながら紹介する。 (予習)教科書第二章p.17-24を読んでおく (復習)授業の内容をもとにノートに整理し、質問を考える	宮崎 隆穂
4	子どもの身体・運動発達(生理的早産・粗大運動・微細運動)	人間の発達において乳児期から幼児期にいたる変化が大きいことを概説し、この時期における初期経験の重要性を紹介する。 (予習)教科書第三章p.25-33を読んでおく (復習)授業の内容をもとにノートに整理し、質問を考える	宮崎 隆穂
5	子どもの知覚・認知の発達(選択注視法・馴化・脱馴化法)	知覚の発達を測定するために開発された研究手法を概説し、発達心理学上の進展にどのように貢献したかを紹介する。 (予習)教科書第四章p.34-40を読んでおく (復習)授業の内容をもとにノートに整理し、質問を考える	宮崎 隆穂

科目名	発達心理学	授業科目番号	1105010
担当者氏名	宮崎 隆穂		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	子どもの知覚・認知の発達 (選好注視法・馴化・脱馴化法)	知覚の発達を測定するために開発された研究手法を概説し、発達心理学上の進展にどのように貢献したかを紹介する。映像資料を提示する。実際の子どもの対象とした研究における実務的な方法(接し方・留意点)を解説する。 (予習)教科書第四章p.34-40を読んでおく (復習)授業の内容・映像資料の内容等をノートに整理し、質問を考える	宮崎 隆穂
7	自己意識の発達(自己鏡像課題・サリーアン課題)	自己意識の分化、自他の区別と共感性の発達との関連を概説する。 (予習)教科書第五章p.41-48を読んでおく (復習)授業の内容をもとにノートに整理し、質問を考える	宮崎 隆穂
8	言葉・コミュニケーションの発達(言語発達・臨界期・敏感期)	言葉・コミュニケーションの発達について概説し、関連して動物行動学の分野からもたらされた臨界期・敏感期の考え方を紹介する。 (予習)教科書第六章p.49-56を読んでおく (復習)授業の内容をもとにノートに整理し、質問を考える	宮崎 隆穂
9	言葉・コミュニケーションの発達(言語発達・臨界期・敏感期)	言葉・コミュニケーションの発達について概説し、関連して臨界期・敏感期の考え方を紹介する。映像資料を提示する。 (予習)教科書第六章p.49-56を読んでおく (復習)授業の内容・映像資料の内容等をノートに整理し、質問を考える	宮崎 隆穂
10	情緒・欲求の発達(情緒・欲求・感情)	情緒・欲求・感情にかかわる発達心理学上の研究成果を概説する。 (予習)教科書第七章p.57-64を読んでおく (復習)授業の内容をもとに質問を考える	宮崎 隆穂
11	愛着関係の形成と発達(アタッチメント・個人差・SSM)	社会性の発達の基礎となるアタッチメントの発達について概説し、その測定法や個人差について考える。 (予習)教科書第八章p.65-72を読んでおく (復習)授業の内容をもとにノートに整理し、質問を考える	宮崎 隆穂
12	愛着関係の形成と発達(アタッチメント・個人差・SSM)	社会性の発達の基礎となるアタッチメントの発達について概説し、その測定法や個人差について考える。映像資料を提示する。 (予習)教科書第八章p.65-72を読んでおく (復習)授業の内容・映像資料の内容等をノートに整理し、質問を考える	宮崎 隆穂
13	児童期・青年期の発達 (ピアジェの認知発達理論・道具的操作期・形式的操作期・アイデンティティの獲得)	児童期・青年期の発達を概説しながら、形式的操作の概念を獲得し、アイデンティティの獲得をはかる時期の発達の特長について紹介する。 (予習)教科書第十二章p.97-104を読んでおく (復習)授業の内容をもとにノートに整理し、質問を考える	宮崎 隆穂
14	成人期・老年期の発達(エリクソンの発達課題・統合性の意味)	生産性にいかに貢献するか、という課題を通して最終的に老いをどのように統合していくのかについて概説する。 (予習)教科書第十三章p.105-112を読んでおく (復習)授業の内容をもとにノートに整理し、質問を考える	宮崎 隆穂
15	まとめ	授業全体について振り返り、到達目標について今一度確認する。 (復習)人間の生涯発達について考えをまとめる	宮崎 隆穂

科目名	健康スポーツ			授業科目番号	1105030
担当者氏名	奥島 大			実務経験のある 教員等による授業科目	
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	選択	開講年次	1年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		○1-1 幅広い教養と多様性を理解する力、 2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力、 ○4-1 看護学を探究する意欲			

《授業の概要》

健康的な生活を営むためには、運動やスポーツを積極的に日常生活に取り入れていくことが必要である。日常の運動がメンタルヘルスや生活の質の向上、疾病の予防などに役立つことを理解し、トレーニングの原理、原則、理論を学ぶ。さらに、スポーツ活動を通じて心身を鍛えるとともに、スポーツ文化に対する理解を深める。具体的には、運動効果と運動不足が健康に与える影響、個人差や加齢による持久力、筋収縮と筋肉トレーニングの理論、日本のスポーツ文化の変遷と現状などである。また自らの身体を知るために体力測定を行う。

《授業の到達目標》

1. 運動時に身体機能がどのように働いているのかを生理学的な視点から自らの言葉で説明することができる。
2. 年齢の違いや、発育・加齢にともなう運動能力の変化について述べるができる。
3. 身体活動量の変化が身体機能に及ぼす影響について自らの言葉で説明することができる。

《評価の方法》

定期試験：80%（到達目標1～3）

授業内課題の状況（課題については授業内で指示する）：20%（到達目標1～3）

《テキスト》

特に指定しない。

《参考図書》

『運動生理学の基礎と発展 3訂版』（春日規克編著 フリースペース 2018）

《履修上の留意点》

原則的に毎週配布される授業資料に基づいて授業を展開していくため、理由のない欠席は避けること。
授業内課題については、当該授業内、あるいは次の授業開始時に総評する形でフィードバックを行う。

《備考》

看護教諭二種教育課程必修科目

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	本講義の全体概要、および健康づくりにおける運動の必要性(健康・運動・運動処方)	講義概要について、学習者が当該科目を理解する基盤を作る。また、現代人において健康づくりに運動が必要不可欠である理由を理解する。 【予習】「健康・運動」をキーワードに情報を収集する(30分)。 【復習】健康づくりの必要性を自らの言葉でまとめる(90分)。	奥島 大
2	運動と身体 : エネルギー供給系1(エネルギー供給系・ATP-CP系・解糖系・有酸素系)	運動のエネルギー源となるATPの再合成のメカニズムについて、スポーツとの関連性を交えつつ理解する。 【予習】ヒトのエネルギー供給系について情報を収集する(30分)。 【復習】各エネルギー供給系とスポーツの関連性について自らの言葉でまとめる(90分)。	奥島 大
3	運動と身体 : 呼吸系(換気・拡散)	講義やその場で出来る簡単な実験を交えつつ、生命活動、および運動のエネルギー源となるATP再合成に欠かすことのできない運動中の呼吸機能について理解する。 【予習】運動中に生じる呼吸の変化について情報を収集する(30分)。 【復習】運動中のヒトの呼吸機能やその役割について自らの言葉でまとめる(90分)。	奥島 大
4	運動と身体 : 循環系(心拍出量・血流再配分)	生命活動、および運動のエネルギー源となるATP再合成に欠かすことのできない運動中の循環機能について理解する。 【予習】運動中に生じる循環の変化について情報を収集する(30分)。 【復習】運動中のヒトの循環機能やその役割について自らの言葉でまとめる(90分)。	奥島 大
5	運動と身体 : 筋・神経(骨格筋・筋線維・運動神経)	身体の運動を生み出す骨格筋、および神経機能について理解する。 【予習】運動に関わる筋・神経機能について情報を収集する(30分)。 【復習】筋・神経機能と運動の関連性について自らの言葉でまとめる(90分)。	奥島 大

科目名	健康スポーツ	授業科目番号	1105030
担当者氏名	奥島 大		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	発育・発達・加齢と運動(発育発達の類型・加齢・運動能力の性差)	運動・スポーツを様々な年代の人々が楽しむ上で重要になる発育・発達・加齢による運動能力への影響を理解する。 【予習】出生から死亡までの運動能力変化について情報を収集する(30分)。 【復習】発育・発達・加齢による運動能力への影響について自らの言葉でまとめる(90分)。	奥島 大
7	運動不足・運動の継続が身体に及ぼす影響(フレイル・サルコペニア・座位行動)	現代社会における利便性の向上にともなう運動機会の損失や確保が運動能力や身体機能に及ぼす影響を理解する。 【予習】運動を行わないことで起こる身体の変化について情報を収集する(30分)。 【復習】運動機会の損失が運動能力や身体機能に及ぼす影響について自らの言葉でまとめる(90分)。	奥島 大
8	運動不足・運動の継続が身体に及ぼす影響(骨粗鬆症・メタボリックシンドローム)	現代社会における利便性の向上にともなう運動機会の損失や確保が運動能力や身体機能に及ぼす影響を理解する。 【予習】運動を継続することで起こる身体の変化について情報を収集する(30分)。 【復習】運動機会の確保が運動能力や身体機能に及ぼす影響について自らの言葉でまとめる(90分)。	奥島 大
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

科目名	スタディスキルズ			授業科目番号	1107010
担当者氏名	船津 誠也、板山 稔			実務経験のある 教員等による授業科目	
授業方法	演習	単位	1単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	1年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		1-1 幅広い教養と多様性を理解する力、○1-3 他者の自己決定を擁護する力、○4-1 看護学を探究する意欲			

《授業の概要》

大学における学習を効果的に進めるために必要な「読む」「書く」「話す」「調べる」「発表する」などの基本スキルを学ぶ。
（船津誠也/8回）大学で学ぶとは何か、レポートの書き方の基本、文献や資料の探し方、情報リテラシーについて学ぶ。さらに論理的な思考、批判的な検討について学ぶ。
（板山稔/7回）グループディスカッションの進め方、発表の仕方、リーダー・メンバーの役割等について学ぶ。グループ単位でテーマを決めて図書館等で文献や資料を調べ、ディスカッションを行いながら調べ学習を深め、資料を作成して成果を発表する。

《授業の到達目標》

1. 大学の授業を受ける際の基本であるノートテイキング、情報収集の方法を身につけ、課題レポートを作成することができる。
2. 幅広いテーマに関心を持ち、自ら探究するための文献の調べ方、活用の仕方を身につけることができる。
3. グループメンバーと協同して調べ学習を行い、他者との意見交換ができる。

《評価の方法》

船津担当：レポート・提出課題 100%（到達目標1・2・3） 板山担当：グループ学習発表資料80%（到達目標1・2・3）、授業での発言・グループ学習への参加態度20%（到達目標1・2・3）

《テキスト》

『看護学生のためのよくわかる大学での学び方 第2版』（前原澄子、遠藤俊子監修 金芳堂 2022年）
『フレッシュマンセミナーテキスト第3版』（初年次教育テキスト編集委員会編 東京電機大学出版局 2024年）

《参考図書》

1. 『大学生学びのハンドブック6訂版』（世界思想社編集部編 世界思想社 2024年） 2. その他授業中に適宜紹介する。

《履修上の留意点》

大学生として受け身ではなく物事を探究しようとする知的好奇心を大切に、主体的・積極的な学習とグループワークへの参加を望みます。11回目以降のグループワークについては、授業終了時に提出する進捗報告書に対して次の授業時にコメントを返却する。

《備考》

課題の提出にあたっては、締切を厳守すること。締切りを過ぎた課題は原則として受理しない。

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	大学について(講義、ノート、文献)	大学で何を学ぶか。講義の受け方、文章の読み方等について学ぶ。「フレッシュマンセミナーテキスト【第3版】」の6章、7章を読んでおく(60分)	船津 誠也
2	情報リテラシーの概要(ソーシャルメディア、フェイクニュース)	インターネット社会に必要である、正しく情報を読み解き決定する能力について学ぶ。「看護学生のためのよくわかる大学での学び方」の2章、フレッシュマンセミナーテキスト【第3版】の8-2、8-3を読んでおく(60分)	船津 誠也
3	資料、文献の検索(CiNii、医中誌、EBSCO host、PubMed)	資料、文献の検索について学ぶ。合わせてインターネット検索における問題点についても学ぶ。「フレッシュマンセミナーテキスト【第3版】」の9章、「看護学生のためのよくわかる大学での学び方」の3章を読んでおく(60分)	船津 誠也
4	論理的な考え方(論理的思考)	論理的思考の基礎知識を学ぶ。論理的な思考について各自調べてくる(60分)	船津 誠也
5	レポートの書き方1(レポートとは、レポート作成)	レポート作成の基本について学ぶ。「フレッシュマンセミナーテキスト【第3版】」の10章、11章を読んでおく(60分)	船津 誠也

科目名	スタディスキルズ	授業科目番号	1107010
担当者氏名	船津 誠也、板山 稔		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	レポートの書き方2 (構造的書き方、レポートのルール)	レポートを構造的に書く、レポートのルールについて学ぶ。 「フレッシュマンセミナーテキスト【第3版】」の12章、14章を読んでおく(60分)	船津 誠也
7	クリティカルシンキングに関する基礎知識1 (批判的思考、疑問)	間違った推論について学ぶ。 「フレッシュマンセミナーテキスト【第3版】」の13章を読んでおく(60分)	船津 誠也
8	クリティカルシンキングに関する基礎知識2 (批判的思考、疑問)	批判的思考力、情報を批判的に吟味し、情報を取捨選択することについて学ぶ。	船津 誠也
9	アサーティブな表現方法 (アサーション、コミュニケーションスキル、自己表現)	アサーションに関する基礎知識を学び、アサーティブなコミュニケーションスキルを体験する。 (予習)ポートフォリオに掲載される授業資料に目を通しておく(45分) (復習)授業資料を活用し、学んだ内容をまとめる(45分)	板山 稔
10	グループ・ディスカッションに必要なスキルと知識 (グループ・ディスカッション、協同学習)	グループ・ディスカッションにおける、「基本」、「関係の構築」、「役割」等について学ぶ。 (予習)テキスト1-7「仲間と学ぶスキル」1-8「ディスカッション・スキル」を読んでおく(45分) (復習)授業資料を活用し、学んだ内容をまとめる(45分)	板山 稔
11	グループ調べ学習 「資料の調べ方、読み方、使い方」 (文献検索、批判的思考)	資料の調べ方、読み方、使い方を理解し、実際に資料を読んで内容や疑問・関心をまとめる。提示された資料について関心や疑問を明確にし、それについて情報を収集してみる。 (予習)文献検索、図書館の利用に関する授業資料等を読んでおく(45分) (復習)提示された資料について関心や疑問をもったことを明確にし、それについて情報を収集してみる(45分)	板山 稔
12	グループ調べ学習 「テーマを決める」 (拡散的思考、ブレインストーミング)	調べた文献の内容をもとに、自己の関心について紹介し合う。グループ内でテーマに関して討議(拡散的思考)し、グループとしての調べ学習のテーマを検討する。決定したテーマに沿って、文献等を用いてさらに調べる。 (予習)調べた文献を読み、各自が要点等を整理しておく(45分) (復習)文献を検索し、テーマに関連した内容についてグループで調べる(45分)	板山 稔
13	グループ調べ学習 「議論を深める」 (ディスカッション)	各自で調べた内容を報告し合い、グループディスカッションを通して議論を深める。 (予習)テーマについて調べた内容をグループメンバーに報告できるように各自でまとめておく(45分) (復習)グループで分担し調べ学習を継続する(45分)	板山 稔
14	グループ調べ学習 「議論をまとめる」 (要約、レジュメ)	テーマの目的にそってグループの議論をまとめ、発表資料として要約(レジュメ)を作成する。 (予習)講読した文献の内容を整理し、自身の考えまとめておく(45分) (復習)協力して発表資料(レジュメ)を完成させ、期限までに提出する(45分)	板山 稔
15	グループ調べ学習 「成果を伝え合う」 (成果発表、プレゼンテーション)	グループでの調べ学習の成果を発表し合う。他のグループのテーマに関心を持ち、相互評価を行うとともに質疑応答による意見交換を行うことで学習を深める。 (予習)発表に向けてグループ内で役割を決め、練習しておく(45分) (復習)他グループのテーマに関して気になったことを自分で調べる(45分)	板山 稔

《基礎教育科目 基礎教育科目 学習力養成》

科目名	看護教育のための生物学			授業科目番号	1107020
担当者氏名	滝本 浩一			実務経験のある 教員等による授業科目	
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	選択	開講年次	1年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力					

《授業の概要》

入学後に実施する基礎学力判定において、専門分野を学習する上で必要とされる「生物学」に関する知識が不十分である者に対する補習教育である。専門基礎科目の学習を順調に進めるための基礎となる科目であり、特に人体の構造や機能を理解するために必要な基礎知識の獲得を目指す。具体的には、生物と遺伝子、遺伝情報とDNA、バイオテクノロジー、細胞とエネルギー、生殖と遺伝と発生、体内環境の維持、免疫、呼吸などである。

《授業の到達目標》

生命の基本単位が細胞であることが分かり、それを構成する主な小器官のはたらきが説明できる。

ゲノム、遺伝子とDNAの関係性及び遺伝子発現の流れが分かる。

血液循環、食物の消化と栄養分の吸収や貯蔵、不要物や毒性物質の排泄における各臓器とはたらきの概略が説明できる。

体内環境恒常性に関わる幾つかのホルモンの分泌制御やはたらきの概略が説明できる。

《評価の方法》

課題レポート1回（20点）と最終テスト（80点）

《テキスト》

《参考図書》

『看護に必要な やりなおし生物・化学』（時政孝行 著 照林社 2013年）

《履修上の留意点》

講義は毎回配布する資料を用いて行う。毎回の講義で演習問題のプリントを配布するので、講義内容の理解を確認するための復習に利用すること。

レポートの課題は、実社会や看護師として直面する問題の生物学的理解に関するものとする。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	体のつくりと働き（臓器、組織、細胞）	参考図書p.6-7と配布資料	滝本 浩一
2	細胞のつくりと働き（細胞小器官、酵素、細胞内環境）	参考図書p.11-15と配布資料	滝本 浩一
3	遺伝情報の伝達と発現（ゲノム、遺伝子、染色体、DNA）	参考図書p.7-11、p.26-27と配布資料	滝本 浩一
4	遺伝情報の変異と多様性（先天性疾患、遺伝子多型）	参考図書p.28-31と配布資料	滝本 浩一
5	体液と生体防御（赤血球、白血球、血小板、免疫）	参考図書p.44-50と配布資料	滝本 浩一

科目名	看護教育のための生物学	授業科目番号	1107020
担当者氏名	滝本 浩一		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	呼吸と血液の循環(肺、心臓、血管)	参考図書p.51-58と配布資料	滝本 浩一
7	消化と排泄(胃、腸、肝臓、腎臓、膀胱)	参考図書p.58-65と配布資料	滝本 浩一
8	内分泌と生殖(ホルモン、性分化、性周期)	参考図書p.65-70と配布資料	滝本 浩一
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

《基礎教育科目 基礎教育科目 学習力養成》

科目名	看護教育のための化学			授業科目番号	1107030
担当者氏名	滝本 浩一			実務経験のある 教員等による授業科目	
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	選択	開講年次	1年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力					

《授業の概要》

入学後に実施する基礎学力判定において、専門分野を学習する上で必要とされる「化学」に関する知識が不十分である者に対しての補習教育である。専門基礎科目の学習を順調に進めるための基礎となる科目であり、特に人体の構造や機能を理解するために必要な基礎知識の獲得を目指す。化学と生活のかかわりについて、関心を高め、日常生活に化学が使用されていることから学ぶ。具体的には、物質の三態と原子の構造、電子配置と周期律、化学反応と酸・塩基、無機物質、有機化合物などの基礎知識の獲得を目指す。

《授業の到達目標》

体をつくる主要な元素の性質とそれら原子間の結合（イオン結合と共有結合）が説明できる。
化学反応の保存性とエネルギー収支の概要が説明できる。
百分率とモルを用いた濃度計算ができる。
体をつくる主要な物質の構造と性質の概略が説明できる。

《評価の方法》

課題レポート1回（20点）と最終テスト（80点）

《テキスト》

《参考図書》

『看護に必要な やりなおし生物・化学』（時政孝行 著 照林社 2013年）

《履修上の留意点》

講義は毎回配布する資料を用いて行う。毎回の講義で演習問題のプリントを配布するので、講義内容の理解を確認するための復習に使用すること。

レポートの課題は、実社会や看護師として直面する問題の化学的理解に関するものとする。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	体をつくる物質と組成（分子、原子、元素）	参考図書p.88-91と配布資料	滝本 浩一
2	化学結合と化学反応（イオン結合、共有結合）	参考図書p.92-95と配布資料	滝本 浩一
3	物質と分子量（アボガドロ数、モル質量、当量）	参考図書p.96-100と配布資料	滝本 浩一
4	物質の三態、蒸気圧と浸透圧（蒸発、溶解度）	参考図書p.101-105と配布資料	滝本 浩一
5	酸と塩基（電解質、pH）	参考図書p.106-111と配布資料	滝本 浩一

科目名	看護教育のための化学	授業科目番号	1107030
担当者氏名	滝本 浩一		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	糖質と脂質(グルコース、脂肪酸)	参考図書p.120-122、p.127-128と配布資料	滝本 浩一
7	タンパク質と核酸(アミノ酸、ヌクレオチド)	参考図書p.122-126、p.128-129と配布資料	滝本 浩一
8	ビタミンと他の微量元素	参考図書p.130-133と配布資料	滝本 浩一
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

《専門教育科目 専門基礎科目 人体の構造と機能》

科目名	人体の構造と機能			授業科目番号	2208010
担当者氏名	堀江 正男			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	1年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度、○2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力、○2-3 エビデンスに基づく看護実践力			

《授業の概要》

看護学の構成要素である人体の構造と機能の基礎について学ぶ。生命維持のために分子・組織・器官・個体のそれぞれのレベルにおいてどのようなことが営まれているかを学ぶ。具体的には、組織構造の基本、ゲノム、遺伝子と細胞と組織、血液、造血器機能について学ぶ。続いて、看護の基礎となる人体の構造とその体系を学ぶ。具体的には、骨格系、筋系、神経系の構造と機能について学ぶ。

《授業の到達目標》

1. 人体の正常構造と機能を理解し、人体の構造および機能についての的確に表現できる
2. 臨床医学の修得に必要な解剖生理学に関する基礎学力を身につけ、平面的な理解にとどまらず、立体的な理解を目指す

《評価の方法》

試験 100%：定期試験として、達成度を最終的に評価する。（到達目標1.2）

《テキスト》

1. 『系統看護学講座 人体の構造と機能[1] 解剖生理学』（坂井建雄、岡田隆夫著 医学書院 2022年）
2. 『2025年版『系統看護学講座』準拠 解剖生理学ワークブック』（坂井建雄 他編 医学書院 2025年）

《参考図書》

1. 『解剖学カラーアトラス 第9版』（J.W.Rohen 他著 医学書院 2023年）
2. 『イラスト解剖学 第10版』（松村譲児著 中外医学社 2021年）

《履修上の留意点》

1. 人体の構造と機能（解剖生理学）はみなさん自身が教科書になり得る学問です。人体の構造と機能Iでは、日頃から骨格や筋などを意識的に触れ、触れている骨格筋の作用や支配神経などを意識することが学問の理解深化につながります。
2. 解剖生理学は予習復習が不可欠です。
3. 講義中の私語は慎んでください。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	解剖生理学のための基礎知識 (解剖学的正位、器官系)	構造からみた人体、人体の様々な器官 (予習)テキスト p.8 ~ p.27 (復習)1. 講義を振り返り、理解に至らなかった箇所について調べ、理解する 2. ワークブックおよび配布プリントの問題を解き、知識の定着を図る	堀江 正男
2	解剖生理学のための基礎知識 (細胞、組織、人体を構成する分子)	素材からみた人体 (予習)テキスト p.27 ~ p.42 (復習)1. 講義を振り返り、理解に至らなかった箇所について調べ、理解する 2. ワークブックおよび配布プリントの問題を解き、知識の定着を図る	堀江 正男
3	解剖生理学のための基礎知識 (細胞、組織、人体を構成する分子)	素材からみた人体 (予習)テキスト p.43 ~ p.54 (復習)1. 講義を振り返り、理解に至らなかった箇所について調べ、理解する 2. ワークブックおよび配布プリントの問題を解き、知識の定着を図る	堀江 正男
4	情報の受容と処理 (中枢神経と末梢神経)	神経系の構造と機能、脊髄と脳 (予習)テキスト p.358 ~ p.371 (復習)1. 講義を振り返り、理解に至らなかった箇所について調べ、理解する 2. ワークブックおよび配布プリントの問題を解き、知識の定着を図る	堀江 正男
5	情報の受容と処理 (中枢神経と末梢神経)	脊髄と脳、脊髄神経と脳神経 (予習)テキスト p.371 ~ p.383 (復習)1. 講義を振り返り、理解に至らなかった箇所について調べ、理解する 2. ワークブックおよび配布プリントの問題を解き、知識の定着を図る	堀江 正男

《専門教育科目 専門基礎科目 人体の構造と機能》

科目名	人体の構造と機能	授業科目番号	2208010
担当者氏名	堀江 正男		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	情報の受容と処理 (運動と体性感覚の伝導路)	脊髄神経と脳神経、運動機能と下行伝導路、体性感覚と上行伝導路 (予習)テキスト p.383 ~ p.396 (復習)1. 講義を振り返り、理解に至らなかった箇所について調べ、理解する 2. ワークブックおよび配布プリントの問題を解き、知識の定着を図る	堀江 正男
7	情報の受容と処理 (特殊感覚)	眼の構造と視覚 (予習)テキスト p.396 ~ p.407 (復習)1. 講義を振り返り、理解に至らなかった箇所について調べ、理解する 2. ワークブックおよび配布プリントの問題を解き、知識の定着を図る	堀江 正男
8	情報の受容と処理 (特殊感覚)	耳の構造と聴覚・平衡覚、味覚と嗅覚、痛み(疼痛) (予習)テキスト p.408 ~ p.420 (復習)1. 講義を振り返り、理解に至らなかった箇所について調べ、理解する 2. ワークブックおよび配布プリントの問題を解き、知識の定着を図る	堀江 正男
9	情報の受容と処理 (脳の高次機能)	脳の統合機能 (予習)テキスト p.420 ~ p.432 (復習)1. 講義を振り返り、理解に至らなかった箇所について調べ、理解する 2. ワークブックおよび配布プリントの問題を解き、知識の定着を図る	堀江 正男
10	情報の受容と処理 (自律神経)	自律神経による調節 (予習)テキスト p.240 ~ p.249 (復習)1. 講義を振り返り、理解に至らなかった箇所について調べ、理解する 2. ワークブックおよび配布プリントの問題を解き、知識の定着を図る	堀江 正男
11	身体の支持と運動 (骨と関節の構造)	骨格とはどのようなものか、骨の連結、骨格筋 (予習)テキスト p.282 ~ p.296 (復習)1. 講義を振り返り、理解に至らなかった箇所について調べ、理解する 2. ワークブックおよび配布プリントの問題を解き、知識の定着を図る	堀江 正男
12	身体の支持と運動 (骨格と筋の種類と機能)	体幹の骨格と筋、上肢の骨格と筋 (予習)テキスト p.296 ~ p.309 (復習)1. 講義を振り返り、理解に至らなかった箇所について調べ、理解する 2. ワークブックおよび配布プリントの問題を解き、知識の定着を図る	堀江 正男
13	身体の支持と運動 (骨格と筋の種類と機能)	上肢の骨格と筋、下肢の骨格と筋 (予習)テキスト p.310 ~ p.323 (復習)1. 講義を振り返り、理解に至らなかった箇所について調べ、理解する 2. ワークブックおよび配布プリントの問題を解き、知識の定着を図る	堀江 正男
14	身体の支持と運動 (骨格と筋の種類と機能)	下肢の骨格と筋、頭頸部の骨格と筋 (予習)テキスト p.324 ~ p.339 (復習)1. 講義を振り返り、理解に至らなかった箇所について調べ、理解する 2. ワークブックおよび配布プリントの問題を解き、知識の定着を図る	堀江 正男
15	身体の支持と運動 (筋収縮)	筋の収縮、運動と代謝 (予習)テキスト p.339 ~ p.355 (復習)1. 講義を振り返り、理解に至らなかった箇所について調べ、理解する 2. ワークブックおよび配布プリントの問題を解き、知識の定着を図る	堀江 正男

科目名	人体の構造と機能			授業科目番号	2208020
担当者氏名	堀江 正男			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	1年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度、○2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力、○2-3 エビデンスに基づく看護実践力			

《授業の概要》

「人体の構造と機能」に引き続き、看護学の構成要素である人体の構造と機能の基礎について学ぶ。具体的には、消化器系、呼吸器系、循環器系、泌尿器系の構造について学び、さらにそれらの器官が果たす機能について、呼吸と血液の働き、血液の循環、および体液の調節などに焦点を当てて理解を深め、健康維持のために果たす機能の基礎知識を学ぶ。

《授業の到達目標》

1. 人体の正常構造と機能を理解し、人体の構造および機能についての的確に表現できる
2. 臨床医学の修得に必要な解剖生理学に関する基礎学力を身につけ、平面的な理解にとどまらず、立体的な理解を目指す

《評価の方法》

試験 100%：定期試験として、達成度を最終的に評価する。（到達目標1.2）

《テキスト》

1. 『系統看護学講座 人体の構造と機能[1] 解剖生理学』（坂井建雄、岡田隆夫著 医学書院 2022年）
2. 『2025年版『系統看護学講座』準拠 解剖生理学ワークブック』（坂井建雄 他編 医学書院 2025年）

《参考図書》

1. 『解剖学カラーアトラス 第9版』（J.W.Rohen 他著 医学書院 2023年）
2. 『イラスト解剖学 第10版』（松村譲児著 中外医学社 2021年）

《履修上の留意点》

1. 人体の構造と機能（解剖生理学）はみなさん自身が教科書になり得る学問です。人体の構造と機能IIでは、日頃から自分の体の状態を意識し、生命活動を維持する構造と機能に学問の理解深化につながります。
2. 解剖生理学は予習復習が不可欠です。
3. 講義中の私語は慎んでください。

《備考》

関連科目：人体の構造と機能

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	栄養の消化と吸収 (消化器系の構造と機能)	口・咽頭・食道の構造と機能、腹部消化管の構造と機能 (予習) テキスト p.56 ~ p.74 (復習) 1. 講義を振り返り、理解に至らなかった箇所について調べ、理解する 2. ワークブックおよび配布プリントの問題を解き、知識の定着を図る	堀江 正男
2	栄養の消化と吸収 (消化器系の構造と機能)	腹部消化管の構造と機能、膵臓・肝臓・胆嚢の構造と機能、腹膜 (予習) テキスト p.75 ~ p.93 (復習) 1. 講義を振り返り、理解に至らなかった箇所について調べ、理解する 2. ワークブックおよび配布プリントの問題を解き、知識の定着を図る	堀江 正男
3	呼吸と血液の働き (呼吸器系の構造と機能)	呼吸器の構造、呼吸 (予習) テキスト p.96 ~ p.112 (復習) 1. 講義を振り返り、理解に至らなかった箇所について調べ、理解する 2. ワークブックおよび配布プリントの問題を解き、知識の定着を図る	堀江 正男
4	呼吸と血液の働き (呼吸器系の構造と機能)	呼吸、血液 (予習) テキスト p.113 ~ p.130 (復習) 1. 講義を振り返り、理解に至らなかった箇所について調べ、理解する 2. ワークブックおよび配布プリントの問題を解き、知識の定着を図る	堀江 正男
5	呼吸と血液の働き (呼吸器系の構造と機能)	血液 (予習) テキスト p.131 ~ p.148 (復習) 1. 講義を振り返り、理解に至らなかった箇所について調べ、理解する 2. ワークブックおよび配布プリントの問題を解き、知識の定着を図る	堀江 正男

《専門教育科目 専門基礎科目 人体の構造と機能》

科目名	人体の構造と機能	授業科目番号	2208020
担当者氏名	堀江 正男		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	血液の循環とその調節 (循環器系の構造と機能)	循環器系の構成、心臓の構造、心臓の拍出機能 (予習)テキスト p.150 ~ p.164 (復習)1. 講義を振り返り、理解に至らなかった箇所について調べ、理解する 2. ワークブックおよび配布プリントの問題を解き、知識の定着を図る	堀江 正男
7	血液の循環とその調節 (循環器系の構造と機能)	心臓の拍出機能、末梢循環系の構造 (予習)テキスト p.165 ~ p.179 (復習)1. 講義を振り返り、理解に至らなかった箇所について調べ、理解する 2. ワークブックおよび配布プリントの問題を解き、知識の定着を図る	堀江 正男
8	血液の循環とその調節 (循環器系の構造と機能)	末梢循環系の構造、血液の循環の調節 (予習)テキスト p.180 ~ p.194 (復習)1. 講義を振り返り、理解に至らなかった箇所について調べ、理解する 2. ワークブックおよび配布プリントの問題を解き、知識の定着を図る	堀江 正男
9	血液の循環とその調節 (循環器系の構造と機能)	血液の循環の調節、リンパとリンパ管 (予習)テキスト p.195 ~ p.208 (復習)1. 講義を振り返り、理解に至らなかった箇所について調べ、理解する 2. ワークブックおよび配布プリントの問題を解き、知識の定着を図る	堀江 正男
10	体液の調節と尿の生成 (泌尿器系の構造と機能)	腎臓 (予習)テキスト p.210 ~ p.219 (復習)1. 講義を振り返り、理解に至らなかった箇所について調べ、理解する 2. ワークブックおよび配布プリントの問題を解き、知識の定着を図る	堀江 正男
11	体液の調節と尿の生成 (泌尿器系の構造と機能)	腎臓、排泄路、体液の調節 (予習)テキスト p.220 ~ p.237, p.514 ~ p.515 (復習)1. 講義を振り返り、理解に至らなかった箇所について調べ、理解する 2. ワークブックおよび配布プリントの問題を解き、知識の定着を図る	堀江 正男
12	生殖・発生と老化のしくみ (生殖系系の構造と機能)	男性生殖器、女性生殖器、受精と胎児の発生 (予習)テキスト p.460 ~ p.479 (復習)1. 講義を振り返り、理解に至らなかった箇所について調べ、理解する 2. ワークブックおよび配布プリントの問題を解き、知識の定着を図る	堀江 正男
13	生殖・発生と老化のしくみ (生殖系系の構造と機能)	受精と胎児の発生、成長と老化 (予習)テキスト p.480 ~ p.499 (復習)1. 講義を振り返り、理解に至らなかった箇所について調べ、理解する 2. ワークブックおよび配布プリントの問題を解き、知識の定着を図る	堀江 正男
14	内臓機能の調節 (内分泌系の構造と機能)	内分泌系による調節、全身の内分泌腺と内分泌細胞、ホルモン分泌の調節、ホルモンによる調節の実際 (予習)テキスト p.249 ~ p.280 (復習)1. 講義を振り返り、理解に至らなかった箇所について調べ、理解する 2. ワークブックおよび配布プリントの問題を解き、知識の定着を図る	堀江 正男
15	身体機能の防御と適応 (免疫系の構造と機能)	皮膚の構造と機能、成体の防御機構、体温とその調節 (予習)テキスト p.434 ~ p.457 (復習)1. 講義を振り返り、理解に至らなかった箇所について調べ、理解する 2. ワークブックおよび配布プリントの問題を解き、知識の定着を図る	堀江 正男

《専門教育科目 専門科目 看護の基本》

科目名	看護学概論			授業科目番号	2311010
担当者氏名	樋本 まゆみ			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	1年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		1-1 幅広い教養と多様性を理解する力、○2-1 看護を安全に実施するための知識・ 技術・態度、○4-1 看護学を探究する意欲			

《授業の概要》

学問としての看護学を学修する導入として、看護の概念、看護学の発展の歴史、看護倫理や法律など看護を取り巻く諸事情に関する現実的課題、看護の役割の将来展望について学ぶ。また、看護の本質を理解し看護学の目的論・対象論・方法論について学び、看護実践の基盤となる自然観・人間観・生活観・健康観・看護観を養う。さらに看護の独自性・専門性について理解し、専門職としての看護の役割を学ぶ。

《授業の到達目標》

1. 看護の本質をふまえて看護学の形成と発展、看護の目的論・対象論・方法論を理解できる。2. 看護の構成概念（人間・環境・健康・看護）について述べるができる。3. 人間及び健康について社会・自然界との関連で理解できる。4. チーム医療における専門職者の協働について理解できる。5. 看護における倫理の問題と取り組みについて理解できる。6. 看護の提供の仕組みと看護を支える制度について理解できる。

《評価の方法》

定期試験80%（到達目標1.2.3.4.5.6）小テスト20%（到達目標2.6）

《テキスト》

『系統看護学講座 基礎看護学[1] 看護学概論』（茂野香おる 他著 医学書院 2020年）
『ナيتينゲール看護覚書 決定版』（ヴィクター・スクレトコヴィッチ 編 医学書院 1998年）

《参考図書》

患者・家族、看護師による手記

《履修上の留意点》

授業計画に対応する教科書のページを読んでおくこと。事前に示される課題を学習する。「看護覚え書」、患者・家族、看護師による手記等を購読する。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	基礎看護学の科目体系 看護の責務と広がり 看護の原点 (看護の構造)	科目ガイダンス(学習目的、到達目標、学習方法、受講上の注意、等) 看護の責務と広がり 看護学の学び方 看護とは何か、学生のイメージ (復習)看護学概論テキストの目次に目を通し看護学全体の基本内容をつかむ。(60分)	樋本まゆみ
2	看護の変遷 (近代看護、現代看護)	近代以前の看護 近代の看護(近代看護の確立、近代日本における看護) 現代の看護(米国における看護の発展と日本の看護) (予習)事前に提示された課題に取り組む。(60分) (復習)何が分かったか自分の頭の中を整理しておこう。(60分)	樋本まゆみ
3	看護の本質 (看護の定義)	看護の定義 保健師助産師看護師法上の定義 (予習)事前に提示された課題に取り組む。(60分) (復習)何が分かったか自分の頭の中を整理しておこう。(60分)	樋本まゆみ
4	看護の理論と実践 (看護理論の分類・変遷)	看護理論とは、看護理論の分類(大理論・中範囲理論・小理論) 看護理論の変遷 看護実践を理論で読み解く (予習)事前に提示された課題に取り組む。(60分) (復習)「看護覚え書」を読み込みナيتينゲールの考え方をつかむ。(60分)	樋本まゆみ
5	実践科学としての看護 (コミュニケーション、専門職、エビデンス)	基本的役割(支援者・代弁者、学習支援者、ケア提供者) 患者と看護師のコミュニケーション 看護過程と専門職としての看護 看護技術の科学的検証、エビデンスに基づく看護 (予習)事前に提示された課題に取り組む。(60分) (復習)何が分かったか自分の頭の中を整理しておこう。(60分)	樋本まゆみ

《専門教育科目 専門科目 看護の基本》

科目名	看護学概論	授業科目番号	2311010
担当者氏名	樋本 まゆみ		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	看護の展開と継続性 看護ケアのマネジメント (多職種協働、継続看護)	継続看護、退院支援・退院調整と看護の継続性を担う取り組み 多職種連携・協働における看護 (予習) 事前に提示された課題に取り組む。(60分) (復習) 何が分かったか自分の頭の中を整理しておこう。(60分)	樋本まゆみ
7	人々の生活と健康 健康・病気の捉え方 (健康の諸相、ライフスタイル)	健康とは、健康の諸相 国民の健康の全体像、人口統計と出生・死亡、ライフスタイル 健康に影響する要因 (予習) 事前に提示された課題に取り組む。(60分) (復習) 何が分かったか自分の頭の中を整理しておこう。(60分)	樋本まゆみ
8	看護の概念枠組み ライフサイクルと健康 (人間、環境、健康、看護)	看護を構成する主要な概念 人間 環境 健康 看護 人間の成長・発達の捉え方 小児期から成人期 老年期 (予習) 事前に提示された課題に取り組む。 (復習) 何が分かったか自分の頭の中を整理しておこう。	樋本まゆみ
9	看護の対象とその理解 (統一性、個別性、健康障害)	統一性、生活者としての人間、人間の共通性と個別性 健康障害をもつ対象の理解 ストレスとコーピング(ホメオスタシスとは、ストレスとは) (予習) 事前に提示された課題に取り組む。(60分) (復習) 何が分かったか自分の頭の中を整理しておこう。(60分)	樋本まゆみ
10	看護における法的側面 看護実践のための教育 (保健師助産師看護師法、看護教育)	看護と法の関わり、看護をめぐる法と制度の枠組み 看護実践の職業的および法的規制(保健師助産師看護師法) 看護教育制度、看護教育の形態 (予習) 事前に提示された課題に取り組む。 (復習) 何が分かったか自分の頭の中を整理しておこう。	樋本まゆみ
11	看護における倫理と価値 看護倫理 看護実践のための基準 (倫理要領、倫理原則、インフォームドコンセント)	医療における倫理の歴史的経緯と看護倫理(倫理原則、職業倫理、ケアリング) 倫理と法律、道徳的ジレンマと倫理的課題(インフォームドコンセント) 倫理的課題への対応、看護実践の基準(看護業務基準 看護職の倫理綱領 指針・ガイドライン) (予習) 事前に提示された課題に取り組む。(60分) (復習) 何が分かったか自分の頭の中を整理しておこう。(60分)	樋本まゆみ
12	保健・医療・福祉システム (保健・医療・福祉)	保健・医療・福祉の概念、保健・医療・福祉サービス提供の場 保健・医療・福祉のチーム、多職種で取り組む地域包括ケアシステム いままでの講義の小テスト20点 (予習) 事前に提示された課題に取り組む。 (復習) 何が分かったか自分の頭の中を整理しておこう。	樋本まゆみ
13	看護サービスに対する評価 医療事故における法的責任 (看護行政)	看護主関連法規、看護政策 人員配置基準と看護サービスに対する評価、看護サービスの管理 看護のマネジメント・プロセス、医療安全への取り組みと働く人の労働安全医療事故における法的責任 (予習) 事前に提示された課題に取り組む。 (復習) 何が分かったか自分の頭の中を整理しておこう。	樋本まゆみ
14	国際看護 災害看護の基礎 (国際協力保健活動、災害サイクル)	国際保健・看護とは、国際協力、在留・訪日外国人への看護 災害看護の必要性、災害サイクルに応じた看護 (予習) 事前に提示された課題に取り組む。(60分) (復習) 何が分かったか自分の頭の中を整理しておこう。(60分)	樋本まゆみ
15	これからの看護の課題と展望 (看護組織)	社会のニーズに応える看護学教育、看護の専門性を高める教育 看護の専門職としての看護組織(日本看護協会・日本看護学校協議会・日本看護系大学協議会)国際看護師協会 (予習) 事前に提示された課題に取り組む。(60分) (復習) 何が分かったか自分の頭の中を整理しておこう。(60分)	樋本まゆみ

科目名	基礎看護技術演習			授業科目番号	2311030
担当者氏名	大平 富美、大崎 美奈子、田口 めぐみ、樋本 まゆみ			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	演習	単位	2単位	時間	60時間
必・選	必修	開講年次	1年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度，○2-3 エビデンスに基づく看護実践力，○4-1 看護学を探究する意欲			

《授業の概要》

看護における技術の考え方および共通する基本技術（感染防止、安全・安楽・自立）について学習する。さらに日常生活援助技術として、環境調整、活動・休息、清潔・衣生活、食事、排泄について具体的に学ぶ。演習を通し、看護技術について人間の尊厳と関連して捉えられるように授業を進める。

位置づけ：本科目は基盤となる看護学概論、人体の構造と機能に並行して開講され、看護場面に共通する日常生活援助技術を学習する。

《授業の到達目標》

1. 看護技術を身に着けるために必要な態度、学習方法を自ら考えて行動できる。 2. 科学的根拠に基づき安全・安楽に看護技術を提供する方法を習得できる。 3. 感染予防、環境調整、活動・休息、清潔と衣生活、食事、排泄の基本技術を習得できる。 4. 実施した看護技術を振り返り、安全性、有効性の視点からよりよい方法を探求することができる。

《評価の方法》

定期試験80％（到達目標2、3）、提出記録物20％ 演習ごとにA4 用紙2枚程度課題については講義の中で提示する（到達目標1、4）。

《テキスト》

1. 『系統看護学講座 基礎看護学〔2〕基礎看護技術』（茂野香おる 他著 医学書院 2025年 第19版）
2. 『系統看護学講座 基礎看護学〔2〕基礎看護技術』（任和子 他著 医学書院 2025年 第19版）

《参考図書》

1. 『写真でわかる基礎看護技術 アドバンス』（吉田みつ子、本庄恵子監修 インターメディカ 2020年）
2. 『看護がみえるvol.1 基礎看護技術』（医療情報科学研究所編 Medic Media 2024年）

《履修上の留意点》

1. 授業内容に関連した教科書及び参考書を十分に読んで動画の視聴等を活用しながら演習ノートを作成して臨みましょう。
2. 課題として演習の振り返りレポート提出しましょう。振り返りレポートは授業最終日までにコメントを入れて返却します。
3. 看護技術は授業時間外でのセルフトレーニングで習得しましょう。

《備考》

先修科目：なし

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	看護技術の概要 （看護技術） 感染防止の技術 （標準予防策）	ガイダンス、看護技術とは、実践のための技術 感染とその予防の基礎知識、標準予防策 学習方法：講義、GW <予習>Text1「看護技術を学ぶにあたって」を熟読する。(30分) <復習>Text2「看護技術の基盤」を整理し講義を振り返る。(30分)	大平富美 大崎美奈子 田口めぐみ 樋本まゆみ 他
2	感染防止の技術 （手指衛生） 環境調整技術 （療養生活の環境）	手指衛生・個人防護策 療養生活の環境、ベッド周囲の環境調整、病床を整える、ボディメカニクス 学習方法：講義、演習 <予習> 事前に提示された課題に取り組み、動画を視聴する。(30分) <復習> 標準予防策のレポートを作成し演習を振り返る。(30分)	大平富美 大崎美奈子 田口めぐみ 樋本まゆみ 他
3	環境調整技術 （ベッドメイキング）	リネンの取り扱い、ベッドメイキング、環境整備（KYT） 学習方法：演習 <予習> 事前に提示された課題に取り組み、動画を視聴する。(30分) <復習> 病床を整えるレポートを作成し演習の振り返り、技術セルフトレーニング。(60分)	大平富美 大崎美奈子 田口めぐみ 樋本まゆみ 他
4	活動・休息援助技術 （体位変換）	活動と休息の意義、各種体位のとり方、体位変換、睡眠 学習方法：講義、演習 <予習> 事前に提示された課題に取り組み、動画を視聴する。(30分) <復習> 体位変換レポートを作成し演習の振り返り、技術セルフトレーニング。(60分)	大平富美 大崎美奈子 田口めぐみ 樋本まゆみ 他
5	活動・休息援助技術 （臥床患者のリネン交換）	臥床患者のリネン交換 学習方法：演習（アクティブラーニング） <予習> 事前に提示された課題に取り組み、動画を視聴する。(30分) <復習> 臥床患者のリネン変換のレポートを作成し演習の振り返り、技術セルフトレーニング。(60分)	大平富美 大崎美奈子 田口めぐみ 樋本まゆみ 他

《専門教育科目 専門科目 看護の基本》

科目名	基礎看護技術演習	授業科目番号	2311030
担当者氏名	大平 富美、大崎 美奈子、田口 めぐみ、樋本 まゆみ		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	活動・休息援助技術 (移動)	移動：体位変換、車椅子・ストレッチャー 学習方法：講義、演習 ＜予習＞事前に提示された課題に取り組み、動画を視聴する。(30分) ＜復習＞移動のレポートを作成し演習の振り返り、技術セルフトレーニング。(60分)	大平富美 大崎美奈子 田口めぐみ 樋本まゆみ 他
7	活動・休息援助技術 (移乗・移送)	移乗・移送：車椅子・ストレッチャー 学習方法：演習(アクティブラーニング) ＜予習＞事前に提示された課題に取り組み、動画を視聴する。(30分) ＜復習＞移乗・移送のレポートを作成し演習の振り返り、技術セルフトレーニング。(60分)	大平富美 大崎美奈子 田口めぐみ 樋本まゆみ 他
8	衣生活援助技術 (寝衣交換)	衣生活、衣生活の援助：病衣の選択 臥床患者の寝衣交換(和式) 学習方法：講義、演習 ＜予習＞事前に提示された課題に取り組み、動画を視聴する。(30分) ＜復習＞寝衣交換のレポートを作成し演習の振り返り、技術セルフトレーニング。(60分)	大平富美 大崎美奈子 田口めぐみ 樋本まゆみ 他
9	清潔援助技術 (入浴・部分浴、清拭)	看護における清潔とは、清潔の援助の実際：入浴・部分浴、清拭、整容 学習方法：講義、GW ＜予習＞事前に提示された課題に取り組み。(30分) ＜復習＞Text「清潔の援助」を熟読する。(60分)	大平富美 大崎美奈子 田口めぐみ 樋本まゆみ 他
10	清潔援助技術 (足浴)	足浴 学習方法：演習 ＜予習＞事前に提示された課題に取り組み、動画を視聴する。(30分) ＜復習＞足浴のレポートを作成し演習の振り返り、技術セルフトレーニング。(60分)	大平富美 大崎美奈子 田口めぐみ 樋本まゆみ 他
11	清潔援助技術 (清拭)	清拭 学習方法：演習 ＜予習＞事前に提示された課題に取り組み、動画を視聴する。(30分) ＜復習＞清拭のレポートを作成し演習の振り返り、技術セルフトレーニング。(60分)	大平富美 大崎美奈子 田口めぐみ 樋本まゆみ 他
12	清潔援助技術 (洗髪)	清潔の援助の実際：洗髪、口腔ケア 洗髪 学習方法：講義、演習 ＜予習＞事前に提示された課題に取り組み、動画を視聴する。(30分) ＜復習＞洗髪のレポートを作成し演習の振り返り、技術セルフトレーニング。(60分)	大平富美 大崎美奈子 田口めぐみ 樋本まゆみ 他
13	清潔援助技術 (口腔ケア)	口腔ケア 学習方法：演習 ＜予習＞事前に提示された課題に取り組み、動画を視聴する。(30分) ＜復習＞口腔ケアのレポートを作成し演習の振り返り、技術セルフトレーニング。(60分)	大平富美 大崎美奈子 田口めぐみ 樋本まゆみ 他
14	食事援助技術 (食事摂取の介助)	食事援助の基礎知識、食事摂取の介助、摂食・嚥下 学習方法：講義、演習 ＜予習＞事前に提示された課題に取り組み、動画を視聴する。(30分) ＜復習＞食事摂取の介助のレポートを作成し演習の振り返り、技術セルフトレーニング。(60分)	大平富美 大崎美奈子 田口めぐみ 樋本まゆみ 他
15	排泄援助技術 (床上排泄)	自然排尿および自然排便の介助：トイレ、床上排泄(便器、尿器、おむつ) 科目リフレクション 学習方法：講義、演習 ＜予習＞Text「排泄の援助の実際」を熟読し動画を視聴する。(30分) ＜復習＞床上排泄援助のレポートを作成し演習の振り返り、技術セルフトレーニング。(60分)	大平富美 大崎美奈子 田口めぐみ 樋本まゆみ 他

《専門教育科目 専門科目 看護の基本》

科目名	チーム医療論			授業科目番号	2311090
担当者氏名	青柳 直樹			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	必修	開講年次	1年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		3-2 多職種と連携・協働する力、○3-3 保健医療福祉制度と看護の役割、○5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力			

《授業の概要》

患者を中心とした良質な「チーム医療」が実践できる基礎的な能力を養う。また、医療専門職が互いの特性を理解し、尊重し合ってコミュニケーションをとりながら協調的に医療を実践できる素養を身につける。
チーム医療の概念、及び医療チームを構成する専門職の役割について理解し、看護職と他職種との関係を学ぶ。次に、対象や家族中心の多職種連携の考え方、臨床でのチーム医療から切れ目なく地域でのケアにつながることの重要性について学ぶ。また、チーム医療及び他職種との協働の中で看護職としてのメンバーシップ及びリーダーシップを理解する。
地域におけるチーム医療における現状と課題について学ぶ。

《授業の到達目標》

1. 保健医療分野での多職種連携の重要性を学び、チーム医療における看護職の役割を説明できる。
2. 保健医療現場における多職種間コミュニケーションについて説明できる。
3. 多職種連携場面における看護職の役割について主体的に考えることができる。

《評価の方法》

授業に関する学習態度、課題提出状況10%：授業中の発言、態度、課題提出状況（到達目標1,2,3） 事後課題50%：A4用紙、800字程度（到達目標1,2,3） 課題レポート40%：A4用紙、1200字程度（到達目標3）

《テキスト》

『「チーム医療」とは何か 第2版』（細田満和子著 日本看護協会出版会 2023年）

《参考図書》

『新しいチーム医療 改訂版』（田村由美編著 看護の科学社 2018年）
『チーム医療と看護 増補版』（川島みどり著 看護の科学社 2016年）

《履修上の留意点》

本講義ではチーム医療の理念を実現するため、授業においては学生の皆さんの意見を確認し、自ら考える主体的授業への参加を望みます。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	チーム医療とは (医療法、病院、医療関係職種、チーム医療)	・医療法に基づく医療の形の変化 ・医療関係職種の誕生(身分法、国家資格化) ・チーム医療はどう変化してきたのか ・チーム医療を支える制度(もの) (予習)p.2~30を熟読し、まとめる(30分)。 (復習)【事後課題1】4つのキーワードについて簡潔にまとめレポートする(60分)。	青柳 直樹
2	チーム医療の4つの要素 (専門性志向、患者志向、職種構成志向、協働志向)	・チーム医療の4つの要素 (専門性志向とは何か、患者思考とは何か、職種構成志向とは何か、協働志向とは何か) (予習)p.71~100を熟読し、まとめる(30分)。 (復習)チーム医療における4つの要素について振り返り、受講カードに記載する(30分)。	青柳 直樹
3	チーム医療の6つの困難 (専門性志向、患者志向、職種構成志向、協働志向)	・チーム医療における4つの要素の相互関係 ・チーム医療の6つの困難 (予習)p.101~133を熟読し、まとめる(30分)。 (復習)【事後課題2】4つの要素、および相互関係について簡潔にまとめレポートする(60分)。	青柳 直樹
4	チーム医療と専門性を高める看護師 (看護職の役割、スペシャリスト、専門看護師、認定看護師、特定行為研修制度、診療看護師(NP)、多職種コミュニケーション)	・ヘルスケアの目的と看護職の役割 ・チーム医療における看護職の役割 ・専門看護師、認定看護師の役割 ・特定行為研修修了者について ・チーム医療と特定看護師制度、NP教育課程 ・チーム医療における多職種コミュニケーション(アサーティブコミュニケーション等) (予習)p.31~70を熟読し看護職の役割について考える(30分) (復習)【事後課題3】キーワードについて簡潔にまとめレポートする(60分)	青柳 直樹
5	チーム医療を考える (医療問題、チームワーク、院内チーム)	・問題解決策としてのチーム医療 ・医療社会学におけるチーム医療の捉え方 ・病院内におけるチーム医療の実践例(摂食・嚥下サポートチーム、NST、感染対策チーム) (予習)p.135~164を熟読する(30分)。 (復習)チーム医療の必要性、期待されることについて受講カードに記載する(30分)。	青柳 直樹

科目名	チーム医療論	授業科目番号	2311090
担当者氏名	青柳 直樹		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	チーム医療の広がりについて考える (チーム・アプローチ、家族、連携・協働)	・病院と地域、医療従事者間の連携 ・チーム医療の中の患者・家族(患者のチーム医療への参加) ・チーム医療のための方法 (予習)p.165～198を熟読し、まとめる(30分)。 (復習)【事後課題4】患者・家族のチーム医療への参加について考えレポートする(60分)。	青柳 直樹
7	チーム医療からチームアプローチへ (チーム・アプローチ、患者会、当事者団体、チーム医療推進協議会)	・病院でのチーム医療と地域でのチームアプローチ ・患者会・当事者団体の役割と目指すところ ・チーム医療推進協議会が目指すところ (予習)p.199～234を熟読し、まとめる(30分)。 (復習)チーム医療とチームアプローチについて考え受講カードに記載する(30分)。	青柳 直樹
8	専門職が実践する多職種連携 (認定看護師、専門看護師、多職種連携)	・専門職におけるチームアプローチの実際 (予習)P.31～70、135～164、165～198を熟読し、まとめる(30分)。 (復習)【事後課題5】専門職者のチームアプローチの実際から看護の役割についてレポートする(60分)。	青柳 直樹
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

《専門教育科目 専門科目 看護の基本》

科目名	基礎看護学実習			授業科目番号	2311070
担当者氏名	大崎 美奈子、樋本 まゆみ、大平 富美、田口 めぐみ			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	実習	単位	1単位	時間	45時間
必・選	必修	開講年次	1年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		○1-2 人間の尊厳・権利を尊重する力、○3-2 多職種と連携・協働する力、4-1 看護学を探究する意欲			

《授業の概要》

健康障害をもつ対象者の治療と生活の場である病院における療養環境を理解し、看護場面の見学や多職種との連携から看護師の役割について学ぶ。また、対象者とのコミュニケーションを通して、患者と援助的人間関係を築く重要性を学ぶ。

位置づけ：本科目は看護学概論、基礎看護技術演習 終了後に開講され、看護場面の見学や多職種との連携から看護師の役割について学習する。

《授業の到達目標》

1. 看護活動および医療従事者の活動の実際を知り、看護師の役割について述べるができる。
2. 患者と関わり療養環境および入院生活による生活行動の変化を述べるができる。
3. 患者と援助的人間関係を築く重要性を理解することができる。
4. 将来の看護師像を描き看護学を学ぶことへの意欲につなげることができる。

《評価の方法》

実習態度、実習内容および実習記録を実習評価表（100％）で評価する。（到達目標1～4）

《テキスト》

《参考図書》

基礎看護学の授業で使用した教科書、資料を積極的に活用すること。

《履修上の留意点》

本実習に関連したスケジュールには全て出席することを原則とする。実習要項を熟読して実習に臨むこと。常に相手の立場を考え、人間尊重、人権擁護、個人情報保護、安全への配慮等、倫理面の配慮を十分行い実習すること。実習共通要項に従った身だしなみ、準備・態度を実習参加の条件とする。

《備考》

本科目の単位修得が、基礎看護学実習 の履修要件である。

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	学内実習 （実習前準備・学習確認）	学内実習 実習前準備・学習確認 < 予習 > 事前に提示された課題に取り組む（120分） < 復習 > 実習で学んだ内容を整理する（120分）	大崎美奈子 樋本まゆみ 大平 富美 田口めぐみ 他
2	臨地実習 （看護活動の見学、環境測定、患者とのコミュニケーション）	2～4日目 看護活動の見学 環境測定 患者とのコミュニケーション < 予習 > 事前に提示された課題に取り組む（120分） < 復習 > 実習で学んだ内容を整理する（120分）	大崎美奈子 樋本まゆみ 大平 富美 田口めぐみ 他
3	臨地実習 （看護活動の見学、環境測定、患者とのコミュニケーション）	2～4日目 看護活動の見学 環境測定 患者とのコミュニケーション < 予習 > 事前に提示された課題に取り組む（120分） < 復習 > 実習で学んだ内容を整理する（120分）	大崎美奈子 樋本まゆみ 大平 富美 田口めぐみ 他
4	臨地実習 （看護活動の見学、環境測定、患者とのコミュニケーション）	2～4日目 看護活動の見学 環境測定 患者とのコミュニケーション < 予習 > 事前に提示された課題に取り組む（120分） < 復習 > 実習で学んだ内容を整理する（120分）	大崎美奈子 樋本まゆみ 大平 富美 田口めぐみ 他
5	学内実習 （まとめ）	学内実習 まとめ < 予習 > 事前に提示された課題に取り組む（120分） < 復習 > 実習で学んだ内容を整理し、事故の課題を明確にする（120分）	大崎美奈子 大平 富美 田口めぐみ 樋本まゆみ

《専門教育科目 専門科目 看護の基本》

科目名	基礎看護学実習	授業科目番号	2311070
担当者氏名	大崎 美奈子、樋本 まゆみ、大平 富美、田口 めぐみ		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

科目名	地域包括ケア論			授業科目番号	2313010
担当者氏名	平澤 則子、永谷 智恵、板山 稔			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	必修	開講年次	1年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		○1-1 幅広い教養と多様性を理解する力、○3-2 多職種と連携・協働する力、5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力			

《授業の概要》

臨床から地域まで、生活に視点を置いて対象を支援することの意義や地域包括ケアの概念について学ぶ。また日本の在宅ケア・医療政策の動向をふまえて、臨床から地域までつなぐ移行期ケアや看看連携の意義を考える。そして地域共生社会の実現に向け、母子から高齢者を対象とした包括的支援についてその役割を理解し、今後の課題について考察する。

位置づけ：地域で生活する人々の暮らしと病気や障害がある人が住み慣れた地域で暮らすことを支える包括ケアの必要性を学ぶことによって、看護の専門性を考える基盤となる科目である。。

《授業の到達目標》

1. 地域包括ケアの概念について理解できる。 2. 日本の在宅ケア・医療政策の動向から移行期ケアについて理解できる。
3. 様々なライフサイクル、健康レベルにある人々への地域包括ケアについて理解できる。 4. 地域包括ケアにおける多様な専門職及び地域の人々と連携協働し活動する看護の役割を考えることができる。

《評価の方法》

定期試験60%（到達目標1・2・3・4） 小課題レポート30%（教員2人×10点）まとめレポート10%（到達目標3・4） 定期試験と課題レポートにより目標達成度を最終的に評価する。課題レポートについては講義の中で詳細を説明する。

《テキスト》

『公衆衛生看護学 第4版』（上野昌江、和泉京子 編 中央法規出版 2025年）

《参考図書》

1. 『社会保障再考 地域 で支える』（菊池馨実、岩波書店、2019） 2. 『よくわかる地域包括ケア』（隅田好美他、ミネルヴァ書房、2019） 3. 『きみのまちに未来はあるか？ 「根っこ」から地域をつくる』（除本理史・佐無田光、岩波書店、2020）

《履修上の留意点》

この科目では複数回、課題レポートの提出が求められます。事前および事後の学習を行い、計画的に課題に取り組みましょう。人々の健康と生活を守り生活の質を追求する上で、地域包括ケアは重要です。楽しく学びましょう。小課題レポートはコメントを付して授業時に返却します。まとめレポートは後期授業時に返却します。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	地域包括ケアとは (健康、地域看護、包括的支援、多職種連携)	地域包括ケアの概念について学ぶ。地域包括ケアを展開していくうえで基盤となる健康の概念について学ぶ。地域で暮らす人々の生活と看護の必要性について学ぶ。 (事前学習)「健康とは?」「地域で暮らす人々の健康を支援する専門職」について調べる。(30分) (復習)配布資料を読み、地域包括ケアの概念を確認する。(30分)	平澤 則子
2	地域包括ケアとは (在宅ケア、医療政策)	日本の在宅ケア・医療政策の動向を学ぶ。 (予習)日本人の平均寿命、健康寿命、高齢化率について調べる。(30分) (復習)配布資料を読み、地域包括ケアシステムとその背景を確認する。(30分)	平澤 則子
3	地域包括ケアとは (移行期ケア、看看連携)	病院・施設・在宅をつなぐ移行期ケアについて学ぶ。 継続看護と看看連携について学ぶ。 (予習)検討した事例について振り返り、移行期ケア・継続看護の課題を考える。(30分) (復習)配布資料を読み、地域包括ケアシステムとその背景を確認する。(30分)	平澤 則子
4	母子(子育て世代)地域包括支援とは:「生きるを支える子育て包括支援と看護職の役割」	母子(子育て世代)地域包括支援(センター)の概要を学ぶ。子育て世代地域包括支援がうまれた背景、すこやか親子21の施策を通して切れ目のない支援の必要性を学ぶ。 (予習)日本における出生率の推移、すこやか親子21を調べてくる。(30分) (復習)子育て支援施策について考える。(30分)	永谷 智恵
5	精神障害にも対応した地域包括ケアシステム (地域生活、課題)	日本の精神科医療の現状について学ぶ。 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた現状と課題について学ぶ。 (予習)精神疾患を有する患者数の推移、精神科医療の現状。(30分) (復習)精神に障がいのある人が地域で暮らすための方策を考える。(30分)	板山 稔

科目名	地域包括ケア論	授業科目番号	2313010
担当者氏名	平澤 則子、永谷 智恵、板山 稔		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	地域包括ケアとは(長岡モデル)	地域包括ケアシステム構築へ向けた取組事例として～小地域での医療・介護・予防・生活支援・住まいの一体的な提供に関する取組～について学ぶ。 (予習)厚生労働省ホームページで長岡モデルを読む。(30分) (復習)住んでいる市町村の地域包括ケアシステムと長岡モデルを比較し、地域包括ケアシステム構築の課題を考える。(30分)	平澤 則子
7	地域包括ケアにおける事例学習	・今後も地域で暮らし続けることを希望する事例について、実際の生活を理解し、包括的な支援について考える。 (予習)これまでの配布資料等を読み、学習目標を理解して参加する。(30分) (復習)配布資料等を見直してわかったことを調べて、学びを定着させる。(30分)	平澤 則子
8	これからの地域包括ケア(臨床・地域、課題)	課題レポートをもとにグループワークを行い、臨床から地域までつながるケアの現状および地域包括ケアの課題について考える。 (予習)事前課題レポートを作成し、持参する。授業後に提出する。(60分) テーマ「臨床から地域までつながるケアの現状と課題」1200字程度 (復習)地域包括ケアにおける看護の役割(自分ができること)を確認する。(30分)	平澤 則子
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

科目名	情報活用法			授業科目番号	1101020
担当者氏名	船津 誠也			実務経験のある 教員等による授業科目	
授業方法	演習	単位	1単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	1年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		○1-1 幅広い教養と多様性を理解する力、 ○4-2 看護を追究する基礎的研究能力 3-1 地域のネットワークを共有する力、			

《授業の概要》

本科目は、情報社会への適応力を涵養することを目的とし、情報の分析・整理・保管・表現に関する活用力を身に付ける。具体的には、以下にあげる力を身に付けることを目標とする。

情報社会の倫理と法を学習し、インターネットを活用した情報メディアの特性と検索法、効率的な使い方について理解する。さらに、情報の価値とモラルや情報の収集、加工、廃棄などの情報のセキュリティ管理とリテラシーについて理解する。また、ソーシャルネットワークサービスの特徴や機能と活用の現状やリテラシーを学ぶとともに、ホームページの作成のポイントと管理の実践について学ぶ。

本科目は情報処理法の授業を受講していることを前提としている。

《授業の到達目標》

知識・技能の観点：(1)情報をさまざまなトラブルから守るなど、正しく安全に運用する方法を理解している。(2)データ・AI（人工知能）利活用技術の概要および、社会における活用例について理解している。(3)ソフトウェアの機能を適切に利用して分析を行うことができる。思考・判断・表現の観点：(4)Webを用いた適切な情報表現について理解している。(5)数値データを活用し、知りたいことについて分析し、判断することができる。

《評価の方法》

情報を正しく安全に運用する方法の理解10%程度。Webを用いた情報表現に関する演習課題20%。表計算、グラフ機能、データベース機能を適切に利用したデータ分析の演習課題70%。授業の際の演習への取り組み状況も考慮する。

《テキスト》

『考える 伝える 分かち合う 情報活用力』（noa出版 著 ワークアカデミー 2017年）

《参考図書》

《履修上の留意点》

課題は必ず自分で作成すること。（他人のものを流用した場合は失格（0点）とする。）、評価：データ利活用技術や情報を正しく安全に運用する方法の理解(1)、(2)、Webを用いた情報表現に関する演習課題(4)、表計算、グラフ機能、データベース機能を適切に利用したデータ分析の演習課題(3)、(5)、これらの評価は、授業の際の演習への取り組み状況も考慮する。

《備考》

養護教諭二種教育課程必修科目 課題提出締め切り後の授業で課題についての解説を行なう。

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	ガイダンス	(1)授業の進め方の説明、(2)情報活用力テキスト Section2 情報運用、(3)組織における情報漏えい(DVD視聴) Webブラウザの基本操作について予習しておくこと(60分)	船津 誠也
2	AIについて(データ・AI(人工知能)利活用技術)	(1)データ・AI利活用技術の概要、(2)データ・AI利活用技術の社会における活用例、(3)データ・AI利活用における注意点 社会におけるデータ・AI利活用の事例について調べておくこと(60分)	船津 誠也
3	インターネットコミュニケーション1(インターネットを利用したコミュニケーション、ルールやマナーの原則)	(1)情報活用力テキスト Section7 インターネットコミュニケーション(インターネットを利用したコミュニケーション、ルールやマナーの原則)、(2)ホームページ作成演習第1回 教科書のSection7を予習しておくこと(60分)	船津 誠也
4	インターネットコミュニケーション2(メールコミュニケーション)	(1)情報活用力テキスト Section7 インターネットコミュニケーション(メールコミュニケーション)、(2)ホームページ作成演習第2回 教科書のSection7(メールコミュニケーション)を予習しておくこと(60分)	船津 誠也
5	インターネットコミュニケーション3(情報の発信のルール、インターネットを通じた情報発信ツール)	(1)情報活用力テキスト Section8 インターネットコミュニケーション(情報の発信のルール、インターネットを通じた情報発信ツール)、(2)ホームページ作成演習第3回 教科書のSection8を予習しておくこと(60分)	船津 誠也

科目名	情報活用法	授業科目番号	1101020
担当者氏名	船津 誠也		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	インターネットコミュニケーション4(ソーシャルメディア)	(1)情報活用力テキスト Section8 インターネットコミュニケーション(ソーシャルメディア), (2)課題1:オリジナルホームページの作成 教科書のSection8(ソーシャルメディア)を予習しておくこと(60分)	船津 誠也
7	数値分析1(数値分析とは)	(1)情報活用力テキスト Section3 数値分析(数値分析とは), (2)表計算演習第1回 Excelの基本操作について予習しておくこと(60分)	船津 誠也
8	数値分析2(データの加工)	(1)情報活用力テキスト Section3 数値分析(データを加工する), (2)表計算演習第2回 Excelの基本操作について予習しておくこと(60分)	船津 誠也
9	グラフ(グラフの基本, グラフ作成)	(1)グラフの基本, (2)グラフ作成演習 Excelの基本操作について予習しておくこと(60分)	船津 誠也
10	関数(様々な関数, 関数の活用)	(1)様々な関数の利用, (2)関数活用演習 Excelの基本操作について予習しておくこと(60分)	船津 誠也
11	数値分析3(データ分析)	(1)情報活用力テキスト Section4 数値分析(データを分析する), (2)データ分析演習第1回 Excelの基本操作について予習しておくこと(60分)	船津 誠也
12	数値分析4(データ分析実習)	(1)情報活用力テキスト Section4 数値分析(データ分析実習), (2)データ分析演習第2回 Excelの基本操作について予習しておくこと(60分)	船津 誠也
13	データベース1(データベースを使ってみる)	(1)情報活用力テキスト Section5 データベース(データベースを使ってみる), (2)データベース作成演習第1回 Excelの簡易データベース機能について予習しておくこと(60分)	船津 誠也
14	データベース2(データベースからデータを取り出す)	(1)情報活用力テキスト Section5 データベース(データベースからデータを取り出す), (2)データベース作成演習第2回 Excelの簡易データベース機能について予習しておくこと(60分)	船津 誠也
15	データベース3(データベース作成実習)	(1)情報活用力テキスト Section5 データベース(データベース作成実習), (2)課題2:Excelによる表計算データベース作成 Excelの簡易データベース機能について予習しておくこと(60分)	船津 誠也

《基礎教育科目 基礎教育科目 思考力養成》

科目名	問題解決法			授業科目番号	1101040
担当者氏名	渡部 洋一郎			実務経験のある 教員等による授業科目	
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	選択	開講年次	1年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		○1-1 幅広い教養と多様性を理解する力、○4-1 看護学を探究する意欲、 を追究する基礎的研究能力			

《授業の概要》

問題解決法は大学生活における学習場面でも、看護の実践の場面でも、社会生活にとっても必要な科学的技法である。その、科学的技法としての問題解決能力を養う。問題とは何かを考えること、問題を発見すること、解決するための手順、解決するために必要な情報を的確に収集すること、情報を整理すること、情報を分析することなどを学ぶとともに、問題解決に必要な様々なクリエイティブな思考法と発想法を学び、活用方法を修得する。

《授業の到達目標》

論理的に考え、課題を解決するとはどのような行為をさすのか。また、その解法に一定の規則はあるのか。本科目はこうした問いに答えることを授業の目標としている。そのため、論理的な思考に関する複数の初歩的な理論を学び、それを授業の中で実地に応用することで、その効果を確認することを目指す。

《評価の方法》

定期試験40%、授業時間内に実施する小課題40%、グループワーク参加態度20%

《テキスト》

毎回、使用プリントを適宜配布します。

《参考図書》

参考にすべき図書も授業時間内に提示しますが、特に購入の必要はありません。

《履修上の留意点》

小課題を実施する場合は、グループを形成し協働でそれにあたります。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	論理的思考とクリティカルシンキング (導入)	論理的な思考に関する文献を読み、導入としてその思考法の一端に触れます。また、クリティカルシンキングのやり方を実際に体験してみましよう。	渡部洋一郎
2	批判的思考の実際 (データの読み解き方)	図表やグラフに表された数値の読み解きを行い、妥当なデータの解釈とは、どのような行為をさすのかを理解します。	渡部洋一郎
3	OECDによるPISA調査 (非連続型テキスト)	2000年より、経済協力開発機構によって3年ごとに実施されている世界的規模の学力調査を対象に、その特徴を探ります。特に、日本の高校一年生が世界の学習者と比較したときに、どのような特徴を持っているのかを検討しましょう。	渡部洋一郎
4	母集団における平均値の意味 (平均が良い方が上?)	前回の学習を踏まえ、アメリカやイギリス、ドイツ、フランスなどの国の学習者の平均値と日本の高校一年生の平均値とを比較します。結果は日本の方が圧倒的に上なのですが、そこにはどんな意味が隠されているのでしょうか。	渡部洋一郎
5	必要条件と十分条件 (判別の実際)	必要条件と十分条件について、簡単な識別法を使い例文を判別しましょう。簡単なコツを覚えれば、誰でも活用できます。	渡部洋一郎

科目名	問題解決法	授業科目番号	1101040
担当者氏名	渡部 洋一郎		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	演繹的思考と帰納的思考 (長所と短所)	防御に優れた論法と攻撃に利のある論法、それぞれどのような利点と欠点があるのでしょうか。ここでは、その特徴について学びます。	渡部洋一郎
7	文章題における理解と表現 (確率の文章題検討)	自分が理解していることをどのように表現すれば正確に相手に伝わるのでしょうか。また、ある表現は読み手にどのような理解をもたらすのでしょうか。実際の新聞コラムの内容を用いて検討してみましょう。	渡部洋一郎
8	根拠と理由の違い (両者の差異)	自分が理解していることをどのように表現すれば正確に相手に伝わるのでしょうか。また、ある表現は読み手にどのような理解をもたらすのでしょうか。実際の新聞コラムの内容を用いて検討してみましょう。	渡部洋一郎
9	限定と反証 (概念の理解)	限定と反証という耳慣れない言葉の意味について理解を深めます。この2つを理解することで、説得性のある主張を展開することができます。	渡部洋一郎
10	トゥルミン・モデル (英国論理学の実際)	トゥルミン・モデルとは、S.E.Toulminによって考案された議論の論証モデルのことを言います。根拠から主張に至るまで6つの要素を配列するところにその特徴がありますが、まずは同モデルについて理解しましょう。	渡部洋一郎
11	日常議論への実際の応用 (限定的な主張)	この回は、一般性及び汎用性のある主張ではなく、限定的でありながら説得性を持つ主張のあり方について、トゥルミン・モデルを使った演習を通して実地に確かめてみます。	渡部洋一郎
12	日常議論への実際の応用 (反証を意識した反論)	最後に、反証を意識した反論について学びます。反証がある場合の反論とはどのようなものにならざるを得ないのか、検討してみましょう。	渡部洋一郎
13	命題の逆・裏・対偶	命題には、逆、裏、対偶というものが存在します。それぞれの特性と、そこに関わる「真」と「偽」の関係性について学びます。	渡部洋一郎
14	全体と部分との関係を理解する (含むものと含まれるもの)	あるグループ同士の関係性を考察することを通して、含むものと含まれるものとの関係を理解し、集合に関わる規則を学びます。	渡部洋一郎
15	総合的なまとめ	「問題解決法」で学んだ論理的思考や日常議論の方法、また、効果的な表現を意識した理解のあり方などについて、授業全体を振り返り、内容をまとめます。	渡部洋一郎

《基礎教育科目 基礎教育科目 表現力養成》

科目名	日本語表現			授業科目番号	1102140
担当者氏名	渡邊 有紀恵			実務経験のある 教員等による授業科目	
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	選択	開講年次	1年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		4-2 看護を追究する基礎的研究能力、○5-2 地域社会に貢献する態度			

《授業の概要》

日本語表現 で獲得した能力を基盤とし、論理的な思考に基づいた意見・主張を記述により表現する能力を習得する。
様々な作品・社会問題に関する論説などを読み、文章の構成、展開、要旨を的確にとらえる力を養う。また、論理的に要約し
評価することを通し、自分の考えを深め意見を構築するとともに、自分の意見に対する論拠を示し、説得力のある論述がで
ることを目指す。

《授業の到達目標》

1. 社会問題に関する文章を正確に読み、的確に要約できるようになる。
2. 自身が関心を持つ社会問題に関する文章を要約したうえで、意見を論理的に書くことができる。
3. 毎回の小課題を通して、日本語の語彙力と表現力を高める。

《評価の方法》

定期試験40%（到達目標1.2.3） / 課題50% 毎回の課題（復習テスト、要約文作成、意見文作成等）の内容や提出状況をもとに評価する（到達目標1.2） / 授業態度10% 授業中の態度をもとに評価する（到達目標1.2.3）

《テキスト》

指定無し

《参考図書》

『アカデミック・ライティングのためのパラフレイズ演習』（鎌田美千子 他著 スリーエーネットワーク 2014年）『日本語検定公式過去問題集 令和6年度版』（日本語検定委員会編 東京書籍 2024年）等

《履修上の留意点》

毎回の課題について期限を守り提出すること。日常生活を通して社会問題に関心を持つこと。また、その問題について自分の意見を持てるよう努めること。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	パラフレイズ練習 （文体、和語漢語、名詞化、 ジャンルによる使い分け）	・ガイダンス ・小課題 日本語検定3級問題 ・パラフレイズ練習：単語をレポートにふさわしい文体・表現に言い換える練習をする。 （予習）目に触れる文章の文体の違いについて調べる。（30分） （復習）授業資料を復習する。（90分）	渡邊有紀恵
2	要約練習 （話題、論点表示文）	・小課題 日本語検定3級問題 ・復習テスト（第1回内容） ・文章を読み、何の話か、何が問題になっているかを把握したうえで200字に要約する。（文章のテーマ：経営者、国民審査） （予習）経営者の習慣、国民審査について調べる。（30分） （復習）要約文を作成する。（90分）	渡邊有紀恵
3	要約練習 （結論表示文）	・小課題 日本語検定3級問題 ・復習テスト（第2回内容） ・文章を読み、結論を読み取る練習をした上で、200字程度に要約する。（文章のテーマ：消費者行動、ことばの有様性） （予習）性別を明示または暗示する表現について調べる。（30分） （復習）要約文を作成する。（90分）	渡邊有紀恵
4	要約練習 （二項対立）	・小課題 日本語検定3級問題 ・復習テスト（第3回内容） ・二項対立の文章を読み、賛成・反対の立場を混乱しないように読み、要約する。（テーマ：死刑制度廃止論、外国人の参政権） （予習）テーマについて調べる。（30分） （復習）要約文を作成する。（90分）	渡邊有紀恵
5	要約練習 （筆者の主張、反対意見）	・小課題 日本語検定2級問題 ・復習テスト（第4回内容） ・社会問題を論ずる文章から筆者の立場を読み解き、正確に要約する。（テーマ：夫婦別姓制度） （予習）外国人の参政権、夫婦別姓制度について調べる。（30分） （復習）要約文を作成する。（90分）	渡邊有紀恵

《基礎教育科目 基礎教育科目 表現力養成》

科目名	日本語表現	授業科目番号	1102140
担当者氏名	渡邊 有紀恵		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	論述練習 (要約、意見構築)	・小課題 日本語 2 級問題 ・復習テスト (第 5 回内容) ・新聞の社説から 1 つ関心のあるものを選び、要約する。さらに、自身の意見を加えた文章を作成する。 (予習) 課題資料(新聞記事)を読む。(30分) (復習) 意見文を作成する。(60分)	渡邊有紀恵
7	論述練習 (要約、意見構築)	・小課題 日本語 2 級問題 ・新聞の社説から 1 つ関心のあるものを選び、要約する。さらに、自身の意見を加えた文章を作成する。 (予習) 課題資料(新聞記事)を読む。(30分) (復習) 意見文を作成する。(60分)	渡邊有紀恵
8	総まとめ	・授業全体について振り返り、内容をまとめる (予習) 第 1 回～第 7 回までの授業資料を読み返す(60分) (復習) 授業資料の内容確認をする。(60分)	渡邊有紀恵
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

《基礎教育科目 基礎教育科目 人間力養成》

科目名	コミュニケーション論			授業科目番号	1103020
担当者氏名	五十嵐 紀子			実務経験のある 教員等による授業科目	
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	1年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		1-1 幅広い教養と多様性を理解する力、○1-2 人間の尊厳・権利を尊重する力、○ 1-3 他者の自己決定を擁護する力			

《授業の概要》

自身を知ることと他者を知ことは表裏一体であり、人間尊重の精神が必要である。この科目では、人間を尊重し、他者を受容し、共感する、他者とともに生きることの意義を考える。そのためには、自己理解の方法を知り自己を客観的に見つめる機会を持つ。また、他者との適切な人間関係を形成し、信頼関係を確立するためには自己理解と他者理解が両輪となることを理解する。また、自己の良心と社会の規範やルールに従って自らを律して行動することができる態度を養成する。

《授業の到達目標》

1. コミュニケーションの理論を理解する。
2. 身近なことなどに学んだ理論を当てはめ考察できる。
3. ステレオタイプとは何かを理解し、説明できる。
4. 看護実践において、コミュニケーション上重要となる視点を意識できる。

《評価の方法》

授業の振り返りコメント60%（到達目標の1,2,4）、レポート40%（到達目標の1,2,3,4）
フィードバックは原則授業内に行う。

《テキスト》

『よくわかるヘルスコミュニケーション』（五十嵐紀子・池田理知子編 ミネルヴァ書房 2016年）

《参考図書》

授業内で適宜紹介する。

《履修上の留意点》

一般的なコミュニケーションに関する考え方から距離を置き、新たな視点で考察することを大切にする授業です。グループワークでの話し合いには積極的に参加して下さい。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	コミュニケーション学とは (コミュニケーションの定義、ヘルスコミュニケーション)	・オリエンテーション：授業計画と評価に関する説明 ・一般的なコミュニケーションの捉え方との差異 ・ヘルスコミュニケーションを学ぶ意義 (予習) 特になし (復習) 授業内で指定するテキスト該当箇所(60分)	五十嵐紀子
2	コミュニケーション能力とは何か (コミュニケーション能力)	・「コミュニケーション能力」重視の問題 ・「当たり前を疑う」視点 (予習) 「コミュニケーション能力」を意識する時の具体例(30分) (復習) 「円滑なコミュニケーション」の問題の具体例を考える(60分)	五十嵐紀子
3	言語メッセージ	・言語と社会的規範の関係 (予習) 授業内で指定するテキスト該当箇所(30分) (復習) 授業内で指定するテキスト該当箇所を読み、自分自身に重ね合わせて考えたことを書いて提出する(90分)	五十嵐紀子
4	医療におけることば (臨床で交わされる言葉)	・「病」と自分との距離感 ・「闘病」の意味を問い直す ・対話の実践 (予習) 「病」のマインドマップを描いてくる(60分) (復習) 授業内で指定するテキスト該当箇所を読む(60分)	五十嵐紀子
5	医療におけることば (「病」の定義)	・「病」という言葉の捉え方 ・認知症、薬物依存症、水俣病を例に考える (予習) 認知症、薬物依存症について調べる(60分) (復習) 授業内で指定するテキスト該当箇所(60分)	五十嵐紀子

科目名	コミュニケーション論	授業科目番号	1103020
担当者氏名	五十嵐 紀子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	非言語 (時間・空間)	・時間・空間の認識と他者理解 (予習) 授業内で指定するテキスト該当箇所(30分) (復習) 自身に重ね合わせて考えたことを書いて提出する(90分)	五十嵐紀子
7	非言語 (時間・空間)	・恣意的な境界線の身近な例について考察する (予習) 身近にある「境界線」の例について写真などを用意する(60分) (復習) 授業内で指定するテキスト該当箇所を読む(60分)	五十嵐紀子
8	表象とステレオタイプ (表象、ステレオタイプ)	・ステレオタイプとは何か ・身近なステレオタイプについて (予習) 授業内で指定するテキスト該当箇所を読む(60分) (復習) 啓発や健康増進などのパンフレットやポスターに注目する(60分)	五十嵐紀子
9	表象とステレオタイプ (表象、ステレオタイプ)	・グループワークと発表または共有 ・メディアで作られるステレオタイプ (予習) 授業内で指定するテキスト該当箇所(30分) (復習) 自身に重ね合わせて考えたことを書いて提出する(90分)	五十嵐紀子
10	自己理解と他者理解 (自己理解、他者理解、自己ステレオタイプ)	・自己理解と他者理解の関係についての理解 (予習) 授業内で指定するテキスト該当箇所を読む(60分) (復習) 自己ステレオタイプにどうしたら気づくことができるか考える(60分)	五十嵐紀子
11	自己理解と他者理解 (傾聴、共感)	・傾聴と共感のあり方 ・自己ステレオタイプ化という視点 ・オープンダイアログの理解と実践 (予習) 授業内で指定するテキスト該当箇所(60分) (復習) 授業内で指定するテキスト該当箇所(60分)	五十嵐紀子
12	異文化コミュニケーションと 対人援助 (異文化、ジェンダー、多様性)	・ジェンダーマイノリティの問題 (予習) 授業内で指定するテキスト該当箇所を読む(30分) (復習) 自身に重ね合わせて考えたことを書いて提出する(90分)	五十嵐紀子
13	講義のまとめとしてのグループワーク	【グループディスカッション】 ・選んだテーマごとにグループを作り、考察する (予習) 選択したテキスト項目を読む(60分) (復習) 授業内で指定するテキスト該当箇所を読む(60分)	五十嵐紀子
14	講義のまとめとしてのグループワーク	【グループディスカッション】 ・選んだテーマごとにグループを作り、考察する (予習) 選択したテキスト項目に関連する事項について調べる(60分) (復習) 他者の意見を聞くなどして考察を深める(60分)	五十嵐紀子
15	講義のまとめとしてのグループワーク	【グループディスカッション】 ・全体共有をする ・まとめ (予習) 発表準備をする(30分) (復習) レポートの構想を確認し、レポートを執筆する(90分)	五十嵐紀子

科目名	健康スポーツ			授業科目番号	1105040
担当者氏名	奥島 大			実務経験のある 教員等による授業科目	
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	選択	開講年次	1年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		○1-1 幅広い教養と多様性を理解する力、 2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力、 ○4-1 看護学を探究する意欲			

《授業の概要》

室内で行うスポーツを実践し、スポーツが身体的、心理的、社会的側面に及ぼす影響について体験し考察する。具体的には、エアロビクスによる有酸素運動の体験をする。また、バレーボール競技を通して、スポーツにおけるチームワークの在り方から、スポーツの社会性について体験し考察する。さらに、筋肉トレーニングを体験する。また、有酸素運動と筋肉トレーニングの特徴を理解したうえで、グループワークとして、子どものトレーニングと高齢者のトレーニングの特徴について考え、具体的な運動メニューを提案する。

《授業の到達目標》

1. 健康づくりを考えた運動・スポーツ活動を実践する上で必要な知識について自らの言葉で説明できる。
2. 健康づくりを考えた運動・スポーツ活動について知識に基づいて実践することができる。
3. 健常者のみではなく、年齢・疾患（障害）を考慮した運動スポーツ活動を実践することができる。

《評価の方法》

定期試験：80%（到達目標1～3）

授業内課題の状況（課題については授業内で指示する）：20%（到達目標1～3）

《テキスト》

特に指定しない。

《参考図書》

『運動生理学の基礎と発展 3訂版』（春日規克編著 フリースペース 2018）

《履修上の留意点》

原則的に毎週配布される授業資料に基づいて授業を展開していくため、理由のない欠席は避けること。

授業内課題については、当該授業内、あるいは次の授業開始時に総評する形でフィードバックを行う。

《備考》

看護教諭二種教育課程必修科目

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	健康づくりの運動として備えるべき要件(トレーニングの原理・トレーニングの原則)	健康づくりを考えた適度な運動を実践するために必要な知識について、 トレーニングの原理・原則を中心に理解する。 【予習】トレーニングの原理や原則について情報を収集する(30分)。 【復習】健康づくりの運動として備えるべき条件について自らの言葉でまとめる(90分)。	奥島 大
2	運動機能の評価指標(V02max・AT)	健康づくりを考えた適度な運動を実践するために必要な知識について、 運動機能の評価指標、特にスポーツ・コメディカル領域で重要な有酸素性運動能力(持久力)に関連する指標を中心に理解する。 【予習】持久力を評価する指標について情報を収集する(30分) 【復習】有酸素性運動能力の評価指標について自らの言葉でまとめる(90分)。	奥島 大
3	運動の強度と量の表し方(自覚的運動強度・METs)	健康づくりを考えた適度な運動を実践するために必要な知識について、 運動強度の表し方、特にスポーツ・コメディカル領域で重要な内容を中心に理解する。 【予習】運動強度の単位について情報を収集する(30分) 【復習】運動強度の単位について、その由来や算出方法を含めて自らの言葉でまとめる(90分)。	奥島 大
4	適正な運動が備える条件とは？(%V02max・運動時間・運動頻度)	健康づくりを考えた適度な運動を実践する上で、必要となる運動の条件について理解する。 【予習】これまで学んできた内容から適度な運動をどのように設定すれば良いか予想する(40分) 【復習】学んだ内容に基づいて自身にとって適度な運動の条件をまとめてみる(80分)	奥島 大
5	環境と運動(低圧低酸素環境・暑熱環境)	日本には四季や標高差があり、安全に運動を遂行する上で留意するべき環境条件が存在する。健康づくりを考えた適度な運動を実践する上で留意するべき環境と運動の関連性について理解する。 【予習】日本で発生した環境が原因となる運動中の事故について情報を収集する(30分)。 【復習】自生活の中で行う可能性のある運動・スポーツ活動のうち、留意するべき環境条件とその対処法についてまとめてみる(90分)	奥島 大

科目名	健康スポーツ	授業科目番号	1105040
担当者氏名	奥島 大		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	適度な運動を行う上での準備(ウォームアップ・クールダウン)	健康づくりを考えた適度な運動を実践するために必要な知識について、主たる運動の前後に行うべき内容を中心に理解する。 【予習】運動・スポーツ活動を行う前後に普段実践している内容についてまとめる(30分)。 【復習】学んだ内容について、これまで自身が行ってきた運動・スポーツ活動の前後に実践してきた内容を評価してみる(90分)。	奥島 大
7	年齢・疾患に合わせた健康スポーツ(転倒予防・ソーシャルキャピタル)	スポーツは健常者のみのものではなく、有病者、高齢者や障害者を含む全ての人が楽しめるものである。年齢や疾患に合わせた運動・スポーツ活動について、年齢の点を中心に留意すべき点や課題などを理解する。 【予習】高齢者が実践できるスポーツについて情報を収集する(30分)。 【復習】年齢に合わせた運動・スポーツ活動について自身の親族を想定した場合、どのような活動を提案するべきかまとめる(90分)	奥島 大
8	年齢・疾患に合わせた健康スポーツ(APA・AS)	スポーツは健常者のみのものではなく、有病者、高齢者や障害者を含む全ての人が楽しめるものである。年齢や疾患に合わせた運動・スポーツ活動について、疾患(障害)の点を中心に留意すべき点や課題などを理解する。 【予習】障害者が実践できるスポーツについて情報を収集する(30分)。 【復習】疾患・障害に合わせた運動・スポーツ活動について、どのような活動を提案するべきかまとめる(90分)。	奥島 大
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

科目名	生命倫理学			授業科目番号	1105020
担当者氏名	郷堀 ヨゼフ			実務経験のある 教員等による授業科目	
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	1年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		○ 1-1 幅広い教養と多様性を理解する力、 1-2 人間の尊厳・権利を尊重する力、 1-3 他者の自己決定を擁護する力			

《授業の概要》

社会人として、看護職として生命の尊厳を守ることは重要なことである。生命倫理学では、そもそも倫理とは何かを学ぶ。そのうえで、生命倫理学の基礎的概念を学ぶ。具体的には、パターンリズムと人権、自己決定権、遺伝子治療、出生前診断と母体保護法、不妊治療と代理母、安楽死、脳死と臓器移植、宗教上の治療拒否などのテーマについて調べ学習を行い、グループで討議し、発表する。現代の医療の倫理的課題について、広い視野で問題を考察できるようになるための基礎的科目である。

《授業の到達目標》

当科目では、生命、公平や自由などの基本概念を押さえ、生命倫理学の扱う自己決定権やQOLとSOL等について議論を展開していく。同時に、看護現場で実際に起きた事例を通して倫理的課題について検討し、その文化的・社会的背景について論じる。学習者が看護現場の抱える倫理の諸問題の内容を理解し、倫理的原則を踏まえてこの諸問題を解決する判断力を育むと同時に、現代医療の倫理的な問題に気づく感性を養うことを到達目標とする。

《評価の方法》

定期試験を60%、数回の授業内発言及びプレゼンテーション、そしてリアクションペーパー（10行程度の小レポート）を40%とする。

《テキスト》

購入テキスト（教科書）は指定しないが、参考図書を随時紹介し必要な資料をこちらで準備し配布する。

《参考図書》

『看護学生のための医療倫理』（盛永審一郎、長島隆編 丸善出版 2012年）

『生命倫理学とは何か ―入門から最先端へ―』（アラスデア・V・キャンベル 勁草書房 2016年）

《履修上の留意点》

学習者の主体的な学びを実現するためディスカッションやディベートを通して理解を深めたいと考えるが、コロナ感染予防策を講じながら、オンラインツールをも活用してアクティブラーニングを促す。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	イントロダクション	生命倫理とは何か。英語文化圏でいうバイオエシックスという概念について紹介し、医の倫理との関係に触れながら、生命・自由・公平等の基本概念に関する整理を行う。	郷堀ヨゼフ
2	健康問題とは何か	健康と病気とは何か。疾病と病との違いとは何か。健康問題に取り組む医療と看護の特徴を踏まえて、現代医療の倫理的問題を整理する。	郷堀ヨゼフ
3	生命倫理学の歴史	ナチスドイツによる人体実験やタスキギ事件等を取り上げながら、戦後の医療技術臨床発展を受けて浮上した諸問題とリンクしながら臨床倫理と生命倫理の(学問として)確立のプロセスを追う。ニュールンベルク綱領(1947)、ヘルシンキ宣言(1964)等の基本的な枠組みについて紹介する。	郷堀ヨゼフ
4	道徳理論	倫理的規範の形成について論じ、義務とは何か、善人になることとは何かについて考え、兄弟愛と姉妹愛(コミュニタリアニズム)やリベタリアニズムについて紹介する。最後に、これらを踏まえて医療倫理の四原則や看護倫理について整理する。	郷堀ヨゼフ
5	多様な視点	ジェンダーやフェミニズムといったキーワードを念頭に置きながら、多様な視点から考える倫理・道徳のあり方に注目する。後半は宗教と文化による影響や違いについて論じて確認をする。	郷堀ヨゼフ

科目名	生命倫理学	授業科目番号	1105020
担当者氏名	郷堀 ヨゼフ		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	権利	治療選択権と治療拒否権について考える。患者の権利に焦点を当て、パターナリズムやインフォームドコンセントやアドバンスケアプランニング(ACP)等の概念について論じる。また、終末期医療・緩和ケアの事例を中心に延命措置の問題(治療しない、治療を中止する)について考える。	郷堀ヨゼフ
7	人生の旅：誕生(問題提起)	生の始まりにまつわる生命倫理的な問題に焦点を当て、特に生殖医療(技術)と遺伝子技術について論じ、優生思想について議論する。	郷堀ヨゼフ
8	人生の旅：誕生(検討)	生の始まりにまつわる生命倫理的な問題に焦点を当て、特に人工妊娠中絶について考える。その社会的・文化的背景も考慮しながら、歴史的な展開と現状の両方について論じる。リアクションペーパー提出。	郷堀ヨゼフ
9	人生の旅：誕生(討論)	生の始まりに関する倫理的な問題を取り上げ、リアクションペーパーとそれに対するフィードバックを踏まえて、全体でディスカッションを行う。	郷堀ヨゼフ
10	人生の旅：死(問題提起)	生の終わりにまつわる倫理問題に着眼し、脳死や移植医療の事例を挙げながら死の概念等を押さえる。さらに、脳死判定、死の三徴候、臓器移植について検討しながら、遷延性意識障害と脳死と臓器提供について議論する。	郷堀ヨゼフ
11	人生の旅：死(検討)	生の終わりにまつわる倫理問題に着眼し、がん治療、ターミナルケア、ビハラー、スピリチュアルケア、ホスピスケアについて議論する。国内外の事例を挙げながら、延命治療等の倫理的諸問題について考える。	郷堀ヨゼフ
12	人生の旅：死(討論)	安楽死にフォーカスしながら、諸概念を整理した上で国内外の現状について紹介する。その中で、死ぬ権利、自殺幇助等を取り上げる。	郷堀ヨゼフ
13	人生の旅：死(討論)	安楽死にフォーカスしながら、安楽死と尊厳死の違いを取り上げ、特にその法的枠組みに重点を置いて検討する。優生思想にも注目しながら議論をする。リアクションペーパー提出。	郷堀ヨゼフ
14	人生の旅：死(討論)	個人と生命の尊厳を保ちながら、十分な倫理的配慮をするターミナルケア、遺族へのケア(グリーフケア)とそれに伴う課題について取りあげて整理する。仏教的ケア(ビハラー病棟等の実践)について紹介する。	郷堀ヨゼフ
15	今日的課題・まとめ	全体の内容を振り返って専門職倫理規範(看護倫理)の土台を成す生命倫理の重要課題を整理する。さらに、今日の社会・医療における倫理的課題を取りあげ、看護師としての対応・課題について整理する。	郷堀ヨゼフ

科目名	自然環境論			授業科目番号	1106010
担当者氏名	春日 良樹			実務経験のある 教員等による授業科目	
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	選択	開講年次	1年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		1-1 幅広い教養と多様性を理解する力、○5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力			

《授業の概要》

自然と共生するための、自然環境の保全、人間社会の在り方について地球環境問題に興味を持ち学ぶ。具体的には、食生活と増え続けるごみや廃棄物、食料自給率と環境、途上国と日本の水環境、地球温暖化、公害、エネルギー資源、大気汚染などの問題を理解し、人間は自然とどのように共生していくのか、世界レベルで考えることから始まり、地域のレベルまで具体的に掘り下げて考える。この講義を通して、卒業してからも環境問題に興味を持ち続けて、環境保全に積極的に関与できる人材を育成する。

《授業の到達目標》

地球環境と生命の多様性や進化、身近な自然で起こっている生態系の変化、環境問題と人間の生活について、調べたり話し合ったりする学習を通して、自然環境の保全や持続可能な社会の在り方について、自分なりの主張の形成を図ることができる。

《評価の方法》

定期試験60% レポート30% 討議や学び合いへの参加態度10%

《テキスト》

講義資料を作成し（40P程度）受講者に事前に配布する。必要に応じて、講義時に補充資料を配布する。

《参考図書》

指定図書はないが、高校の生物教科書や参考書又は環境問題に関する書籍を1冊用意するとよい。大学近隣の県立歴史博物館、馬高縄文館、藤橋遺跡、十日町市立博物館、柏崎原発サービスホールなどに出かけ事前学習を進めておくといよい。

《履修上の留意点》

大学校庭の草原や林などで、実際の自然を観察する機会を設定する。

《備考》

野外学習時には、虫や怪我対策のため服装に留意する（講義時に連絡する）。

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	生命の星地球 ・学習の進め方ガイダンス ・生命の惑星地球	地球の形成と生命の誕生について理解する。 ・二酸化炭素の減少や酸素の増加など、多様な生物種の生存を可能とした地球環境の形成...石炭・石油の形成（鉄や化石燃料の形成） ・生物の進化と絶滅 <高校で使用していた地学や生物の教科書、参考書などがあると良い>	春日 良樹
2	人類の誕生と自然環境 ・人類の進化と拡散 ・農耕以前の生活と文明	アフリカから世界へ分布を広げた人類の進化の道筋について理解する。 ・人類の進化を支えたもの・こと（他の霊長類と比較しながら） ・旧石器人の生活と自然環境（世界の人口の推移と関連付けて） ・ギョベックリ・テペ遺跡(トルコ)の発見（農耕開始以前の定住集団）	春日 良樹
3	・縄文人の生活 ・1万年以上続いた縄文時代	日本の自然環境と共生した縄文人の生活について理解する。 ・土器の発明と生活の変化 ・縄文人の生活と森林の変化...人間の活動と生物多様性→カタクリの例 <新潟県立歴史博物館、馬高縄文館、長岡市立科学博物館、十日町市立博物館等に出かけ、土器の変遷や人々の生活と自然環境について事前学習を進めておくといよい>	春日 良樹
4	弥生から近世までの自然の変化 ・国の形成と自然環境の変化 ・草原の国日本	人口増加や人々の生活と森林環境の変遷について理解する。 ・稲作をはじめとした大陸文化の流入と森林 ・製鉄と森林（もののけ姫の世界）...草原が広がる国土 ・江戸時代の人々の生活と自然環境...森林が支える江戸の生活	春日 良樹
5	戦後の日本の自然環境の変化 ・森林の変化 ・河川の変化	戦後の復興と自然環境の変化について理解する。 ・戦後のエネルギー革命と里山の荒廃 ・日本林業の再生への希望...林業女子、森林・林業基本法	春日 良樹

《基礎教育科目 基礎教育科目 社会の理解》

科目名	自然環境論	授業科目番号	1106010
担当者氏名	春日 良樹		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	森林の役割や機能 ・水源涵養林 ・健康福祉林など	日本の森林の特徴や森林の役割や機能について理解する ・二酸化炭素の吸収や生態系の維持 ・水源涵養の仕組み	春日 良樹
7	変わりゆく日本の自然 ・外来種の問題 <ミニ野外学習>	崇徳大学の校庭に蔓延る外来植物の生育状況を明らかにする。 ・外来種の種類や分布 ・蔓延る外来種(外来生物法、SDGS) ・駆除の難しさと日本の生態系や人間生活への影響 <天候により、8回目と入れ替える場合がある>	春日 良樹
8	変わりゆく日本の自然 ・外来種の問題	外来種が日本の自然環境及ぼす影響について理解する ・沖縄・奄美諸島のマングースとハブの駆除 ・佐渡のサドノウサギの駆除とトキの保護(ホンドテンをどうするか) ・外来種駆除活動の実際(妙高のオオハンゴンソウ、弥彦山のフランスギク駆除の例)	春日 良樹
9	日本の近代化と河川環境 ・川の汚染	半世紀前の人々の暮らしと川の関係や近代化と川の変化について理解する。 ・子供が川で遊ばなくなった...農業の近代化と農薬汚染 ・生活や工業の廃棄物処理の場としての河川(隅田川や多摩川の例) ・近年における新たな問題...人々の生活と水辺環境の乖離 ・深刻化するゴミ問題(近隣諸国を巻き込んだプラスチック廃棄物の問題)	春日 良樹
10	日本の経済発展と公害	日本の公害の原点(足尾銅山鉱毒事件)について学び、田中正造の生き方や環境問題の現実について理解する。 ・カネミ油症訴訟 ・イタイイタイ病(カドミウム汚染) ・大気汚染問題	春日 良樹
11	新潟水俣病	水俣病と第2水俣病(新潟水俣病)の原因や現在も続く訴訟について理解する。 <新潟立環境と人間のふれあい館「新潟水俣病資料館」などを訪れたり新潟水俣病に関係する書籍を読んだりしておくといい>	春日 良樹
12	人類の未来と環境問題 ・温暖化・気候変動 ・原始力発電の可否	豊かな生活の享受と地球温暖化などの環境問題について理解する。 ・牧畜とメタン、二酸化炭素の排出 ・オゾン層の破壊 ・原子力発電の限界、再生エネルギーの功罪	春日 良樹
13	自然の生態系 ・生物同士の関係性	生態系について環境と生物の関係性について理解を深める。 ・森林、河川、湖沼、海洋 ・食物連鎖・生物網・生物ピラミッド ・世界の食料と環境問題(農薬・土壌崩壊等)	春日 良樹
14	熱帯林の破壊 ・SDGSと熱帯林の保全	地球の肺と称される熱帯林の役割について理解する ・二酸化炭素の固定と生物多様性 ・国際的な商品作物と熱帯林の消失(パーム油、バナナ、カカオなど) ・南北問題と環境問題(COP30、換金作物栽培と貧困等)	春日 良樹
15	持続可能な社会の確立のために	地球規模で起こる環境問題とその解決策について自分なりの主張をまとめる ・エネルギー、産業、自然環境、人々の生活の仕方など、視点を決めて持続可能な社会の実現についてレポートにまとめる。	春日 良樹

《基礎教育科目 基礎教育科目 社会の理解》

科目名	日本国憲法			授業科目番号	1106020
担当者氏名	三浦 三厳			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	1年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		○ 1-1 幅広い教養と多様性を理解する力, 1-2 人間の尊厳・権利を尊重する力, ○ 1-3 他者の自己決定を擁護する力			

《授業の概要》

日本国憲法の制定の過程を学び、また基本原理について理解を深める。具体的には、人権の保障、法の下での平等、信教の自由、表現の自由、生存権などについて理解を深める。特に、人権については、人権尊重、人権擁護をめぐる身近な問題を考える。具体的には、いじめ、外国人差別、障害者への偏見、部落差別、労働に関わる問題、女性労働者と育児、介護に関わる問題などである。さらに、法とは何か、日本国憲法と法律の役割を明確にし、法律に関する基礎的、基本的な知識を身につける。

《授業の到達目標》

- 1. 日本国憲法の成立経緯や構造等の基本的内容を説明できる。
- 2. 自らのもつ権利と義務について考えることができる。

《評価の方法》

定期試験（100％）により評価する。（到達目標1.2）

《テキスト》

『目で見る憲法（第6版）』（初宿正典、大沢秀介他編著 有斐閣 2024年）

《参考図書》

《履修上の留意点》

本講義は日本国憲法の初学者を対象にしている。

《備考》

養護教諭二種教育課程必修科目

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	法律とは何か。	法律について概要・具体例などを説明する。	三浦 三厳
2	法律は誰が作るのか。その根拠は何か(1)	法律の制定について、憲法上の規定はどうなっているか、国会はどのようなものか、民主主義や選挙などについて説明する。	三浦 三厳
3	法律は誰が作るのか。その根拠は何か(2)	同上	三浦 三厳
4	行政(内閣)とは何をするのか。国会との関係(1)	行政は何をするのか、国会との関係はどうなっているのかなどを説明する。	三浦 三厳
5	行政(内閣)とは何をするのか。国会との関係(2)	同上	三浦 三厳

科目名	日本国憲法	授業科目番号	1106020
担当者氏名	三浦 三厳		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	日本国憲法の成立過程・改正	日本国憲法の成立過程・改正規定について説明する。	三浦 三厳
7	人権とは何か。	人権とは何か,その概要や具体例について説明する。	三浦 三厳
8	裁判所(1)	裁判所はどのようなものか,人権との関係・違憲審査などについて,判例をふまえて説明する。	三浦 三厳
9	裁判所(2)	同上	三浦 三厳
10	人権各論(1)	人権につき,平等・表現の自由など個別の人権・規定ごとに,判例をふまえて説明する。	三浦 三厳
11	人権各論(2)	同上	三浦 三厳
12	人権各論(3)	同上	三浦 三厳
13	地方自治・財政・天皇など(1)	地方自治・財政・天皇などに関する規定につき説明する。	三浦 三厳
14	地方自治・財政・天皇など(2)	同上	三浦 三厳
15	復習	これまで学んだことを復習する。憲法の全体像を確認する。	三浦 三厳

《基礎教育科目 基礎教育科目 社会の理解》

科目名	福祉と保障			授業科目番号	1106030
担当者氏名	佐藤 和也			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	選択	開講年次	1年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		○1-2 人間の尊厳・権利を尊重する力, ○1-3 他者の自己決定を擁護する力, 3-3 保健医療福祉制度と看護の役割			

《授業の概要》

社会福祉とは何か、どうあるべきかを理解する。歴史的背景を踏まえた社会福祉の概念や対象・理念を学び、現代の社会福祉の現状と多様性を学ぶ。また、社会福祉と社会保障の概念を明らかにし、現代の社会保障の各種政策・制度を学習する。具体的には、少子高齢化に対する社会保障制度、社会的不平等に対する保証制度などである。また、それを踏まえ、現在のメインストリームである地域ケアにおけるこれからの自立生活支援の考え方を養う。

《授業の到達目標》

1. 私たちの生活がどのような仕組みで支えられているのかを理解する。
2. 卒業直後から授業の成果を活かせるよう、制度の理解だけでなく現代社会の動向と関連付けて理解する。
3. 医療と介護の連携の基礎的な知識を学び、連携の必要性を理解する。

《評価の方法》

- ・ 定期試験 80% (達成目標1.2)
- ・ 小テスト 20% (達成目標1.2.3)

《テキスト》

『系統看護学講座 社会保障・社会福祉』(福田素生 他著 医学書院 2025年)

《参考図書》

都度紹介

《履修上の留意点》

筆記試験は、国家資格試験の問題様式にほぼ準じる。
授業の中で確認の小テストを実施

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	オリエンテーション 社会保障と社会保険 (社会保障制度 社会保険制度 私たちの生活と社会保障制度)	授業の概要と目的説明 社会保障を学ぶ意義 予習：自分が90歳になった時の暮らしを想像する(20分) 復習：社会保障と社会保険の違いを確認する(15分)	佐藤 和也
2	社会保障制度の目的と機能 社会福祉の法制度 (社会保障の機能 社会保障の体系 社会保障制度の3分野 社会福祉の法制度)	(第1章) 社会保障制度と社会福祉 予習：日本の人口の変化を確認する(20分) 復習：社会保障の全体像を確認する(20分)	佐藤 和也
3	現代社会の変化 (人口構成の変化 地域社会の変化 経済状況の変化 社会福祉の動向)	(第1章) 社会保障制度と社会福祉 予習：住んでいる地区の民生委員を確認する(15分) 復習：社会福祉六法を確認する(20分)	佐藤 和也
4	医療保障制度 (医療保険制度の沿革 構造と体系 健康保険と国民健康保険)	(第2章) 現代社会の変化と社会保障・社会福祉の動向 予習：親戚の家族構成を確認する(30分) 復習：日本の2030年問題、2040年問題を確認する(40分)	佐藤 和也
5	医療保障制度 (高齢者医療制度 保険診療 公費負担医療 国民医療費)	(第3章) 医療保障 予習：自分の医療保険被扶養者証を確認する(10分) 復習：医療保障制度の種類と概要を確認する(30分)	佐藤 和也

科目名	福祉と保障	授業科目番号	1106030
担当者氏名	佐藤 和也		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	介護保障制度 (介護保障の歴史 介護保険制度 要支援・要介護認定)	(第3章)医療保障 予習:自分の住む地域の医療機関を確認する(30分) 復習:保険診療の仕組みを確認する(30分)	佐藤 和也
7	介護保障制度 (介護給付と予防給付 施設サービス 地域密着型サービス 居宅サービス)	(第4章)介護保障 予習:(可能なら)65歳以上の身内の人の介護保険証を見せてもらう(10分) 復習:介護保険制度の概要を確認する(40分)	佐藤 和也
8	介護保障制度 (利用者負担 財政 介護保険事業計画 課題と展望)	(第4章)介護保障 予習:住んでいる地域の介護保険施設・事業所を確認する(60分) 復習:介護保険のサービスを確認する(40分)	佐藤 和也
9	年金保険 社会手当 労働保険	(第5章)所得保障 予習:(可能なら)身内の人の「年金」の種類を教えてもらう(10分) 復習:所得補償制度の概要を確認する(60分)	佐藤 和也
10	生活保護 低所得者対策 (日本の所得保障問題 生活保護 生活保護の種類 生活困窮者 自立支援制度)	(第6章)公的扶助 予習:「朝日訴訟」を調べる(40分) 復習:生活保護を取り巻く最近の動向を確認する(30分)	佐藤 和也
11	高齢者福祉 障害者福祉 (高齢者福祉の施策 障害者の実態 障害者福祉の理念 障害者福祉制度)	(第7章)社会福祉の分野とサービス 予習:「ノーマライゼーション」を確認する(30分) 復習:高齢者施策を確認する(40分)	佐藤 和也
12	障害者福祉 児童家庭福祉 (障害者総合支援法 こども基本法 少子化対策)	(第7章)社会福祉の分野とサービス 予習:虐待(高齢・障害・児童)事件を調べる(30分) 復習:障害者へのサービス内容を確認する(60分)	佐藤 和也
13	社会福祉実践 (個別援助技術 集団援助技術 間接援助技術)	(第8章)社会福祉実践と医療・看護 予習:社会福祉援助技術を知る(40分) 復習:自己覚知を深める(30分)	佐藤 和也
14	医療・看護・福祉の連携 (医療ソーシャルワーカー 地域共生社会 重層的支援体制)	(第8章)社会福祉実践と医療・看護 予習:地域包括ケアシステムを理解する(40分) 復習:連携を支える仕組みがイメージできる(30分)	佐藤 和也
15	社会福祉の歴史 (イギリスの社会福祉の歴史 日本の社会福祉の歴史 権利擁護)	(第9章)社会福祉の歴史 予習:テキストを読む(30分) 復習:「生存権」を考察する(60分)	佐藤 和也

科目名	人体の構造と機能			授業科目番号	2208030
担当者氏名	堀江 正男			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	必修	開講年次	1年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度、○2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力、○2-3 エビデンスに基づく看護実践力			

《授業の概要》

「人体の構造と機能」に引き続き、内分泌系、免疫系、生殖系、感覚系、皮膚の構造と機能を学ぶ。ここでは、解剖見学実習を行い、実習後、「人体の構造と機能」で学んだ内容との統合を図る。解剖実習は、新潟市内にある大学の医学部または歯学部にて実施する。この実習を通して、知識の修得統合とともに、人間の尊厳について考える。

《授業の到達目標》

- 1. 観察対象の身体における位置を正確に示すことができ、そしてそれらの構造および機能の説明ができる
- 2. 献体の意味を理解し、常に礼節を持って行動することができる

《評価の方法》

試験 70%：定期試験として、達成度を最終的に評価する。（到達目標1）
解剖見学実習態度 30%：実習への積極的な関わり等を評価する。（到達目標1.2）

《テキスト》

『系統看護学講座 人体の構造と機能[1] 解剖生理学』（坂井建雄、岡田隆夫著 医学書院 2022年）

《参考図書》

- 1. 『解剖学カラーアトラス 第9版』（J.W.Rohen 他著 医学書院 2023年）
- 2. 『イラスト解剖学 第10版』（松村譲児著 中外医学社 2021年）

《履修上の留意点》

解剖見学実習は本物の人体を観察し、器官等に触れることのできる貴重な機会です。実習に対するみなさんの積極的なアプローチを期待しています

《備考》

関連科目：人体の構造と機能、人体の構造と機能

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	身体の支持と運動 (骨格系・筋系)	骨、軟骨、関節、靱帯の構造および機能、骨および関節の部位 (予習) テキストの該当ページ (復習) 学習内容を説明できるように復習する	堀江 正男
2	身体の支持と運動 情報の受容と処理 (運動と各感覚の伝導路)	骨格筋の構造および機能、骨格筋の部位 体幹および体肢の体性感覚と伝導路を構成する諸構造、体性感覚野 (予習) テキストの該当ページ (復習) 学習内容を説明できるように復習する	堀江 正男
3	情報の受容と処理 (脳神経、大脳皮質諸領域)	頭部の体性感覚および特殊感覚の伝導路を構成する諸構造、脳神経の種類と部位、大脳皮質の部位と機能、自律神経の構造と機能 (予習) テキストの該当ページ (復習) 学習内容を説明できるように復習する	堀江 正男
4	消化器系・呼吸器系 (消化器系・呼吸器系の構造と機能)	消化器系および呼吸器系の器官の構造と機能、門脈、胸膜・腹膜について (予習) テキストの該当ページ (復習) 学習内容を説明できるように復習する	堀江 正男
5	循環器系・泌尿器系 (循環器系・泌尿器系の構造と機能)	肺循環および体循環の血管の部位、心臓の構造と機能、泌尿器系の構造と機能 (予習) テキストの該当ページ (復習) 学習内容を説明できるように復習する	堀江 正男

《専門教育科目 専門基礎科目 人体の構造と機能》

科目名	人体の構造と機能	授業科目番号	2208030
担当者氏名	堀江 正男		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	内分泌系・免疫系 (内分泌系・免疫系の構造と機能)	内分泌腺の部位と機能、生体防御機構として働く諸器官(皮膚・骨髄・胸腺・脾臓・リンパ節等)について (予習)テキストの該当ページ (復習)学習内容を説明できるように復習する	堀江 正男
7	解剖体見学実習	本講義で学んだ諸器官の構造と機能、部位について実習を通して学ぶ (予習)これまでの講義内容の確認 (復習)実習内容を説明できるように復習する	堀江 正男
8	解剖体見学実習	本講義で学んだ諸器官の構造と機能、部位について実習を通して学ぶ (予習)これまでの講義内容の確認 (復習)実習内容を説明できるように復習する	堀江 正男
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

科目名	栄養学			授業科目番号	2208040
担当者氏名	渡邊 令子			実務経験のある 教員等による授業科目	
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	1年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度、○2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力、○2-3 エビデンスに基づく看護実践力			

《授業の概要》

栄養素とその働き、食物の摂取と消化吸収を学び、生命現象の意義について生化学的側面からとらえ、生体内のエネルギー獲得の仕組みと生体の恒常性の維持に関連して、糖質・たんぱく質・脂質などの代謝を学ぶ。また、栄養評価や、栄養指導、保健指導などの方法を学ぶ。さらに、ライフステージ別の栄養摂取課題、健康づくりについて学ぶ。看護職として臨床や地域の現場で栄養管理や栄養指導ができるための基礎的知識を得るための科目である。

《授業の到達目標》

1. 生体と食べ物との関係を専門用語を用いて説明できる。
2. エネルギー産生栄養素と微量栄養素の栄養学的機能について説明できる。
3. 健康の保持・増進や疾病・障害の予防に対する栄養の関わりについて説明できる。
4. ライフステージ別ならびに主な疾病に対する栄養管理の基本について理解する。

《評価の方法》

定期試験：80％（到達目標の1, 2, 3, 4）、小テスト：20％ 授業時間内に3回程度実施（到達目標の1, 2, 3）

《テキスト》

『系統看護学講座 専門基礎 人体の構造と機能3 栄養学』（小栗靖生 他著 医学書院 2025年）

《参考図書》

『栄養科学イラストレイテッド 基礎栄養学（第5版）』（田地陽一編 羊土社 2024年）
『健康・栄養科学シリーズ 応用栄養学（改訂第8版）』（瀧本秀美・飯田薫子編 南江堂 2025年）

《履修上の留意点》

- ・配布プリントはファイルに綴じて、授業時に必ず持参する。
- ・「We are what we eat.」、「身体は食べ物からできている」を意識して、栄養学の基礎をふまえたうえで「看護と栄養」に関心をもってください。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	栄養学とは (栄養、栄養素、食べ物、食品、食事)	ガイダンス(予習・復習や小テスト等について) 栄養の概念について理解を深めたうえで、保健医療や看護からみた食事や栄養補給の意義について学習する。 (予習)テキストp2～14を熟読する。(30分) (復習)テキスト第1章を参照して、配布プリントを読み返して要点をまとめる。(60分)	渡邊 令子
2	栄養管理(ケア・マネジメント)とは (栄養アセスメント、栄養診断、栄養ケアプラン、モニタリング)	健康・栄養状態の評価(栄養アセスメント)・判定の方法、それに基づいた栄養ケア計画、実施、モニタリングと評価という栄養管理の基本について学習する。 (予習)テキストp114～122、p132～149を読む。(30分) (復習)テキスト第6・7章の関連頁を参照し、配布プリントを読み返して要点をまとめる。(90分)	渡邊 令子
3	食べ物と摂食行動 (食品群と栄養素、生体リズムと食物の摂食調節)	食品には各種栄養素や水分の他に多種多様な成分が含まれ、調理加工したものを食事として経口摂取している。「なぜ、規則正しい食事が健康増進や肥満および生活習慣病予防に重要なのか」について理解する。 (予習)食品群と栄養素について、テキストp98～110を読む。(30分) (復習)配布プリントで授業を振り返り、特に生体リズムと食物の摂食調節についてまとめる。(90分)	渡邊 令子
4	食べ物(栄養素)の消化・吸収 (消化酵素、管腔内消化と膜消化、栄養素の吸収機構、腸内細菌叢)	管腔内消化と膜消化・吸収の2つのステージからなる消化・吸収過程の概要、さらに栄養素別の消化・吸収過程について学習する。 (予習)テキストp46～58を熟読する。(30分) (復習)配布プリントで授業を振り返り、テキストp46～58も参照して要点をまとめる。(90分)	渡邊 令子
5	エネルギー産生栄養素の体内代謝() 炭水化物(糖質と食物繊維、血糖調節のメカニズム、エネルギー産生)	糖質と食物繊維の栄養生理機能について学習し、特にグルコースからのエネルギー産生機構と血糖調節の重要性を理解する。今回以降の講義では、必要に応じて日本人の食事摂取基準(2020年版)についても学習する。 (予習)テキストp18～21、p40～41、p59～60、p62～66を熟読する。(30分) (復習)配布プリントを中心に授業を振り返り、要点をまとめる。(90分)	渡邊 令子

科目名	栄養学	授業科目番号	2208040
担当者氏名	渡邊 令子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	エネルギー産生栄養素の体内代謝() 脂質(脂肪酸、リポたんぱく質、血漿脂質、エネルギー産生)	水に不溶性の栄養素である脂質と脂肪酸の種類について学習し、脂質の臓器間輸送の役割を担っているリポたんぱく質や、エネルギー源としての脂肪酸の代謝について理解する。 (予習) テキストp21～23、p61～66を熟読する。(30分) (復習) 配布プリントを中心に授業を振り返り、要点をまとめる。(90分)	渡邊 令子
7	エネルギー産生栄養素の体内代謝() たんぱく質・アミノ酸 (不可欠アミノ酸、代謝回転、たんぱく質の半減期、たんぱく質の栄養価)	たんぱく質は生命現象の中心となる役割を担っている栄養素であることを理解し、構成アミノ酸の特徴やたんぱく質・アミノ酸の体内代謝(臓器差、食後と食間の相違)の概要、摂取たんぱく質の栄養価等について学習する。 (予習) テキストp24～27、p65～72を熟読する。(30分) (復習) 配布プリントを中心に授業を振り返り、要点をまとめる。(90分)	渡邊 令子
8	ビタミンの生理機能と代謝(脂溶性ビタミン、水溶性ビタミン、欠乏症、過剰症)	体内代謝や生理機能の調節物質としての微量栄養素に関して、ビタミン(13種類)とミネラル(13種類)の各栄養素の生理機能と欠乏症や過剰症について、学習する。 (予習) テキストp27～32を読み、主な欠乏症の病態等を調べる。(30分) (復習) 配布プリントを中心に授業を振り返り、要点をまとめる。(90分)	渡邊 令子
9	ミネラルの生理機能と代謝(多量ミネラル、微量ミネラル、欠乏症、過剰症)	体内代謝や生理機能の調節物質としての微量栄養素に関して、ミネラル(13種類)の各栄養素の生理機能と欠乏症や過剰症について学習する。また、栄養素としてのミネラルの相互作用や摂取量の適正ゾーンが狭いことも理解する。 (予習) テキストp33～40を読み、主な欠乏症の病態等を調べる。(30分) (復習) 配布プリントを中心に授業を振り返り、要点をまとめる。(90分)	渡邊 令子
10	エネルギー代謝 (エネルギー産生栄養素の生理的燃焼値、基礎代謝、安静時代謝、活動代謝)	エネルギーと水の供給は第一に優先される。エネルギー摂取量とエネルギー消費量の収支が釣り合えば体重変動はみられない。エネルギー代謝の重要性について学習する。 (予習) テキストp74～79、p82～89を熟読する。(30分) (復習) 5～9回目の内容をふまえて授業を振り返り、要点をまとめる。(90分)	渡邊 令子
11	ライフステージと栄養() 妊娠期・授乳期、乳児期 (DoHaD、乳汁栄養、離乳食)	母性栄養は胎児栄養を含むという特殊性、乳児期は乳汁栄養から離乳食移行への必要性があることを理解し、各時期の栄養ケアの重要性について学習する。 (予習) テキストp168～p172、p152～156と配布プリントを読む。(30分) (復習) 配布プリントを中心に授業を振り返り、要点をまとめる。(90分)	渡邊 令子
12	ライフステージと栄養() 幼児期、学童期、思春期 (幼児食、学校給食、第2発育急進期の栄養)	幼児期及び学童期の生理的特徴と栄養ケアのあり方を学習する。また、学童期の後半から始まる第2発育急進期の特徴と栄養学的課題について学習する。 (予習) テキストp157～164と配布プリントを読む。(30分) (復習) 配布プリントを中心に授業を振り返り、要点をまとめる。(90分)	渡邊 令子
13	ライフステージと栄養() 成人期、高齢期 (栄養過多、肥満、生活習慣病、低栄養、摂食嚥下障害)	成人期、高齢期とも非常に年齢幅が広いので、疾病や健康障害における栄養学的課題も栄養ケアのあり方も多種多様であることを理解する。 (予習) テキストp165～168、p173～186と配布プリントを読む。(30分) (復習) 配布プリントを中心に授業を振り返り、要点をまとめる。(90分)	渡邊 令子
14	疾病と栄養() 栄養補給法、病院食 (経腸栄養法、経静脈栄養法、輸液、病院食食種)	傷病者の病態や栄養状態は、当然のことながら一人ひとり異なる。医療現場では、看護師も臨床栄養の基本を理解しておくことが必要である。栄養補給法、病院食など基本について学習する。 (予習) テキストp188～199を熟読する。(30分) (復習) 配布プリントとテキストで授業を振り返り、要点をまとめる。(90分)	渡邊 令子
15	疾病と栄養() 代表的な疾患別食事療法 (糖尿病、脂質異常症、高血圧症、慢性腎臓病など)	肥満、高血圧、脂質異常症、糖尿病など生活習慣病の食事療法の基本、および消化器疾患の栄養療法の基本について学習する。 (予習) テキストp206～222を熟読する。(30分) (復習) 配布プリントとテキストで授業を振り返り、要点をまとめる。(90分)	渡邊 令子

《専門教育科目 専門基礎科目 疾病の成り立ちと回復の促進》

科目名	病理病態学			授業科目番号	2209070
担当者氏名	高塚 尚和			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	必修	開講年次	1年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度、○2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力、○2-3 エビデンスに基づく看護実践力			

《授業の概要》

基本的な病変の原因、成り立ち、経過、転帰など及び疾病の起こるメカニズムについて学ぶ。具体的には、体液異常、血行障害、炎症、変性・壊死・萎縮・老化、腫瘍、過形成、先天異常、代謝などである。また、患者の示す様々な訴えや診察所見（ショックなど）から原因を探る病態症候論も併せて学習する。解剖学、組織学、生化学、生理学、免疫学など他の学問領域と関連させながら学ぶ。

《授業の到達目標》

1. 病態生理学の基礎を理解し、免疫、体液調節、血液、循環、呼吸、消化・吸収、腎・泌尿器、内分泌・代謝、脳・神経・筋肉、感覚器の機能と病態生理の基本を説明できる。
2. 身体所見と各病変・疾患とを関連づけることができる。

《評価の方法》

1. 定期試験70%（到達目標1,2）
2. 授業時間内に実施する小テスト30%（到達目標1）

《テキスト》

『系統看護学講座 病態生理学』（土居健太郎著 医学書院 2023年）

《参考図書》

《履修上の留意点》

指定テキストを必ず持参すること。授業中の私語は厳禁とし、退出を求めることがあります。

小テストについては、次の講義時に解説する。

看護の基礎となる科目です。しっかりと学習して下さい。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	正常と病気の状態、細胞・組織の障害、循環障害、感染症（病理病態学 総論）	病態生理学を学習する際に基礎となる知識をテーマ（キーワード）に基づき学習する。 講義の最後には確認テスト（小テスト）を実施する。 （予習）テキストp2～20を熟読する（30分）。 （復習）授業を振り返りテーマ（キーワード）についてノート等にまとめる（60分）。	高塚 尚和
2	腫瘍、先天異常と遺伝子異常、老化と死（病理病態学 総論）	病態生理学を学習する際に基礎となる知識をテーマ（キーワード）に基づき学習する。 講義の最後には確認テスト（小テスト）を実施する。 （予習）テキストp20～32を熟読し、不明な点を事前に明らかにする（30分）。 （復習）授業を振り返りテーマ（キーワード）についてノート等にまとめる（60分）。	高塚 尚和
3	免疫反応の過剰、体液・電解質の調節と異常、酸・塩基平衡のしくみと異常、赤血球・白血球の機能と障害、血小板と出血傾向（免疫、体液、血液）	免疫のしくみと病態生理、体液調節のしくみと病態生理、血液のはたらきと病態生理を学習する。 講義の最後には確認テスト（小テスト）を実施する。 （予習）テキストp53-59、65-68、73-75、82-84、88-90、92-94は最低熟読し、不明な点を事前に明らかにする（30分） （復習）授業を振り返りテーマ（キーワード）についてノート等にまとめる（60分）	高塚 尚和
4	心臓のポンプ機能と病態生理、血圧調節と末梢環境のしくみと病態生理（循環器）	循環のしくみと病態生理を学習する。 講義の最後には確認テスト（小テスト）を実施する。 （予習）テキストp99-113、117-123は最低熟読し、不明な点を事前に明らかにする（30分）。 （復習）授業を振り返りテーマ（キーワード）についてノート等にまとめる（60分）。	高塚 尚和
5	呼吸器系の防御機構の障害、換気障害、呼吸調節障害（呼吸器）	呼吸のしくみと病態生理を学習する。 講義の最後には確認テスト（小テスト）を実施する。 （予習）テキストp135-137、140-145、147、149-150は最低熟読し、不明な点を事前に明らかにする（30分）。 （復習）授業を振り返りテーマ（キーワード）についてノート等にまとめる（60分）。	高塚 尚和

《専門教育科目 専門基礎科目 疾病の成り立ちと回復の促進》

科目名	病理病態学	授業科目番号	2209070
担当者氏名	高塚 尚和		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	咀嚼・嚥下障害、胃・腸管の障害、消化・吸収障害、肝臓・胆嚢の機能と障害、膵臓の機能と障害、腹膜腔・腹膜・腸間膜の機能と障害(消化器)	消化・吸収のしくみと病態生理を学習する。講義の最後には確認テスト(小テスト)を実施する。 (予習)テキストp157-158、161、163-164、167-171、174-177、179、180-181、183-184は最低熟読し、不明な点を事前に明らかにする(30分)。 (復習)授業を振り返りテーマ(キーワード)についてノート等にまとめる(60分)。	高塚 尚和
7	腎機能の障害、泌尿器のしくみと病態生理、内分泌のしくみと異常、糖代謝と異常(腎臓、内分泌、代謝)	腎・泌尿器のしくみと病態生理、内分泌・代謝のしくみと病態生理を学習する。講義の最後には確認テスト(小テスト)を実施する。 (予習)テキストp192-193、196-197、203-206、213-215、221-225は最低熟読し、不明な点を事前に明らかにする(30分)。 (復習)授業を振り返りテーマ(キーワード)についてノート等にまとめる(60分)。	高塚 尚和
8	脳循環のしくみと障害、髄膜・髄液のはたらきと障害、意識と認知の障害、運動制御・筋収縮・視覚器・聴覚器の機能と異常(神経、感覚器)	脳・神経・筋肉のはたらきと病態生理、感覚器のはたらきと病態生理を学習する。講義の最後には確認テスト(小テスト)を実施する。 (予習)テキストp255-258、266-268、273、277-278、283-284、287-289は最低熟読し、不明な点を事前に明らかにする(30分)。 (復習)授業を振り返りテーマ(キーワード)についてノート等にまとめる(60分)。	高塚 尚和
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

科目名	看護援助論			授業科目番号	2311020
担当者氏名	樋本 まゆみ、大平 富美、大崎 美奈子、田口 めぐみ			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	1年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度、○2-3 エビデンスに基づく看護実践力、○4-1 看護学を探究する意欲			

《授業の概要》

看護独自の援助を行うために、看護理論を活用し、看護を科学的に進める思考過程である看護過程を学ぶ。看護過程は看護を効果的に実践する方法論の一つであり、対象者のニーズを満たす援助を行うための考える力と基本姿勢を養う。1. 看護理論と看護過程の関係を理解する 2. 看護過程の構成要素を理解する 3. 情報収集の枠組みとその実際 4. 全体像の描き方とアセスメント 5. 看護上の問題と援助を実践するための看護計画 6. 事例を用いた看護過程の演習・事例提示・グループワークのオリエンテーション・看護過程の演習をグループワークで行う・各グループで立案した看護計画を発表し質疑応答を行う 位置づけ：本科目は看護学概論を基礎とし、基礎看護技術演習・基礎看護学実習、人体の構造と機能、薬理学に関連し、基礎看護学実習で活用できる問題解決思考を養う。

《授業の到達目標》

1. 看護過程の意義・目的、看護理論との関係を説明できる。 2. 看護過程の基盤となる考え方(問題解決過程・クリティカルシンキング)を説明できる。 3. 看護過程の構成要素を挙げることができる。 4. 情報収集の枠組みを用いた全体像の描き方を記述できる。 5. 情報の整理と分析によってアセスメントすることが判断できる。 6. 看護上の問題の意義・目的を理解できる。 7. 事例に対する看護計画を立案できる。 8. グループで立案した看護計画を発表し共有できる。

《評価の方法》

定期試験50%（到達目標1,2,3,6） 看護過程演習50%（事前学習準備、グループワークの取り組み、看護過程記録物）（到達目標4,5,7,8）

《テキスト》

- 『系統看護学講座 基礎看護学[2] 基礎看護技術』（茂野香おる 他著 医学書院 2023年）
- 『看護課程を使ったヘンダーソン看護論の実践 第5版』（秋葉公子 他著 ヌーベルヒロカワ 2023年）

《参考図書》

『実習記録の書き方がわかる！看護過程展開ガイド 第2版』（任和子編 照林社 2022年）

《履修上の留意点》

各回は看護過程の構成要素順に進めていきます。事例への看護過程展開は記録により確認します。演習の時間内で記録が整理できない場合は自己学習しグループワークが効果的に進むよう準備してください。

《備考》

グループワークに主体的に参加しながら進める。またお互いを尊重してチームで協働する意義を学ぶ機会となることを望む。

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	看護を実践するための思考プロセス 看護過程の意義・目的 看護過程と看護理論の関係（看護実践、看護過程、看護理論）	ガイダンス 看護過程とは何か 看護の定義を復習し看護を実践するための思考を導くプロセスであることを理解する。 看護過程の意義・目的、看護理論との関係について理解する。 <予習> テキストを読む（60分）（復習）何が分かったか自分の頭の中を整理する（60分）	樋本まゆみ 大平富美 大崎美奈子 田口めぐみ
2	問題解決過程思考 クリティカルシンキング（問題解決思考、批判的思考）	看護過程の基盤となる考え方を理解する。 1）問題解決過程とは何か。身近な例を用い日常的に行われていることを理解する。 2）クリティカルシンキングとは何か。 論理的な探求や推論に関する知識が必要であり、因果関係を考える熟慮思考であることを理解する。 <予習> 事前に提示された課題に取り組む（60分） <復習> 何が分かったか自分の頭の中を整理する（60分）	樋本まゆみ 大平富美 大崎美奈子 田口めぐみ
3	看護過程の構成要素（アセスメント、看護上の問題、看護計画、看護の実施、看護の評価）	看護過程の構成要素 1. アセスメント 2. 看護上の問題 3. 看護計画 4. 実施 5. 評価 <予習> 事前に提示された課題に取り組む（60分） <復習> 何が分かったか自分の頭の中を整理する（60分）	樋本まゆみ 大平富美 大崎美奈子 田口めぐみ
4	全体像の描き方 アセスメント（全体像、情報収集と分析、主観的データ・客観的データ）	アセスメントと全体像の描き方 枠組みを用いた情報収集、データ収集の手段 データの種類（主観的データ・客観的データ） データ分析の方法 <予習> 事前に提示された課題に取り組む（60分） <復習> 何が分かったか自分の頭の中を整理する（60分）	樋本まゆみ 大平富美 大崎美奈子 田口めぐみ
5	看護問題の明確化 共同問題（看護上の問題、関連因子、看護の方向性）	看護上の問題とは 看護師が責任をもって対処できる健康上の問題 看護上の問題は対象の健康上の問題、問題を解決するための援助の方向 共同問題とは <予習> 事前に提示された課題に取り組む（60分） <復習> 何が分かったか自分の頭の中を整理する（60分）	樋本まゆみ 大平富美 大崎美奈子 田口めぐみ

《専門教育科目 専門科目 看護の基本》

科目名	看護援助論	授業科目番号	2311020
担当者氏名	樋本 まゆみ、大平 富美、大崎 美奈子、田口 めぐみ		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	看護計画 (期待される成果、看護計画の立案、実施、評価)	計画とは、目標を挙げて解決策(具体的な援助方法)を立案すること 看護問題の優先順位を決定 看護目標(期待される結果)を示す。達成可能であること。 援助内容の決定(OP:観察計画 CP:看護ケア EP:指導計画) <予習> 事前に提示された課題に取り組む(60分) <復習> 何が分かったか自分の頭の中を整理する(60分)	樋本まゆみ 大平富美 大崎美奈子 田口めぐみ
7	実施 (看護援助)	計画を実際の行動に移すこと <予習> 事前に提示された課題に取り組む(60分) <復習> 何が分かったか自分の頭の中を整理する(60分)	樋本まゆみ 大平富美 大崎美奈子 田口めぐみ
8	評価 看護過程の各段階へのフィードバック (援助の評価)	評価とは実施の結果をアセスメントすることで看護目標の達成度をみる こと。 必要時各構成要素の段階にフィードバックを行う。 看護過程を使う意義・目的は、質の高い看護の提供ができ個別性のある ケアの提供が可能となる。 <予習> 事前に提示された課題に取り組む(60分) <復習> 何が分かったか自分の頭の中を整理する(60分)	樋本まゆみ 大平富美 大崎美奈子 田口めぐみ
9	看護過程演習 (看護過程)	看護過程演習のガイダンス 事例展開に必要な基礎知識、グループワーク <予習> 事前に提示された課題に取り組む(60分) <復習> 何が分かったか自分の頭の中を整理する(60分)	樋本まゆみ 大平富美 大崎美奈子 田口めぐみ
10	看護過程演習 (看護過程)	事例を用いた看護過程の実際について学習(情報の整理) グループワーク <予習> 事前に提示された課題に取り組む(60分) <復習> 何が分かったか自分の頭の中を整理する(60分)	樋本まゆみ 大平富美 大崎美奈子 田口めぐみ
11	看護過程演習 (看護過程)	事例を用いた看護過程の実際について学習(アセスメント) グループワーク <予習> 事前に提示された課題に取り組む(60分) <復習> 何が分かったか自分の頭の中を整理する(60分)	樋本まゆみ 大平富美 大崎美奈子 田口めぐみ
12	看護過程演習 (看護過程)	事例を用いた看護過程の実際について学習(アセスメント・全体像) グループワーク <予習> 事前に提示された課題に取り組む(60分) <復習> 何が分かったか自分の頭の中を整理する(60分)	樋本まゆみ 大平富美 大崎美奈子 田口めぐみ
13	看護過程演習 (看護過程)	事例を用いた看護過程の実際について学習 看護問題の明確化 グループワーク <予習> 事前に提示された課題に取り組む(60分) <復習> 何が分かったか自分の頭の中を整理する(60分)	樋本まゆみ 大平富美 大崎美奈子 田口めぐみ
14	看護過程演習 (看護過程)	事例を用いた看護過程の実際について学習(看護計画)(実施)(評価) グループワーク <予習> 事前に提示された課題に取り組む(60分) <復習> 何が分かったか自分の頭の中を整理する(60分)	樋本まゆみ 大平富美 大崎美奈子 田口めぐみ
15	グループ発表(看護過程)	各グループの学習した内容の発表、まとめ <予習> 事前に提示された課題に取り組む(60分) <復習> 事例を用いた看護過程について記録にまとめる(60分)	樋本まゆみ 大平富美 大崎美奈子 田口めぐみ

《専門教育科目 専門科目 看護の基本》

科目名	基礎看護技術演習			授業科目番号	2311040
担当者氏名	田口 めぐみ、大平 富美、大崎 美奈子、樋本 まゆみ			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	演習	単位	2単位	時間	60時間
必・選	必修	開講年次	1年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度、○2-3 エビデンスに基づく看護実践力、○4-1 看護学を探究する意欲			

《授業の概要》

ヘルスアセスメントの意義を理解し、フィジカルアセスメントの基本技術を学ぶ。シミュレーターを活用し臨床判断能力と自ら学ぶ力が育つように進め、さらに看護技術を人間の尊厳と関連して捉えられるように授業を進める。また、感染予防の基本技術の援助技術について看護援助の必要性を理解し知識・技術を学ぶ。

位置づけ：本科目は看護学概論、基礎看護技術演習 終了後に開講される。また、看護援助論、人体の構造と機能と並行して開講され、ヘルスアセスメントを学習する。

《授業の到達目標》

1. 看護技術を身に着けるために必要な態度、学習方法を自ら考えて行動できる 2. ヘルスアセスメントの目的、看護の役割を説明できる。 3. 系統的なフィジカルアセスメントの基本的技術を理解し、正確かつ安全・安楽に実施できる。 4. 感染を予防する基本的な技術を理解し実施できる。

《評価の方法》

定期試験80%（到達目標2,4,5）、提出記録物20%（到達目標1,3,4）、課題については講義の中で提示する。演習についてはA4用紙を2枚程度。

《テキスト》

『系統看護学講座 基礎看護学 [2] 基礎看護技術』（茂野香おる 他著 医学書院 2025年）

『系統看護学講座 基礎看護学 [2] 基礎看護技術』（任和子 他著 医学書院 2025年）

《参考図書》

『写真でわかる看護のためのフィジカルアセスメント アドバンス』（守田美奈子監修 インターメディカ 2020年）

《履修上の留意点》

・予習として授業計画に対応するテキストのページを熟読し理解しておくこと。理解できない箇所は授業中に確認し明確に理解できるようにする。復習としてテキスト、講義資料、参考書を用い学習内容を整理し確実な知識にする。 ・実践可能な技術を修得するために時間外に技術の自主練習を計画的に行う。 ・提出課題は講義の最終回までにコメントと共に返却する。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	ガイダンス ヘルスアセスメントとは （ヘルスアセスメント）	科目ガイダンス ヘルスアセスメント、フィジカルアセスメント総論（講義） フィジカルアセスメントに共通する技術、バイタルサイン測定 ＜予習＞事前に提示された課題に取り組む（60分） ＜復習＞授業で学んだ内容を整理する（60分）	田口めぐみ 大平富美 大崎美奈子 樋本まゆみ 他
2	ヘルスアセスメント （バイタルサイン測定）	ヘルスアセスメント、バイタルサイン測定（講義） ＜予習＞事前に提示された課題に取り組む（60分） ＜復習＞授業で学んだ内容を整理する（60分）	田口めぐみ 大平富美 大崎美奈子 樋本まゆみ 他
3	ヘルスアセスメント （バイタルサイン測定）	バイタルサイン測定（演習） ＜予習＞事前に提示された課題に取り組む(60分) ＜復習＞演習を振り返り、自己の課題を明確にする(60分)	田口めぐみ 大平富美 大崎美奈子 樋本まゆみ 他
4	ヘルスアセスメント （バイタルサイン測定）	バイタルサイン測定（演習） ＜予習＞事前に提示された課題に取り組む(60分) ＜復習＞演習を振り返り、自己の課題を明確にする(60分)	田口めぐみ 大平富美 大崎美奈子 樋本まゆみ 他
5	フィジカルアセスメント （循環器系・呼吸器系）	循環器系・呼吸器系のフィジカルアセスメント（講義） ＜予習＞事前に提示された課題に取り組む（60分） ＜復習＞ 授業で学んだ内容を整理する（60分）	田口めぐみ 大平富美 大崎美奈子 樋本まゆみ 他

《専門教育科目 専門科目 看護の基本》

科目名	基礎看護技術演習	授業科目番号	2311040
担当者氏名	田口 めぐみ、大平 富美、大崎 美奈子、樋本 まゆみ		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	フィジカルアセスメント (循環器系・呼吸器系)	循環器系・呼吸器系のフィジカルアセスメント(講義/演習) <予習> 事前に提示された課題に取り組む(60分) <復習> 演習を振り返り自己の課題を明確にする(60分)	田口めぐみ 大平富美 大崎美奈子 樋本まゆみ 他
7	フィジカルアセスメント (循環器系・呼吸器系・消化器系)	循環器系・呼吸器系のフィジカルアセスメント(演習) 消化器系のフィジカルアセスメント(講義) <予習> 事前に提示された課題に取り組む(60分) <復習> 演習を振り返り自己の課題を明確にする(60分)	田口めぐみ 大平富美 大崎美奈子 樋本まゆみ 他
8	フィジカルアセスメント (消化器系・筋・骨格系)	消化器系のフィジカルアセスメント(演習) 筋・骨格系のフィジカルアセスメント(講義) <予習> 事前に提示された課題に取り組む(60分) <復習> 演習を振り返り自己の課題を明確にする(61分)	田口めぐみ 大平富美 大崎美奈子 樋本まゆみ 他
9	フィジカルアセスメント (筋・骨格系・神経系)	筋・骨格系のフィジカルアセスメント(演習) 神経系のフィジカルアセスメント(講義) <予習> 事前に提示された課題に取り組む(60分) <復習> 演習を振り返り自己の課題を明確にする(61分)	田口めぐみ 大平富美 大崎美奈子 樋本まゆみ 他
10	フィジカルアセスメント (神経系) ヘルスアセスメント (バイタルサイン測定)	神経系のフィジカルアセスメント(演習) 技術確認(演習) (アクティブラーニング) <予習> 事前に提示された課題に取り組む(60分) <復習> 演習を振り返り自己の課題を明確にする(61分)	田口めぐみ 大平富美 大崎美奈子 樋本まゆみ 他
11	ヘルスアセスメント (バイタルサイン測定)	技術確認 技術修得の確認を行う。(アクティブラーニング) 感染を予防する技術 (講義) <予習> 事前に提示された課題に取り組む(60分) <復習> 演習を振り返り自己の課題を明確にする(60分)	田口めぐみ 大平富美 大崎美奈子 樋本まゆみ 他
12	ヘルスアセスメント (バイタルサイン測定)	技術確認 技術修得の確認を行う。(アクティブラーニング) 感染を予防する技術 (講義) <予習> 事前に提示された課題に取り組む(60分) <復習> 演習を振り返り自己の課題を明確にする(60分)	田口めぐみ 大平富美 大崎美奈子 樋本まゆみ 他
13	感染を予防する技術 (感染経路別予防策、洗浄・消毒・滅菌、感染性廃棄物の取り扱い)	感染を予防する技術(講義・演習) 滅菌手袋装着、ガウン着脱、滅菌物の取り扱い <予習> 事前に提示された課題に取り組む(60分) <復習> 演習を振り返り自己の課題を明確にする(60分)	田口めぐみ 大平富美 大崎美奈子 樋本まゆみ 他
14	シミュレーション演習 (呼吸・循環器のアセスメント)	シミュレーション演習 (アクティブラーニング) <予習> 事前に提示された課題に取り組む(60分) <復習> 演習を振り返り学んだ内容を整理する(60分)	田口めぐみ 大平富美 大崎美奈子 樋本まゆみ 他
15	シミュレーション演習 (呼吸・循環器のアセスメント)	シミュレーション演習 (アクティブラーニング) <予習> 事前に提示された課題に取り組む(60分) <復習> 演習を振り返り学んだ内容を整理する(60分)	田口めぐみ 大平富美 大崎美奈子 樋本まゆみ 他

科目名	公衆衛生看護学概論			授業科目番号	2313060
担当者氏名	平澤 則子、菅原 京子、渡邊 路子			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	1年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		○3-2 多職種と連携・協働する力、 3-3 保健医療福祉制度と看護の役割、○5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力			

《授業の概要》

本人・家族や集団、組織を含む地域を基盤とした看護活動の考え方、公的ヘルスケアサービスの中で機能する看護のあり方を学ぶ。また、予防的介入を基盤とした公衆衛生看護活動を具体的に学び、人々の健康に貢献するために看護がどのように機能することが求められているかを考える。

位置づけ：看護を幅広くとらえる科目であり、地域に住む対象者の健康問題とその影響要因を特定し、個人・家族・集団・地域レベルでの疾病予防、健康状態の改善、多職種との連携を目指して行われる看護を学ぶ基盤となる科目である。

《授業の到達目標》

1. 公衆衛生看護の理念と基盤となる概念を説明できる。
2. 公衆衛生看護の対象・場と健康課題について説明できる。
3. 公衆衛生看護活動について地域診断のプロセスについて説明できる。
4. 公衆衛生看護がヘルスサービスの中でどのように機能するのかを考察できる。

《評価の方法》

定期試験90%（期末試験として、目標到達1～4を最終的に評価する）、学習態度10%（毎回のコメントシート、グループワークの参加状況、まとめのコメントシートをもとに評価する）

《テキスト》

『公衆衛生看護学 第4版』（和泉京子、上野昌江 編 中央法規出版 2025年）

《参考図書》

『最新 公衆衛生看護学 第3版 2024年版 総論』（宮崎美砂子他著 日本看護協会出版会 2024年）

その他適宜、参考文献を紹介する。

《履修上の留意点》

自分の日常生活を通して、地域にどんな人々が暮らしているのか、どんな健康問題があるのか、それらの健康問題がどのように解決されているのかについて関心を持ちながら主体的に参加されることを期待する。グループワークはグループで話し合った内容を発表し意見交換を行う。シンポジウムは講演を聴講したのちにグループワークおよび全体討議を行う。

《備考》

保健師教育課程必修科目

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	地域看護と公衆衛生看護の定義（健康の定義、地域看護、公衆衛生看護の定義、活動目標）	ガイダンス / 地域看護と公衆衛生看護の定義を学ぶ。事例を通して保健師活動の特徴を考える（グループワーク）。 （予習）地域包括ケア論で学習した内容を復習しておく。（20分） （復習）テキストp2～5、9～11を読み直しポイントをまとめる。（20分） （課題）戦後の保健師活動について沖縄県を題材に調べる。（20分）	平澤 則子
2	公衆衛生看護活動と法制度（公衆衛生看護の概念、健康の概念の変遷、公衆衛生看護に関連する法規）	公衆衛生看護活動と法制度を学ぶ。事例を通して保健師活動の特徴を考える（グループワーク）。 （予習）テキスト5～8、1回目に配布した事例を読む。（30分） （復習）授業の内容を整理し、配布資料を読み返しポイントをまとめる。（30分）	平澤 則子
3	公衆衛生看護活動との歴史的背景 保健婦規則制定以前の地域における看護活動 保健婦規則制定以後の保健婦活動	公衆衛生看護の歴史と保健福祉制度における保健師の位置づけを学ぶ。 についてグループで公衆衛生看護の歴史を整理し発表の準備をする。（グループワーク） （予習）保健医療福祉行政論等のテキストで、日本の保健医療福祉施策の変遷について調べる。（30分）（復習）保健師活動と社会の要請や住民の生活実態の変化と結びつけを整理する。（30分）	平澤 則子
4	疾病構造の変化と予防活動への取組（感染症 公害 母子保健 成保険 精神保健 高齢者保健） 健康格差縮小に向けた取組	についてグループ発表および全体討議を通して、公衆衛生の歴史と保健師活動の変遷を学ぶ。 グループワーク （予習）保健医療福祉行政論等のテキストで、日本の保健医療福祉施策の変遷について調べる。（30分） （復習）授業の内容を整理し、配布資料を読み返しポイントをまとめる。（30分）	平澤 則子
5	公衆衛生看護と予防（疾病予防 移行 継続性 地域づくり） 関係機関連携）	公衆衛生看護学における予防の考え方を学ぶ。事例を通して疾病予防、健康な地域づくりにおける保健師活動を考える。 （予習）テキストp11～27をよく読む。（30分） （復習）授業の内容を整理し、配布資料を読み返しポイントをまとめる。（30分）	平澤 則子

《専門教育科目 専門科目 地域社会と看護》

科目名	公衆衛生看護学概論	授業科目番号	2313060
担当者氏名	平澤 則子、菅原 京子、渡邊 路子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	公衆衛生看護の基盤となる概念(社会的公正 アドボカシー プライマリヘルスケア ヘルスプロモーション)	これまでの学習を振り返り公衆衛生看護の基盤となる概念を学ぶ。 (予習)テキスト57～71をよく読む。(30分) (復習)事例を通して、社会的に弱い立場にある人への公衆衛生看護とは何かを考える。(30分)	平澤 則子
7	公衆衛生看護のアプローチ方法 (ポピュレーションアプローチ、ハイリスクアプローチ、健康の社会的決定要因)	公衆衛生看護におけるアプローチ方法を学ぶ。 (予習)テキストp71～p84を読んでくる。(30分) (復習)授業の内容を整理し、配布資料を読み返しポイントをまとめる。(30分)	渡邊 路子
8	公衆衛生看護における健康レベルと対象とする人々(感染症、メンタルヘルス他) ライフステージ別の健康、健康危機(産後うつ、虐待、孤立他)	公衆衛生看護の対象となるライフステージ、健康レベル、地域特性に応じた公衆衛生看護活動について学ぶ。 (予習)テキストp84～96を読んでくる。(30分) (復習)授業の内容を整理し、配布資料を読み返しポイントをまとめる。(30分)	渡邊 路子
9	公衆衛生看護の展開方法(個人・家族・集団・組織・地域、地域診断)	個人・家族への支援、集団への支援、地域への支援の違いを学ぶ。看護活動の評価方法を学ぶ。 (予習)テキストp99～117を読んでくる。(30分) (復習)授業の内容を整理し、配布資料を読み返しポイントをまとめる。(30分)	菅原 京子
10	公衆衛生看護活動の場 (保健所、保健センター、事業所、学校)	保健医療福祉行政の場である保健所、保健センター、産業保健の場、学校保健の場における公衆衛生看護活動を理解する。 (予習)テキストp119～143まで読んでくる。(30分) (復習)居住地域の管轄保健所、保健センターの活動について調べる。(30分)	菅原 京子
11	公衆衛生看護活動の場 (訪問看護ステーション、地域包括支援センター、国際保健活動、外国人に対する保健活動)	訪問看護ステーション、地域包括支援センター等地域で活動する看護職の活動を理解する。さらに、グローバルな視野での活動を理解する。 (予習)テキストp119～143及びp550～569を読んでくる。(30分) (復習)10～11回の授業の内容を整理し、活動の場の特徴と公衆衛生看護の原理について考える。(30分)	菅原 京子
12	公衆衛生看護活動の展開方法 (理論、家庭訪問、健康相談、健康教育)	公衆衛生看護活動の展開方法について理解する。(DVD視聴とグループワーク) (予習)テキストp146～238まで読んでくる。(40分) (復習)居住地域の保健師活動を調べ、ポイントをまとめる。(20分)	菅原 京子
13	公衆衛生看護の倫理 (看護者の倫理綱領 公衆衛生看護の倫理 法と制度 4ステップモデル)	公衆衛生看護活動の基盤となる倫理と倫理的実践における原則を理解する。 (予習)テキストp18～22を読み、公衆衛生看護における倫理について考える。(30分) (復習)授業の内容を整理し、配布資料を読み返しポイントをまとめる。(30分)	平澤 則子
14	シンポジウム 公衆衛生看護活動の実際	・医療的ケア維持とその家族を支える公衆衛生看護について学ぶ。 ・保健所保健師の活動、市町村保健師の活動の特徴を理解する。(グループワーク・討議) (予習)医療的ケア児の生活について文献やインターネットで調べる。(30分) (復習)授業の内容を整理し、配布資料を読み返しポイントをまとめる。(30分)	平澤 則子 菅原 京子 渡邊 路子
15	まとめ	“社会の変化に対応する健康課題と保健師活動”をテーマに、保健師に期待されることを考える。 (予習)これまでの授業内容を整理しこれからの保健師活動を考える。(30分) (復習)配布資料を読み返しポイントをまとめる。(30分)	平澤 則子 菅原 京子 渡邊 路子

科目名	歴史と文化			授業科目番号	1105050
担当者氏名	浅井 勝利、田邊 幹			実務経験のある 教員等による授業科目	
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	選択	開講年次	2年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		1-1 幅広い教養と多様性を理解する力、○5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力			

《授業の概要》

日本人の伝統文化や生活様式に関する知識を知ることから日本の伝統的な地域文化に関する知識を深める。さらに、長岡の歴史から地域文化を考える。長岡地域を対象として、その歴史的な成り立ちを学び地域文化の理解を深め、さらに他の地域と比較することによって視野を広げる。また、地域社会を歴史的に理解するうえで、文化財の果たす役割にも着目する。近隣に位置する新潟県立歴史博物館において、新潟県の歴史と成果を実際に学ぶ。

《授業の到達目標》

1. 新潟（長岡）の歴史について説明できる
2. 新潟（長岡）の歴史をもとに新潟（長岡）の文化を考察できる
3. 様々な地域の文化を理解できる

《評価の方法》

期末レポート100%（課題については講義の中で提示するので、必ず提出すること。与えられた課題について、各自の視点から適切にまとめられていることが必要である。提出のない者には単位を与えない。A4用紙800字程度。）（到達目標1.2.3）

《テキスト》

授業ごとに適宜資料を配布する。

《参考図書》

授業中に適宜紹介する。

《履修上の留意点》

日常的に目にする歴史的、文化的事象に注意を配り、不明なことがあれば積極的に調べる姿勢を身に付けること。見学には必ず参加すること。

期末のレポートは必ず提出すること。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	郷土史概説 （史料の解説と分析）	先史時代の新潟の様子を知る （予習）中学・高校で日本史を履修した者は、教科書・副読本等を再読し、未履修の者は概説書（新潟県編『新潟県のあゆみ』1990年、『新潟県の歴史』山川出版、1998年、等）に目を通しておくこと。 （復習）配布資料を再読し、ノート整理を行う。	浅井 勝利
2	郷土史概説 （史料の解説と分析）	県内の古墳について調べる （予習）中学・高校で日本史を履修した者は、教科書・副読本等を再読し、未履修の者は概説書（新潟県編『新潟県のあゆみ』1990年、『新潟県の歴史』山川出版、1998年、等）に目を通しておくこと。 （復習）配布資料を再読し、ノート整理を行う。	浅井 勝利
3	郷土史概説 （史料の解説と分析）	奈良平安時代の新潟について知る （予習）中学・高校で日本史を履修した者は、教科書・副読本等を再読し、未履修の者は概説書（新潟県編『新潟県のあゆみ』1990年、『新潟県の歴史』山川出版、1998年、等）に目を通しておくこと。 （復習）配布資料を再読し、ノート整理を行う。	浅井 勝利
4	郷土史概説 （史料の解説と分析）	古地図から過去の様子を探る （予習）中学・高校で日本史を履修した者は、教科書・副読本等を再読し、未履修の者は概説書（新潟県編『新潟県のあゆみ』1990年、『新潟県の歴史』山川出版、1998年、等）に目を通しておくこと。 （復習）配布資料を再読し、ノート整理を行う。	浅井 勝利
5	郷土史概説 （史料の解説と分析）	郷土の温泉文化について知る （予習）インターネット等を利用し県内の温泉地について調べる。 （復習）配布資料を再読し、ノート整理を行う。	浅井 勝利

科目名	歴史と文化	授業科目番号	1105050
担当者氏名	浅井 勝利、田邊 幹		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	郷土史概説 (史料の解説と分析)	昔の人びとの災厄意識や現代に伝わる呪い(まじない)等による除災について知る (予習) 身近にある呪いの行事や道具について調べる。 (復習) 配布資料を再読し、ノート整理を行う。	浅井 勝利
7	郷土史概説 (史料の解説と分析)	幕藩制社会のしくみについて考える (予習) 中学・高校で日本史を履修した者は、教科書・副読本等を再読し、未履修の者は概説書(新潟県編『新潟県のあゆみ』1990年、『新潟県の歴史』山川出版、1998年、等)に目を通しておくこと。 (復習) 配布資料を再読し、ノート整理を行う。	田邊 幹
8	郷土史概説 (史料の解説と分析)	戊辰戦争の歴史的立場について世界史的な視点から考える (予習) 中学・高校で日本史を履修した者は、教科書・副読本等を再読し、未履修の者は概説書(新潟県編『新潟県のあゆみ』1990年、『新潟県の歴史』山川出版、1998年、等)に目を通しておくこと。 (復習) 配布資料を再読し、ノート整理を行う。	田邊 幹
9	郷土史概説 (史料の解説と分析)	幕末から明治期における感染症とその対策について考える (予習) 中学・高校で日本史を履修した者は、教科書・副読本等を再読し、未履修の者は概説書(新潟県編『新潟県のあゆみ』1990年、『新潟県の歴史』山川出版、1998年、等)に目を通しておくこと。 (復習) 配布資料を再読し、ノート整理を行う。	田邊 幹
10	郷土史概説 (史料の解説と分析)	大正時代の社会と文化について知る (予習) 中学・高校で日本史を履修した者は、教科書・副読本等を再読し、未履修の者は概説書(新潟県編『新潟県のあゆみ』1990年、『新潟県の歴史』山川出版、1998年、等)に目を通しておくこと。 (復習) 配布資料を再読し、ノート整理を行う。	田邊 幹
11	郷土史概説 (史料の解説と分析)	太平洋戦争と庶民との関わりについて考える (予習) 中学・高校で日本史を履修した者は、教科書・副読本等を再読し、未履修の者は概説書(新潟県編『新潟県のあゆみ』1990年、『新潟県の歴史』山川出版、1998年、等)に目を通しておくこと。 (復習) 配布資料を再読し、ノート整理を行う。	田邊 幹
12	郷土史概説 (史料の解説と分析)	昭和36年・38年豪雪から自然災害について歴史的視点から考える (予習) 中学・高校で日本史を履修した者は、教科書・副読本等を再読し、未履修の者は概説書(新潟県編『新潟県のあゆみ』1990年、『新潟県の歴史』山川出版、1998年、等)に目を通しておくこと。 (復習) 配布資料を再読し、ノート整理を行う。	田邊 幹
13	新潟県立歴史博物館見学 (文化財から学ぶ)	郷土の博物館を見学し、先人のあゆみを知る(14回と連続) (予習) 博物館のホームページで概要を確認する。 (復習) 見学レポートを作成する。	浅井 勝利
14	新潟県立歴史博物館見学 (文化財から学ぶ)	郷土の博物館を見学し、先人のあゆみを知る(13回と連続) (予習) 博物館のホームページで概要を確認する。 (復習) 見学レポートを作成する。	浅井 勝利
15	まとめ (史料の解説と分析)	あらためて新潟の歴史的立場づけを考える (予習) これまでの授業内容を振り返る。 (復習) 配布資料を再読し、ノート整理を行う。	浅井 勝利

科目名	感染免疫学			授業科目番号	2209010
担当者氏名	福田 雅夫			実務経験のある 教員等による授業科目	
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	2年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度、○2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力、○2-3 エビデンスに基づく看護実践力			

《授業の概要》

微生物が引き起こす感染症発症のメカニズム、症状、伝播、生体防御機構について理解する。また、人間の防御機能の障害が起こす現象や、感染症と人間社会の関係、感染予防対策などを理解する。各論においては、細菌、真菌、原虫・寄生虫学、ウイルス等の形態、病原性、疫学、臨床症状、治療及び予防対策について学ぶ。

《授業の到達目標》

1. 微生物の種類と性質について説明できる。 2. 感染機構と感染に対する生体の防御機構について説明できる。 3. 感染を防ぐ滅菌と消毒について説明できる。 4. 感染症の検査、診断、治療について説明できる。 5. 感染症の現状と対策について説明できる。 6. 主な病原微生物とその感染症について説明できる。

《評価の方法》

学習態度10%（到達目標 1, 2, 3, 4, 5, 6） 授業態度をもとに評価する。

定期試験90%（到達目標 1, 2, 3, 4, 5, 6）

《テキスト》

『系統看護学講座 微生物学』（南嶋洋一 他著 医学書院 2022年）

《参考図書》

『感染制御の基本がわかる 微生物学・免疫学』（増澤俊幸著 羊土社 2020年）

《履修上の留意点》

国家試験の出題傾向 を考慮して講義の要点を設定しており、定期試験の出題にも反映している。特に最終回の講義では講義全体の要点をふりかえり、要点をまとめた資料を配付するので活用していただきたい。

看護roo!>看護師国家試験特集>過去問題集 (<https://www.kango-roo.com/kokushi/kako/>)

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	微生物と微生物学 (微生物、真核生物、原核生物、バスターール、コッホ、抗生物質)	テキスト第1章において、微生物の種類と生物における位置、微生物学の歴史を学ぶ。 (予習)テキスト第1章を読み、内容の概観と学習項目を把握する。(45分) (復習)テキストおよび授業の資料を読み返して要点を整理して確認する。(60分)	福田 雅夫
2	細菌の性質 (グラム染色、ペプチドグリカン、常在細菌叢)	テキスト第2章において、細菌の構造と増殖、遺伝、分類、常在細菌叢について学ぶ。 (予習)テキスト第2章を読み、内容の概観と学習項目を把握する。(45分) (復習)テキストおよび授業の資料を読み返して要点を整理して確認する。(60分)	福田 雅夫
3	ウイルスの性質と真菌の性質 (ヌクレオカプシド、エンベロープ、暗黒期、プリオン、菌糸、孢子)	テキスト第3章と第4章において、ウイルスと真菌の構造と増殖の様式、分類について学ぶ。 (予習)テキスト第3章と第4章を読み、内容の概観と学習項目を把握する。(45分) (復習)テキストおよび授業の資料を読み返して要点を整理して確認する。(60分)	福田 雅夫
4	感染と感染症 (発症、経口感染、食中毒、経気道感染、毒素、)	テキスト第5章において、感染の過程と感染経路、細菌とウイルスおよび真菌の感染機構について学ぶ。 (予習)テキスト第5章を読み、内容の概観と学習項目を把握する。(45分) (復習)テキストおよび授業の資料を読み返して要点を整理して確認する。(60分)	福田 雅夫
5	感染に対する生体防御機構 (1) (白血球、リンパ球、サイトカイン、補体、食細胞)	テキスト第6章前半において、免疫にかかわる細胞と細胞間情報伝達、自然免疫のしくみについて学ぶ。 (予習)テキスト第6章前半を読み、内容の概観と学習項目を把握する。(45分) (復習)テキストおよび授業の資料を読み返して要点を整理して確認する。(60分)	福田 雅夫

科目名	感染免疫学	授業科目番号	2209010
担当者氏名	福田 雅夫		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	感染に対する生体防御機構 (2) (抗原提示、抗体、細胞性免疫、ワクチン、発熱)	テキスト第6章後半において、獲得免疫と粘膜免疫のしくみ、感染の徴候と症状について学ぶ。 (予習) テキスト第6章後半を読み、内容の概観と学習項目を把握する。(45分) (復習) テキストおよび授業の資料を読み返して要点を整理して確認する。(60分)	福田 雅夫
7	滅菌と消毒 (バイハザード、オートクレーブ、グルタルアルデヒド、エチルアルコール)	テキスト第7章において、滅菌・消毒の方法と消毒薬の種類と特徴について学ぶ。 (予習) テキスト第7章を読み、内容の概観と学習項目を把握する。(45分) (復習) テキストおよび授業の資料を読み返して要点を整理して確認する。(60分)	福田 雅夫
8	感染症の検査と診断 (分離培養、蛍光抗体法、イムノクロマト法、PCR法、ELISA法)	テキスト第8章において、病原体の形態学的検査法、抗原検査法、核酸検査法、抗体検査法について学ぶ。 (予習) テキスト第8章を読み、内容の概観と学習項目を把握する。(45分) (復習) テキストおよび授業の資料を読み返して要点を整理して確認する。(60分)	福田 雅夫
9	感染症の治療 (選択毒性、薬剤耐性、副作用、β-ラクタム)	テキスト第9章において、化学療法薬の基礎と抗菌薬、抗ウイルス薬、抗真菌薬について学ぶ。 (予習) テキスト第9章を読み、内容の概観と学習項目を把握する。(45分) (復習) テキストおよび授業の資料を読み返して要点を整理して確認する。(60分)	福田 雅夫
10	感染症の現状と対策 (新興感染症、院内感染、感染症法、標準予防策、ワクチン)	テキスト第10章において、感染症の変遷、感染症の現状と問題点、感染症への対策について学ぶ。 (予習) テキスト第10章を読み、内容の概観と学習項目を把握する。(45分) (復習) テキストおよび授業の資料を読み返して要点を整理して確認する。(60分)	福田 雅夫
11	病原細菌と細菌感染症(1) (MRSA、レンサ球菌、レジオネラ、大腸菌、ピロリ菌)	テキスト第11章前半において、球菌、グラム陰性好気性・通性桿菌、カンピロバクター、ヘリコバクターについて学ぶ。 (予習) テキスト第11章前半を読み、内容の概観と学習項目を把握する。(45分) (復習) テキストおよび授業の資料を読み返して要点を整理して確認する。(60分)	福田 雅夫
12	病原細菌と細菌感染症(2) (結核菌、ボツリヌス菌、つづが虫病、トラコーマ)	テキスト第11章後半において、抗酸菌と放線菌、嫌気性菌、スピロヘータ、マイコプラズマ、リケッチア、クラミジアについて学ぶ。 (予習) テキスト第11章後半を読み、内容の概観と学習項目を把握する。(45分) (復習) テキストおよび授業の資料を読み返して要点を整理して確認する。(60分)	福田 雅夫
13	病原ウイルスとウイルス感染症 (ヘルペス、インフルエンザ、風疹、コロナウイルス、ノロウイルス)	テキスト第12章において、DNAウイルス、RNAウイルス、肝炎ウイルス、プリオンについて学ぶ。 (予習) テキスト第12章を読み、内容の概観と学習項目を把握する。(45分) (復習) テキストおよび授業の資料を読み返して要点を整理して確認する。(60分)	福田 雅夫
14	病原真菌と真菌感染症 (カンジダ、アフラトキシン、ニューモシスチス)	テキスト第13章において、深在性真菌症、深部皮膚真菌症、表在性真菌症と原因真菌について学ぶ。 (予習) テキスト第13章を読み、内容の概観と学習項目を把握する。(45分) (復習) テキストおよび授業の資料を読み返して要点を整理して確認する。(60分)	福田 雅夫
15	寄生虫と衛生動物、 講義全体の要点 (アメーバ赤痢、トリコモナス、マラリア、アニサキス)	テキスト付章において、寄生虫学、原虫、蠕虫、衛生動物について学んだ後、講義全体の要点をふりかえる。 (予習) テキスト付章を読み、内容の概観と学習項目を把握する。(45分) (復習) テキストおよび授業の資料を読み返して要点を整理して確認する。(90分)	福田 雅夫

科目名	薬理学			授業科目番号	2209080
担当者氏名	佐合 絵里			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	必修	開講年次	2年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度、○2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力、○2-3 エビデンスに基づく看護実践力			

《授業の概要》

薬理に関する基礎的な知識を習得するとともに、基本的な薬物について臨床での活用と関連させて学ぶ。総論として、薬物療法の目的、薬理作用、薬物動態、中毒などを学び、各論として医薬品を系統別に分け、疾病の病態と合わせて治療薬の作用機序、使用方法、副作用相互作用、看護上の留意点について学ぶ。

《授業の到達目標》

- 1. 主な疾患に用いられる代表的な薬剤について説明することができる。
- 2. 薬剤の体内動態を理解し、有害事象と適正使用について述べることができる。

《評価の方法》

定期試験90%（到達目標1.2） 学習態度10%（到達目標1.2）

《テキスト》

『薬の基本とはたらきがわかる 薬理学』（柳田俊彦編 羊土社 2023年）
『今日の治療薬 2025 解説と便覧』（伊豆津宏二 他編 南江堂 2025年）

《参考図書》

《履修上の留意点》

解剖生理学・生化学が基礎となります。これらの授業、教科書等を参考にしてください。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	薬理学総論 薬害被害 （薬力学・薬物動態 薬物相互作用 有害反応 法律 薬害 チーム医療）	薬が効くしくみ テキスト第1～3章 薬の基礎知識・薬物治療の注意点・くすりと法律 予習 上記テキスト範囲を読む（20分） 復習 授業で提示する確認テストに解答する（10分）	佐合 絵里
2	循環器系疾患治療薬 （血圧 心臓）	循環器の疾患・治療薬の種類 テキスト第10章 高血圧治療薬・狭心症治療薬・心不全治療薬・利尿薬 予習 上記テキスト範囲を読む（20分） 復習 授業で提示する確認テストに解答する（10分）	佐合 絵里
3	循環器系疾患治療薬 内分泌疾患・代謝系疾患治療薬 消化器系疾患治療薬 （脳血管障害 糖尿病 消化性潰瘍）	機能と疾患・治療薬の種類 テキスト第10章 脳血管障害治療薬 テキスト第11章 内分泌疾患・代謝系疾患治療薬 テキスト第12章 消化器系・呼吸器系・泌尿生殖器系疾患治療薬 予習 上記テキスト範囲を読む（20分） 復習 授業で提示する確認テストに解答する（10分）	佐合 絵里
4	輸液 免疫治療薬 末梢神経系に作用する薬 （水分組成 免疫システム 末梢神経）	機能と疾患・治療薬の種類 テキスト第15章 輸液 テキスト第6章 免疫治療薬 テキスト第8章 末梢神経系に作用する薬 予習 上記テキスト範囲を読む（20分） 復習 授業で提示する確認テストに解答する（10分）	佐合 絵里
5	抗炎症薬・鎮痛薬 （アレルギー反応 ステロイド）	疾患・治療薬の種類 テキスト第7章 抗炎症薬・鎮痛薬 予習 上記テキスト範囲を読む（20分） 復習 授業で提示する確認テストに解答する（10分）	佐合 絵里

科目名	薬理学	授業科目番号	2209080
担当者氏名	佐合 絵里		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	感染症治療薬 抗がん剤 (感染 適正使用 がん治療)	疾患・治療薬の種類 テキスト第4章 感染症治療薬 テキスト第5章 抗がん剤 予習 上記テキスト範囲を読む(20分) 復習 授業で提示する確認テストに解答する(10分)	佐合 絵里
7	中枢神経系に作用する薬 (中枢神経系 抗精神病薬 気分安定薬)	疾患・治療薬の種類 テキスト第9章 中枢神経系に作用する薬 予習 上記テキスト範囲を読む(20分) 復習 授業で提示する確認テストに解答する(10分)	佐合 絵里
8	まとめ (患者と薬の関わり・高齢者と薬)	資料プリントを使用 多職種チームによる服薬指導の重要性・高齢者とポリファーマシーの関係 復習 授業で提示する確認テストに解答する(10分)	佐合 絵里
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

《専門教育科目 専門基礎科目 疾病の成り立ちと回復の促進》

科目名	疾病治療論（循環器）			授業科目番号	2209020
担当者氏名	伊藤 正洋			実務経験のある教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	必修	開講年次	2年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力		2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度、○2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力、○2-3 エビデンスに基づく看護実践力			

《授業の概要》

人間の健康を傷害する主な疾患を系統的に取り上げ、病因・病態・診断法・治療法、予後について学習し、看護実践に結び付けるための基礎知識とする。

ここでは、循環器疾患の成り立ちと症状、検査、診断、治療について学び、看護実践に結びつけるための基礎知識とする。具体的には、心不全・虚血性疾患、高血圧、不整脈、弁膜症、心筋・心膜疾患、先天性疾患、挫滅症候群などである。治療方法として、薬物療法および手術療法を含む治療例について学ぶ。

《授業の到達目標》

循環器疾患に関する病態、検査、診断、治療法を正しく理解し、述べることができる。

循環器疾患に関する正しい情報を、医療関係者ではない人が理解できるように説明することができる。

将来医療関係者となる時のために、疾患に関する疑問点を自ら調べる方法、考える習慣を身につけ、実践することができる。

《評価の方法》

定期試験90%、学習態度10%で評価する。

《テキスト》

スライド等を使用する。

《参考図書》

『病気がみえる vol.2 循環器』（鶴田ひかる 他監修 Medic Media 2021年）

《履修上の留意点》

予習、復習を行い、疑問点、問題点を早期に解決しながら受講していくことが望ましい。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	循環器総論、検査総論（心臓、大血管、心電図、胸部X線、心エコー、心不全）	ガイダンス。循環器の解剖、生理、主要症候を理解する。心不全について理解する。循環器の基本的検査を理解する。 （予習）循環器系（心臓、大血管）の構造と機能に関して、1年時学習内容の確認を行う。	伊藤 正洋
2	虚血性心疾患（心筋梗塞、狭心症、急性冠症候群）	心筋梗塞、狭心症など虚血性心疾患の病態、診断法、治療法を理解する。 （予習）虚血性心疾患について参考図書等を読んでおく。 （復習）講義内容の理解を深める。	伊藤 正洋
3	不整脈（徐脈性不整脈、頻脈性不整脈）	基本的な不整脈の病態、診断法、治療法を理解する。 基本的な不整脈のモニター心電図が理解できる。 （予習）心電図の基本と不整脈について参考図書等を読んでおく。 （復習）講義内容の理解を深める。	伊藤 正洋
4	心臓弁膜症、感染性心内膜炎、心臓腫瘍（大動脈弁疾患、僧帽弁疾患、感染性心内膜炎、心臓粘液腫）	心臓弁膜症、感染性心内膜炎、心臓腫瘍の病態、診断法、治療法を理解する。 （予習）心臓弁膜症、感染性心内膜炎、心臓腫瘍について参考図書等を読んでおく。 （復習）講義内容の理解を深める。	伊藤 正洋
5	心筋疾患、心膜疾患（拡張型心筋症、肥大型心筋症、心外膜炎、心タンポナーデ）	心筋症、心膜疾患の病態、診断法、治療法を理解する。 （予習）心筋症、心膜疾患について参考図書等を読んでおく。 （復習）講義内容の理解を深める。	伊藤 正洋

《専門教育科目 専門基礎科目 疾病の成り立ちと回復の促進》

科目名	疾病治療論（循環器）	授業科目番号	2209020
担当者氏名	伊藤 正洋		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	大動脈疾患、末梢動脈疾患、静脈・リンパ管疾患（大動脈瘤、大動脈解離、閉塞性動脈硬化症、下肢静脈瘤、深部静脈血栓症）	大動脈疾患、末梢動脈疾患、静脈・リンパ管疾患の病態、診断法、治療法を理解する。 （予習）大動脈疾患、末梢動脈疾患、静脈・リンパ管疾患について参考図書等を読んでおく。 （復習）講義内容の理解を深める。	伊藤 正洋
7	血圧異常、身体診察法（本態性高血圧、二次性血圧、血圧測定、聴診法）	高血圧の病態、診断法、治療法を理解する。 循環器疾患を意識した身体診察を理解する。 （予習）高血圧、身体診察法について参考図書等を読んでおく。 （復習）講義内容の理解を深める。	伊藤 正洋
8	先天性心疾患（心房中隔欠損症、心室中隔欠損症、心内膜症欠損症、動脈管開存症）	先天性心疾患の病態、診断法、治療法を理解する。 （予習）先天性心疾患について参考図書等を読んでおく。 （復習）講義内容の理解を深める。	伊藤 正洋
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

《専門教育科目 専門基礎科目 疾病の成り立ちと回復の促進》

科目名	疾病治療論（呼吸器・消化器）			授業科目番号	2209030
担当者氏名	佐藤 和弘、高村 昌昭			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	必修	開講年次	2年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度、○2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力、○2-3 エビデンスに基づく看護実践力			

《授業の概要》

呼吸器疾患、消化器疾患の成り立ちと症状、検査、診断、治療について学び、看護実践に結びつけるための基礎とする。
（佐藤和弘/4回）呼吸不全、呼吸器感染症、肺循環器障害、気胸、腫瘍などについて学び、看護実践に結びつけるための基礎知識とする。治療法については、手術療法の例を含む。
（高村昌昭/4回）消化器疾患の病因から治療までを学び、看護実践に結びつけるための基礎知識とする。治療については、手術療法を含む。

《授業の到達目標》

〔呼吸器〕呼吸器の解剖（胸郭、気道、胸腔、肺実質）の理解及び呼吸器疾患の病態生理が理解できる。結核を含む代表的な呼吸器感染症、びまん性肺疾患、喘息やCOPDといった気道疾患、肺がん、肺血栓塞栓症、肺血管異常、気胸を含めた胸膜疾患を習得する。呼吸器疾患の自覚症状と診察の方法及び診断治療手技について習得する。〔消化器〕消化器系臓器の解剖・生理・病理などの基礎知識を理解し、消化器疾患の疫学的特徴・原因・症状・検査・治療についての知識を深める。

《評価の方法》

〔呼吸器〕授業時の課題（20%）、定期試験（80%）
〔消化器〕授業時間内に実施する小テスト20%、定期試験80%

《テキスト》

〔呼吸器〕『系統看護学講座 成人看護学[2] 呼吸器』（朝倉啓介 他著 医学書院 2024年）
〔消化器〕『系統看護学講座 成人看護学[5] 消化器』（南川雅子 他著 医学書院 2024年）

《参考図書》

〔消化器〕『内科学書 改訂第9版 第4巻 消化管・腹膜疾患、肝・胆道・膵疾患』（南学正臣 総編集 中山書店 2019年）

《履修上の留意点》

〔呼吸器〕講義中にメモをとらなくても済むように事前に配布資料をお渡しします。
〔消化器〕テキスト(第6章「患者の看護」の章も学ぶ疾患に合わせて)の予習をして下さい。資料は授業時に配布します。授業の理解を深めるために小テストを行います。

《備考》

〔呼吸器〕テキスト以外にも配布資料を追加することがあります。

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	呼吸器の解剖と機能(肺循環 気管気管支肺胞)	事前に配布資料をお渡しします。講義後テキストと共に復習をお願いします。 配布資料とテキストを併用します。	佐藤 和弘
2	呼吸器疾患をもつ患者さんの 診察、検査、治療手技(症状 、身体所見、鑑別疾患、検査 適応)	事前に配布資料をお渡しします。講義後テキストと共に復習をお願いします。 配布資料とテキストを併用します。	佐藤 和弘
3	呼吸器感染症、びまん性肺疾 患、気道疾患 (肺炎、間質 性肺炎、喘息、COPD)	事前に配布資料をお渡しします。講義後テキストと共に復習をお願いします。 配布資料とテキストを併用します。	佐藤 和弘
4	肺血栓塞栓症、胸膜疾患、肺 腫瘍、(肺癌、胸膜炎気胸、 肺血栓塞栓症の予防と診断)	事前に配布資料をお渡しします。講義後テキストと共に復習をお願いします。 配布資料とテキストを併用します。	佐藤 和弘
5	消化器の基礎知識(消化器系 臓器の解剖・生理、五大栄養 素)	消化管の解剖について、消化・吸収・栄養についての基礎知識、 内視鏡検査他消化器疾患で頻用する検査 (予習)テキストP16～38、P82～99、P106～109を読む。(60分) (復習)資料を見て授業内容を振り返り、テキストを読み理解を深める (60分)	高村 昌昭

《専門教育科目 専門基礎科目 疾病の成り立ちと回復の促進》

科目名	疾病治療論（呼吸器・消化器）	授業科目番号	2209030
担当者氏名	佐藤 和弘、高村 昌昭		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	消化管疾患-1(食道がん、胃がん、ピロリ、消化性潰瘍)	消化性潰瘍、食道疾患(食道がん・逆流性食道炎)、胃がん (予習)テキストP40～53、P130～163を読む。(30分) (復習)資料を見て授業内容を振り返り、テキストを読み理解を深める(60分)	高村 昌昭
7	消化管疾患-2(大腸がん、感染性腸炎、潰瘍性大腸炎、クローン病)	大腸・直腸がん、炎症性腸疾患(潰瘍性大腸炎・クローン病)、 その他の大腸疾患 (予習)テキストP163～204を読む。(30分) (復習)資料を見て授業内容を振り返り、テキストを読み理解を深める(60分)	高村 昌昭
8	肝・胆・膵疾患(肝炎ウイルス、肝硬変、胆石、胆嚢がん、膵がん、膵炎)	肝炎・肝硬変・肝炎ウイルス、肝がん、胆石、胆管がん・膵がん (予習)テキストP51～60、P205～261を読む。(30分) (復習)資料を見て授業内容を振り返り、テキストを読み理解を深める(60分)	高村 昌昭
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

《専門教育科目 専門基礎科目 疾病の成り立ちと回復の促進》

科目名	疾病治療論（内分泌・代謝・腎）			授業科目番号	2209090
担当者氏名	八幡 和明、中野 正明			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	必修	開講年次	2年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度、○2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力、○2-3 エビデンスに基づく看護実践力			

《授業の概要》

代謝、内分泌疾患、腎疾患の成り立ちと症状、検査、診断、治療について学び、看護実践に結びつけるための基礎とする。
 （八幡和明/4回）間脳・下垂体疾患、甲状腺疾患、副甲状腺疾患、メタボリック・シンドローム、糖尿病などを学び、看護実践の基礎知識とする。
 （中野正明/4回）主な腎疾患と腎機能障害に対する透析療法、腎移植などの治療法を学び、看護実践の基礎とする。

《授業の到達目標》

別紙参照

《評価の方法》

〔内分泌・代謝〕定期試験（選択問題・記述問題）100%

〔腎〕定期試験(70%)、授業後の小テスト(20%)、授業への受講態度他(10%)により、総合的に評価する。

《テキスト》

〔内分泌・代謝〕『病気がみえる vol.3 糖尿病・代謝・内分泌』（医療情報科学研究所編 Medic Media 2019年） その他 PPT資料あり

〔腎〕特になし。PPTの配布資料がある。

《参考図書》

〔内分泌・代謝〕『糖尿病治療ガイド2022-2023』（日本糖尿病学会編 文光堂 2022年）

〔腎〕『系統看護学講座 専門分野 腎・泌尿器』医学書院 『病気がみえる vol.8 腎・泌尿器』Medic Media

《履修上の留意点》

〔腎〕配布資料などにより、十分に復習して、授業内容を確実に理解するように努めること。

《備考》

〔腎〕オフィスアワーは授業の前後である。メールアドレスは、manakano@nagachu.jp である。

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	代謝性疾患の理解 糖尿病とは 糖尿病の診断 糖尿病の合併症	糖代謝の仕組みと血糖値が上昇する糖尿病という疾病の特徴を理解する。糖尿病の診断、合併症の理解。食事療法の基礎、摂取カロリー計算、治療薬の特徴、インスリン注射、血糖測定の手技などの実感がわかる。	八幡 和明
2	糖尿病の治療と心理行動学的アプローチ	糖代謝の治療方針がわかる。食事療法、運動療法、薬物療法について学ぶ。さらに患者心理と行動学的アプローチについて学ぶ。	八幡 和明
3	内分泌疾患の理解 内分泌とは 内分泌臓器について	内分泌と外分泌の違い、体内で相互に機能を調節するための「ホルモン」の働きについて学習する。下垂体、甲状腺の役割と、ホルモンの異常を来す疾患について理解する。特に甲状腺機能亢進症（バセドウ病）と甲状腺機能低下症（橋本病）について、その特徴的な症状と治療方法を理解する。	八幡 和明
4	内分泌疾患各論 甲状腺疾患の診断治療 副腎疾患の診断治療	副甲状腺疾患、副腎疾患について、ホルモンの働きとその異常をきたす疾患について理解する。	八幡 和明
5	腎疾患(1) 腎・尿路の構造と機能。検査。症状とその病態生理。	腎・尿路系の解剖。尿の出来るしくみと尿中異常物質の病的意義。関連する症状と尿および血液の検査異常について。	中野 正明

科目名	疾病治療論（内分泌・代謝、腎）	授業科目番号	2209090
担当者氏名	八幡 和明、中野 正明		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	腎疾患(2) 腎臓の機能と各種疾患の理解。	体液バランス、電解質代謝、酸塩基平衡。主な腎疾患の概要。急性、急速進行性、慢性の各疾患。原発性(一次性)腎疾患を中心に。	中野 正明
7	腎疾患(3) 間質病変、血管系の異常、二次性腎疾患の概要。	尿管・間質性疾患、各種腎血管系疾患、全身性疾患に伴う腎障害。	中野 正明
8	腎疾患(4) 腎不全とその治療。	急性腎障害、慢性腎臓病、末期腎不全と各種腎代替療法。	中野 正明
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

疾病治療論Ⅲ（内分泌・代謝、腎） シラバス別紙

授業の到達目標

〔内分泌・代謝〕 主な内分泌疾患として甲状腺疾患・副腎疾患、および糖代謝（糖尿病）・脂質代謝・尿酸代謝異常を来す疾患についての概要を理解することができる。各疾患の治療方針がわかる。糖尿病の治療目標を理解し、簡単な療養指導を行うことができる。

〔腎〕 (1)腎・泌尿器系の解剖を理解する。尿の生成過程と尿に異常物質がもたらされる機序を理解する。(2)主要な腎疾患の症状・検査異常・治療法の概略を理解する。(3)急性腎障害・慢性腎臓病の概念を理解する。(4)腎代替療法としての透析療法、腎移植療法を理解する。各国の腎代替療法と比較した我が国の特徴を理解する。

評価の方法

〔内分泌・代謝〕 定期試験（選択問題・記述問題）100％

〔腎〕 定期試験(70%)、授業後の小テスト(20%)、授業への受講態度他(10%)により、総合的に評価する。

テキスト

〔内分泌・代謝〕 『病気がみえる vol.3 糖尿病・代謝・内分泌』（医療情報科学研究所編 Medic Media 2019年） その他PPT資料あり

〔腎〕 特になし。PPTの配布資料がある。

参考図書

〔内分泌・代謝〕 『糖尿病治療ガイド2022-2023』（日本糖尿病学会編 文光堂 2022年）

〔腎〕 『系統看護学講座 専門分野 腎・泌尿器』（伊澤由香 他著 医学書院 2024年）

『病気がみえる vol.8 腎・泌尿器』（池森（上條） 敦子 他監修 Medic Media 2019年）

履修上の留意点

〔腎〕 配布資料などにより、十分に復習して、授業内容を確実に理解するように努めること。

備考

〔腎〕 オフィスアワーは授業の前後である。メールアドレスは、manakano@nagachu.jp である。

科目名	公衆衛生学			授業科目番号	2210030
担当者氏名	鈴木 翼			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	2年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		○3-3 保健医療福祉制度と看護の役割、 5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力、 ○5-2 地域社会に貢献する態度			

《授業の概要》

集団レベルでの健康増進と疾病の予防について公衆衛生学的な考え方を身につける。人々が関わる社会状況、生活環境、保健医療制度ならびに事業、社会保障および社会福祉など、医学・医療が社会とかわる領域に幅広くまたがる公衆衛生の概念を理解する。そのうえで、公衆衛生の歴史、現代日本の公衆衛生のシステムと政策などを学ぶ。さらに、公衆衛生活動のあらましを理解するとともに、在宅医療、地域保健、途上国などの現場の活動を学ぶ。

《授業の到達目標》

- 1. 公衆衛生の概念、疾病リスクと疾病予防の考え方、健康管理の活動、健康増進に関連するライフスタイルを説明できる。
- 2. 主な疾病の予防対策（感染症・生活習慣病・がん等）について説明できる。
- 3. 環境保健、学校保健、産業保健、国際保健医療、災害保健の現状について概要を説明できる。

《評価の方法》

定期試験80%（到達目標1,2,3）、グループ課題に対するレポート20%（到達目標1,2）レポートはグループ（A4 3枚程度）と個人（A4 1枚）それぞれで提出、課題に対する公衆衛生学的考察とグループへの貢献に対し評価する。

《テキスト》

- 『シンプル衛生公衆衛生学2025』（辻一郎監修 南江堂 2025年）
- 『国民衛生の動向 2024/2025』（厚生労働統計協会編 厚生労働統計協会 2024年）

《参考図書》

- 『FACTFULNESS（ファクトフルネス）』（ハンス・ロスリング 他著 日経BP社 2019年）
- 『命の格差は止められるか』（イチロー・カワチ著 小学館 2013年） その他講義内で紹介する。

《履修上の留意点》

各論のうち、母子保健、小児保健、高齢者保健、精神保健に関しては各専門科目での知識と統合すること。グループ課題に対するレポートに対して、課題発表会時に講評を行う。テキストや講義で知識を学ぶことに加えて、またニュースやネット等でも公衆衛生に関連する記事に積極的に触れ関心を持つことが望まれる。

《備考》

保健師教育課程必修科目

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	衛生学・公衆衛生学序論 （健康の定義、公衆衛生の歴史、公衆衛生活動、地域保健とコミュニティ）	衛生学、公衆衛生学とはどのような学問かについて理解する。公衆衛生の歴史、公衆衛生活動、生命倫理について講義形式で学ぶ。私たちの生活と健康を取り巻く環境のうち、人々の関係やコミュニティに着目して、健康的な地域のあり方について理解する。 （予習）テキスト第1章を読む。（30分） （復習）講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。（90分）	鈴木 翼
2	疾病予防と健康管理 （疾病の自然史、一次・二次・三次予防、リスク因子、ポピュレーションアプローチとハイリスクアプローチ、検診と健診、ナッジ）	疾病の自然史や疾病のリスク要因、疾病予防の段階（一次・二次・三次予防）と段階に応じた予防手段、ポピュレーションアプローチとハイリスクアプローチ、健康管理活動、ナッジをはじめとする健康管理の技法について理解する。 （予習）テキスト第4章(4-1～4-2)を読む。（30分） （復習）講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。（90分）	鈴木 翼
3	疾病予防と健康管理 （健康の社会的決定要因、健康格差、ライフスタイルと健康、健康日本21）	健康の社会的決定要因や健康格差、疾病予防・健康増進に関連するライフスタイルについて理解する。 （予習）テキスト第4章(4-3)を読む。前回の講義スライドを再読する。（30分） （復習）講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。（90分）	鈴木 翼
4	生活習慣病・がん・その他疾病の予防対策 （高血圧、心血管疾患、糖尿病の原因と合併症対策、がん、腎疾患、アレルギーの原因と対策、自殺対策）	生活習慣病（高血圧性疾患、心疾患、糖尿病、脂質異常症、メタボリックシンドローム）、がん、腎疾患、アレルギーの疫学、予防対策を理解する。また自殺の現状と予防対策について理解する。 （予習）テキスト第5章(5-2～5-7)を読む。（30分） （復習）講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。また、疾病治療論の知識と統合する。（90分）	鈴木 翼
5	感染症の予防対策 （感染症の成立条件、感染症予防の原則、ワクチン）	感染症の成り立ちを概観し、生活習慣病と異なる感染症特有の予防対策について理解する。また予防接種を取り巻く現状について理解する。 （予習）テキスト第5章(5-1)、第6章(6-5)を読む。（30分） （復習）講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。また、感染免疫学の知識と統合する。（90分）	鈴木 翼

科目名	公衆衛生学	授業科目番号	2210030
担当者氏名	鈴木 翼		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	感染症の予防対策 (感染症予防の原則、主要な感染症、感染症を取り巻く公衆衛生的な諸問題)	主要な感染症の特徴や予防対策について理解する。また感染症が原因で起こりうる公衆衛生的な諸問題(格差やスティグマ等)について理解する。 (予習)テキスト第5章(5-1)、第6章(6-5)を読む。前回の講義スライドを再読する。(30分) (復習)講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。また、感染症免疫学の知識と統合する。(90分)	鈴木 翼
7	環境保健 (生態系・環境の評価、生体と環境の関係、環境汚染・地球環境問題、物理的環境要因)	私達の生活や健康に影響を与え、疾病の原因ともなりうる環境要因について、特に、地球の環境・生態系、環境汚染・地球環境問題、生体と環境の関係、環境の把握方法と評価方法、物理的環境要因(気温、騒音、放射線、気圧)について理解する。 (予習)テキスト第6章(6-1~6-3)を読む。(30分) (復習)講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。(90分)	鈴木 翼
8	環境保健 (化学的環境要因、水の衛生、新潟水俣病、廃棄物、衣食住の衛生)	私達の生活や健康に影響を与え、疾病の原因ともなりうる環境要因について、特に、化学的環境要因(化学物質、空気)、水の衛生について理解する。また水の衛生が問題となった事例として、新潟水俣病について公衆衛生学の観点から理解を深め、自身なりに意見できるようになる。 (予習)テキスト第6章(6-4、6-6~6-7)を読む。(30分) (復習)講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。	鈴木 翼
9	環境保健 (公害問題、最近の環境問題と国際的な取り組み、プラネタリーヘルス、環境管理・リスク管理)	私達の生活や健康に影響を与え、疾病の原因ともなりうる環境要因について、特に廃棄物、衣食住の衛生、公害問題、最近の環境問題と国際的な取り組み、環境管理・リスク管理について理解する。 (予習)テキスト第6章(6-8~6-11)を読む。(30分) (復習)講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。(90分)	鈴木 翼
10	学校保健 (子どもの健康状況・学校保健管理・歯科保健・環境管理・保健教育、包括的性教育)	学校の保健対策、子どもの健康状況を知り、学校保健の意義から内容までを理解する。 (予習)テキスト第9章を読む。(30分) (復習)講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。(90分)	鈴木 翼
11	産業保健 (働く人々の健康、労働法制と働き方改革、労働災害・職業病、メンタルヘルス対策、健康診断と健康増進)	産業現場の保健対策について、特に働く人々の健康、労働災害、職業病について理解する。また、産業保健を理解する上で重要となる労働法制(働き方のルール)について概観する。 (予習)テキスト第10章を読む。(30分) (復習)講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。(90分)	鈴木 翼
12	産業保健 (働く人々の健康、労働法制と働き方改革、労働災害・職業病、メンタルヘルス対策、健康診断と健康増進)	産業現場の保健対策について、健康診断と健康増進、また近年注目されている働き方改革、長時間労働者対策、メンタルヘルス対策、健康経営などについて理解する。 (予習)テキスト第10章を読む。前回の講義スライドを再読する。(30分) (復習)講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。(90分)	鈴木 翼
13	国際保健医療・災害保健 (人種・民族・国・開発途上国・国際協力、セクシュアル・リプロダクティブ・ヘルス/ライツ、災害対策と疾病予防)	国際保健の現状、日本の国際協力について概観する。特に、発展途上国の人々、女性・子ども、セクシャルマイノリティに関わる健康支援について理解する。また世界で相次ぐ自然災害・NBC災害・テロの現状と、これらが原因で起こりうる疾病・健康障害の予防について理解する。 (予習)テキスト第13章を読む。(30分) (復習)講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。(90分)	鈴木 翼
14	グループ課題発表会	小グループに分かれ、あらかじめ提示した課題に沿って、情報収集と公衆衛生学的考察を行ってまとめ、学生間相互で発表する。ディスカッションを通じて課題解決能力を養う。 (予習)1~13回までの資料を読み返す。発表内容をまとめる。(60分) (復習)他グループの発表やディスカッション内容を振り返り考えをまとめる。(60分)	鈴木 翼
15	グループ課題発表会	小グループに分かれ、あらかじめ提示した課題に沿って、情報収集と公衆衛生学的考察を行ってまとめ、学生間相互で発表する。ディスカッションを通じて課題解決能力を養う。 (予習)1~13回までの資料を読み返す。発表内容をまとめる。(60分) (復習)他グループの発表やディスカッション内容を振り返り考えをまとめる。(60分)	鈴木 翼

科目名	基礎看護技術演習			授業科目番号	2311050
担当者氏名	大崎 美奈子、田口 めぐみ、大平 富美、樋本 まゆみ			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	演習	単位	2単位	時間	60時間
必・選	必修	開講年次	2年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度，○2-3 エビデンスに基づく看護実践力，○4-1 看護学を探究する意欲			

《授業の概要》

診断・治療過程にある対象に施される診療（診察・検査・治療）の目的、方法を理解し、診療を補助する看護者の役割と技術を学ぶ。具体的な技術として、検査、与薬、症状・生体機能管理、呼吸・循環を整える技術、電法、創傷管理について学ぶ。また診療に伴う対象の心身の苦痛を最小限に抑え、正確で安全な技術の修得を図る。

位置づけ：本科目は看護学概論、基礎看護技術演習、基礎看護技術演習、基礎看護学実習を終了後開講される。疾病論と並行して開講され、診療補助技術における看護を学習する。

《授業の到達目標》

1. 診療補助技術における看護師の役割を述べることができる。 2. 各診療補助技術に関わる根拠を解剖生理学やフィジカルアセスメント、薬理学等の既習知識を活用して述べるができる。 3. 診察、検査、治療が対象者に与える身体的・心理的影響を理解し、診療の補助を安全・安楽に提供する方法を述べるができる。 4. 診療に伴う対象の心身の苦痛を最小限に抑え、診療を補助する上で必要な基本的技術を実施できる。

《評価の方法》

定期試験：80％（到達目標1，2，3）、提出記録物：20％（到達目標1，2，3，4）課題は講義の中で事前に提示し、各単元でA4用紙2枚程度。

《テキスト》

『系統看護学講座 基礎看護学[2]基礎看護技術』（茂野香おる 他著 医学書院 2024年）
『系統看護学講座 基礎看護学[3]基礎看護技術』（任和子 他著 医学書院 2024年）

《参考図書》

『ナースンググラフィカ 基礎看護学技術』（松尾ミヨ子他編 メディカ出版 2023年）
『写真でわかる臨床看護技術アドバンス』（本庄恵子他 インターメディカ 2020年）

《履修上の留意点》

・予習として授業計画に対応するテキストのページを熟読し理解しておくこと。理解できない箇所は授業中に確認し明確にしておくこと。復習としてテキスト、講義資料、参考書等を用い学習内容を整理し確実な知識にする。
・講義中の活発なディスカッションを望みます。・提出課題は講義の最終回までにコメントと共に返却する。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	診療・検査・処置における技術(検査、治療・処置)	・科目ガイダンス、診療を補助する看護者の役割 ・検査の種類・検査時の援助 学習方法：講義 <予習>「看護技術の基盤」を熟読する。(30分) <復習>「診療・検査・処置における技術」を整理し講義を振り返る。(30分)	大崎美奈子 田口めぐみ 大平富美 樋本まゆみ 他
2	症状・生体機能管理技術(検体検査、生体検査)	・検体検査、静脈血採血、生体情報のモニタリング ・採血用ホルダー・真空管採血針のセット・ME機器の取り扱い 学習方法：講義/演習 (予習)事前に提示された課題に取り組む。(60分) (復習)「症状・生体機能管理」を整理し講義を振り返る。(60分)	大崎美奈子 田口めぐみ 大平富美 樋本まゆみ 他
3	検体の採取(血液検査)	・静脈血採血 学習方法：講義/演習 (予習)事前に提示された課題に取り組む。(60分) (復習)静脈血採血レポートを作成し演習を振り返り、自己の課題を明確にする。(60分)	大崎美奈子 田口めぐみ 大平富美 樋本まゆみ 他
4	創傷管理技術(創傷の分類、包帯法)	・皮膚・創傷を管理するための基礎知識 学習方法：講義/演習 【演習】包帯法 (予習)事前に提示された課題に取り組む。(60分) (復習)講義、演習を振り返り、自己の課題を明確にする。(60分)	大崎美奈子 田口めぐみ 大平富美 樋本まゆみ 他
5	呼吸・循環を整える技術(呼吸のニーズ、呼吸を楽にする援助)	・呼吸を整える援助の基礎知識、動脈血酸素飽和度(SpO ₂)モニターの測定 ・呼吸のニーズに関するアセスメント、効果的な呼吸方法 ・酸素療法、吸引、吸入療法、体位ドレナージ 学習方法：講義/演習 (予習)事前に提示された課題に取り組む。(60分) (復習)講義、演習を振り返り、自己の課題を明確にする。(60分)	大崎美奈子 田口めぐみ 大平富美 樋本まゆみ 他

《専門教育科目 専門科目 看護の基本》

科目名	基礎看護技術演習	授業科目番号	2311050
担当者氏名	大崎 美奈子、田口 めぐみ、大平 富美、樋本 まゆみ		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	呼吸を整える援助技術 (酸素療法)	・酸素療法 学習方法：講義/演習 (予習) 事前に提示された課題に取り組む。(60分) (復習) 酸素療法レポートを作成し演習を振り返り、自己の課題を明確にする。(60分)	大崎美奈子 田口めぐみ 大平富美 樋本まゆみ 他
7	体温管理の技術 苦痛の緩和・安全確保の技術 (体温調節、電法)	・体温調節の生理的メカニズム(講義/演習) ・苦痛を緩和するための看護援助 学習方法：講義/演習 (予習) 事前に提示された課題に取り組む。(60分) (復習) 講義、演習を振り返り、自己の課題を明確にする。(60分)	大崎美奈子 田口めぐみ 大平富美 樋本まゆみ 他
8	苦痛の緩和・安全確保の技術 (電法・リラクセーション) 与薬の技術(与薬法)	・患者の苦痛を緩和するための援助 グループワーク ・与薬のための基礎知識、技術 学習方法：講義/演習 (予習) 事前に提示された課題に取り組む。(60分) (復習) 講義、演習を振り返り、自己の課題を明確にする。(60分)	大崎美奈子 田口めぐみ 大平富美 樋本まゆみ 他
9	与薬の技術(与薬法)	・薬物療法・薬物動態・薬剤の種類、薬物療法と看護 ・安全確認・説明と同意 グループワーク 学習方法：講義/演習 (予習) 事前に提示された課題に取り組む。(60分) (復習) 講義、演習を振り返り、自己の課題を明確にする。(60分)(60分)	大崎美奈子 田口めぐみ 大平富美 樋本まゆみ 他
10	与薬の技術 排泄障害のある人への援助 (浣腸)	・排尿障害のある人への援助(導尿含む) ・排便障害のある人への看護(浣腸含む) 学習方法：講義/演習 (予習) 事前に提示された課題に取り組む。(60分) (復習) 浣腸レポートを作成し演習を振り返り、自己の課題を明確にする。(60分)	大崎美奈子 田口めぐみ 大平富美 樋本まゆみ 他
11	与薬の技術(注射法) 注射の実際(注射の準備)	・注射の技術：注射に必要な基礎知識、注射の準備 学習方法：講義/演習 (予習) 事前に提示された課題に取り組む。(60分) (復習) 注射の準備レポートを作成し演習を振り返り、自己の課題を明確にする。(60分)	大崎美奈子 田口めぐみ 大平富美 樋本まゆみ 他
12	与薬の技術(皮下注射、筋肉内注射、静脈内注射)	・注射の技術：皮下注射、筋肉内注射、静脈内注射 学習方法：講義/演習 (予習) 事前に提示された課題に取り組む。(60分) (復習) 講義、演習を振り返り、自己の課題を明確にする。(60分)	大崎美奈子 田口めぐみ 大平富美 樋本まゆみ 他
13	与薬の技術(皮下注射、筋肉内注射、静脈内注射)	・注射の技術：皮下注射、筋肉内注射、静脈内注射 学習方法：講義/演習 (予習) 事前に提示された課題に取り組む。(60分) (復習) 演習を振り返り、自己の課題を明確にする。(60分) 講義、演習を振り返り、自己の課題を明確にする。(60分)	大崎美奈子 田口めぐみ 大平富美 樋本まゆみ 他
14	注射の実際(筋肉内注射)	・筋肉内注射 (アクティブラーニング) 学習方法：演習 (予習) 事前に提示された課題に取り組む。(60分) (復習) 演習を振り返り、自己の課題を明確にする。(60分) 筋肉内注射レポートを作成し演習を振り返り、自己の課題を明確にする。(60分)	大崎美奈子 田口めぐみ 大平富美 樋本まゆみ 他
15	与薬の技術(点滴静脈内注射)	・点滴静脈内注射の安全確認 グループワーク 学習方法：講義/演習 (予習) 事前に提示された課題に取り組む。(60分) (復習) 講義、演習を振り返り、自己の課題を明確にする。(60分)	大崎美奈子 田口めぐみ 大平富美 樋本まゆみ 他

科目名	成人看護学概論			授業科目番号	2312010
担当者氏名	近藤 ふさえ			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	必修	開講年次	2年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力、○3-2 多職種と連携・協働する力、 ○3-3 保健医療福祉制度と看護の役割			

《授業の概要》

成人期にある人々の特性と健康問題を理解し、看護に必要な理論や概念について学修する。具体的には、成人期の発達課題と特性、成人の健康に影響を及ぼす要因と健康問題の動向を学修し、新潟県下の成人の健康問題を考察する。また、主要理論・概念（セルフケア理論・成人学習理論・自己効力感・ストレスコーピング）および成人期ある人々に関連する主な保健医療福祉の法令・施策の概要について学修する。

位置づけ：成人期の特性と健康問題、理論・概念の学修は、成人看護援助論 ・ ・ 、成人看護実習 ・ の基礎とする。

《授業の到達目標》

- 1．成人期にある人々の心理的・身体的・社会的特徴、健康問題を説明できる。
- 2．成人期にある人々への看護の基本となる理論・概念を説明できる。
- 3．健康レベルに応じた成人看護の視点を説明できる。
- 4．新潟県下における成人の健康問題を明らかにしヘルスプロモーションについて考察する。

《評価の方法》

レポート70%（到達目標1，2，3，4）、授業内小テスト20%（到達目標1，2）、グループワーク貢献度10%（到達目標1，4）

《テキスト》

『成人看護学 成人看護学概論 改訂第5版』（林直子 他編 南江堂 2025年）

《参考図書》

『病の語り』（誠信書房） 『おとなの学びを拓く』（鳳書房） 『国民衛生の動向』（厚生労働統計協会）

《履修上の留意点》

- 1．各回の予習と復習（約60分）を行い、授業に参加しましょう。
- 2．チーム基盤型学習（TBL）を行うため学習課題に対して資料作成を行いグループワークに参加する。
- 3．レポートのフィードバックは毎回授業の始まりに行う。最終レポートはコメント入れ返却する。

《備考》

先修科目：なし

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	健康な成人の成長発達と発達課題 （ライフサイクル、青年期、壮年期、向老期）	時代とともに変化してきたライフサイクル 青年・壮年・向老期の身体的特徴 学習方法：講義、GW（チーム基盤型学習TBL） 予習：Text第1章1．「成人とは」を読み意味を理解する。（30分） 復習：時代とともに変化してきたライフサイクル、成人期の区分を整理する。（60分）	近藤ふさえ
2	成人各期の発達課題と健康問題 （発達課題、エリクソン、レビンソン、ハビガースト）	成人各期の発達課題と健康問題 学習方法：GW（チーム基盤型学習TBL） 予習：課題レポート作成（各期の特徴を発達課題をまとめる）（60分） 復習：エリクソン、ハビガースト、レビンソンの理論の概要と相違点を整理する。（30分）	近藤ふさえ
3	成人を取り巻く環境と生活からみた健康 （就労環境、ストレスマネジメント、家族関係）	社会の中で生活を営むということ 働くことと生活、就労環境、家族関係 学習方法：講義、GW 予習：Text第1章1．2を読む。（30分） 復習：授業資料、成人を取り巻く環境の問題と健康格差を整理する。（15分）	近藤ふさえ
4	対象理解と看護のための基本的な理論と概念 （セルフケア、セルフマネジメント、自己効力感、成人学習理論）	成人期の対象者への看護の拠り所となる理論と概念 危機理論、セルフケア、セルフマネジメント、自己効力感、成人学習理論など。 学習方法：講義、GW 予習：Text第1章1．2を読む。（30分） 復習：Textで主な概念と理論を再確認する。（15分）	近藤ふさえ
5	保健統計からみた成人の健康の動向 （人口構成、死亡と死因、疾病構造、生活習慣病）	保健統計からみた成人の健康の動向 保健・医療・福祉政策と今日の健康問題 学習方法：講義、WG 予習：Text第1章1．2を読む。WHO健康のとらえ方の復習をする。（30分） 復習：国民衛生の動向「生活習慣病対策」を読みむ。（15分）	近藤ふさえ

科目名	成人看護学概論	授業科目番号	2312010
担当者氏名	近藤 ふさえ		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	新潟県下の成人の健康問題とヘルスプロモーション (ヘルスプロモーション、ヘルスプロテクション)	新潟県下の成人の健康問題とヘルスプロモーション 学習方法：GW(チーム基盤型学習TBL) 予習：Text第 3章をよみヘルスプロモーションの意味を理解する。(30分) 課題レポート作成し発表の準備を行う。(60分)	近藤ふさえ
7	新潟県下の成人の健康問題とヘルスプロモーション (健康問題の動向)	新潟県下の成人の健康問題とヘルスプロモーション 成人にかかわる主な保健医療福祉の法令・施策(講義) 学習方法：グループワークの発表、講義 予習：課題レポート(60分) 復習：グループの発表をふまえ健康問題とヘルスプロモーションを整理する。(15分)	近藤ふさえ
8	健康の回復過程と健康レベルに応じた看護 (急性期、回復期、慢性期、終末期、病みの軌跡)	健康の回復過程と健康レベルに応じた成人看護の役割と機能 学習方法：事例学習 予習：テキストで急性期、回復期、リハビリテーション期、慢性期、終末期のとらえ方を調べる。(15分) 課題学習：事例に対する健康レベルに応じた看護を考察する。(120分)	近藤ふさえ
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

《専門教育科目 専門科目 生涯発達と看護》

科目名	成人看護援助論			授業科目番号	2312020
担当者氏名	広井 貴子			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	2年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力、○2-3 エビデンスに基づく看護実践力、○4-1 看護学を探究する意欲			

《授業の概要》

成人期にある人を対象とした手術療法と医学的管理、および周手術期看護について学ぶ。手術療法の対象となる疾患の代表的な術式、もたらされる侵襲と術前術後の基本的な医学管理方法についても学ぶ。次いで、急激な身体侵襲から回復安定を必要とする人の看護、生活調整や再構築を必要とする人の看護について事例を通して学ぶ。

《授業の到達目標》

1. 急性期看護の概念を理解し、病態と治療などの基礎的知識を応用して、成人期の対象特性を統合させて療養生活を支える援助方法を理解できる。
2. 周手術期にある人及び家族に応じた援助方法を理解できる。
3. 救急救命処置の基本的技術を実践できる。

《評価の方法》

定期試験60%（到達目標1～3）、小テスト20%（到達目標1）、レポート10%（到達目標1、2）、演習参加態度10%（到達目標3）

《テキスト》

1. 『成人看護学 急性期看護（改訂第4版）』（林直子、佐藤まゆみ編 南江堂 2023年）
2. 『成人看護学 急性期看護（改訂第4版）』（佐藤まゆみ、林直子編 南江堂 2023年）

《参考図書》

『ナースンググラフィカ成人看護学』（吉田澄江 他編 メディカ出版 2022年） 『講義から実習へ高齢者と成人の周手術期看護1-3』（竹内登美子編 医歯薬出版 2019年） 他参考書については、講義の過程で随時紹介する。

《履修上の留意点》

授業中に小テストを行いますので、解剖・生理学、各疾病論の予習復習をしてください。内容は事前に伝えます。演習を行います。主体的に参加し、チームのメンバーとして協力しておこなってください。採点した小テストやレポートは次回授業で返却します。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	急性期・急性期看護の概念と特徴 (急性期看護の概念と特徴)	ガイダンス 急性期・急性期看護の概念と特徴について 急性期にある対象と家族の特徴について 急性期にある対象を理解するための理論・概念 (予習) テキスト1 p2～35を読む(45分) (復習) テキスト並びに配布した資料を読み返す(30分)	広井 貴子
2	救急医療における看護 (プレホスピタルケア)	プレホスピタルケアおよび救急看護 救急医療体制 救急患者の特徴とアセスメントについて 救急救命処置の基本的技術を学ぶ (予習) テキスト2第1章、第3章、p152～164を読む(45分) (復習) テキスト並びに配布した資料を読み返す(30分)	広井 貴子
3	【演習】一次救命処置 (BLS)	一次救命処置(気道の確保、人工呼吸、胸骨圧迫、AED) 救急救命処置の基本的技術をモデル人形を用いて実践する (予習) テキスト2 p152～164を読む(45分) (復習) 演習を振り返り、自己の課題を明確にする(30分)	広井 貴子
4	【演習】一次救命処置 (BLS)	一次救命処置(気道の確保、人工呼吸、胸骨圧迫、AED) 救急救命処置の基本的技術をモデル人形を用いて実践する (予習) テキスト2 p152～164を読む(45分) (復習) 演習を振り返り、自己の課題を明確にする(30分)	広井 貴子
5	周手術期看護について (外科的治療を受ける患者の看護について)	集学的治療について セカンドオピニオンについて 周手術期看護にある患者の特徴について 患者の家族の特徴について (予習) テキスト1 p39～48を読む(45分) (復習) テキスト並びに配布した資料を読み返す(30分)	広井 貴子

科目名	成人看護援助論	授業科目番号	2312020
担当者氏名	広井 貴子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	手術前期の看護について (周手術期看護・手術前期)	手術前期の看護について 手術前の準備について 手術を受ける人の意思決定を支える看護について (予習) テキスト1p53～70を読む(45分) (復習) テキスト並びに配布した資料を読み返す(30分)	広井 貴子
7	手術期の看護について (周手術期看護・手術期)	手術・麻酔による生体反応・合併症の発症と予防について 手術中の看護について 手術後合併症の予防と援助 (予習) テキスト1 p73～98を読む(45分) (復習) テキスト並びに配布した資料を読み返す(30分)	広井 貴子
8	手術後期の看護について (周手術期看護・手術後期)	手術後合併症について 手術後合併症の予防と援助 早期離床への援助 退院に向けた援助 (予習) テキスト1 第4章、5章を読む(45分) (復習) テキスト並びに配布した資料を読み返す(30分)	広井 貴子
9	手術後期の看護について (手術直後の看護について)	事例：直腸がん、低位前方切除術の患者 手術後の看護について (予習) テキスト1 p379～384、テキスト2 p55～64(45分) (復習) テキスト並びに配布した資料を読み返す(30分)	広井 貴子
10	【演習】手術直後の看護について (手術後の患者の観察)	手術後の創傷管理、疼痛管理、カテーテル・ドレーン管理、モニタリング、観察とアセスメント (予習) テキスト1 p379～384、テキスト2 p55～64 第2章を読む(45分) (復習) テキスト並びに配布した資料を読み返す(30分)	広井 貴子
11	【演習】手術直後の看護について (手術後の患者の観察)	手術後の創傷管理、疼痛管理、カテーテル・ドレーン管理、モニタリング、観察とアセスメント (予習) テキスト1 p379～384、テキスト2 p55～64 第2章を読む(45分) (復習) テキスト並びに配布した資料を読み返す(30分)	広井 貴子
12	集中治療下での看護 (クリティカルケア)	クリティカルケアを受ける人の治療環境と治療の特徴について クリティカルケアを受ける人の看護について (予習) テキスト2 第2章、第3章を読む(45分) (復習) テキスト並びに配布した資料を読み返す(30分)	広井 貴子
13	集中治療および救急医療における倫理について (クリティカルケア)	倫理的課題について 急性期におけるチーム医療と看護師の役割 (予習) テキスト2第4章を読む(45分) (復習) テキスト並びに配布した資料を読み返す(30分)	広井 貴子
14	T B Lによる学習：チーム検討 各手術の看護 (手術を受ける患者の看護)	手術を受ける患者の看護について (上部消化管手術、下部消化管手術、循環器系手術、呼吸器系手術、内視鏡下手術、脳神経系手術、生殖器系手術など) (予習) テキストを読む(60分) (復習) テキスト並びに配布した資料を読み返す(30分)	広井 貴子
15	T B Lによる学習：チーム検討 各手術の看護 (手術を受ける患者の看護) まとめ	手術を受ける患者の看護について (上部消化管手術、下部消化管手術、循環器系手術、呼吸器系手術、内視鏡下手術、脳神経系手術、生殖器系手術など) (予習) テキストを読む(60分) (復習) テキスト並びに配布した資料を読み返す(30分)	広井 貴子

科目名	成人看護援助論			授業科目番号	2312030
担当者氏名	目黒 優子			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	2年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		○2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度、 2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力、 ○2-3 エビデンスに基づく看護実践力			

《授業の概要》

成人期の主要慢性疾患の診断と治療の特徴を理解し、看護上の問題、看護援助について学ぶ。具体的には、慢性疾患の理解と看護上の問題（腎疾患・呼吸器疾患）、地域における生活習慣病の第2次・3次予防（糖尿病・動脈硬化）、慢性疾患患者のセルフケア支援、地域連携クリティカルパスの概要についても学ぶ。

《授業の到達目標》

1. 慢性疾患の特徴および診断・治療の特徴について説明できる。
2. 慢性疾患を有する人の身体的、心理・社会的特徴について説明できる。
3. 慢性疾患の治療を受ける患者の具体的な援助について説明できる。

《評価の方法》

定期試験：70%（到達目標1.2.3）、演習：10%（到達目標1.3）、事前・事後レポート：20%（到達目標1.2.3）

《テキスト》

『成人看護学 慢性期看護 病気とともに生活する人を支える』（鈴木久美 他編 南江堂 2023年）

《参考図書》

『系統看護学講座 成人看護学[8] 腎・泌尿器』医学書院 『系統看護学講座 成人看護学[2] 呼吸器』医学書院 『系統看護学講座 成人看護学[6] 内分泌・代謝』医学書院

《履修上の留意点》

事前学習：各臓器（肺・腎臓・大腸・脾臓）の働きについて指定の書式でまとめ、授業開始時に提出する。

事後学習：各単元で学んだことを自分の言葉で説明できるように思考を整理する。

演習の際には、主体的に実施する。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	慢性疾患の特徴(慢性疾患)	慢性疾患の特徴、慢性疾患における治療の特徴および療養環境の特徴について学ぶ。 (予習)テキスト1～26 (復習)慢性疾患の特徴についてまとめる。慢性疾患における施策についてまとめる。地域包括ケアシステムについて、自分の言葉で説明する。	目黒 優子
2	慢性期看護とチーム医療、慢性疾患を有する人の理解(慢性期看護)	慢性疾患を有する人に対する看護の役割およびチーム医療について学ぶ。慢性疾患を有する人の身体的特徴、心理的特徴、生活および社会的特徴について学ぶ。 (予習)テキスト30～37、42～65 (復習)慢性疾患を有する人に、なぜセルフマネジメントの支援が必要なのか、その理由についてまとめる。	目黒 優子
3	治療・療養行動にかかわる主な理論・概念(セルフマネジメント、トランスセオレティカルモデル、アドヒアランス、病みの軌跡モデル)	治療・療養行動にかかわる主な理論・概念について学ぶ。 (予習)テキスト76～81、83～93 (復習)各理論・概念について、自分の言葉で説明できるように整理する。	目黒 優子
4	治療・療養を促進する支援(セルフモニタリング、症状マネジメント、アンドラゴジー)	治療・療養を促進する支援について学ぶ。 (予習)テキスト96～110 (復習)各理論・概念について、自分の言葉で説明できるように整理する。	目黒 優子
5	T B L (Team-based-learning:チーム基盤型学習)による演習の進め方、SBARを活用した報告(SBAR)	T B L、S B A Rについて学ぶ。 【講義/演習】チームアクティビティ、S B A Rを活用した報告 (予習)わかりやすい報告とはどのようなことか自分の言葉でまとめる。 (復習)S B A Rの構成要素について整理する。	目黒 優子

科目名	成人看護援助論	授業科目番号	2312030
担当者氏名	目黒 優子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	呼吸器系の障害を有する人とその家族への援助(慢性閉塞性肺疾患)	慢性閉塞性肺疾患 (予習)テキスト218～227、「肺の機能」についてまとめる。 (復習)慢性閉塞性肺疾患の呼吸法について整理する。	目黒 優子
7	呼吸器系の障害を有する人へ患者教育が必要なセルフケア技術	呼吸器系の障害を有する人へ患者教育が必要なセルフケア技術について学ぶ。 【講義/演習】呼吸法、吸入療法、ピークフローモニタリング (予習)口すばめ呼吸 (復習)実施後の学びを整理する。	目黒 優子
8	腎機能系の障害を有する人とその家族への援助(慢性腎臓病、人工透析)	慢性腎臓病、人工透析が必要な患者 (予習)テキスト357～360、「腎臓の機能」についてまとめる。 (復習)人工透析の適応となる状態を整理する。	目黒 優子
9	腎機能系の障害を有する人へのフィジカルイグザミネーション(内シャント造設、浮腫)	【講義/演習】シャントの管理、両下肢に浮腫のある人へのフィジカルイグザミネーション (予習)「浮腫」の評価の仕方についてまとめる。 (復習)フィジカルイグザミネーション実施後の学びを整理する。	目黒 優子
10	消化器系の障害を有する人とその家族への援助(潰瘍性大腸炎、クローン病、ステロイド療法)	潰瘍性大腸炎、クローン病 (予習)テキスト315～321 「大腸の機能」についてまとめる。「ステロイド療法」の作用についてまとめる。 (復習)生活上の留意点について整理する。	目黒 優子
11	消化器系の障害を有する人とその家族への援助(潰瘍性大腸炎、クローン病、ステロイド療法)	潰瘍性大腸炎、クローン病 (予習)テキスト315～322 「大腸の機能」についてまとめる。「ステロイド療法」の作用についてまとめる。 (復習)生活上の留意点について整理する。	目黒 優子
12	代謝・内分泌系の障害を有する人とその家族への援助(甲状腺機能障害)	甲状腺機能亢進症・甲状腺機能低下症 (予習)テキスト350～355、「甲状腺の機能」についてまとめる。 (復習)生活上の留意点について整理する。	目黒 優子
13	代謝・内分泌系の障害を有する人とその家族への援助(糖尿病、インスリン療法、自己血糖測定)	2型糖尿病患者の食事療法・運動療法 (予習)テキスト328～332、「膵臓の機能」についてまとめる。 (復習)2型糖尿病患者の食事・運動療法のポイントを整理する。	目黒 優子
14	代謝・内分泌系の障害を有する人とその家族への援助(糖尿病、インスリン療法、自己血糖測定)	2型糖尿病患者の薬物療法 (予習)テキスト328～332 (復習)2型糖尿病患者の薬物療法のポイントを整理する。	目黒 優子
15	代謝・内分泌系の障害を有する人へ患者教育が必要なセルフケア技術:自己血糖測定、自己注射(インスリン療法)	【講義/演習】自己血糖測定、インスリン療法、フットケア (予習)テキスト130～134 (復習)自己血糖測定、インスリン療法、フットケアのポイントを整理する。	目黒 優子

科目名	老年看護学概論			授業科目番号	2312080
担当者氏名	角山 裕美子			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	必修	開講年次	2年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		○1-2 人間の尊厳・権利を尊重する力、 2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力、 ○3-2 多職種と連携・協働する力			

《授業の概要》

人生の最終段階にある高齢者の理解と高齢者観を育むことを目的とする。高齢者を、身体的、心理的、社会的、スピリチュアルな側面から捉え、成熟現象としての老化が健康に及ぼす影響や日常生活に及ぼす影響を理解し、高齢者の可能性を最大限に活かした高齢者の生き方に寄り添う老年看護を理解する。また、高齢者を取り巻く環境では、高齢社会について統計的輪郭から理解を深め、保健医療福祉制度の変遷を知り、高齢者支援における多職種連携の必要性、老年看護の倫理的課題について理解する。

《授業の到達目標》

1. 老いを生きる高齢者の身体的・心理的・社会的側面を説明できる。2. 高齢者を取り巻く保健医療福祉制度の変遷から課題が述べられる。3. 高齢者支援における多職種連携の必要性が述べられる。4. 老年看護の倫理的課題と対応について考えを述べられる。5. 老年看護学の成立背景と役割が述べられる。

《評価の方法》

授業内で実施する小テスト・課題レポート20%（到達目標1.2.5）、定期試験80%（到達目標1.2.3.4.5）

《テキスト》

1. 『系統看護学講座 老年看護学』（北川公子 他著 医学書院 2025年）

《参考図書》

『国民衛生の動向』（厚生労働統計協会編 厚生労働統計協会 最新）

授業で配布するプリント及び授業で紹介する。

《履修上の留意点》

「重要な関連科目と科目の位置づけ」本科目は、2年次後期「老年看護援助論」、3年次「老年看護援助論」「老年看護学実習」・「」につながる重要な科目である。課題レポートおよび小テストは、定期試験前にフィードバックする。

《備考》

・配布された資料及びテキストを参照しながら、事後学習をすること。

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	授業ガイダンス (老年看護学の概要) (老年期の定義、加齢と老化) (老年期の健康の考え方)	・老年看護学講義ガイダンス、老年看護学の成立背景 ・高齢者、高齢社会の定義 ・加齢と老化の概念 ・老年期の健康 (予習)テキスト1.の第1章を読み、ノートに要点をまとめる(60分)。 (復習)授業内容を振り返り、ノートにまとめる(60分)。	角山裕美子
2	加齢に伴う身体的変化 (身体の変化) (高齢者の疾患)	・身体的能の老化と日常生活への影響 ・加齢に伴う心理的・社会的側面の変化 ・高齢者疾患の特徴 (予習)テキスト1.pp6～10を読み込む(60分)。 (復習)授業内容を振り返り、ノートにまとめる(60分)。	角山裕美子
3	老年期の発達 (身体の変化) (老年期の疾患の特徴) (老年症候群)	【レポート】 ・高齢者の発達と発達課題 ・スピリチュアリティと高齢者 (予習)テキスト1.pp9～21を読み込む(60分)。 (復習)老化に関して復習をする。レポート課題に取り組む(60分)。	角山裕美子
4	高齢社会の統計的輪郭 (人口動態) (家族形態) (健康指標) (暮らし) (産業構造)	【小テスト】 ・老年人口の動態 ・家族形態の変化と高齢者の暮らし ・健康指標からみた高齢者 (予習)テキスト1.pp24～36を読み、統計的データを基に理解が得られるように事前学習する(60分)。 (復習)授業内容を振り返り、ノートにまとめる(60分)。	角山裕美子
5	高齢者を取り巻く社会制度 (老人福祉法)(老人保健法) (介護保険制度)(地域包括ケアシステム)	高齢者に関わる保健医療福祉制度の変遷 ・高齢者福祉の創設 ・介護保険制度の成立背景 ・介護保険制度の目的と理念 ・介護保険制度の仕組み ・介護保険サービス、介護予防 (予習)テキスト1.pp36～45を読み、高齢者を支える制度背景を知る(60分)。 (復習)介護保険制度についてまとめる(60分)。	角山裕美子

科目名	老年看護学概論	授業科目番号	2312080
担当者氏名	角山 裕美子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	高齢者を取り巻く社会制度 (高齢者の医療のしくみ) (認知症施策の変遷)	【小テスト】 ・介護保険サービス ・高齢者医療の仕組み ・高齢者を支える多職種 連携と看護活動(専門看護師、認定看護師) ・認知症施策の変遷 (予習)テキスト1.pp48～54を読み、高齢者の医療と高齢者の健康を支 える多職種を知る(60分)。 (復習)介護保険サービスや認知症施策についてまとめる(60分)。	角山裕美子
7	高齢者を取り巻く社会環境と 今日的課題 (高齢者の権利と看護倫理) (老年看護における倫理的課 題)	・成年後見制度 ・日常生活自立支援事業 ・地域包括支援センター ・身体拘束の廃止とその取り組み ・意思決定における倫理的課題 (予習)テキスト1.pp54～67を読む(60分)。 (復習)高齢者の倫理的課題についてノートに考えをまとめる(60分) 。	角山裕美子
8	老年看護の基本的考え方 (老年看護の理念・目的) (理論・概念の活用) (老年看護活動の多様化) (高齢者を支える多職種連携)	・老年看護の理念、目的 ・老年看護の場と期待される役割 ・高齢者を支える多職種連携 ・老年看護における理論・概念 (予習)テキスト1.pp50～54, 78～83を読む(30分)。 (復習)レポート課題に取り組み、老年観についてまとめる(90分)。	角山裕美子
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

科目名	小児看護学概論			授業科目番号	2312130
担当者氏名	永谷 智恵			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	必修	開講年次	2年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		○1-2 人間の尊厳・権利を尊重する力、 2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力、 ○3-3 保健医療福祉制度と看護の役割			

《授業の概要》

現代の子どもや家族を取り巻く社会には、生活習慣病の増加、心の問題、育児不安、児童虐待など、様々な健康問題が顕在化している。本講義では、子どもや家族を取り巻く社会の現状を理解しながら、新生児期・乳児期・幼児期・学童期・思春期の発達段階における成長・発達、養護と看護について学ぶ。さらに、子どもの基本的人権と小児看護倫理から、子どもの利益にかなう看護とは何か、小児看護の理念と責務について共に考えていく。また、母子に関する様々な保健統計から小児保健の動向を知り、現代社会の健康問題を考察して、子どもの健康の保持増進、疾病の予防について学修していく。

《授業の到達目標》

- 1.小児看護の対象である小児と家族の存在を環境との相互作用から理解する 2.小児看護を支える法的根拠から小児医療における子どもの権利について理解する 3.成長・発達の概念および新生児期・乳児期・幼児期・学童期・思春期の発達の特徴とその評価方法を理解する 4.現代の小児と家族の健康問題について社会の変化から捉え小児看護の役割を理解する 5.母子保健の動向と小児の健康を支える社会資源、制度について理解する

《評価の方法》

授業時間内に実施する小テスト3回 60%(到達目標3.4.5)
レポート課題40%(到達目標1.2.3,4) ; 子ども観察レポート、2000 字程度

《テキスト》

『系統看護学講座 小児看護学[1] 小児看護学概論 小児臨床看護総論』（奈良間美穂 他著 医学書院 2025年）

《参考図書》

『系統看護学講座 小児看護学[2] 小児臨床看護各論』（丸 光恵 他著 医学書院 2025年）

《履修上の留意点》

講義とグループワークを中心に、自己学習や演習を組み合わせた授業展開をしていく。積極的な参加態度を期待します。日ごろ、新聞・TV・映画・書籍などで子どもの生活や健康問題、自身の生い立ちや家族との関係、社会で起きている子どもに関する様々な問題に目を向けることで、本講義の学習がより深まります。

《備考》

【位置づけ】小児看護援助論 ・小児看護援助論 ・小児看護学実習の基礎となる科目である。レポートはコメントして返却

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	小児看護の特徴と理念	ガイダンス / 小児看護の目ざすところ、小児看護の対象、目標と役割、小児と家族の諸統計、小児看護の変遷と現代の小児看護の課題(学習方法)講義(予習)テキストp4～p8を熟読しノートにまとめておく。(30分)(復習) 授業を振り返り、小児期の健康問題とその施策、小児看護の特徴や課題についてまとめる(60分)	永谷 智恵
2	子どもと家族 小児看護における倫理と課題	子どもにとっての家族とは、家族の発達、子どもの最善の利益を目指した看護とは、子どもの権利条約、小児看護倫理原則を踏まえた看護(学習方法)講義、グループワーク(予習) テキストp21「日常的な臨床場面での倫理的課題に関する行動指針」についてノートにまとめておく(30分)(復習) 授業を振り返り子どもの利益にかなう看護とは何かを考えまとめる(60分)	永谷 智恵
3	子どもの成長・発達の原理原則 新生児から乳児期の成長発達と養護および看護	成長発達の一般的原則、新生児から乳児期にかけての形態的、機能的、心的・社会的な成長・発達と日常生活の世話(離乳食、排泄、衣服、睡眠等)、ボウルウィの愛着理論(学習方法)講義 (予習) テキストp54～を熟読し、ノートにまとめておく。(30分) (復習) 授業を振り返り、成長発達の原理原則、乳児期の成長発達についてまとめる(60分)	永谷 智恵
4	幼児期の成長発達と養護および看護 (形態的・機能的発達)	幼児期の形態的・機能的発達の特徴 *小テスト 次回フィードバックあり(学習方法)講義(予習) テキストp92～を熟読しノートにまとめておく(30分)(復習) 授業を振り返り、幼児期の形態的・機能的発達についてまとめる(60分)	永谷 智恵
5	幼児期の成長発達と養護および看護 (心理社会的発達、健康問題)	幼児期の日常生活の自律(食事・排泄、衣服の着脱)と世話、社会的発達(遊び)、コミュニケーション、エリクソンの発達課題(学習方法)講義(予習) テキストp95～を熟読しノートにまとめておく(30分)(復習) 授業を振り返り、幼児期の日常生活の自律についてまとめる(30分)	永谷 智恵

科目名	小児看護学概論	授業科目番号	2312130
担当者氏名	永谷 智恵		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	学童・思春期の養護および看護 (形態的・機能的・心理社会的な成長発達)	学童・思春期の形態的・機能的、心理・社会的発達の特徴、ピアジェの認知発達理論 *小テスト 次回フィードバックあり (学習方法) 講義 (予習) テキスト p 143～177を熟読しノートにまとめておく。(30分) (復習) 授業を振り返り、形態的成長発達と認知発達についてまとめる(30分)	永谷 智恵
7	学童・思春期の養護および看護 (健康問題)	学童期から思春期に特徴的な健康問題 *小テスト 次回フィードバックあり (学習方法) 講義・グループワーク (予習) テキスト p 143～177を熟読しノートにまとめておく(30分) (復習) 授業を振り返り、学童・思春期の健康問題と看護についてまとめる(30分)	永谷 智恵
8	小児期の成長・発達と評価 (評価の意義、評価方法等) 小児看護学概論まとめ	成長・発達の評価に関する基本的考え、評価方法(パーセントイル、カウプ指数・ローレル指数の栄養評価、肥満指数、心理社会的発達検査) (学習方法) 講義 (予習) テキスト p 124～を熟読しノートにまとめておく(30分) (復習) 授業を振り返り、発達評価と看護についてまとめる(30分)	永谷 智恵
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

科目名	母性看護学概論			授業科目番号	2312170
担当者氏名	太田 操、森 美由紀、佐藤 初美			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	必修	開講年次	2年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		○1-2 人間の尊厳・権利を尊重する力、○1-3 他者の自己決定を擁護する力、2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力			

《授業の概要》

リプロダクティブヘルス・ライツの視点から、女性のライフステージ各期における心身の特徴と健康課題及びそのヘルスサポートに関する理解、性と生殖に関わる倫理、母子の子育て世代地域包括支援の意義などを学修し、母性へのサポートができるための知識を修得する。

《授業の到達目標》

1. 母性看護の基盤となる概念を理解し説明できる 2. リプロダクティブヘルスに関する概念を理解し説明できる 3. 女性のライフステージ各期の心身の健康の特徴と健康課題を説明できる 4. リプロダクティブヘルスに関する母子保健統計・制度・法律を理解し説明できる 5. 周産期医療システムや子育て世代地域包括支援の意義や役割を説明できる

《評価の方法》

定期試験90%（到達目標1,2,3,4,5）、授業中の課題10%（到達目標4）

《テキスト》

1. 『系統看護学講座 専門分野 母性看護学概論』（森恵美 他著 医学書院 2021年）
2. 『病気がみえる vol.10 産科』（井上裕美 他監修 Medic Media 2018年）

《参考図書》

- 『妊産褥婦メンタルケアガイドブック』（日本臨床救急医学会監修 へるす出版 2021年）
『ナースング・グラフィカ 母性看護学(1)』（中込さと子他編 メディカ出版 2024年）

《履修上の留意点》

- ・母性看護援助論、母性看護学実習で活用されている基盤的理論等を学ぶ科目である。
- ・教科書をしっかり読むことに加え、日常的に母性看護に関する事項と思われるニュースなどに関心を寄せること。
- ・授業中に課す課題は、授業中もしくは次の授業時にフィードバックを行う。

《備考》

事前学習を済ませていなければ、授業の参加は難しい。

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	母性看護の基盤となる概念 (母性・父性、親性、人間の性、 リプロダクティブヘルス ヘルスプロモーション)	学習内容：授業ガイダンス、リプロダクティブ・ヘルス/ライツ、母性看護とウィメンズヘルス看護、ヘルスプロモーションの概念、関連する用語の定義、グローバルな女性の健康課題 授業方法：講義、バズセッション 予習：本日の学習内容を予習 30分 復習：提示された今回講義の課題 30分	太田 操
2	リプロダクティブヘルスに関する生理や倫理の実際 (生殖器の形態・機能 生殖、妊娠のメカニズム 性分化、倫理)	学習内容：男女の生殖器の形態・機能、生殖に関する生理、妊娠のメカニズム、性反応、性の分化、倫理的課題の実際 授業方法：事前課題を想起させながら講義 予習：本日の学習内容を予習 30分 復習：提示された今回講義の課題 30分	太田 操
3	ウィメンズヘルス1：思春期の心身および社会的特徴 (思春期、初経、二次性徴)	学習内容：思春期男女の身体の変化、初経の発来、社会的特徴、月経の異常、 学習方法：講義 予習：本日の学習内容を予習 30分 復習：提示された今回講義の課題 30分	太田 操 森 美由紀 佐藤 初美
4	ウィメンズヘルス2：思春期の健康課題 (STD/STU、子宮がんワクチン、 若年妊娠、 人工妊娠中絶、摂食障害)	学習内容：性感染症、子宮頸がんワクチン、若年妊娠と人工妊娠中絶、摂食障害、医療従事者の役割 学習方法：講義 予習：本日の学習内容を予習 30分 復習：提示された今回講義の課題 30分	太田 操
5	ウィメンズヘルス3：成熟期の心身および社会的特徴と健康課題 (成熟期、有職女性、性反応、 家族計画・避妊、親性、愛着)	学習内容：結婚・離婚・有職女性の動向、性反応、家族計画（避妊）、子育て親性の形成、愛着形成 学習方法：講義 予習：本日の学習内容を予習 30分 復習：提示された今回講義の課題 30分	太田 操 森 美由紀 佐藤 初美

科目名	母性看護学概論	授業科目番号	2312170
担当者氏名	太田 操、森 美由紀、佐藤 初美		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	ウィメンズヘルス4：更年期・老年期 女性の心身の特徴と健康課題 (更年期、老年期、 空の巣症候群、骨訴訟症)	学習内容：更年期・老年期に現れる症状のメカニズムや健康課題、医療従事者の役割 学習方法：講義 予習：本日の学習内容を予習 30分 復習：提示された今回講義の課題 30分	太田 操
7	リプロダクティブヘルスに関する母子保健統計・制度・法律 (母子保健統計、母性保護制度・法律、倫理的事例)	学習内容：母子保健統計、母性保護と制度・法規、事例から倫理の実例の検討 学習方法：講義 予習：本日の学習内容を予習 30分 復習：提示された今回講義の課題 30分	太田 操
8	周産期医療システムや子育て世代地域包括支援や役割 (周産期医療システム、すこやか親子21、子育て包括支援、災害支援、国際社会、在日外国人)	学習内容：母子の周産期医療システム、すこやか親子21・子育て包括支援、災害時の母子支援、国際化社会と看護 学習方法：講義 予習：本日の学習内容を予習 30分 復習：全8回の講義の振り返りとまとめ 60分	太田 操
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

科目名	精神看護学概論			授業科目番号	2312210
担当者氏名	板山 稔			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	必修	開講年次	2年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		1-2 人間の尊厳・権利を尊重する力、○2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力、○5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力			

《授業の概要》

心の健康問題についての理解を深め、現代社会における精神保健・医療・福祉の活動とあり方を考える。心のしくみと人格の発達、精神の健康と障がいとのとらえ方、ストレスと適応、家族や地域社会におけるこころの健康について学ぶ。また、精神医療、精神保健福祉に関する法律や制度の変遷、精神保健福祉の動向、精神医療における倫理や人権について学び、看護の役割を理解する。

《授業の到達目標》

1. 心のしくみと人格の発達、ストレスと適応について説明できる。
2. 現代社会と精神看護の役割について説明できる。
3. 精神医療の歴史理解し、患者の人権や看護の倫理について説明できる。
4. 地域における精神保健と看護、リエゾン精神看護について説明できる。

《評価の方法》

定期試験85%（到達目標1.2.3.4）、毎回の授業後のコメントシート（授業の理解度や質問内容を評価）15%（到達目標1.2.3.4）

《テキスト》

1. 『系統看護学講座 精神看護学 精神看護の基礎』（武井麻子 著 医学書院 2024年）
2. 『系統看護学講座 精神看護学 精神看護の展開』（武井麻子 他著 医学書院 2024年）

《参考図書》

- 『精神保健福祉 第4版』（末安民生 著 医学書院 2022年）
『看護のための精神医学 第2版』（中井久夫、山口直彦 著 医学書院 2004年）

《履修上の留意点》

授業後のコメントシートに書かれた質問等には、次の講義時に解説します。予習（事前学習）として、事前に配付される資料の内容と資料に記載されているテキストの該当ページの内容を読んでおくこと。ふだんから精神医療や心の健康に注目して、関連する新聞やニュース記事等を読むようにしてください。

《備考》

本科目は「精神看護援助論 ・ 」を学ば上で必要な基礎的知識を学習する科目であり、精神看護実習の履修要件科目です。

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	精神看護学とは何か 心のはたらきと人格の形成 （メンタルヘルス、障害、 ICF、生きにくさ、意識、感情）	精神看護学に関する基本的な考え方を理解し、精神障害の捉え方について考える。意識や認知、感情といった心のはたらきについて理解する。 （予習）事前配付資料の空欄部分をテキストを用いて記入しておく（90分）。 （復習）授業で学習した内容読み返し整理する。配付資料の問題を解き、間違った問題について調べる（60分）。	板山 稔
2	心のはたらきと人格の形成 （パーソナリティ、自我、防衛機制、エリクソン、愛着）	自我と防衛機制などの心のはたらきとライフサイクルにおける人格（パーソナリティ）の発達について理解する。 （予習）事前配付資料の空欄部分をテキストを用いて記入しておく（90分）。 （復習）授業で学習した内容読み返し整理する。配付資料の問題を解き、間違った問題について調べる（60分）。	板山 稔
3	精神の健康とストレスの影響 （精神の健康、ストレス、コーピング）	精神の健康の基準について考え、心身の健康に及ぼすストレスの影響について理解する。また、ストレスに対応する個人の力について学ぶ。 （予習）事前配付資料の空欄部分をテキストを用いて記入しておく（90分）。 （復習）授業で学習した内容読み返し整理する。配付資料の問題を解き、間違った問題について調べる（60分）。	板山 稔
4	心的外傷と回復 （トラウマ、トラウマインフォームドケア、レジリエンス、ICF）	心的外傷（トラウマ）が精神の健康に及ぼす影響を理解し、回復を支える力について考える。 （予習）事前配付資料の空欄部分をテキストを用いて記入しておく（90分）。 （復習）授業で学習した内容読み返し整理する。配付資料の問題を解き、間違った問題について調べる（60分）。	板山 稔
5	関係のなかのメンタルヘルス （家族システム、感情表出）	家族システムの考え方を理解し、家族の中の精神的健康と関連する諸問題について事例を通して考える。 （予習）事前配付資料の空欄部分をテキストを用いて記入しておく（90分）。 （復習）授業で学習した内容読み返し整理する。配付資料の問題を解き、間違った問題について調べる（60分）。	板山 稔

科目名	精神看護学概論	授業科目番号	2312210
担当者氏名	板山 稔		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	精神保健の広がり (学校のメンタルヘルス、職場のメンタルヘルス、リエゾン精神看護、災害時のメンタルヘルス)	学校や職場における精神保健(メンタルヘルス)について理解する。また、医療の場におけるリエゾン精神看護や災害時のメンタルヘルスについて学ぶ。 (予習) 事前配付資料の空欄部分をテキストを用いて記入しておく(90分)。(復習) 授業で学習した内容読み返し整理する。配付資料の問題を解き、間違った問題について調べる(60分)。	板山 稔
7	精神医療の歴史 (人権、スティグマ、精神保健福祉法)	日本と欧米諸国の精神医療の歴史の変遷を学び、日本の精神医療の現状と課題について考える。 (予習) 事前配付資料の空欄部分をテキストを用いて記入しておく(90分)。(復習) 授業で学習した内容読み返し整理する。配付資料の問題を解き、間違った問題について調べる(60分)。	板山 稔
8	精神保健医療における患者の人権と援助者の倫理 (人権擁護、精神保健ケアに関する法、看護の倫理綱領)	精神保健医療における患者の人権と倫理的問題について理解し、グループワークを通して倫理的問題に気づく視点を養う。 (予習) 事前配付資料の空欄部分をテキストを用いて記入しておく(90分)。(復習) 授業で学習した内容読み返し整理する。配付資料の問題を解き、間違った問題について調べる(60分)。	板山 稔
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

科目名	地域・在宅看護学概論			授業科目番号	2313170
担当者氏名	菅原 京子、田辺 生子			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	必修	開講年次	2年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		○3-1 地域のネットワークを共有する力、○3-2 多職種と連携・協働する力、5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力			

《授業の概要》

地域看護学 の概念や基本的な考え方をもとに、在宅で療養する人とその家族を理解し、質の高い生活を維持できるようにするための看護のあり方を学ぶ。在宅看護の歴史や社会的な背景をふまえ、在宅看護の概念と対象・活動の場・活動方法の特徴を学ぶ。また、在宅看護の展開に必要な法・制度・社会資源について学ぶ。さらに、在宅ケアシステムと看護の機能について学び、在宅看護の役割と課題を考える。

位置づけ：基礎看護学での学習内容をふまえ、地域で生活する人々への看護支援の必要性を学ぶことによって、各領域（成人、老年、小児、母性、精神）における対象への個別性に応じた看護を学ぶ基盤となる科目である。

《授業の到達目標》

- 1. 地域・在宅看護、在宅看護の概念と対象、活動の場、看護活動の特徴について説明できる
- 2. 地域・在宅看護の展開に必要な法・制度・社会資源について説明できる
- 3. 在宅ケアシステムと地域・在宅看護の役割を考え述べるができる

《評価の方法》

定期試験70%（期末試験として、目標到達度を最終的に評価する）、学習態度30%（予習・復習の内容、授業中の発言、授業への参加態度をもとに評価する）

《テキスト》

『系統看護学講座 地域・在宅看護論[1] 地域・在宅看護の基盤』（河原加代子 他著 医学書院 2022年）

《参考図書》

『ナースング・グラフィカ 地域・在宅看護論 地域療養を支えるケア』（石田 千絵 他編 メディカ出版 2025年）

《履修上の留意点》

地域包括ケア論で学んだ内容と関連するので、復習して授業に臨んでください。2年から3年にかけて、母性看護、小児看護、成人看護、老年看護、精神看護を学んでいきます。その対象は「在宅」へ戻っていく方々です。他の領域との関連を意識するようこころがけてください。グループワークはグループで話し合った内容を発表し、ディスカッションを行う。

《備考》

授業は学生とディスカッションしながら展開していきますので、積極的な授業への参加を期待します。

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	暮らしの基盤としての地域・暮らしの理解（地域）（暮らし）	ガイダンス ・人々の暮らしを理解する。 ・地域の定義、地域の多様性について学ぶ。 ・地域・在宅看護の役割・機能（倫理綱領・パートナーシップなど）を学ぶ。 ・システム理論について学ぶ。 (予習)序章を読み地域の中での暮らしと健康について考えをまとめる。 (復習)地域・在宅看護における看護者の視点について考えをまとめる。 (p28-29のワークシート)第2回に提出。	菅原 京子 田辺 生子
2	地域・在宅看護の対象（個人）地域包括ケア	・地域包括ケアと共生社会を学ぶ。 ・地域における対象者のライフステージ・健康レベルの多様性を学ぶ。 ・国際生活機能分類（ICF）を基に対象者の健康について学ぶ。 (予習)自分の暮らす地域の特性を記載する。（p52-53のワークシート） (復習)健康障害があっても地域で暮らし続けるために必要な地域資源マップを作成する（p54のワークシート）第3回に提出。	菅原 京子 田辺 生子
3	地域・在宅看護の対象（家族）	・家族の定義について学ぶ。 ・家族看護理論、家族システムについて学ぶ。 ・家族のライフステージの理解と看護について学ぶ。 ・対象者と家族の意思決定を支援するプロセス（ACP）を学ぶ。 (予習)自分にとっての家族とはなにかを考える。（p96のワークシート） (復習)事例を通して、看護の対象として家族を理解する。（p01のワークシート）第4回に400字程度のレポート提出。	菅原 京子 田辺 生子
4	地域・在宅看護実践の場と連携（多職種連携）（関係機関）	・地域・在宅看護実践の場について学ぶ（住まい、医療機関、地域）。 ・地域・在宅看護における多職種連携について学ぶ。 （予習）「働く場は病院だけじゃない 訪問看護師」を視聴し訪問看護師の役割にをまとめる。 https://www.nurse.or.jp/home/kango/sub/homon/index.html (復習)看護師とともに連携して働く職種をあげ、それぞれの役割についてまとめる。400字程度のレポートを第5回に提出。	菅原 京子 田辺 生子
5	暮らしにおけるリスクの理解と災害対策（リスク管理）在宅看護におけるACP	・地域・在宅看護における危機管理について学ぶ。 ・災害時における在宅療養者と家族の健康危機管理について学ぶ。 ・在宅療養者と家族を対象としたACPの考え方と実際について学ぶ。 (予習)在宅における事故の危険因子について調べる。 (復習)地域での暮らしにおける災害対策について、看護師が果たせる役割について400字程度にまとめる。第6回に提出。	田辺 生子 菅原 京子

《専門教育科目 専門科目 地域社会と看護》

科目名	地域・在宅看護学概論	授業科目番号	2313170
担当者氏名	菅原 京子、田辺 生子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	地域・在宅看護にかかわる制度とその活用 (介護保険制度) (訪問看護制度)	・介護保険・医療保険制度について学ぶ。 ・訪問看護制度について学ぶ。 ・権利保障に関する制度について学ぶ。 (予習) 介護保険制度について調べる。 (復習) 介護保険制度と医療保険制度の訪問看護の違いについてまとめる。400字程度のレポートを第7回に提出。	田辺 生子 菅原 京子
7	退院調整の実際 (退院調整)	・病院の退院支援について学ぶ。・病院と訪問看護ステーション、地域包括支援センター、行政等との連携について学ぶ。 (予習) 病棟における退院支援について調べる。 (復習) 介護保険制度と医療保険制度の訪問看護の違いについてまとめる。400字程度のレポートを第7回に提出。	田辺 生子 菅原 京子
8	グループワーク 全体討議 (在宅ケアシステム)	・ “ 住み慣れた地域でいつまでも健康に暮らしたいと願う人々への支援 ” をテーマに、地域・在宅看護の役割や期待されることについて考察する。 (予習) 地域包括ケアの実現に向けて看護職が果たせる役割について考える。(復習) 在宅ケアシステムと看護の機能について学び、在宅看護の役割と課題を考える。	菅原 京子 田辺 生子
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

科目名	公衆衛生看護活動論			授業科目番号	2313070
担当者氏名	駒形 三和子、平澤 則子、渡邊 路子、山崎 節子			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	選択	開講年次	2年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力、○2-3 エビデンスに基づく看護実践力、○5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力			

《授業の概要》

地域で生活する個人や家族・集団・組織に対して、そのヘルスニーズに応じた公衆衛生看護活動の展開方法を理解し、保健師の役割・機能を学習する。ライフサイクルと健康課題ごとの看護活動方法を理解する。母子、成人、高齢者保健福祉や精神・障害者に対する地域看護活動の展開方法を理解し、看護職の役割・機能を学習する。さらに、難病対策における看護職の役割・機能を学習する。

《授業の到達目標》

- 1. 母子、成人・高齢者および障害児・者、難病患者に対する公衆衛生看護活動の基盤となる施策・制度が説明できる。
- 2. 母子、成人・高齢者の健康課題に応じた公衆衛生看護活動の展開方法が理解でき、保健師の役割を考察できる。
- 3. 障がい（身体・知的・精神）児・者および家族を取り巻く社会情勢が理解でき、支援方法と保健師の役割が理解できる。
- 4. 難病対策の歴史的変遷を理解し、健康・生活上の課題に応じた支援方法と地域支援体制づくりの必要性を説明できる。

《評価の方法》

授業貢献度 10%（授業中の発言、態度をもとに評価する。）
定期試験 90%（期末試験として、目標到達度を最終的に評価する。）（到達目標1,2,3,4）

《テキスト》

- (1)『公衆衛生看護学 第3版』（上野昌江、和泉京子 編 中央法規出版 2020年）
- (2)『国民衛生の動向 2024-2025』（厚生労働統計協会編 厚生労働統計協会 2024年）

《参考図書》

『標準保健師講座3 対象別公衆衛生看護活動』（中谷芳美 他著 医学書院 2024年）
その他適宜、資料を配布する。適宜、参考文献を紹介する。

《履修上の留意点》

虐待や生活習慣病予防、健康寿命の延伸、障がい者を含めた共生社会等、現代の重要な健康課題について学習していきます。自身や家族の生活習慣や関連する最近のニュース等、様々なことに興味を持って、主体的に学習することを望みます。

《備考》

保健師教育課程必修科目 地域における保健対策がどのように行われているのか、看護師にとっても有益な内容である。

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	母子保健活動 （母子保健法、児童福祉法、健やか親子21、）	ガイダンス / 社会情勢や健康課題、母子保健活動を行う上で重要な健康指標をふまえ、基盤となる施策、制度について学ぶとともに、母子保健における保健師の役割と活動について学ぶ。 （予習）国民衛生の動向で出生数、妊産婦死亡、周産期死亡、乳児死亡の動向について調べる。（30分） （復習）テキスト(1)p248～263を読む。（30分）	駒形三和子
2	母子保健活動 （乳幼児の成長・発達、乳幼児健康診査、保健指導）	乳幼児の成長・発達と保健指導のポイント、乳幼児健診における保健師の役割と活動の展開について、講義と映像資料をとおして学ぶ。 （予習）乳幼児の成長・発達（4か月児、1歳6か月児、3歳児）について調べてくる。（30分） （復習）テキスト(1)p263～266を読む。配布資料の乳幼児の成長・発達と合わせて、乳幼児健診のポイントを整理する。（45分）	駒形三和子
3	母子保健活動 （未熟児、発達障害、子どもの虐待への対応）	支援ニーズが高い親子の健康課題と支援について学ぶ。 （予習）子ども虐待のニュース等について、どのような背景があり、何が課題かを調べてくる。（30分） （復習）テキスト(1)p267～274を読む。（20分）	駒形三和子
4	成人保健活動 （目的と理念、発達課題、健康増進法、健康日本21、高齢者医療確保法、予防モデル）	成人保健活動の目的と健康づくりの基盤となる施策・制度・事業について学ぶ。（予習） テキスト(1)p276～300を読む。自分の出身市町村の健康づくりのための保健事業について調べる。 予防の三段階を確認する。(30分) （復習）自分の出身市町村の健康づくりのための保健事業について調べる。(30分)	渡邊 路子
5	成人保健活動 生活習慣病予防活動（特定健康診査・特定保健指導、特定保健指導、行動変容ステージ、ポピュレーションアプローチ、ハイレスクアプローチ、ナッジ）	近年の死因の傾向と疾病構造の変化から生活習慣病予防の必要性を理解し、生活習慣病を予防するための施策・制度・事業と保健師の活動を学ぶ。 （予習）テキスト(1)p301～324を読む。(30分) （復習）講義内容を整理するとともに、市町村で行われている健診受診率向上のための取り組みを調べる。(30分)	渡邊 路子

《専門教育科目 専門科目 地域社会と看護》

科目名	公衆衛生看護活動論	授業科目番号	2313070
担当者氏名	駒形 三和子、平澤 則子、渡邊 路子、山崎 節子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	成人保健活動 がん対策の展開方法 (がん対策基本法、がん検診)	生活習慣病予防のための保健指導の展開方法と変容ステージに応じた指導のポイントおよび評価について、映像資料や事例を通して学ぶ。 (予習)テキスト(1)p287を読む。(30分) (復習)配布のレジュメと講義内容から、我が国におけるがん対策をまとめる。(30分)	渡邊 路子
7	成人保健活動 歯科保健活動 (歯科保健活動)	歯科保健活動の歴史と課題、市町村で行われている歯科保健活動について学ぶ (予習)市町村で行われている歯科保健活動について調べてくる。(30分) (復習)配布のレジュメと講義内容から、我が国におけるがん対策をまとめる。(30分)	渡邊 路子
8	高齢者の介護予防 (高齢化率、健康寿命、老人保健法、介護保険法、高齢者医療確保法、後期高齢者医療制度、介護保険制度)	高齢者保健活動に関する健康指標や基盤となる法律・施策を学び、要介護認定率、介護が必要となった原因の推移をとおして、介護予防の施策・制度・事業と保健師の活動の展開について学ぶ。 (予習)自分の出身市町村のホームページの最新の介護保険事業計画から要介護認定率、介護が必要となった原因を調べる。(30分) (復習)テキスト(1)p325～339を読む。(30分)	駒形三和子
9	高齢者の介護予防 (フレイル、基本チェックリスト、地域支援事業、介護予防事業、認知予防施策、高齢者虐待)	加齢に伴う高齢者の心身の特徴に応じた高齢者保健活動の実践について、映像や実技をとおして学び、活動の効果と課題を通して保健師の役割を考える。(予習)自分の出身市町村で行われている介護予防事業(認知症予防を含む)についてホームページや家族・知人から情報を得て調べる。(30分) (復習)テキスト(1)p340～355を読む。(30分)	駒形三和子
10	障がい児者保健福祉活動 (目的と理念、指標、歴史的変遷、法律、施策、特徴)	講義で提示する事例や統計データ、映像資料をもとに、ノーマライゼーションの視点から、障がいを持つ人の健康と生活上の課題について考える。 (予習)テキスト(1)p 472～484を読み、障がいの分類、障がい児者の定義と障がい者数を確認する。(60分) (復習)学びを整理してまとめる。(30分)	山崎 節子
11	障がい児者保健福祉活動 (保健活動の実践)	講義で提示する事例や統計データ、映像資料をもとに、地域における障がい児者への支援体制づくりを理解する。 (予習)テキスト(1)p485～488を読み、障がい者を支援する際のポイントを確認する。(60分) (復習)学びを整理してまとめる。(30分)	山崎 節子
12	精神保健福祉活動 (目的と理念、指標、法律、予防)	講義で提示する事例や統計データをもとに、地域における精神障がい者への支援体制づくりを学ぶ。 (予習)テキスト(1)p453～464を読み、我が国の精神保健福祉の経緯を確認する。(30分) (復習)学びを整理してまとめる。(30分)	山崎 節子
13	精神保健福祉活動 (今日的課題:依存症・ひきこもり・自殺対策、事例から見た地域精神保健福祉活動の実践)	講義で提示する事例や統計データをもとに、地域精神保健活動の今日的課題と事例を通じた活動の実践を学ぶ。 (予習)テキスト(1)p464～471を読み、我が国の自殺者数・自殺率の動向を調べ、背景要因と精神保健福祉活動の今日的課題を考える。(60分) (復習)学びを整理してまとめる。(30分)	山崎 節子
14	難病保健福祉活動 (難病、難病対策、QOL)	映像資料もとに難病患者の最善のQOLについて考える。QOLの視点から、難病患者・家族における健康・生活上の課題、患者・家族を支える保健師の役割と活動の展開を学ぶ。難病に関連する施策・制度・事業を学ぶ。 (予習)難病療養者のドラマや漫画を題材に、患者の生活課題を考える。(30分) (復習)テキストp489～498を読み、難病の定義、難病対策を確認する。(30分)	平澤 則子
15	難病保健福祉活動 (難病法、地域支援体制、ICT)	2015年から始まった新たな難病対策について理解し、地域支援体制づくりにおける課題を理解する。映像資料もとにICT活用長岡モデルを学ぶ。 (予習)事前配布資料(「難病ケア」にみる保健師活動の源泉)をよく読み、公衆衛生看護の基本的展開について確認する。(30分) (復習)出身地域で暮らす難病患者と家族の地域支援体制づくりを考える。(30分)	平澤 則子

科目名	災害看護論			授業科目番号	2313140
担当者氏名	春川 一樹			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	必修	開講年次	2年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		○3-1 地域のネットワークを共有する力、○3-2 多職種と連携・協働する力、5-2 地域社会に貢献する態度			

《授業の概要》

災害看護の基礎としての災害看護の歴史、災害看護の定義、救急医療と災害医療との違いを学ぶ。その上で、実際の現場を想定しながら、災害時医療体制の整備への対応にむけて、災害医療と看護や災害の種類と特徴的疾患、災害サイクルや災害各期の看護支援について理解する。さらに災害時の健康障害やそれを支えるための基礎的な知識を学ぶ。県内で起きた雪害、水害、中越地震、中越沖地震などをテーマに災害看護の学習を深めるために、被災状況の特徴のまとめや、被災体験者からの体験談をもとに、災害時のトリアージや、被災者および看護職としての係わり方を学ぶ。

《授業の到達目標》

1. 災害の定義について述べるができる
2. 災害時の保健医療の概念や特徴を述べるができる
3. 災害時の看護ニーズに対する看護実践の特徴を説明できる

《評価の方法》

定期試験：100%（到達目標1.2.3）

《テキスト》

『新体系 看護学全書 看護の統合と実践 災害看護学』（小井土雄一、石井美恵子編 メヂカルフレンド社 2020年）

《参考図書》

『多職種連携で支える災害医療 身につけるべき知識・スキル・対応力』（小井土雄一、石井美恵子編 医学書院 2017年）

《履修上の留意点》

- ・近年の災害の特徴について調べておきましょう
- ・新潟県内で発生した災害と災害のリスクについて関心を持ち、どのような備えができるか考えましょう

《備考》

保健師教育課程必修科目

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	災害保健医療（災害の定義、CSCATTT、法制度、DMAT、EMIS、広域医療搬送）	（講義）災害、災害看護の定義/災害保健医療体制の原則について学ぶ （予習）テキスト1章（p1～46）に目を通し、キーワードについて述べるようにしておく（15分） （復習）授業で配布した資料、テキストをもとに再学習する（10分）	春川 一樹
2	超急性期・急性期の災害保健医療と看護実践（防ぎ得る災害死、災害関連死、トリアージ）	（講義）超急性期・急性期の医療ニーズ、病院における災害対応、医療救護所における災害対応、トリアージについて学ぶ （予習）テキスト2章（p47～94）に目を通し、キーワードについて説明できるようにしておく（15分） （復習）授業で配布した資料、テキストをもとに再学習する（10分）	春川 一樹
3	亜急性期の災害保健医療と看護実践（医療需要、スフィア基準、避難生活、CSCAHHH）	（講義）亜急性期の医療ニーズ、避難所における災害対応について学ぶ （予習）テキスト3（p1～46）章に目を通し、キーワードについて説明できるようにしておく（15分） （復習）授業で配布した資料、テキストをもとに再学習する（10分）	春川 一樹
4	慢性期の災害保健医療と看護実践（循環器疾患への影響、生活不活発病、フレイル、避難所の生活と心身への影響）	（講義）慢性期の医療ニーズ、在宅における災害対応について学ぶ （予習）テキスト4章（p111～135）に目を通し、キーワードについて説明できるようにしておく（15分） （復習）授業で配布した資料、テキストをもとに再学習する（10分）	春川 一樹
5	静穏期の災害保健医療と看護実践（ハザードマップ、業務継続計画、教育・研修、社会福祉施設における防災減災対策）	（講義）防災・減災対策、業務継続計画（BCP）について学ぶ （予習）テキスト5章（p137～152）に目を通し、キーワードについて説明できるようにしておく（15分） （復習）授業で配布した資料、テキストをもとに再学習する（10分）	春川 一樹

科目名	災害看護論	授業科目番号	2313140
担当者氏名	春川 一樹		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	要配慮者への看護(女性・妊産婦・こどもへの配慮、男女共同参画、在宅における高齢者の災害対応)	(講義)被災者や要配慮者の生命と健康を維持するための体系的な対応の原則を学ぶ (予習)テキスト6章(p153～181)に目を通し、キーワードについて説明できるようにしておく(15分) (復習)授業で配布した資料、テキストをもとに再学習する(10分)	春川 一樹
7	災害時のメンタルヘルス(心理的反応、心理的応急処置、サイコロジカルファーストエイド)	(講義)被災者のメンタルヘルスについて学ぶ (予習)テキスト7章(p183～197)に目を通し、キーワードについて説明できるようにしておく(15分) (復習)授業で配布した資料、テキストをもとに再学習する(10分)	春川 一樹
8	災害に関連した特殊な医療・看護実践、災害時特有の疾患(外傷看護、クラッシュ症候群、CBRNE、原子力災害)	(講義)災害時特有の疾患や放射線・原子力災害について学ぶ (予習)テキスト8・9章(p199～225)に目を通し、キーワードについて説明できるようにしておく(15分) (復習)授業で配布した資料、テキストをもとに再学習する(10分)	春川 一樹
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

《基礎教育科目 基礎教育科目 表現力養成》

科目名	看護に活かすコミュニケーション英語			授業科目番号	1102100
担当者氏名	川崎 眞理子			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	2年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		1-1 幅広い教養と多様性を理解する力、○5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力、○5-2 地域社会に貢献する態度			

《授業の概要》

「ベーシック英語」で習得した技能を活用し、職業人として、看護や医療の場面に活用できる基礎的コミュニケーション能力を獲得する。今後、研究活動に必須の英文情報の収集に向けての基礎固める科目である。看護や医療関係の英語を音声（文字）で習得するとともに、治療や検査、看護援助の場面を想定した状況において、対象者との基本的なコミュニケーションが行えるようリスニングとスピーキング能力を中心に養成する。また、看護や医療に関する題材を英語で見聞きし、音声（文字）で把握し、不明な点を確認できる能力を養成する。扱う題材から社会の問題に気づき、課題解決を考えまとめる力も養成する。授業では主体的に学ぶ姿勢を求める。ペアやグループでの作業や各自の振り返りの記録を必須とする。また、自分で知識の定着や技能の伸びを確認するための、クイズや練習、活用や応用を試みる発表やスキットの作成や発表を行います。

《授業の到達目標》

治療や検査、看護援助の場面を想定した状況において、基本的な英語によるコミュニケーションができる。
看護や医療に関して書かれた英文を読解できる。
課題解決の提案に向けて、英語で討議ができる。
辞書や翻訳ツールを活用して、理解し・発信する努力ができる。

《評価の方法》

授業参画・英語使用10%()、多読30%()、クイズ・テスト35%()、課題25%()
提出物やウェブ上のクイズ等は、グーグルクラスルームで校閲・コメント・評価を行う。

《テキスト》

『Nursing Case Studies（事例で学ぶ看護英語）』（杉田由仁 他著 成美堂 2006年）

《参考図書》

適宜紹介します

《履修上の留意点》

多読や既習事項に基づく練習は必須です。課題には十分に時間をかけてください。授業中に辞書や翻訳ツールが使用できるPCなどを携帯してください。授業は協働学習の場です。互いに学び高め合う姿勢を求めます。言語の使用の実践の場でもありますから、英語でのやり取りを優先させましょう。シラバスは最適な学修の促進と支援のために変更することがあります。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	シラバス 運用能力 現状と目標 (Orientation)	シラバスに沿って目的・目標・評価方法・その他授業に関する規則を確認する。各自の英語運用能力(CEFR-Jレベル、語彙サイズ、音読速度、シャドーイング再生率)並びに学習方法の特性を確認する。学習と記憶のしくみについて考える。達成目標を作る。 多読に関する説明 課題1（パラグラフライティング・Resolution）(4時間)	川崎眞理子
2	入浴(Bathing)	多読 Unit 1 Risk for Injury: How to Maintain Safety Unit 2 Self-care Deficit: How to Practice Bathing and Hygiene 看護計画・サマリーを完成させる。 授業外学習：多読（15分/日、約1.5時間/週）、既習ページの復習・シャドーイングと音読（30分/日、約2.5時間/週）	川崎眞理子
3	呼吸困難、緩和(Respiratory disorder, relief)	多読 Unit 3 Respiratory Disorders: How to Relieve Respiratory Distress 看護計画・サマリーを完成させる。 授業外学習：多読（15分/日、約1.5時間/週）、既習ページの復習・シャドーイングと音読（30分/日、約2.5時間/週）	川崎眞理子
4	体液バランスの管理(Fluid, balance)	多読 Unit 4 Fluid Volume Deficit: How to Maintain Fluid Balance 看護計画・サマリーを完成させる。 授業外学習：多読（15分/日、約1.5時間/週）、既習ページの復習・シャドーイングと音読（30分/日、約2.5時間/週）	川崎眞理子
5	睡眠障害、軽減(Insomnia)	多読 Unit 5 Insomnia: How to Promote Rest and Sleep 看護計画・サマリーを完成させる。 授業外学習：多読（15分/日、約1.5時間/週）、既習ページの復習・シャドーイングと音読（30分/日、約2.5時間/週）	川崎眞理子

《基礎教育科目 基礎教育科目 表現力養成》

科目名	看護に活かすコミュニケーション英語	授業科目番号	1102100
担当者氏名	川崎 真理子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	まとめ (Review)	テスト まとめ(看護計画の評価を検討する) 授業外学習:多読(15分/日、約1.5時間/週)、既習ページの復習・シャドーイングと音読(30分/日、約2.5時間/週)	川崎真理子
7	慢性、痛み (Cronic, pain)	多読 Unit 6 Chronic Pain: How to Minimize or Relieve Pain 看護計画・サマリーを完成させる。 授業外学習:多読(15分/日、約1.5時間/週)、既習ページの復習・シャドーイングと音読(30分/日、約2.5時間/週)	川崎真理子
8	摂食障害 (Eating disorder)	多読 Ujit 7 Healthy Dietary Practice: How to Gain Adequate Weight 看護計画・サマリーを完成させる。 授業外学習:多読(15分/日、約1.5時間/週)、既習ページの復習・シャドーイングと音読(30分/日、約2.5時間/週)	川崎真理子
9	排泄 (Urine)	多読 Ujit 8 Urinary Retention: How to Avoid Bladder Distention 看護計画・サマリーを完成させる。 課題2(ロールプレイ) 授業外学習:多読(15分/日、約1.5時間/週)、既習ページの復習・シャドーイングと音読(30分/日、約2.5時間/週)	川崎真理子
10	PBL活動 医療課題 (PBL, writing)	医療課題の発見解決 思考ツール 課題3(パラグラフィティング・医療問題) 授業外学習:多読(15分/日、約1.5時間/週)、既習ページの復習・シャドーイングと音読(30分/日、約2.5時間/週)	川崎真理子
11	整腸 (Constipation, bowel)	多読 Unit 9 Constipation: How to Promote Normal Bowel Function 看護計画・サマリーを完成させる。 授業外学習:多読(15分/日、約1.5時間/週)、既習ページの復習・シャドーイングと音読(30分/日、約2.5時間/週)	川崎真理子
12	運動、リハビリ やけど 加齢 (Physical exercise, mobility, burn, aging)	Unit 10 Impaired Physical Mobility: How to Help with Crutch Walking Unit 11 Impaired Skin Integrity: How to Manage Burn Care Unit 12 Visual Alterations: How to Adjust to Visual Disorder 授業外学習:多読(15分/日、約1.5時間/週)、既習ページの復習・シャドーイングと音読(30分/日、約2.5時間/週)	川崎真理子
13	手術前後 記憶 生活習慣病 (Operation, memory, lifestyle related diseases)	Unit 13 Surgical Client: How to Cope with Anxiety Unit 14 Memory Impairment: How to Help Strengthen Memory Unit 15 Lifestyle-related Diseases: How to Encourage Health-seeking Behaviors 授業外学習:多読(15分/日、約1.5時間/週)、既習ページの復習・シャドーイングと音読(30分/日、約2.5時間/週)	川崎真理子
14	ロールプレイ (Assessment, Roleplay)	ロールプレイ発表 Unit 10, 11, 12, 13, 14, 15 互いに評価する 授業外学習:多読(15分/日、約1.5時間/週)、既習ページの復習・シャドーイングと音読(30分/日、約2.5時間/週)	川崎真理子
15	まとめ 運用能力目標達成度確認 (Achievement, proficiency)	テスト、まとめと運用能力確認、目標達成度確認 授業外学習:多読(15分/日、約1.5時間/週)	川崎真理子

科目名	疾病治療論（造血器・運動器）			授業科目番号	2209050
担当者氏名	山田 修、星野 正			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	必修	開講年次	2年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度、○2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力、○2-3 エビデンスに基づく看護実践力			

《授業の概要》

運動器疾患、神経疾患、造血器疾患の成り立ちと症状、検査、診断、治療について学び、看護実践に結びつけるための基礎とする。

（山田修/4回）白血病などの造血器疾患とその治療法としての化学療法や輸血療法、および放射線療法を学び、看護実践に結びつけるための基礎とする。

（星野正/4回）骨折などの筋・骨格器の障害、脊髄損傷などの神経障害による運動機能障害および放射線治療や麻酔療法について学び、看護実践の基礎知識とする。

《授業の到達目標》

別紙参照

《評価の方法》

〔造血器〕定期試験50％ レポート50％

〔運動器〕定期試験100％

《テキスト》

〔造血器〕『系統看護学講座 成人看護学[4] 血液・造血器』（飯野京子 他著 医学書院 2024年）

〔運動器〕『系統看護学講座 成人看護学[10] 運動器』（田中栄 他著 医学書院 2025年）

『系統看護学講座別巻 臨床外科看護総論』（池上徹、高橋則子編 医学書院 2023年）

《参考図書》

〔造血器〕『病気がみえる vol.5: 血液』（医療情報科学研究所編 Medic Media 2023年）

《履修上の留意点》

別紙参照

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	血液造血器の看護総論。血液の成分と機能、造血のしくみ、血液疾患に特徴的な症状・身体所見とその病態生理。血液疾患に対する検査。	P6～P52 血液疾患の看護にあたっての基本的なところがけを学修する。各種血液細胞の形態と機能。赤血球の機能、白血球の種類と機能。凝固と線溶。骨髄における造血幹細胞の増殖と血球分化の調節と仕組み。血液疾患を疑う症状や徴候。血液疾患診断のために必要な検査の種類とその診断的意義について学修する。	山田 修
2	血液疾患の治療の種類と原理。従来の化学療法の基本的原理と副作用。分子標的療法、造血幹細胞移植、支持療法の種類。	P52～P76 化学療法および抗がん剤の種類と作用機序。分子標的療法と遺伝子変化。造血幹細胞移植の種類とそれぞれの特徴及び適応。腫瘍免疫の種類と作用機序。血液疾患における支持療法の意義と種類について学修する。	山田 修
3	疾患の理解：赤血球系の異常に関する疾患。白血球系の異常：白血球数の増減と機能異常、造血器腫瘍の分類：急性白血病と骨髄異形成症候群	P78～P111 赤血球系の異常として各種貧血の原因と確定診断、鉄代謝と鉄欠乏性貧血、二次性貧血、汎血球減少症の鑑別と治療、溶血性貧血の原因と治療を学修。白血球系の異常として、白血球の機能異常と易感染性の関係、造血器腫瘍の分類とそれぞれの特徴、造血器腫瘍の中で最も種類の多い急性白血病の種類と治療法の違い、前白血病状態と考えられる骨髄異形成症候群の病態と治療方針を学修する。	山田 修
4	慢性骨髄性白血病の遺伝子異常の特徴と骨髄増殖性腫瘍の関係。慢性リンパ性白血病。悪性リンパ腫。骨髄腫。血小板の異常。凝固因子の異常。	P112～P144 慢性骨髄性白血病の細胞増殖に関わる遺伝子の理解、慢性骨髄増殖性腫瘍の種類と相互関係、悪性リンパ腫の分類と標準的治療、多発性骨髄腫の特徴、免疫性血小板減少症とピロリ菌感染の問題、血栓性血小板減少性紫斑病（TTP）と溶血性尿毒症症候群（HUS）の相違、血友病AとBの違い、後天性血友病の本質と治療、播種性血管内凝固症候群（DIC）の病態と治療を学修。	山田 修
5	運動器の構成（運動器の異常、ロコモティブシンドローム）	運動器を構成する器官の病態生理について講義形式で学習する。 （予習）運動器の構造と機能、病態生理についてテキストを読み、十分に理解しておく。 （復習）講義内容をノートにまとめる。	星野 正

科目名	疾病治療論（造血器・運動器）	授業科目番号	2209050
担当者氏名	山田 修、星野 正		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	運動器の診断、検査、治療 (画像診断、保存的治療、手術療法)	運動器疾患の診断、検査、治療法について講義形式で学習する。 (予習) 運動器疾患の診断、検査、治療法についてテキストを読み理解しておく。 (復習) 講義内容をノートにまとめる。	星野 正
7	骨粗鬆症と関連疾患 (診断、骨脆弱性骨折診断、治療)	骨粗鬆症の概要、関連骨折の診断、治療、現状について講義形式で学習する。 (予習) 骨粗鬆症とその関連骨折についてテキストを読み理解しておく。 (復習) 講義内容をノートにまとめる。	星野 正
8	麻酔法 (麻酔の目的、麻酔法の種類、骨折と治療法)	整形外科領域の麻酔と骨折について講義形式で学習する。 (予習) 麻酔法、骨折についてテキストを読み、理解しておく。 (復習) 講義内容をノートにまとめる。	星野 正
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

疾病治療論Ⅳ（造血器・運動器） シラバス別紙

授業の到達目標

〔造血器〕血液の中を流れている白血球、赤血球、血小板は元は一つの造血幹細胞に由来すること、それぞれの血球成分の働きとそれらが異常をきたす機序を分子レベルから学ぶ。治療について従来の抗がん剤治療だけでなく、分子標的薬、造血幹細胞移植、免疫細胞療法、遺伝子治療やそれらの応用であるCAR-T療法などの種類と概要を理解し、看護を実践する際に留意すべき点と結びつけるように学修すること。

〔運動器〕1. 運動器の構成を理解し、運動器疾患の検査、診断、治療を理解し説明できる。 2. 骨粗鬆症とそれに関連する障害について理解し、説明できる。 3. 麻酔法の種類について理解し説明できる。

評価の方法

〔造血器〕 定期試験50％ レポート50％

〔運動器〕 定期試験100％

テキスト

〔造血器〕『系統看護学講座 成人看護学[4] 血液・造血器』（飯野京子 他著 医学書院 2024年）

〔運動器〕『系統看護学講座 成人看護学[10] 運動器』（田中栄 他著 医学書院 2019年）

『系統看護学講座別巻 臨床外科看護総論』（池上徹、高橋則子編 医学書院 2023年）

参考図書

〔造血器〕『病気がみえる vol.5: 血液』（医療情報科学研究所編 Medic Media 2023年）

履修上の留意点

〔造血器〕教科書に沿って行うので必ず予習を行い専門用語に慣れておく。一読して講義に臨めば10倍血液学が面白くなる。復習で不確かな知識を確実にする。友人とのグループ学習は専門用語の習得に役立つ。疑問点があればメールで問い合わせを欲しい。自分の言葉で疾患の病態生理を説明できるようにする。

〔運動器〕本講義にあたり「人体の構造と機能」を理解しておく必要がある。講義で取り上げられない疾患、病態については各自の自習を推奨する。

《専門教育科目 専門基礎科目 疾病の成り立ちと回復の促進》

科目名	疾病治療論（脳神経・精神）			授業科目番号	2209060
担当者氏名	笠井 英世、渡部 和成			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	必修	開講年次	2年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度、○2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力、○2-3 エビデンスに基づく看護実践力			

《授業の概要》

脳神経疾患、精神疾患の成り立ち、症状、検査、診断、治療について学び、看護実践に結びつけるための基礎とする。

〔笠井英世/4回〕様々な原因による高次機能制御系障害について、検査、診断、治療法について学び、看護実践のための基礎知識を深める。手術療法の例を含めて学ぶ。

〔渡部和成/4回〕精神および行動障害疾患について学び、看護実践のための基礎知識とする。統合失調症などの疾患の他、ストレス関連障害、摂食障害、行動障害、依存症などを含む。

《授業の到達目標》

〔脳神経〕将来チーム医療の一員として、診断／治療方針について討論が出来る。そのためには、医学における共通言語の認知と理解が必須である。暗記を要することが多くなると思われる。しかし、英単語を知らずして英語で討論出来ないのと同様に、最低限の医学知識なしに討論は不可能である。奮闘を期待します。

〔精神〕精神疾患に関する知識を身に付け実際の精神医療で必要な看護実践力の基礎作りができることを目標に講義をする。

《評価の方法》

〔脳神経〕定期試験（看護国家試験形式に準拠した客観テストによる評価） 100％

〔精神〕定期試験100％

《テキスト》

〔脳神経〕『系統看護学講座 成人看護学[7] 脳・神経』（井手隆文 他著 医学書院 2024年）

〔精神〕『系統看護学講座 精神看護学[1] 精神看護の基礎』（武井麻子 著 医学書院 2021年）

《参考図書》

〔脳神経〕指定しない

〔精神〕『わかった！統合失調症のベスト治療』（渡部和成著 星和書店 2018年）

《履修上の留意点》

〔脳神経〕網羅される領域に対しての講義時間が圧倒的に不足しており、予習として「講義テキスト」において次回授業の該当項目を一読し、内容を把握しておく事。講義はパワーポイントを用いた授業形式で行われる。

〔精神〕科学的な眼と人間的な眼でもって講義を聴いて欲しい。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	1．脳／神経の構造と機能 2．症状と病態生理	1．神経系の解剖（中枢神経／末梢神経／自律神経）を理解し、その構造と役割を理解する。2．神経系が傷害された場合、障害部位に対応する症状の種類や特徴を理解する。また、症状の病態生理を理解してより適切な看護の実践につなげる。	笠井 英世
2	3．検査／診断と治療／処置 4．疾患の理解1（脊髄疾患／末梢神経障害）	3．神経疾患患者の診察に置いて、問診／病歴の聴取、神経診察の目的を学ぶ。画像検査、電気生理学的検査、脳脊髄液検査、生検など検査概要や目的、適応、禁忌を理解する。神経疾患の治療法を内科的治療法／外科的治療法について理解する。4．障害部位による疾患の分類を学ぶ。ついで血管障害、自己免疫、感染、変性など原因による疾患の分類と病態を学ぶ。（脊髄疾患／末梢神経障害）	笠井 英世
3	5．疾患の理解2（脳疾患＜脳卒中・脳腫瘍・頭部外傷など＞）	5．障害部位による疾患の分類を学ぶ。ついで血管障害、自己免疫、感染、変性など原因による疾患の分類と病態を学ぶ。（脳疾患＜脳卒中・脳腫瘍・頭部外傷など＞）	笠井 英世
4	6．疾患の理解3（筋疾患・神経接合部疾患／脱髄性疾患／変性疾患／感染症／中毒／てんかん／認知症）	6．障害部位による疾患の分類を学ぶ。ついで血管障害、自己免疫、感染、変性などによる疾患の分類と病態を学ぶ。（筋疾患・神経接合部疾患／脱髄性疾患／変性疾患／感染症／中毒／てんかん／認知症）	笠井 英世
5	精神医療・精神看護心得（精神医療総論）	精神の病と社会、精神医学の歴史、精神医療とは、の3テーマに分けてテキストを参照しながら講義する。テキストの第4，5，6，8章を中心に予習・復習するとよい。	渡部 和成

《専門教育科目 専門基礎科目 疾病の成り立ちと回復の促進》

科目名	疾病治療論（脳神経・精神）	授業科目番号	2209060
担当者氏名	笠井 英世、渡部 和成		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	統合失調症及び近縁疾患（知覚と思考の病気）	統合失調症とは、近縁疾患について、の2テーマに分けてテキストを参照しながら講義する。テキストの第4, 5, 6, 8章を中心に予習・復習するとよい。参考図書を読み最先端の臨床に触れることもして欲しい。	渡部 和成
7	気分障害及び神経症性障害（気分と不安の病気）	うつ病、双極性障害、神経症、の3テーマに分けてテキストを参照しながら講義する。テキストの第4, 5, 6, 8章を中心に予習・復習するとよい。	渡部 和成
8	パーソナリティ障害、発達障害、摂食障害、依存症、認知症BPSD（注意すべき病気）	パーソナリティ障害の種類、BPD、発達障害、摂食障害、依存症、認知症の種類とBPSD、の6テーマに分けてテキストを参照しながら講義する。テキストの第4, 5, 6, 8章を中心に予習・復習するとよい。	渡部 和成
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

《専門教育科目 専門基礎科目 疾病の成り立ちと回復の促進》

科目名	疾病治療論（婦人科、免疫・アレルギー・膠原病）			授業科目番号	2209100
担当者氏名	安田 雅子、中野 正明			実務経験のある教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	必修	開講年次	2年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力		2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度、○2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力、○2-3 エビデンスに基づく看護実践力			

《授業の概要》

女性生殖器及び免疫・アレルギー・膠原病の成り立ちと症状・検査・診断・治療について学び、看護実践に結び付けるための基礎とする。

（安田雅子/全4回）生殖器の疾患：子宮筋腫、子宮内膜症、卵巣腫、腫瘍：乳がん、子宮体癌、子宮頸がん、卵巣がん、月経異常：無月経、月経困難症、黄体機能不全、不妊症、更年期障害、閉経後障害（骨粗鬆症・動脈硬化・認知症等）などの女性特有の疾患について学ぶ。（中野正明/全4回）アレルギー反応、アレルギー性鼻炎、全身性エリテマトーデス（SLE）、シェングレン症候群、減感作療法、皮膚疾患（アトピー性皮膚炎など）含む、アナフィラキシーショック、気管支喘息（小児期からの病態と治療）などである。

《授業の到達目標》

〔婦人科〕作成中

〔免疫〕免疫異常としての自己免疫（膠原病）、アレルギーの疾患概念を理解し、さらに自己免疫疾患と膠原病との関係も説明できる。膠原病・アレルギー疾患の検査について理解し、説明できる。各種膠原病の症状、診断、治療法について理解し、説明できる。各種アレルギー疾患の症状、治療法について理解し、説明できる。

《評価の方法》

〔婦人科〕作成中

〔免疫〕定期試験(70%)、授業後の小テスト(20%)、授業への受講態度他(10%)により、総合的に評価する。

《テキスト》

〔婦人科〕調整中

〔免疫〕特になし。PPTの配布資料がある。

《参考図書》

〔免疫〕『系統看護学講座 専門分野 アレルギー 膠原病 感染症』（医学書院）『病気がみえる vol.6 免疫・膠原病・感染症』（Medic Media）

《履修上の留意点》

〔免疫〕配布資料などにより、十分に復習して、授業内容を確実に理解するように努めること。

《備考》

〔免疫〕オフィスアワーは授業の前後である。メールアドレスは、manakano@nagachu.jp である。

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	作成中	作成中	安田 雅子
2	作成中	作成中	安田 雅子
3	作成中	作成中	安田 雅子
4	作成中	作成中	安田 雅子
5	(1) 免疫と疾患、アレルギー疾患の病態と検査	免疫異常としてのアレルギー疾患、自己免疫疾患の理解。アレルギー疾患の分類とその特徴の理解。アレルギー疾患関連の検査についての理解。	中野 正明

《専門教育科目 専門基礎科目 疾病の成り立ちと回復の促進》

科目名	疾病治療論（婦人科、免疫・アレルギー・膠原病）	授業科目番号	2209100
担当者氏名	安田 雅子、中野 正明		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	(2) アレルギー疾患各論、自己免疫疾患としての膠原病の疾患概念。	気管支喘息、アレルギー性鼻炎、食物アレルギー、アトピー性皮膚炎、アナフィラキシー、蕁麻疹、薬物アレルギーの疾患概念の理解。自己免疫疾患、結合組織病、リウマチ性疾患の各疾患概念と膠原病の位置づけの理解。	中野 正明
7	(3) 膠原病各論	関節リウマチ、全身性エリテマトーデス、強皮症、多発筋炎・皮膚筋炎の疾患概念と治療	中野 正明
8	(4) 膠原病各論	シェーグレン症候群、抗リン脂質抗体症候群、混合性結合組織病、ベーチェット病、血管炎症候群、成人発症スティル病、リウマチ性多発筋痛症の疾患概念と治療	中野 正明
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

科目名	保健統計学			授業科目番号	2210010
担当者氏名	鈴木 翼			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	2年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		○4-1 看護学を探究する意欲，○4-2 看護を追究する基礎的研究能力，5-1 地域・ 国際社会の健康ニーズを理解する力			

《授業の概要》

保健統計に関する統計情報として、人口の静態統計、動態統計、生命表などの人口統計の基礎について学ぶ。また基幹統計の意味、国勢調査や人口動態調査、国民生活調査、国民健康・栄養調査や感染症発生動向調査などの既存の資料を素材にして各種データの読み取り方を学ぶ。またそれらの、保健医療情報の収集の方法と実際を学ぶとともに、保健医療情報に関する法令・指針・原則についても学び、実際の現場で保健医療情報を活用できる基礎的能力を養う。

《授業の到達目標》

1. 保健医療の現場での問題解決力を養うための基幹統計や各種統計資料の収集方法、データの読み取り・加工・解釈について説明できる。
2. 保健医療情報を収集・取り扱うにあたって必要となる法令・指針、またプライバシーや個人情報等の倫理的事項について説明できる。

《評価の方法》

定期試験80%（到達目標1,2）、グループ課題に対するレポート20%（到達目標1）レポートはグループ（A4 3枚程度）と個人（A4 1枚）それぞれで提出、統計調査を用いた課題設定と資料収集、データの解釈、グループへの貢献に対し評価する。

《テキスト》

- 『はじめて学ぶやさしい疫学 改訂第4版』第13～18章（日本疫学会監修 南江堂 2024年）
- 『国民衛生の動向 2024/2025』（厚生労働統計協会編 厚生労働統計協会 2024年）

《参考図書》

- 『健康を食い物にするメディアたち』（朽木誠一郎著 ディスカヴァー・トゥエンティワン社 2018年）
- 『世界一わかりやすい「医療政策」の教科書』（津川友介著 医学書院 2020年） その他講義内で紹介する。

《履修上の留意点》

グループ課題に対するレポートに対して、課題発表会時に講評を行う。テキストや講義で知識を学ぶことに加えて、実際にデータを触って知識を定着させること、またニュースやネット等でも統計に関する記事に積極的に触れ関心を持つことが望まれる。

《備考》

保健師教育課程必修科目

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	保健統計学概論 （医療情報の利活用、健康情報 の見極め方）	統計学を学ぶ意義について理解する。統計調査の基本的な方法論、信頼 できる健康情報の見極め方を習得する。 （予習）政府統計の総合の窓口（e-stat）のホームページで国が行う統 計調査の概要を調べる。（30分） （復習）講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。（90分）	鈴木 翼
2	基本的な統計データの読み方 （尺度、基本統計量、相関と 回帰、母集団、疫学的因果関 係）	統計データの種類や性質を表す基本的な用語を理解する。また、統計デ ータを正しく表現・解釈するための技法を習得する。 （予習）テキスト第14章を読む。（30分） （復習）講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。（90分）	鈴木 翼
3	人口統計 （人口ピラミッド、将来推計 人口、国勢調査）	保健統計の最も基本となる人口統計のうち、人口静態統計について、そ の調査法と特徴、データの読み取り方を習得する。 （予習）テキスト第16章-Aを読む。国民衛生の動向やe-statで該当する 統計調査について調べる。（30分） （復習）講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。e-statで 調査の実データに触れてみる。（90分）	鈴木 翼
4	人口統計 （出生率、死亡率、死因統計 、生命表、平均寿命、健康寿 命）	保健統計の最も基本となる人口統計のうち、人口動態統計について、そ の調査法と特徴、データの読み取り方を習得する。 （予習）テキスト第15章、第16章-Bを読む。国民衛生の動向やe-statの ホームページで該当する統計調査について調べる。（30分） （復習）講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。e-statで 調査の実データに触れてみる。（90分）	鈴木 翼
5	保健医療に関わる基幹統計 （国民生活基礎調査、患者調 査）	保健医療に関わる基幹統計（国民生活基礎調査、患者調査）について、 その調査法と特徴、データの読み取り方を習得する。 （予習）テキスト第16章-D,Eを読む。国民衛生の動向やe-statで該当す る統計調査について調べる。（30分） （復習）講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。e-statで 調査の実データに触れてみる。（90分）	鈴木 翼

科目名	保健統計学	授業科目番号	2210010
担当者氏名	鈴木 翼		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	保健医療に関わる基幹統計 (医療施設調査、学校保健統計調査、社会生活基本調査)	保健医療に関わる基幹統計(医療施設調査、学校保健統計調査、社会生活基本調査)について、その調査法と特徴、データの読み取り方を習得する。 (予習)国民衛生の動向やe-statで該当する統計調査について調べる。 (30分) (復習)講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。e-statで調査の実データに触れてみる。(90分)	鈴木 翼
7	厚生労働統計 (国民健康・栄養調査、地域保健・健康増進事業報告、全国在宅障害児・者等実態調査、介護保険事業状況報告)	保健医療に関わる基礎的な統計(国民健康・栄養調査等)について、その調査法と特徴、データの読み取り方を習得する。 (予習)テキスト第16章-Cを読む。国民衛生の動向やe-statで該当する統計調査について調べる。(30分) (復習)講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。e-statで調査の実データに触れてみる。(90分)	鈴木 翼
8	疾病・障害の定義と分類/医療経済統計 (国際疾病分類、国際生活機能分類、国民医療費)	疾病・障害を定義・分類する方法について理解する。医療経済に関わる統計について、その調査法と特徴、データの読み取り方を習得する。 (予習)テキスト第16章-Fを読む。国民衛生の動向やe-statで該当する統計調査について調べる。(30分) (復習)講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。e-statで調査の実データに触れてみる。(90分)	鈴木 翼
9	医療情報に関する法令・指針・原則/活用可能なデータベースの基本 (個人情報保護、研究倫理、セキュリティ、データヘルス計画)	保健医療情報を扱う上で必要となる、個人情報保護、情報公開とセキュリティ、研究倫理等を習得する。 (予習)テキスト第13,17,18章を読む。(30分) (復習)講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。(90分)	鈴木 翼
10	保健医療分野での地理情報システム(GIS)の活用 (地理情報システム(GIS)、空間的思考)	保健医療はじめ各分野で急速に利活用が進む地理情報システムについて、その概要や利点を学び、データを空間的に捉える考え方を理解する。 (予習)保健医療分野での地理情報システム利用の実例について調べる。(30分) (復習)講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。(90分)	鈴木 翼
11	保健統計各論 (地域保健と統計、災害・救急医療と統計)	地域保健(生活習慣病、高齢者保健、介護)や、災害・救急医療に関連する各種統計を提示し、データの読み取り方や解釈を通して理解を深める。 (予習)地域保健や災害・救急医療に関わる統計調査について調べる。(30分) (復習)講義スライド・ウェブサイトを開覧して知識を定着させる。データに触れ、自分なりにまとめて考えを深める。(90分)	鈴木 翼
12	保健統計各論 (がんと統計、感染症と統計、学校保健と統計)	がん、感染症、学校保健に関連する各種統計を提示し、データの読み取り方や解釈を通して理解を深める。 (予習)がん、感染症、学校保健に関わる統計調査について調べる。(30分) (復習)講義スライド・ウェブサイトを開覧して知識を定着させる。データに触れ、自分なりにまとめて考えを深める。(90分)	鈴木 翼
13	保健統計各論 (精神保健と統計、母子保健と統計、産業保健と統計)	精神保健、母子保健、産業保健に関連する各種統計を提示し、データの読み取り方や解釈を通して理解を深める。 (予習)精神保健、母子保健、産業保健に関わる統計調査について調べる。(30分) (復習)講義スライド・ウェブサイトを開覧して知識を定着させる。データに触れ、自分なりにまとめて考えを深める。(90分)	鈴木 翼
14	グループ課題発表会 (医療情報の利活用)	小グループに分かれ、あらかじめ各々が設定した課題に沿って、適切な統計調査の検索、データの加工と解釈を行ってまとめ、学生間相互で発表する。ディスカッションを通じて課題解決能力を養う。 (予習)1~13回までの資料を読み返す。発表内容をまとめる。(60分) (復習)他グループの発表やディスカッション内容を振り返り考えをまとめる。(60分)	鈴木 翼
15	グループ課題発表会 (医療情報の利活用)	小グループに分かれ、あらかじめ各々が設定した課題に沿って、適切な統計調査の検索、データの加工と解釈を行ってまとめ、学生間相互で発表する。ディスカッションを通じて課題解決能力を養う。 (予習)1~13回までの資料を読み返す。発表内容をまとめる。(60分) (復習)他グループの発表やディスカッション内容を振り返り考えをまとめる。(60分)	鈴木 翼

科目名	疫学			授業科目番号	2210050
担当者氏名	鈴木 翼			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	選択	開講年次	2年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		○ 2-3 エビデンスに基づく看護実践力、 5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力、 ○ 5-2 地域社会に貢献する態度			

《授業の概要》

地域での根拠に基づく保健医療の現場の看護活動のために、疫学概念と考え方や方法を学ぶ。疫学とは何か、疫学がどのように疾病予防に貢献してきたかを学ぶ。そのうえで、集団の健康状態の把握のための指標について、疾病頻度の指標・暴露効果の指標・寄与危険などについて学ぶとともに、疫学的方法についてや、スクリーニング、対象別、疾患別疫学の特徴などを学ぶ。統計分析法、公衆衛生学、保健統計学と関連させて学ぶ。

《授業の到達目標》

- 1. 根拠に基づく保健看護活動を実践するために、疫学概念と考え方を習得する。
- 2. 疾病頻度の指標、曝露の指標、因果関係、交絡など、集団の健康状態を表す指標について説明できる。
- 3. コホート研究、症例対照研究、介入研究など、疫学調査の種類やその意義・利点と限界について説明できる。
- 4. 各領域で用いられる疫学の実例を学び、関心を深める。

《評価の方法》

定期試験80%（到達目標1,2,3,4）、レポート20%（到達目標2,3,4）レポート課題は講義の中で提示する。A4 2～3枚程度。疫学調査法への理解、文献の読み取りと解釈に対し評価する。

《テキスト》

『はじめて学ぶやさしい疫学 改訂第4版』第1～12,19章（日本疫学会監修 南江堂 2024年）
（保健統計学と同一のテキストを使用する。）

《参考図書》

『疫学 新型コロナ論文で学ぶ基礎と応用』（坪野吉孝著 勁草書房 2021年）
『データ栄養学のすすめ』（佐々木敏著 女子栄養大学出版部 2018年） その他講義内で紹介する。

《履修上の留意点》

集団の健康を扱う疫学の基本的な考え方を習得するために、テキストや講義で知識を学ぶことに加えて、実際に手を動かして計算を行うなど関心を持って講義に臨むことが望まれる。疫学指標の計算を扱うため、電卓の持参を推奨する。レポートはコメントと共に返却する。

《備考》

保健師教育課程必修科目

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	疫学概論 （疫学の3要素、疫学の歴史、曝露と危険因子、因果関係）	授業ガイダンス 疫学の歴史や基本的事項を通じて、疫学を学ぶ意義と考え方、因果関係について理解する。 （予習）テキスト第1～2章、第10章を読む。（30分） （復習）講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。（90分）	鈴木 翼
2	疾病と曝露の指標 （割合・比・率、罹患率と有病率、年齢調整死亡率、標準化死亡率）	疫学で頻用する指標（割合・比・率、罹患率と有病率、年齢調整死亡率、標準化死亡率等）について、計算方法とその意義を理解する。 （予習）テキスト第3章-Aを読む。（30分） （復習）講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。（90分）	鈴木 翼
3	疾病と曝露の指標 （相対危険と寄与危険、オッズ比）	疫学で頻用する指標（相対危険と寄与危険、オッズ比、集団の設定等）について、計算方法とその意義を理解する。 （予習）テキスト第3章-Bを読む。前回の講義スライドを再読する。（30分） （復習）講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。（90分）	鈴木 翼
4	疫学調査法 （集団の設定、記述疫学、生態学的研究、横断研究）	疫学研究を行うために必要な対象選択や標本抽出の方法について理解する。疫学調査（記述疫学、生態学的研究、横断研究）の種類やその意義・利点と限界について、研究の実例提示を交えて理解を深める。 （予習）テキスト第4～5章、第6章-1を読む。（30分） （復習）講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。（90分）	鈴木 翼
5	疫学調査法 （症例対照研究、コホート研究）	疫学調査（症例対照研究、コホート研究）の種類やその意義・利点と限界について、研究の実例提示を交えて理解を深める。 （予習）テキスト第6章-2、3を読む。（30分） （復習）講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。（90分）	鈴木 翼

科目名	疫学	授業科目番号	2210050
担当者氏名	鈴木 翼		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	疫学調査法 (介入研究、システマティックレビュー)	疫学調査(介入研究、システマティックレビュー)の種類やその意義・利点と限界について、研究の実例提示を交えて理解を深める。 (予習)テキスト第7～8章を読む。(30分) (復習)講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。(90分)	鈴木 翼
7	疫学調査法 (バイアス、交絡因子)	疫学調査に影響を及ぼすバイアスと交絡因子について、研究の実例提示を交えて理解を深める。 (予習)テキスト第9章を読む。(30分) (復習)講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。(90分)	鈴木 翼
8	スクリーニング (感度、特異度、検査の信頼性)	スクリーニング調査の意義やその実例、スクリーニングで用いられる用語について実例提示を交えて理解を深める。 (予習)テキスト第11章を読む。(30分) (復習)講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。(90分)	鈴木 翼
9	疫学調査の実際 (調査法の種類、質問紙の作成)	疫学調査を実際に行う際に考慮しておきたい事項について、実際の疫学調査の質問紙を参照しながら理解を深める。 (予習)テキスト第12章を読む。(30分) (復習)講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。(90分)	鈴木 翼
10	各論 (生活習慣病の疫学、難病の疫学)	各分野で行われている疫学研究の実例を提示し、研究結果の読み取り方や解釈を通して関心と理解を深める。 (予習)日本生活習慣病予防協会のホームページ(https://seikatsusyukanbyo.com/)で、生活習慣病に関する統計調査や危険因子について調べる。(30分) (復習)講義スライド・参考図書を再読し知識を定着させる。(90分)	鈴木 翼
11	各論 (がんの疫学、母子保健の疫学)	各分野で行われている疫学研究の実例を提示し、研究結果の読み取り方や解釈を通して関心と理解を深める。 (予習)国立がん研究センターがん情報サービスのホームページ(https://ganjoho.jp/)で、がんに関する統計調査や危険因子について調べる。(30分) (復習)講義スライド・参考図書を再読し知識を定着させる。(90分)	鈴木 翼
12	各論 (感染症疫学、栄養疫学)	各分野で行われている疫学研究の実例を提示し、研究結果の読み取り方や解釈を通して関心と理解を深める。 (予習)テキスト第19章-1、4を読む。(30分) (復習)講義スライド・参考図書を再読し知識を定着させる。(90分)	鈴木 翼
13	各論 (社会疫学・政策疫学、臨床疫学、災害の疫学)	各分野で行われている疫学研究の実例を提示し、研究結果の読み取り方や解釈を通して関心と理解を深める。 (予習)テキスト第19章-5を読む。(30分) (復習)講義スライド・参考図書を再読し知識を定着させる。(90分)	鈴木 翼
14	計算問題演習	第1～13回までに扱った各種疫学指標について、計算問題演習を通じて理解を深める。 (予習)第1～13回の講義資料等を再読する。(30分) (復習)講義資料を再読し知識を定着させる。(90分)	鈴木 翼
15	まとめ	一連の講義を総括して知識を整理し、今後の保健医療活動に疫学の知識をどのように活用するか考えを深める。 (予習)第1～13回の講義資料等を再読する。(30分) (復習)保健医療現場での疫学の活用について考えをまとめておく。(90分)	鈴木 翼

《専門教育科目 専門科目 看護の基本》

科目名	基礎看護学実習			授業科目番号	2311080
担当者氏名	大平 富美、樋本 まゆみ、大崎 美奈子、田口 めぐみ			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	実習	単位	2単位	時間	90時間
必・選	必修	開講年次	2年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		○1-2 人間の尊厳・権利を尊重する力、 2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度、 ○2-3 エビデンスに基づく看護実践力			

《授業の概要》

療養している対象者を一人受け持ち、対象者や家族と援助の人間関係を深め、対象者の生活における基本的ニーズの観点から情報収集、アセスメント、計画立案という看護の系統的思考過程の展開を学ぶ。看護を科学的根拠を持って実践することで看護実践の基礎を身につける。また、実習を通して責任ある行動・態度を習得する。

位置づけ：本科目は看護学概論、基礎看護技術演習 ・ ・ 、看護援助論の内容を統合する。

《授業の到達目標》

1．患者と援助の人間関係を築くことができる。 2．患者の状態に応じて適切に情報を収集することができる。3．入院生活および健康障害、治療が患者に及ぼす影響について理解できる。 4．患者の個別性に沿った看護計画を立案できる。 5．患者の状態に応じて安全・安楽・自立を考えながら日常生活援助を実践できる。 6．実習を通して学んだことを振り返り自己の課題を明らかにすることができる。7．実習を通して責任ある行動・態度を理解することができる。

《評価の方法》

実習内容および実習記録を実習評価表で評価する。(到達目標1～7)

実習中、実習後に評価表を用いて個別面談を行う。

《テキスト》

《参考図書》

看護援助論および基礎看護学で使用した教科書、資料を積極的に活用すること。

《履修上の留意点》

本実習に関連したスケジュールには全て出席することを原則とする。 実習要項を熟読して実習に臨むこと。 常に相手の立場を考え、人間尊重、人権擁護、秘密の保持、安全への配慮、倫理面への配慮を十分に行い実習すること。 実習共通要項に従った見だしなみ、準備、態度を実習参加の条件とする。

《備考》

1．実習期間：2週間 2．実習場所：病院 3．実習内容：実習要項参照

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	1日目 (学内実習)	学内実習 < 予習 > 事前に提示された課題に取り組む。(120分) < 復習 > 実習での学びを整理する(120分)	大平 富美 樋本まゆみ 大崎美奈子 田口めぐみ 他
2	2日目 (臨地実習)	2日目から8日目まで、患者を1人受持ち看護過程を展開する。(途中、1日学内実習を行う) 情報収集、アセスメント、看護計画の立案を行う。 < 予習 > 患者の理解や、看護援助に必要な課題に取り組む(120分) < 復習 > 実習での学びを整理する(120分)	大平 富美 樋本まゆみ 大崎美奈子 田口めぐみ 他
3	3日目 (臨地実習)	2日目から8日目まで、患者を1人受持ち看護過程を展開する。(途中、1日学内実習を行う) 情報収集、アセスメント、看護計画の立案を行う。 < 予習 > 患者の理解や、看護援助に必要な課題に取り組む(120分) < 復習 > 実習での学びを整理する(120分)	大平 富美 樋本まゆみ 大崎美奈子 田口めぐみ 他
4	4日目 (臨地実習)	2日目から8日目まで、患者を1人受持ち看護過程を展開する。(途中、1日学内実習を行う) 情報収集、アセスメント、看護計画の立案を行う。 < 予習 > 患者の理解や、看護援助に必要な課題に取り組む(120分) < 復習 > 実習での学びを整理する(120分)	大平 富美 樋本まゆみ 大崎美奈子 田口めぐみ 他
5	5日目 (臨地実習)	2日目から8日目まで、患者を1人受持ち看護過程を展開する。(途中、1日学内実習を行う) 情報収集、アセスメント、看護計画の立案を行う。 < 予習 > 患者の理解や、看護援助に必要な課題に取り組む(120分) < 復習 > 実習での学びを整理する(120分)	大平 富美 樋本まゆみ 大崎美奈子 田口めぐみ 他

《専門教育科目 専門科目 看護の基本》

科目名	基礎看護学実習	授業科目番号	2311080
担当者氏名	大平 富美、樋本 まゆみ、大崎 美奈子、田口 めぐみ		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	6日目 (臨地実習)	2日目から8日目まで、患者を1人受持ち看護過程を展開する。(途中、1日学内実習を行う) 情報収集、アセスメント、看護計画の立案を行う。 <予習> 患者の理解や、看護援助に必要な課題に取り組む(120分) <復習> 実習での学びを整理する(120分)	大平 富美 樋本まゆみ 大崎美奈子 田口めぐみ 他
7	7日目 (臨地実習)	2日目から8日目まで、患者を1人受持ち看護過程を展開する。(途中、1日学内実習を行う) 情報収集、アセスメント、看護計画の立案を行う。 <予習> 患者の理解や、看護援助に必要な課題に取り組む(120分) <復習> 実習での学びを整理する(120分)	大平 富美 樋本まゆみ 大崎美奈子 田口めぐみ 他
8	8日目 (臨地実習)	2日目から8日目まで、患者を1人受持ち看護過程を展開する。(途中、1日学内実習を行う) 情報収集、アセスメント、看護計画の立案を行う。 <予習> 患者の理解や、看護援助に必要な課題に取り組む(120分) <復習> 実習での学びを整理する(120分)	大平 富美 樋本まゆみ 大崎美奈子 田口めぐみ 他
9	9日目 (学内実習)	学内実習 <予習> 事前に提示された課題に取り組む、実習での学びを振り返る(120分) <復習> 実習での学びを振り返り、自己の課題を明確にする。(120分)	大平 富美 樋本まゆみ 大崎美奈子 田口めぐみ 他
10			
11			
12			
13			
14			
15			

《専門教育科目 専門科目 生涯発達と看護》

科目名	成人看護援助論			授業科目番号	2312040
担当者氏名	広井 貴子、目黒 優子			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	演習	単位	1単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	2年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力、○2-3 エビデンスに基づく看護実践力、○3-2 多職種と連携・協働する力			

《授業の概要》

成人看護援助に必要な技術について、科学的根拠を確認しながらより実践的に学ぶ。

成人看護援助論、で学習した看護技術や看護援助過程について実践的に学習する。成人看護学実習の事前学習として手術からの回復期の看護を含む周手術期の看護援助技術の習得、および慢性疾患をもつ対象者に対するセルフマネジメントにつながる健康支援について、より具体的で実践的に演習を行うことによって学ぶ。

《授業の到達目標》

1. 看護過程の基礎的知識、看護理論と看護過程の関係性について述べることができる。
2. 事例をとらえて機能障害における看護実践を行うことができる。

《評価の方法》

定期試験60%（到達目標1,2）、レポート20%（到達目標1,2）、演習参加態度20%（到達目標1,2）

《テキスト》

1. 『ヘンダーソン・ゴードンの考えに基づく実践看護アセスメント』（渡邊トシ子編 ニューヴェルヒロカワ 2011年）
2. 『成人看護学 急性期看護（改訂第4版）』（林直子、佐藤まゆみ編 南江堂 2023年）
3. 『看護診断ハンドブック 第12版』（リンダ J. カルペニート著 医学書院 2023年）

《参考図書》

《履修上の留意点》

演習では、各チームで話し合い、それを基にして実施します。チーム内で各人が役割を果たすためには、個人の事前学習が大切になります。チーム内で協力して演習を行いましょう。4～15コマ目は、2つのクラスに分かれ、慢性期演習（6コマ）、急性期演習（6コマ）をそれぞれ行います。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	【合同講義】授業ガイダンス 機能的健康パターンの枠組み (看護過程)	ゴードンの機能的健康パターンに基づくアセスメントガイドの構成 (予習) 看護過程の意義・目的 看護過程と看護理論の関係(30分) (復習) パターンの枠組みの内容について(30分)	広井 貴子 目黒 優子
2	【合同講義】看護過程における看護診断 (看護診断)	・看護過程における看護診断について(看護過程における看護診断の位置づけ、看護診断の3つのタイプの特徴、看護診断を構成する要素) (予習) 看護過程の構成要素についてまとめる(30分) (復習) 看護診断の3つのタイプの特徴、看護診断を構成する要素をまとめる(30分)	目黒 優子 広井 貴子
3	【合同講義】看護過程を活用するために必要な基礎的スキル アセスメント(スクリーニング・アセスメント、フォーカス・アセスメント)	・看護過程の展開・アセスメントの進め方について(情報収集の基本、スクリーニング・アセスメント、フォーカス・アセスメント、仮の看護診断の抽出・検証、看護診断の決定) (予習) スクリーニング・アセスメントとフォーカス・アセスメントの違いについてまとめる(30分)(復習) 授業内で挙げた看護診断名の定義・診断指標・関連因子・危険因子を整理する(30分)	目黒 優子 広井 貴子
4	【慢性期演習】アクティブラーニング(A氏の看護診断過程)	・2型糖尿病の一般的な病態関連図 グループ間での発表、主観的情報/客観的情報の区別、面接技法について・事例(A氏): 壮年期、男性、2型糖尿病: ゴードンの機能的健康パターンに基いたの情報収集・整理、パターンごとの分析、仮の診断、不足の情報 (予習) 型糖尿病の病態生理、治療、看護についてまとめる(30分) (復習) 段階を追ったアセスメントの展開とは何かを整理する(30分)	目黒 優子 広井 貴子
5	【慢性期演習】アクティブラーニング(A氏の看護診断過程)	・2型糖尿病の一般的な病態関連図 グループ間での発表、主観的情報/客観的情報の区別、面接技法について・事例(A氏): 壮年期、男性、2型糖尿病: ゴードンの機能的健康パターンに基いたの情報収集・整理、パターンごとの分析、仮の診断、不足の情報 (予習) 型糖尿病の病態生理、治療、看護についてまとめる(30分) (復習) 段階を追ったアセスメントの展開とは何かを整理する(30分)	目黒 優子 広井 貴子

科目名	成人看護援助論	授業科目番号	2312040
担当者氏名	広井 貴子、目黒 優子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	【慢性期演習】アクティブラーニング(A氏の看護診断過程)	・事例(A氏)情報収取から不足の情報について、ゴードンの機能的健康パターンの全パターン毎に情報を整理する。A氏に 不足の情報 について、問診・視診・触診を実施して必要な情報を収集する。結論・仮の診断を検証する。(予習)ゴードンの機能的健康パターン毎の情報収集の視点(30分) (復習)演習内で全体討議ができなかった残りのパターンについて各自で結論を導き出しておく(30分)	目黒 優子 広井 貴子
7	【慢性期演習】アクティブラーニング(A氏の看護診断過程)	・事例(A氏)情報収取から不足の情報について、ゴードンの機能的健康パターンの全パターン毎に情報を整理する。A氏に 不足の情報 について、問診・視診・触診を実施して必要な情報を収集する。結論・仮の診断を検証する。(予習)ゴードンの機能的健康パターン毎の情報収集の視点(30分) (復習)演習内で全体討議ができなかった残りのパターンについて各自で結論を導き出しておく(30分)	目黒 優子 広井 貴子
8	【慢性期演習】アクティブラーニング(A氏の看護診断過程)	・事例(A氏)看護診断の確定、優先順位、看護の方向性、問題リスト、期待される成果について ・事例(A氏)演習のまとめ (予習)優先順位を決定する根拠とは(30分) (復習)看護診断過程について、2型糖尿病患者の看護(30分)	目黒 優子 広井 貴子
9	【慢性期演習】アクティブラーニング(A氏の看護診断過程)	・事例(A氏)看護診断の確定、優先順位、看護の方向性、問題リスト、期待される成果について ・事例(A氏)演習のまとめ (予習)優先順位を決定する根拠とは(30分) (復習)看護診断過程について、2型糖尿病患者の看護(30分)	目黒 優子 広井 貴子
10	【急性期演習】 (周手術期の看護援助技術)	チーム検討を行う：看護介入する必要があることがらについて 事例について術後の自立にむけた看護援助 (予習)変形性股関節症(疾患、症状、検査、治療、看護など) 事例の発達段階について 事例の個別性について(30分) (復習)テキスト並びに配布した資料を読み返す(30分)	広井 貴子 目黒 優子
11	【急性期演習】 (周手術期の看護援助技術)	チーム検討を行う：看護介入する必要があることがらについて 事例について術後の自立にむけた看護援助 (予習)変形性股関節症(疾患、症状、検査、治療、看護など) 事例の発達段階について 事例の個別性について(30分) (復習)テキスト並びに配布した資料を読み返す(30分)	広井 貴子 目黒 優子
12	T B Lによる学習：実施・チーム検討 (周手術期の看護援助技術)	チーム検討を行う：看護介入する必要があることがらについて 事例について術後の自立にむけた看護援助 (予習)変形性股関節置換術を受けた人の看護について 退院後の生活について(30分) (復習)テキスト並びに配布した資料を読み返す(30分)	広井 貴子 目黒 優子
13	【急性期演習】 (周手術期の看護援助技術)	チーム検討を行う：看護介入する必要があることがらについて 事例について術後の自立にむけた看護援助 (予習)変形性股関節置換術を受けた人の看護について 退院後の生活について(30分) (復習)テキスト並びに配布した資料を読み返す(30分)	広井 貴子 目黒 優子
14	【急性期演習】患者の状態にあわせた自立への援助 (手術からの回復期の看護)	事例について術後の自立にむけた看護援助について各チームの学びを共有する (予習)手術からの回復期の看護(30分) (復習)テキスト並びに配布した資料を読み返す(30分)	広井 貴子 目黒 優子
15	【急性期演習】患者の状態にあわせた自立への援助 (手術からの回復期の看護)	事例について術後の自立にむけた看護援助について各チームの学びを共有する (予習)手術からの回復期の看護(30分) (復習)テキスト並びに配布した資料を読み返す(30分)	広井 貴子 目黒 優子

科目名	老年看護援助論			授業科目番号	2312090
担当者氏名	青柳 直樹、角山 裕美子、多田 健一、袖山 悦子			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	2年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		○2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度、2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力、○2-3 エビデンスに基づく看護実践力			

《授業の概要》

老年期にある対象の加齢変化とアセスメントの特徴、また加齢変化に伴う生活機能上の課題と高齢者特有の疾患に対する看護に必要な知識・技術について学ぶ。また、高齢者の家族ケアや地域の社会資源を活用した援助について学ぶ。高齢者の倫理的課題についても考察する。

《授業の到達目標》

1. 高齢者の加齢変化とアセスメントの特徴、また加齢変化に伴う生活機能上の課題が説明できる。 2. 高齢者特有の疾患とその看護が説明できる。 3. 高齢者の倫理上の課題について自己の考えが表現できる。 4. 高齢者の治療上の特徴と看護が説明できる。 5. 高齢者の日常生活を支える看護が説明できる。 6. 治療・介護を必要とする高齢者の家族への看護の必要性が表現できる。

《評価の方法》

レポート:15% (到達目標1,3,5,6) 小テスト:15% (到達目標2)

定期試験:70% (到達目標1,2,3,4,5,6)

《テキスト》

- 『系統看護学講座 老年看護学』（北川公子 他著 医学書院 2025年）【2年次購入】
- 『系統看護学講座 老年看護 病態・疾患論』（鳥羽研二 他著 医学書院 2025年）

《参考図書》

『実践！ 高齢者のフィジカルアセスメント』（角濱春美著 メディカ出版 2017年） ほか授業で資料配布、参考図書紹介

《履修上の留意点》

実施した小テスト、レポートに関しては、評価を加え定期試験前に返却しフィードバックを行う。

重要な関連科目と科目の位置づけ：1年次の専門基礎科目に加え、2年次前期開講科目の老年看護学概論の履修を通して高齢者の理解から高齢者観の醸成につながる。特に老年看護学概論は、この科目で重要な関連科目である。

《備考》

先習科目：1年次の基礎教育科目、専門教育科目のほか、2年次前期の老年看護学概論である。

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	授業ガイダンス 生活機能・目標志向型思考の 老年看護 ヘルスアセスメン ト(ヘルスアセスメント、 生活行動モデル、目標志向型 思考)	授業概要、評価方法 ・生活機能・目標志向型思考の老年看護の考え方 ・ヘルスアセスメント(感覚器) (予習)テキスト1のPP.86～102、PP.408～410を熟読し、まとめる(120分)。(復習)授業や資料を振り返り、高齢者のアセスメント方法について整理する(120分)。	青柳 直樹
2	呼吸・循環機能障害のある高 齢者の看護 (肺炎、COPD、高血圧、心不 全)	・呼吸器系、循環器系の老化 ・老年期に起こりやすい呼吸器系疾患 (肺炎・COPD)と看護 ・老年期に起こりやすい循環器系疾患(高血 圧・心不全)と看護 (予習)テキスト2のPP.34～36、PP.164～186を熟読し、まとめる(120分) (復習)授業や資料を振り返り、高齢者の呼吸器系・循環器系の加齢変化 、疾患についてと看護について整理する(120分)【小テスト 3点】	青柳 直樹
3	脳・神経障害のある高齢者の 看護 (認知症、BPSD、うつ、せん 妄)	・認知症増加の背景 ・認知症の診断と治療 ・認知症の評価と看護 ・BPSD、うつ、せん妄と看護 (予習)テキスト1:PP296-315,P391,テキスト2:PP26-30,PP135-149, PP300-302,P312を熟読し、まとめる(120分)。 (復習)授業を振り返り、今後の認知症の看護についてまとめる(120 分)。【小テスト:3点】	袖山 悦子
4	脳血管障害・神経系疾患のある 高齢者の看護 排泄を支える看護 (脳梗塞、脳出血、慢性硬膜 下血種、尿失禁、尿路感染症)	・老年期に起こりやすい脳血管疾患(脳梗塞、脳出血)、神経系疾患(パ ーキンソン病)と看護 ・老年期に起こりやすい排泄障害と看護 (予習)脳神経の解剖生理、排泄系の解剖生理、及びテキスト1:PP161 -168,テキスト2:PP150-160,PP220-229を熟読し、まとめる(120分)。 (復習)授業を振り返り、脳血管疾患、及び排泄障害を患う高齢者の 看護について整理する(120分)。【小テスト:3点】	青柳 直樹
5	食生活を支える高齢者の看護 (歯・口腔器疾患、摂食嚥下 障害、消化器疾患、低栄養、 脱水、排便障害)	・老化による栄養・食事の変化と栄養障害(低栄養)・老化による摂食 ・嚥下障害の看護(脱水、窒息)・老年期の歯口腔器疾患(う蝕・歯周 病)・老年期の排便障害と看護 (予習)歯口腔系・消化器系の解剖生 理、及びテキスト1:PP107-108,PP146-161,PP168-170,PP238-240,テキ スト2:PP36-39,PP81-85,PP259-264について熟読し、まとめる(120分)。 (復習)高齢者の食生活を支える看護について整理する(120分)。	角山裕美子

《専門教育科目 専門科目 生涯発達と看護》

科目名	老年看護援助論	授業科目番号	2312090
担当者氏名	青柳 直樹、角山 裕美子、多田 健一、袖山 悦子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	歩行・移動を支える高齢者の看護 (運動器、骨粗鬆症、骨折)	・運動器系の老化 ・高齢者に起こりやすい運動器疾患(骨粗しょう症・大腿骨頸部骨折)と看護 (予習)運動器系の解剖生理、及びテキスト1:PP111-118,PP122-146,PP.278-181,テキスト2:PP42-43,PP73-77,PP230-237,PP284-287,PP296-298を熟読し、まとめる(120分)。(復習)高齢者の運動器系疾患の看護について整理する(120分)。【小テスト:3点】	角山裕美子
7	歩行・移動を支える高齢者の看護 (老年症候群、褥瘡、倫理的課題)	・老年症候群と看護 ・老年期に起こりやすい皮膚疾患(褥瘡)と看護 ・高齢者の人工的・水分栄養についての倫理的課題 (予習)皮膚の解剖生理、及びテキスト1:PP94-96,PP248-253,PP353-355,テキスト2:PP48-92について熟読し、まとめる(120分)。(復習)授業を振り返り、高齢者の倫理的課題について整理する(120分)。【小テスト:3点】	多田 健一
8	治療を受ける高齢者の看護 (診療・検査)	・高齢者の診療・検査における留意点と看護 (予習)テキスト1:PP318-320,テキスト2:PP114-122を熟読し、まとめる(120分)。(復習)授業を振り返り、治療(診療・検査)を受ける高齢者の看護について整理する(120分)。	袖山 悦子
9	治療を受ける高齢者の看護 (手術療法・薬物療法)	・手術を受ける高齢者の看護 ・薬物療法を受ける高齢者の看護 ・高齢者の入院時の看護 (予習)テキスト1:PP327-344,テキスト2:PP272-277を熟読し、まとめる(120分)。(復習)授業を振り返り、治療(手術療法・薬物療法)を受ける看護について整理する(120分)。	袖山 悦子
10	高齢者の尊厳と看護 (倫理的課題、身体拘束)	・事例を通して高齢者の倫理的課題と看護を考察する。 ・高齢者の倫理的課題と看護 (予習)テキスト1:PP54-63,及びPP353-355を熟読し、まとめる(120分)。(復習)事例検討を振り返り、身体拘束について考えを整理する(120分)。【倫理的課題レポート:10点】	多田 健一
11	生活リズムを整える看護 (活動と休息、睡眠障害)	・高齢者に特徴的な生活リズムの変化と看護 ・高齢者と生活リズム、睡眠と覚醒の変化、生活リズムのアセスメント、生活リズムを整える看護 (予習)自分の生活リズムと高齢者の生活リズムについて考える。さらに、テキスト1:P89,PP185-196を熟読しまとめる(120分) (復習)授業を振り返り、高齢者も生活リズムを整える看護について整理する(120分)	青柳 直樹
12	高齢者における地域包括ケア (介護予防、認知症予防、日常生活支援総合事業)	・地域でくらす高齢者のケア ・地域包括ケアシステムの実際 (予習)テキスト1:PP26-28,PP360-383について熟読し、まとめる(120分)。(復習)事例から考えられたことを整理する(120分)。	角山裕美子
13	高齢者の家族看護 (家族形態と介護家族) (高齢者支援の多職種連携)	・高齢者の家族とは ・高齢者と家族の関係の変化 ・高齢者・高齢者家族を取り巻く社会資源(多職種連携含む) (予習)家族とは何か、高齢者の世帯の家族構成について調べる。さらに、テキスト1:PP373-383について熟読し、まとめる(120分)。(復習)授業を振り返り、高齢者の家族への支援について整理する(120分)。	青柳 直樹
14	高齢者の時代背景 (インタビュー)	・高齢者が生きてきた時代についてインタビューなどから調べ学習を行う。 (予習)テキスト1:PP89-92を熟読し、高齢者の方とコミュニケーションを図り、高齢者が生きてきた時代について整理する(120分)。(復習)発表を通して、高齢者の生きてきた時代について整理する(120分)。【高齢者の時代背景調べレポート:5点】	多田 健一
15	終末期高齢者の看護 (エンド・オブ・ライフケア、意思決定支援、終末期医療、多職種連携、死生観)	・高齢者にとっての死、高齢者の意思決定支援、家族による代理決定 ・エンド・オブ・ライフケア ・多職種連携による終末期を支える支援 (予習)テキスト1:PP348-357、テキスト2:PP313-318を熟読し、まとめる(120分)。(復習)授業を振り返り、高齢者の終末期の看護について整理する。さらに、今までの学習から老年看護援助論 の到達目標について整理する(120分)。	青柳 直樹

《専門教育科目 専門科目 生涯発達と看護》

科目名	小児看護援助論			授業科目番号	2312140
担当者氏名	沼野 博子、永谷 智恵、伊藤 文子、船岡 未恵			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	2年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		○2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度、 2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力、 ○3-2 多職種と連携・協働する力			

《授業の概要》

病気・障がいのある子どもと家族の特徴と看護の役割について学ぶ。入院や外来、在宅等子どもを取り巻く環境や生活の場、災害など状況に応じた看護、病気の経過に応じた看護、子どもの基本的特性をふまえた症状別の看護を学ぶ。具体的な事例を示し、子ども・家族の体験の理解や、子ども・家族を中心としたケアの実践を学ぶ。

《授業の到達目標》

1. 子どもの健康問題の病態生理、症状、検査、治療を成長・発達の特徴と関連させ述べることができる。
2. 健康問題が子ども・家族の心身・社会・成長発達に及ぼす影響と必要な看護について述べることができる。
3. 目標1・2をふまえ、子ども・家族の病気体験を理解し、子ども家族中心ケアの必要性について述べることができる。

《評価の方法》

事前・事後課題40%（到達目標1・2・3）

定期試験60%（到達目標1・2・3）

《テキスト》

『系統看護学講座 小児看護学[1] 小児看護学概論 小児臨床看護総論』（奈良間美穂 他著 医学書院 2025年）

『系統看護学講座 小児看護学[2] 小児臨床看護各論』（丸 光恵 他著 医学書院 2025年）

《参考図書》

『ナースিং・グラフィカ 小児看護学 小児の発達と看護』（中野綾美編 メディカ出版 2023年）

『新体系 看護学全書 小児看護学 』（小林京子、高橋孝雄編 メヂカルフレンド社 2022年）適宜講義内で紹介する

《履修上の留意点》

予習・復習に取り組み、講義に対応するテキストを熟読・動画を視聴し理解しておく。課題内容、提出方法・期限については講義内で説明する。疑問点は講義中・後に確認し明確にする。

《備考》

【重要関連科目】小児看護学概論 疾病治療論 ～

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	入院中の子どもと家族の看護1 (子どもの病気理解、ストレス反応、インフォームドアセント、入院環境)	病気や障がいに対し子どもが示す反応、健康問題や発達段階による特徴と看護 【学習方法】講義、グループワーク(5-6名) 【予習】子どもの病気理解、インフォームドアセントとは何かまとめる(30分) 【復習】子どもの入院環境の現状と課題から、子どもの人権を尊重した望ましい入院環境について授業を振り返りまとめ提出する。(30分) 次回コメントし返却する	永谷智恵
2	入院中の子どもと家族の看護2 (入院生活支援、きょうだい・家族のストレスと支援)	入院する子どもの家族の特徴や心理的影響、家族の役割や生活の変化と看護 【学習方法】講義、グループワーク(5-6名) 【予習】子どもが入院による患児・父親・母親・きょうだいなど、心理社会的影響について家族成員別にまとめる(30分) 【復習】子どもの入院における家族機能への影響と看護について、授業を振り返りまとめ提出する(30分) 次回コメントし返却する	永谷智恵
3	急性期にある子どもと家族の看護 (倫理的配慮、危機理論、安全の確保、苦痛緩和)	急性期にある子ども・家族の特徴・反応と看護 【学習方法】講義、グループワーク (5-6名) 【予習】急性期の子ども・家族の反応についてまとめる(30分) 【復習】事例をもとに急性期の家族の心理をアセスメントし家族のケアについて考え提出する(60分) 次回コメントして返却する	永谷智恵
4	症状を示す子どもの看護 (痛み、意識、呼吸困難、けいれん、発熱、嘔吐、下痢)	子どもの基本的特性をふまえた症状アセスメントと症状改善に向けた看護 【学習方法】講義、ディスカッション(グループ・全体) 【予習】テキストの該当ページを熟読し、ノートにまとめる(45分) 【復習】授業を振り返り、予習した内容に追記する(30分) 次回コメントし返却する	船岡未恵
5	周術期の子どもと家族の看護 (子どもの手術の特徴、術前・術後管理、意思決定支援、活動制限)	子どもの手術の特徴、術前・術後の子どもと家族の反応をふまえた周術期看護 【学習方法】講義 意見集約ツールによる全体ディスカッション 【予習】テキスト「周術期の子どもと家族の看護」を読み、小児期の手術の特徴と手術を受ける子どもと家族の反応について理解する(30分) 【復習】周術期の子どもと家族の看護に関する確認問題(60分) 次回講義時に解説しフィードバックする	沼野博子

《専門教育科目 専門科目 生涯発達と看護》

科目名	小児看護援助論	授業科目番号	2312140
担当者氏名	沼野 博子、永谷 智恵、伊藤 文子、船岡 未恵		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	慢性期にある子どもと家族の看護 (セルフケア能力の育成、エンパワメント、復学支援)	慢性期にある子ども・家族の特徴・慢性状態が及ぼす影響と看護 【学習方法】講義、ディスカッション(グループ・全体) 【予習】テキストの該当ページを読み、内容をまとめ、わからない用語を調べる(60分) 授業開始時に返却を行う 【復習】授業資料とテキストから学習した内容を整理し理解する(30分)	伊藤文子
7	成人移行期にある子どもと家族の看護 (発達課題と健康障害に伴う課題の克服、アドヒアランス、将来への不確かさ)	慢性状態にある子ども・家族の成人期を見据えた自立への支援 【学習方法】講義、ディスカッション(グループ・全体) 【予習】テキストの該当ページを読み、内容をまとめ、わからない用語を調べる(60分) 授業開始時に返却を行う 【復習】授業資料とテキストから学習した内容を整理し理解する(30分)	伊藤文子
8	終末期にある子どもと家族の看護 (子どもの死の理解、小児緩和ケア、意思決定支援、グリーフケア)	終末期にある子ども・家族の全人的な苦痛に対する緩和ケア 【学習方法】講義 意見集約ツールによる全体ディスカッション 【予習】テキスト「終末期の子どもと家族の看護」を読み、子どもの死のとりえ方について理解する。提示された動画を視聴する(30分) 【復習】講義を振り返り、終末期の子どもと家族の看護についてまとめる(60分) 次回講義までにコメントし返却する。	沼野博子
9	障がいのある子どもと家族の看護 (国際生活機能分類、重症心身障がい児、障がい受容、多職種連携、地域包括ケア)	重症心身障がい児の特性と生活や社会支援、重症心身障がい児と家族の理解と看護 【学習方法】講義、ディスカッション(グループ・全体) 【予習】テキストの該当ページを熟読し、ノートにまとめる(45分) 【復習】授業を振り返り、予習した内容に追記する(30分) 次回講義時コメントし返却する	船岡未恵 非常勤講師
10	発達の凹凸のある子どもと家族の看護 (発達障がい、障がい受容、多職種連携(学校・園)、地域包括ケア)	発達障がいの行動特性と症状をふまえた支援、発達障がいのある子どもと家族の思いと困難に対する支援 【学習方法】講義、ディスカッション(グループ・全体) 【予習】テキストを読み、わからない用語を調べる、指示された課題に取り組む(60分) 授業開始時に返却しフィードバックを行う 【復習】授業資料とテキストから学習した内容を整理し理解する(30分)	伊藤文子
11	出生直後から集中治療が必要な子どもと家族の看護 (先天異常、ハイリスク新生児、ディベロップメンタルケア、愛着形成 子ども家族中心ケア)	ハイリスク新生児の胎外生活への適応や成長・発達を支えるための看護 【学習方法】講義 意見集約ツールによる全体ディスカッション 【予習】テキスト「低出生体重児の看護」を読み、体温・呼吸・循環の調整の特徴を理解する。提示された動画を視聴する(30分) 【復習】低出生体重児と家族の看護に関する確認問題(60分) 次回講義時に解説しフィードバックする	沼野博子
12	外来における子どもと家族の看護 (緊急性の判断、環境調整、感染予防、ホームケア支援)	受診する子ども・家族の特徴、小児外来の環境や特徴と看護の役割 【学習方法】講義 意見集約ツールによる全体ディスカッション 【予習】テキスト「外来受診をする子どもと家族の看護」を読み、小児外来や受診する子ども・家族の特徴を理解する(30分) 【復習】外来受診をする子どもと家族の看護に関する確認問題(60分) 次回講義時に解説しフィードバックする	沼野博子
13	医療的ケアを必要としながら退院する子どもと家族の看護 (在宅移行早期、医療的ケア児、地域包括ケア、レスパイト)	<地域・在宅看護援助論 との合同講義>在宅療養を必要とする子どもの特徴と在宅移行期における看護 【学習方法】医療的ケア児のご家族・支援者の講義・グループワーク(5-6名) 【予習】テキスト「在宅療養の子どもと家族の看護」を読み、疑問点を調べ、講師への質問事項をまとめる(30分) 講義内で解答する。 【復習】講義を振り返り、小児在宅移行支援についてまとめる(60分) 次回講義時にコメントし返却する	沼野博子 非常勤講師
14	虐待を受けている子どもと家族の看護 (虐待の定義、リスク要因、発生予防、安全で安心できるかわり)	虐待のリスク要因、虐待を受けた子どもに対する看護、家族に対する看護 【学習方法】講義、ディスカッション(グループ・全体) 【予習】テキストを読み、わからない用語を調べる、指示された課題に取り組む(60分) 授業開始時に返却を行う 【復習】授業資料とテキストから学習した内容を整理し理解する(30分)	伊藤文子
15	災害を受けた子どもと家族の看護 (子どもの災害ストレス、ポストトラウマティックケア、レジリエンス)	被災地の環境、災害時の子どもの災害ストレスと看護 【学習方法】災害支援者からの講義 【予習】テキスト「災害時の子どもと家族の看護」を読み、疑問点を調べ、講師への質問事項をまとめる(30分) 講義内で回答する 【復習】講義を振り返り、災害時の子どもと家族の看護についてまとめる(60分) 提出後、ポータルサイトでコメントしフィードバックする	沼野博子 非常勤講師

科目名	母性看護援助論			授業科目番号	2312180
担当者氏名	森 美由紀、太田 操、佐藤 初美			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	2年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		○2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度、2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力、○2-3 エビデンスに基づく看護実践力			

《授業の概要》

周産期女性の身体的・心理的・社会的特徴や胎児・新生児の発育発達過程およびその女性を取り巻く家族についても理解する。妊婦・産婦・褥婦・胎児・新生児および家族の健康上の諸課題を理解し、正常に経過するための援助や自己決定能力・セルフケア能力を高めるための看護援助に活用できる知識を学ぶ。

《授業の到達目標》

1. 周産期（妊娠期・分娩期・産褥期）にある女性、胎児および新生児の生理的变化を理解できる。
2. 周産期にある女性と夫またはパートナー、家族の心理的・社会的特徴を理解できる。
3. 周産期にある女性および新生児の生理的变化に対する看護援助の方法を述べることができる。
4. 周産期各期および新生児の正常、又は逸脱に対する看護援助の方法を述べることができる。

《評価の方法》

妊娠期：提出物10%（到達目標1,2,3） 妊娠期・分娩期・産褥期・新生児期：定期試験90%（到達目標1,2,3,4） 不合格時は妊娠期・分娩期・産褥期・新生児期の筆記試験を実施して判断する。

《テキスト》

1. 『系統看護学講座 母性看護学[2] 母性看護学各論』（森恵美 他著 医学書院）
2. 『写真でわかる母性看護技術アドバンス』（平澤美恵子、村上睦子監修 インターメディカ）
3. 『ウェルネスの視点にもとづく母性 看護過程第4版』（太田操編著 医歯薬出版）

《参考図書》

『イラストで学ぶ新生児の生理と代表的疾患』メディカ出版 『イラストで学ぶ妊娠・分娩・産褥の生理』メディカ出版
『病気が見えるvol.10 産科（第4版）』Medic Media 『新看護観察のキーポイントシリーズ 母性・』中央法規出版

《履修上の留意点》

- ・母性看護学概論で学んだ理論を活用して、さらにマタニティサイクルにある対象者への看護を深める科目である。
- ・各講義内ではShort事例を通して知識の活用方法の修得を目指します。講義中は活発な議論を望みます。
- ・授業中に課す課題は、授業中もしくは次の授業時にフィードバックを行う。

《備考》

- ・疑問をそのままにせず、直接聞きにきて解決してください。時間の許す限りお答えします。

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	妊娠期の看護 (妊娠の成立、胎児の発育)	授業ガイダンス 妊娠の定義、女性生殖器官を踏まえた妊娠の成立過程、妊娠の診断検査、胎児・胎児付属物の発育と特徴 予習(30分):教科書の該当部分を読んでくること 復習(30分):講義内で分からなかったことを中心に教科書から必要な部分を講義資料に書き込む	森 美由紀
2	妊娠期の看護 (妊婦の身体的・心理的・社会的特性、胎児の発育発達)	妊娠による母体の変化、妊婦・家族の心理社会的特徴、妊娠の経過に伴う胎児の変化 予習(30分):教科書の該当部分を読んでくること 復習(30分):講義内で分からなかったことを中心に教科書から必要な部分を講義資料に書き込む *課題:妊娠と薬と放射線と環境汚染物質、妊娠期に起こりやすいマイナートラブル	森 美由紀
3	妊娠期の看護 (妊婦・胎児、家族のアセスメントと看護)	妊婦と胎児のアセスメント、基礎的情報のアセスメント、妊婦の健康診断、母子健康手帳、日常生活に関するアセスメント、胎児の発育と健康状態の診断 *アセスメントの考え方・ケアの方向性を、一部Short事例展開で学ぶ 予習(30分):教科書の該当部分を読んでくること 復習(30分):講義内で分からなかったことを中心に教科書から必要な部分を講義資料に書き込む	森 美由紀
4	妊娠期の看護 (妊婦の異常と看護)	妊娠期の異常(ハイリスク妊娠、感染症、妊娠高血圧症候群、妊娠糖尿病等)、ハイリスク妊娠(甲状腺機能亢進症、SLE、てんかんなど)、高血圧症候群、妊娠糖尿病、切迫流産、常位胎盤早期剥離、前置胎盤、双胎 予習(30分):教科書の該当部分を読んでくること 復習(30分):講義内で分からなかったことを中心に教科書から必要な部分を講義資料に書き込む	森 美由紀
5	分娩期の看護 (分娩の経過)	正常分娩の経過:分娩期の定義、分娩の経過 *視聴覚教材によってイメージしながら学ぶ 予習(30分):教科書の該当部分を読んでくること 復習(30分):講義内で分からなかったことを中心に教科書から必要な部分を講義資料に書き込む	太田 操

《専門教育科目 専門科目 生涯発達と看護》

科目名	母性看護援助論	授業科目番号	2312180
担当者氏名	森 美由紀、太田 操、佐藤 初美		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	分娩期の看護 (産婦と胎児の健康状態)	分娩の3要素(娩出力:陣痛・腹圧,産道:軟産道・骨産道,娩出物:胎児・胎児付属物) 分娩経過(分娩第1期~第4期) 予習(30分):教科書の該当部分を読んでくること 復習(30分):講義内で分からなかったことを中心に教科書から必要な部分を講義資料に書き込む	太田 操
7	分娩期の看護 (産婦・胎児,家族のアセスメントと看護)	分娩が母体・胎児に及ぼす影響,胎児モニタリング、産婦と家族の看護(産婦のニード,分娩第1期,2期,3期,4期の看護の実際)/分娩期のハイリスクおよび異常(狭骨盤,CPD,陣痛の異常,胎児の異常,胎盤・臍帯の異常,胎児機能不全,前期破水)の看護,産科処置・産科手術と看護 予習(30分):教科書の該当部分を読んでくること、復習(30分):講義内で分からなかったことを中心に教科書から必要な部分を講義資料に書き込む	太田 操
8	産褥期の看護 (産褥期の身体的・心理的・社会的特性)	産褥期の定義,産褥期の身体的変化(退行性変化:全身の変化,生殖器の変化,分娩による損傷,進行性変化:乳房の変化,褥婦と家族の心理・社会的変化)褥婦の身体心理社会的変化 予習(30分):教科書の該当部分を読んでくること 復習(30分):講義内で分からなかったことを中心に教科書から必要な部分を講義資料に書き込む	森 美由紀
9	産褥期の看護 (褥婦のアセスメント)	産婦のアセスメント項目,退行性変化のアセスメント,進行性変化に関するアセスメント,母親の適応過程のアセスメント,家族の適応過程のアセスメント,生活・社会環境のアセスメント *アセスメントの考え方を、一部Short事例展開で学ぶ 予習(30分):教科書の該当部分を読んでくること、復習(30分):講義内で分からなかったことを中心に教科書から必要な部分を講義資料に書き込む	森 美由紀
10	産褥期の看護 (褥婦と家族の看護)	退行性変化への看護(子宮復古を促すケア、日常生活へのケア),進行性変化への看護(母乳育児支援),親子関係を促す看護(母親役割獲得への支援,愛着形成への支援,家族関係の再構築・調整への支援) *ケアの方向性を、一部Short事例展開で学ぶ 予習(30分):教科書の該当部分を読んでくること、復習(30分):講義内で分からなかったことを中心に教科書から必要な部分を講義資料に書き込む	森 美由紀
11	産褥期の看護 (産褥の異常と看護)	退行性変化に関連する異常(子宮復古不全,子宮内感染症等),進行性変化に関連する異常(乳房・乳頭トラブル,乳腺炎等),心理・社会的側面に関する異常(産褥精神障害),特別な支援を要する褥婦の看護(帝王切開術後の看護) 予習(30分):教科書の該当部分を読んでくること、復習(30分):講義内で分からなかったことを中心に教科書から必要な部分を講義資料に書き込む	森 美由紀
12	新生児期の看護 (新生児の生理)	新生児の定義,新生児の分類,新生児の適応生理(子宮外への適応,呼吸器系,循環器系,体温調節,ビリルビン代謝,糖代謝,消化器系,腎機能,免疫系,神経系,感覚器,皮膚) *事前課題学習(30分)やshort事例展開を織り交ぜながら講義等で学ぶ 予習(30分):課題の提示、復習(30分):リフレクション、講義資料と教科書を読み返す	佐藤 初美
13	新生児期の看護 (新生児のアセスメントと看護)	新生児の健康状態(基礎的情報収集,出生直後の評価,子宮外生活への適応)のアセスメント、ハイリスク児の要因/出生直後から生後24時間以内(移行期)の看護・出生直後のケア/出生後~24時間以内のケア *short事例展開を織り交ぜ講義等で学ぶ 予習(30分):教科書の該当部分を読んでくる 復習(30分):リフレクション、講義資料と教科書の読み返し	佐藤 初美
14	新生児期の看護 (新生児のアセスメントと看護)	新生児の生後24時間以降から退院に向けたケア/新生児の胎外生活適応過程、発育を母子相互の視点からアセスメントする/新生児黄疸と治療、新生児の意識レベル,スクリーニング検査 予習(30分):教科書の該当部分を読んでくる、復習(30分):講義内で分からなかったことを中心に教科書から必要な部分を講義資料に書き込む	佐藤 初美
15	新生児期の看護 (新生児期の異常と看護)	ハイリスク新生児の特徴,呼吸不全,循環不全,消化器の異常,代謝の適応不全,神経学的異常,分娩との関連,母体疾患と新生児の異常,早産児・低出生体重児の特徴,先天異常がある新生児と看護/short事例展開を織り交ぜながら講義等で学ぶ 予習(30分):事前課題・教科書の該当部分を読んでくる、復習(30分):講義内で分からなかったことを中心に教科書から必要な部分を講義資料に書き込む	佐藤 初美

《専門教育科目 専門科目 生涯発達と看護》

科目名	精神看護援助論			授業科目番号	2312220
担当者氏名	板山 稔、藤田 勇、成田 みぎわ			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	2年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		○2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度、 2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力、○3-3 保健医療福祉制度と看護の役割			

《授業の概要》

精神に健康問題を持つ人と家族への看護を展開するためのアセスメントの視点とその方法を理解し、対象者の精神的な健康の回復、保持・増進に必要な援助方法を学習する。また、精神医療、地域精神保健福祉における法制度の内容と看護者の倫理、関連する専門職種との役割と連携を理解し、看護の役割について考察する。

《授業の到達目標》

1. 精神の健康障害に対するアセスメント方法と対人関係を基盤とした支援技法について説明できる。
2. 代表的な精神疾患の病態と治療、それに応じた看護について説明できる。
3. 精神医療福祉に関する法律の概要と看護者の倫理について説明できる。
4. 精神医療福祉における関係職種の連携と看護の役割について説明できる。

《評価の方法》

定期試験70%（到達目標1・2・3・4）、授業内で実施する3回の小テストの合計20%（到達目標1・2・3・4）、授業態度（授業中の発言や参加態度）10%（到達目標1・2・3・4）

《テキスト》

1. 『系統看護学講座 精神看護学 精神看護の基礎』（武井麻子 他著 医学書院 2021年）
2. 『系統看護学講座 精神看護学 精神看護の展開』（武井麻子 他著 医学書院 2021年）

《参考図書》

『精神看護学 第3版 学生 - 患者のストーリーで綴る実習展開』（田中美恵子編著 医歯薬出版 2024年）
『新版 精神看護学』（遠藤淑美、末安民生 編 中央法規出版 2020年）

《履修上の留意点》

予習（事前学習）として、事前に配付される資料の内容と資料に記載されているテキストの該当ページの内容を読んでおくこと。復習（事後学習）として、授業中に配付するプリントの最後にある問題を必ず解くこと。間違った問題については、プリントやテキストを参考にして必ず確認しておくこと。小テストの結果は、次の講義時に返却し解説します。

《備考》

「精神看護学概論」「疾病治療論（精神）」で学習した知識をもとに、看護の役割や援助内容について学ぶ科目です。

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	精神障害者の理解 （精神症状、統合失調症、気分障害）	精神疾患に伴う代表的な精神症状を理解する。自分がもつ精神疾患や精神症状に対するイメージについて考えるとともに、精神症状をもつその人にとっての症状の意味を理解する。 （予習）精神看護学概論の学習内容について授業資料を読み返しておく（90分） （復習）配付資料の問題を解き、間違った問題について調べる（60分）	板山 稔 成田みぎわ
2	精神看護におけるアセスメント方法 （セルフケア、ストレングス、エンパワメント、リカバリー、レジリエンス）	セルフケア理論、対人関係理論を用いて精神疾患患者の健康障害をアセスメントする方法を学ぶ。対象者のストレングス（強み）に着目したアセスメント方法を理解する。 （予習）事前配付した資料の空欄部分をテキストを用いて記入しておく（90分） （復習）配付資料の問題を解き、間違った問題について調べる（60分）	板山 稔 成田みぎわ
3	精神看護における基本的技法 （参加観察、コミュニケーション、アクティブリスニング、リスクマネジメント）	精神看護における特徴的な観察の方法と観察項目を理解する。症状の安定や回復を促進するコミュニケーションの基本的技法を学ぶとともに、精神科におけるリスクマネジメントの特徴を学ぶ。 （予習）事前配付した資料の空欄部分をテキストを用いて記入しておく（90分） （復習）配付資料の問題を解き、間違った問題について調べる（60分）	板山 稔 成田みぎわ
4	病の体験を聴く （病の体験、リカバリー、エンパワメント、ストレングス）	社会福祉施設を利用しているゲストスピーカーから病気や生活の体験を聴く。精神疾患をもつことでの生きづらさとともに、ストレングスやリカバリーについて理解し、看護の役割等を考える。 （予習）これまでの授業を踏まえ、ゲストスピーカーに質問したいことを考えておく（60分） （復習）精神障害者の地域生活支援の課題についてまとめる（60分）	板山 稔 成田みぎわ
5	精神看護における治療的人間関係 （治療的人間関係、共同意思決定、プロセスレコード、自己一致）	患者 - 看護師間の人間関係が生み出す治療の意味を理解する。対人関係の構築における自己活用の意味とそれを育むための自己理解、患者 - 看護師の治療的援助関係の発展過程、共同意思決定、プロセスレコード等について学ぶ。第1回小テスト。（予習）事前配付した資料の空欄部分をテキストを用いて記入しておく（90分）（復習）配付資料の問題を解き、間違った問題について調べる（60分）	板山 稔 成田みぎわ

《専門教育科目 専門科目 生涯発達と看護》

科目名	精神看護援助論	授業科目番号	2312220
担当者氏名	板山 稔、藤田 勇、成田 みぎわ		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	精神医療・保健福祉制度の法律 (精神保健福祉法、医療観察法、障害者総合支援法)	精神保健福祉法、医療観察法、障害者総合支援法等の内容を学び、精神医療・保健福祉制度における法律の体系と精神科看護における重要点を理解する。日本の精神科医療施策の問題点・課題について考える。 (予習) 事前配付した資料の空欄部分をテキストを用いて記入しておく(90分) (復習) 配付資料の問題を解き、間違った問題について調べる(60分)	板山 稔 成田みぎわ
7	地域精神保健福祉と看護 (アウトリーチ、障害者総合支援法、多職種協働、ピアサポート、ケアマネジメント、地域包括ケアシステム)	精神障害者の退院促進および地域生活定着に向けた支援のあり方について、訪問看護、デイケア、多職種協働の実践例、障害者総合支援法による支援の実際などを通して理解する (予習) 事前配付した資料の空欄部分をテキストを用いて記入しておく(90分) (復習) 配付資料の問題を解き、間違った問題について調べる(60分)	板山 稔 成田みぎわ
8	精神疾患の治療 (薬物療法、有害事象、電気けいれん療法)	精神疾患に対しての身体に働きかける治療(薬物療法、電気けいれん療法など)を理解し、必要とされる看護について学ぶ。 (予習) 事前配付した資料の空欄部分をテキストを用いて記入しておく(90分) (復習) 配付資料の問題を解き、間違った問題について調べる(60分)	板山 稔 成田みぎわ
9	精神疾患の治療 (精神療法、作業療法、認知行動療法、心理教育、社会生活技能訓練)	精神疾患に対しての精神や心理、活動に働きかける治療(精神療法、認知行動療法、作業療法など)を理解し、看護のあり方について学ぶ。第2回小テスト。 (予習) 事前配付した資料の空欄部分をテキストを用いて記入しておく(90分) (復習) 配付資料の問題を解き、間違った問題について調べる(60分)	板山 稔 成田みぎわ
10	統合失調症患者の看護 (幻覚妄想、思考障害、精神運動興奮、無為・自閉)	統合失調症の発症から寛解までの回復過程を理解し、事例を通して精神症状についてアセスメントする。 (予習) 事前配付した資料の空欄部分をテキストを用いて記入しておく(90分) (復習) 配付資料の問題を解き、間違った問題について調べる(60分)	藤田 勇
11	統合失調症患者の看護 (薬物療法、服薬アドヒアランス、心理教育、セルフマネジメント)	統合失調症の急性期から慢性期における病態の特徴とその看護を理解し、社会参加や社会生活の定着に向けた看護支援のあり方について学ぶ。 (予習) 事前配付した資料の事例について自己の考えを記入しておく(90分) (復習) 配付資料の事例について、講義後の自己の考えについてまとめる(60分)	藤田 勇
12	気分障害患者の看護 (うつ病、躁病、双極性障害、薬物療法、認知行動療法)	気分障害の病型と特徴的な病態を理解し、それらに対する看護支援について学ぶ。 (予習) 事前配付した資料の空欄部分をテキストを用いて記入しておく(90分) (復習) 配付資料の問題を解き、間違った問題について調べる(60分)	藤田 勇
13	不安性障害、パーソナリティ障害、発達障害の患者の看護 (パニック障害、強迫性障害、境界性パーソナリティ障害、発達障害)	不安性障害(不安障害、パニック障害、強迫性障害)、パーソナリティ障害、発達障害(ADHD、自閉スペクトラム症、LD)の病態の特徴を理解し、看護支援について学ぶ。 (予習) 事前配付した資料の空欄部分をテキストを用いて記入しておく(90分) (復習) 配付資料の問題を解き、間違った問題について調べる(60分)	板山 稔 成田みぎわ
14	依存症、アディクションの患者の看護 (アディクション、アルコール依存症、薬物依存症、摂食障害)	アルコール依存症、摂食障害を中心に、依存症・アディクションの特徴を理解し、看護支援について学ぶ。第3回小テスト。 (予習) 事前配付した資料の空欄部分をテキストを用いて記入しておく(90分) (復習) 配付資料の問題を解き、間違った問題について調べる(60分)	板山 稔 成田みぎわ
15	精神科医療における看護師の倫理 (倫理原則、人権、倫理カンファレンス)	精神科医療における倫理的問題について理解し、倫理的問題に気づく視点を養うとともに、グループワークによる事例検討を通して倫理的問題に対する意思決定のプロセスを学ぶ。 (予習) 事前配付した事例を読み、倫理的問題点についてまとめる(90分) (復習) 精神科医療における患者の人権の尊重と看護師の倫理について、自己の考えをまとめる(60分)	板山 稔 成田みぎわ

科目名	地域・在宅看護援助論			授業科目番号	2313180
担当者氏名	田辺 生子、山崎 節子、菅原 京子			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	2年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		○2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力、 2-3 エビデンスに基づく看護実践力、 ○3-2 多職種と連携・協働する力			

《授業の概要》

対象別に在宅療養者とその家族に対する理解を深めるとともに、看護援助の方法を学ぶ。在宅看護で必要とされる基本的な生活援助技術について学ぶ。訪問看護ステーションの役割と機能、病院から在宅への移行のための退院調整、家族のケア、家族間調整、多職種との連携・調整などを学び、家族や地域の環境などを包括した在宅療養者のケアについて考える。

本科目は2年前期の地域・在宅看護学概論の系統科目であり、地域・在宅における実際の看護援助へ向けた各論を講義する。

《授業の到達目標》

1. 訪問看護師の基本的な訪問時のマナーや倫理、用語について説明することができる。
2. 在宅療養をする対象に応じた看護援助の方法と工夫について説明することができる。
3. 在宅療養者とその家族の特徴を踏まえた看護過程の計画・立案・展開について説明することができる。
4. 生活の場で提供される看護の特徴と訪問看護の役割について紙上事例を通して考えることができる。

《評価の方法》

定期試験60%（到達目標の1.2.3.4）、提出物20%（到達目標の2.3.4）
態度（含むグループワーク）10%（到達目標の1.2.3.4）、演習10%（到達目標の2）

《テキスト》

- 『系統看護学講座 地域・在宅看護論[2] 地域・在宅看護の実践』（河原加代子他著 医学書院 2025年）
『系統看護学講座 地域・在宅看護論[1] 地域・在宅看護の基盤』（河原加代子他著 医学書院 2025年）

《参考図書》

- 『基礎からわかる地域・在宅看護論』（池西静江編著 照林社 2021年）
『療養者が望む暮らしを支える地域・在宅看護過程』（尾崎章子・蒔田寛子編著 医歯薬出版 2023年）

《履修上の留意点》

- ・各疾病治療論、各看護学概論、各看護学援助論等の先修科目と関連づけながら学習を進めて下さい。
- ・訪問看護の実践者からの講義や小児看護学領域との合同講義があります。いずれも学生の皆さんとの対話を期します。
- ・提出物はグループ単位での提出分と課題レポート以外は講義中に随時返却します。

《備考》

保健師教育課程必修科目

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	ガイダンス 暮らしを支える看護技術 (対話 コミュニケーション 倫理 リスクマネジメント ハラスメント)	・セルフケアを支えるコミュニケーションと在宅看護における倫理やハラスメントについて学ぶ。 (予習)在宅における活動のポイントについて、教科書の該当箇所を読み、ノートに整理する。(60分) (復習)講義で学んだことをノートにまとめる。(60分)	山崎 節子 菅原 京子
2	暮らしを支える看護技術 (療養環境調整 活動・休息 ・与薬)	・在宅における療養環境整備、活動・休息・与薬に関するアセスメントと援助のポイントについて学ぶ。 (予習)療養環境整備、活動・休息、与薬の支援のポイントについて1,2年生で学んだことをノートに整理する。(60分) (復習)講義で学んだことをノートにまとめる。(60分)	田辺 生子 菅原 京子
3	暮らしを支える看護技術 (食生活・嚥下 排泄)	在宅療養者の食生活・嚥下、排泄に関するアセスメントと援助のポイントについて学ぶ。 (予習)食生活・嚥下、排泄の支援のポイントについて1,2年生で学んだことをノートに整理する。(60分) (復習)講義で学んだことをノートにまとめる。(60分)	田辺 生子 菅原 京子
4	暮らしを支える看護技術 (清潔・衣生活 苦痛の緩和 ・安楽確保)	在宅療養者の清潔・衣生活 苦痛の緩和・安楽確保に関するアセスメントと援助のポイントについて学ぶ。 (予習)清潔・衣生活の支援のポイントについて1,2年生で学んだことをノートに整理する。(60分) (復習)提示された課題を提出する。講義で学んだことをノートにまとめる。(60分)	田辺 生子 菅原 京子
5	暮らしを支える看護技術 (呼吸・循環 創傷管理)	在宅療養者の呼吸・循環、創傷管理に関するアセスメントと援助のポイントについて学ぶ。 (予習)呼吸と循環のフィジカルアセスメントのポイントについて1,2年生で学んだことをノートに整理する(60分) (復習)講義で学んだことをノートにまとめる。(60分)	田辺 生子 菅原 京子

《専門教育科目 専門科目 地域社会と看護》

科目名	地域・在宅看護援助論	授業科目番号	2313180
担当者氏名	田辺 生子、山崎 節子、菅原 京子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	暮らしを支える看護技術 (時期別の看護)	健康な時期、外来受診期、入院時、在宅療養準備期(退院前)、在宅療養移行期、在宅療養安定期、急性増悪期、終末期(グリーフケアを含む)、在宅療養終了期の看護目標、看護計画について学ぶ。 (予習)時期別の支援のポイントについて1,2年生で学んだことをノートに整理する。(60分) (復習)講義で学んだことをノートにまとめる。(60分)	田辺 生子 菅原 京子
7	暮らしを支える看護技術 演習 (在宅療養を支える援助物品 の工夫)	在宅で使用する物品について、紙おむつの装着の体験、服薬管理の工夫、ペットボトルでの洗浄ボトル作りを行い、グループで話し合う。 (予習)当日までに1日間、紙おむつとパッドを装着する。(30分) (復習)訪問看護における物品の使用の工夫についてまとめる。(30分)	山崎 節子 田辺 生子 菅原 京子
8	地域・在宅看護の展開 地域在宅における看護過程 (アセスメント 看護計画)	・物語の観点をもち、訪問看護の導入初期から病状の進行に合わせた看護展開(情報収集、アセスメント、看護目標・計画、評価)を学ぶ方法について映像資料を交え、学ぶ。 (予習)在宅での事例を1例以上持参する。(60分) (復習)講義で学んだことをノートにまとめる。(60分)	山崎 節子 菅原 京子
9	地域・在宅看護の展開 事例の検討(1) (認知症療養者 統合失調症 療養者)	・物語の観点をもち、訪問看護の導入初期から病状の進行に合わせた看護展開(情報収集、アセスメント、看護目標・計画、評価)を学ぶ。 ・予め作成した個人の案をグループで検討することを通じて、複数の観点から多角的に事例について考える。 (予習)事例を読み、わからない用語を調べる。(60分) (復習)本日の事例について用語を含めて整理する。(60分)	山崎 節子 菅原 京子
10	地域・在宅看護の展開 事例の検討(2) (脳卒中療養者 がん終末期 療養者)	・物語の観点をもち、訪問看護の導入初期から病状の進行に合わせた看護展開(情報収集、アセスメント、看護目標・計画、評価)を学ぶ。 ・予め作成した個人の案をグループで検討することを通じて、複数の観点から多角的に事例について考える。 (予習)事例を読み、わからない用語を調べる。(60分) (復習)本日の事例について用語を含めて整理する。(60分)	山崎 節子 菅原 京子
11	地域・在宅看護の展開 事例の検討(3) (難病[ALS]療養者)	・物語の観点をもち、訪問看護の導入初期から病状の進行に合わせた看護展開(情報収集、アセスメント、看護目標・計画、評価)を学ぶ。 ・予め作成した個人の案をグループで検討することを通じて、複数の観点から多角的に事例について考える。 (予習)事例を読み、わからない用語を調べる。(60分) (復習)本日の事例について用語を含めて整理する。(60分)	山崎 節子 菅原 京子
12	地域・在宅看護の展開 事例の検討(4) (難病[パーキンソン病]療 養者)	・物語の観点をもち、訪問看護の導入初期から病状の進行に合わせた看護展開(情報収集、アセスメント、看護目標・計画、評価)を学ぶ。 ・予め作成した個人の案をグループで検討することを通じて、複数の観点から多角的に事例について考える。 (予習)事例を読み、わからない用語を調べる。(60分) (復習)本日の事例について用語を含めて整理する。(60分)	山崎 節子 菅原 京子
13	地域・在宅看護の事例展開 (訪問看護の実際)	・訪問看護ステーションの看護師より在宅における精神看護と看取りのケアについて学ぶ。 (予習)これまでの学習内容を復習し、講師への質問を1つ以上考える。(30分) (復習[課題])実際の活動報告から感じたこと、考えたことを400字程度にまとめる。(90分)	山崎 節子 菅原 京子
14	地域・在宅看護の事例展開 (地域連携の実際) *小児看護学領域との合同講 義	医療的ケア児の退院支援から地域生活への移行と療養生活の継続までの一連の過程を関係者及び当事者の語りから学ぶ。 (予習)他の医療的ケア児の事例を読む。(60分) (復習[課題])合同講義から学んだことや考えたことを400字程度でまとめる。(60分)	山崎 節子 菅原 京子
15	在宅療養を支える健康危機・ 災害対応 まとめ	在宅療養における健康危機、災害サイクル別に見た在宅療養者支援について学ぶ。 (予習)在宅療養の場における災害への備えについて調べる。(60分) (復習[課題])地域における災害対応について400字程度でまとめる。(60分)	山崎 節子 菅原 京子

科目名	公衆衛生看護活動論			授業科目番号	2313080
担当者氏名	渡邊 路子、平澤 則子、駒形 三和子			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	選択	開講年次	2年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		○2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力，○2-3 エビデンスに基づく看護実践力， 5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力			

《授業の概要》

地域の健康危機管理の概念、活動体制と行政看護職の機能・役割、災害、感染症予防等の健康危機の種別に応じた活動方法を学ぶ。さらに、地域生活集団を対象とした看護管理を学び、既存事業の改革や事業化について考える。
また、学校保健活動と看護、産業看護職の役割と機能について学ぶ。

《授業の到達目標》

1. 行政分野における保健師の看護管理の目的と機能を理解し、保健師に求められる役割を考察できる。
2. 感染症の予防の原則を理解し、感染症の特徴に応じた個人・集団、自治体・国レベルの予防対策を説明できる。
3. 学校保健および産業保健における対象の健康課題と健康課題に応じた支援方法を説明できる。
4. 学校保健および産業保健における関係職種を理解し、多職種連携における看護職の役割を考察できる。

《評価の方法》

授業貢献度 10% （授業中の発言、態度をもとに評価する。）(到達目標1.2.3.4)
定期試験 90% （到達目標1.2.3.4）

《テキスト》

- (1)『公衆衛生看護学 第3版』（上野昌江、和泉京子 編 中央法規出版 2023年）
- (2)『国民衛生の動向 2024-2025』（厚生労働統計協会編 厚生労働統計協会 2024年）

《参考図書》

『標準保健師講座3 対象別公衆衛生看護活動』（中谷芳美 他著 医学書院 2024年）
その他適宜、資料を配布する。適宜、参考文献を紹介する。

《履修上の留意点》

様々な活動分野における看護職の役割について考えながら授業を進めていきます。小児看護学・成人看護学、公衆衛生看護学、感染免疫学等の既習の知識を踏まえ積極的にディスカッションしながら授業に参加することを期待します。

《備考》

保健師教育課程必修科目 健康危機管理、感染症対策等看護師にも重要な講義内容です。

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	公衆衛生看護管理 (事例管理、地区管理、事業 業務管理、組織運営管理、予 算管理、人材育成・人事管理 、情報管理)	ガイダンス / 公衆衛生看護管理の目的を理解し、保健師活動に みられる管理機能について学ぶ。 (予習) テキスト第4部p572～591を読む。(30分) (復習) 公衆衛生看護管理(事例管理、地区管理、事業業務管理、組織 運営管理、予算管理、人材育成・人事管理、情報管理)について整理す る。(30分)	平澤 則子
2	公衆衛生看護管理 (行政分野、看護管理、キャ リアラダー、公衆衛生看護倫 理)	保健師に求められる能力と管理機能について事例をを通して学び、これ からの保健師に求められる看護管理機能について考える。 (予習) 先回の講義内容を確認する。(30分) (復習) 講義を踏まえてテキスト第4部p572～591をまとめる。(30分)	平澤 則子
3	健康危機管理 (健康危機管理、災害、感染 症)	健康危機管理の理念と目的を理解し、健康危機管理における保健師の活 動と役割について学ぶ。 (予習) 災害、感染への備えとして自分自身が行っていることと、その 理由が述べられるように準備する。(30分) (復習) テキスト(1)p499～510を読む。(30分)	駒形三和子
4	感染症予防の原則 (感染症成立の3要因、感染 症予防の3原則、感染症法、 感染症類型、全数把握、定点 把握)	感染症保健 感染症成立の要因と予防の原則および感染力や重篤性から分類した感染 症類型の特徴を理解し、感染症保健活動の基盤となる根拠法の制定の背 景と予防対策のポイントを学ぶ。 (予習) テキスト(2)p127～128を読む。(15分) (復習) テキスト(1)p422～429を読む。(20分)	駒形三和子
5	感染症の特徴に応じた予防対 策 (結核、HIV/AIDS、新型イン フルエンザ、結核発生時の保 健活動の実際 等)	感染症保健 感染症の最近の流行状況を踏まえながら代表的な疾患とその予防対策を 学ぶ。 結核発生時の保健活動の実際について外部講師から学ぶ。 (予習) テキスト(1)p433～452を読む。(30分) (復習) テキスト(2)p203～217を読む。(30分)	駒形三和子

科目名	公衆衛生看護活動論	授業科目番号	2313080
担当者氏名	渡邊 路子、平澤 則子、駒形 三和子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	感染症拡大防止対策と予防接種 (感染症届出基準、感染症発生動向調査、検疫、予防接種)	感染症保健 感染症の蔓延を防ぐための国・自治体レベルの予防対策と予防接種法に基づく予防接種について学ぶ。 (予習) テキスト(1)p429～433を読む。(15分) (復習) テキスト(2)p147～153を読む。(15分)	駒形三和子
7	感染症集団発生の演習 (感染症集団発生の定義、アウトブレイク、パンデミック、食中毒と感染症)	感染症保健 感染症集団発生を引き起こしやすい疾患、原因、予防対策についてグループ演習を通して学ぶ。 (予習) 演習ワークシート(事前学習)を各自学習し演習に臨む。(60分) (復習) 演習ワークシート記入。次回講義開始時に提出。(45分)	駒形三和子
8	産業保健の目的と労働衛生管理体制(産業保健の目的(ILO)、歴史、労働基準法、労働安全衛生法、OSHMS、産業保健の行政組織、産業保健の社会資源)	産業保健 事例を通して、産業保健の目的、歴史、根拠法令と労働衛生管理体制について学ぶ。 (予習) 会社等に勤務している家族・知人に、健康管理がどのように実施されているか聞いてくる。(30分) (復習) テキスト第3部p381～388を読む。(30分)	渡邊 路子
9	産業保健師の活動 (労働衛生の5管理、産業医、総括衛生管理者、衛生管理者 衛生委員会、職場巡視)	産業保健 産業保健師の職務を通して、産業保健活動の展開と求められる役割を学ぶ。 (予習) テキストp388～p400を読む。(30分) (復習) 講義内容を踏まえてテキストの該当箇所をまとめる(60分)	渡邊 路子
10	職業性疾病と特殊健康診断 (職業性疾病と業務上疾病、じん肺、有機溶剤中毒、電離放射線、腰痛、VDT作業等)	産業保健 職業性疾病とその対応および、様々な健康診断について学ぶ。 (予習) テキストp400～408を読む。(30分) (復習) 講義内容を踏まえてテキストの該当箇所をまとめる(60分)	渡邊 路子
11	メンタルヘルス対策、治療と仕事の両立支援、高年齢労働者への支援(4つのケア、ストレスチェック制度、過重労働対策、両立支援、高年齢労働者)	産業保健 産業保健の大きな課題であるメンタルヘルス対策と、心身ともに影響の大きい長時間労働対策および、労働安全衛生法の縛りのない中小企業のサポートシステムを学ぶ。 (予習) テキストp409～411を読む。(30分) (復習) 講義内容を踏まえてテキストの該当箇所をまとめる。(60分)	渡邊 路子
12	産業保健の実際 (事業所の特性と健康課題、勤務形態、労働衛生管理の実際、産業保健師のやりがい、心がけていること)	産業保健 産業保健の実際について外部講師から学ぶ。 (予習) 産業保健 ～ まですを復習する(30分) (復習) 講義内容と合わせて学びを整理する。(30分)	渡邊 路子
13	学校保健の対象と関係職員の役割(学校保健安全法、学校教育法、学校給食法、養護教諭、保健主事、学校三師、養護教諭の歴史、職務内容、学校保健計画)	学校保健 学校保健活動の対象を理解し、対象の特性に応じた学校保健活動を展開するための根拠法令と学校保健関係職員の活動内容を学ぶ。 (予習) 自分が今まで出会った養護教諭との印象的なエピソードを200文字程度でまとめる。(30分) (復習) テキスト第3部p356～370を読む。(30分)	渡邊 路子
14	養護教諭の活動内容と健康課題に応じた支援活動(保健教育、保健管理、保健室経営、いじめ、不登校、慢性疾患をもつ児童・生徒、医療的処置の必要な児童・生徒)	学校保健 学校保健活動の中心的役割を担う養護教諭の活動を通して、学校保健活動の展開方法と求められる役割を学ぶ。 (予習) テキストp370～380を読む。(30分) (復習) 講義内容を踏まえてテキストの該当箇所をまとめる。(60分)	渡邊 路子
15	学校保健の実際 (養護教諭の一日、今日的健康課題とその対応、関係者との連携、養護教諭としてこころがけていること)	学校保健 学校保健の実際について外部講師から学ぶ。 (予習) 学校保健 の講義の内容を復習する。(30分) (復習) 授業で使用した過去問の振り返る。(30分)	渡邊 路子

科目名	公衆衛生看護支援技術			授業科目番号	2313210
担当者氏名	渡邊 路子、平澤 則子、駒形 三和子、山崎 節子、田辺 生子			実務経験のある教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	選択	開講年次	2年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力		2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力、○2-3 エビデンスに基づく看護実践力、○5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力			

《授業の概要》

公衆衛生看護の理念に基づき、住民の家庭、地域社会生活の場において提供する地域看護援助方法を学び、対象の特性に応じた支援における保健師の役割、機能を考える。個人・家族を対象とした家庭訪問・健康相談、集団を対象とした健康教育・健康学習の方法と技術および地域におけるグループ支援の方法と技術を学ぶ。そして、地域住民と共に展開する地域看護活動の目的と方法を考える。

位置づけ：保健師教育課程必修科目です。公衆衛生看護学概論、公衆衛生看護活動論で学んだ公衆衛生看護活動の展開に必要な技術を修得する科目です。

《授業の到達目標》

- 1. 個人・家族の健康課題に応じた個別保健指導（家庭訪問・健康相談）の目的と展開方法を説明できる。
- 2. 集団を対象とした健康教育のねらいを理解し、企画・実施・評価をする際の留意点を説明できる。
- 3. 家庭訪問・健康相談の演習を通して、保健指導における保健師の役割を考察できる。
- 4. 地域におけるグループ支援および地域ケアシステム構築の目的と保健師の役割を考察できる。

《評価の方法》

授業貢献度 10%（授業中の発言、態度をもとに評価する。）(到達目標1.2.3.4)
技術演習 40%(到達目標1.3)、定期試験 40%(到達目標1.2.4)、レポート 10%(到達目標4)

《テキスト》

- (1)『公衆衛生看護学 第3版』（上野昌江、和泉京子 編 中央法規出版 2023年）
- (2)『国民衛生の動向 2024・2025』（厚生労働統計協会編 厚生労働統計協会 2024年）

《参考図書》

『最新 公衆衛生看護学 第3版 2024年版 総論』（宮崎美砂子他著 日本看護協会出版会 2024年）
適宜、資料を配布する。適宜、参考文献を紹介する。

《履修上の留意点》

家庭訪問・健康相談の演習は楽しい演習になると思いますが、準備がとても重要です。授業時間外の時間を有効に活用して担当教員との意見交換を密にして授業に臨んでください。学生同士のグループワークでは、お互いを尊重しグループダイナミクスを最大限に発揮できる様、協力して課題に向かうことを期待します。

《備考》

保健師教育課程必修科目 地域での保健師の支援方法を学ぶことは、看護師としての視野を広げることにもつながります。

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	保健指導 （保健師、保健指導）	ガイダンス 保健師が行う保健指導の特徴と保健指導の技術について学ぶ。 （予習）1年次の概論で学んだ保健師助産師看護師法における保健指導について確認する。（30分） （復習）テキスト(1)p146～154を読む。 保健指導で活用できる理論について整理する。（30分）	駒形三和子
2	健康相談・家庭訪問 （個人、家族、保健指導）	健康相談の目的、方法を理解し、健康相談の展開過程の実際を学ぶ。 家庭訪問の目的・対象、援助方法を学ぶ。 （予習）テキスト(1)p170～174（健康相談）、p156～161（家庭訪問）を読む。（30分） （復習）健康相談・家庭訪問の対象と支援の特徴についてポイントを整理する。（30分）	駒形三和子
3	家庭訪問 （家庭訪問計画、記録）	家庭訪問の展開方法を学ぶ。 （予習）テキスト(1)p161～169を読む。（15分） （課題）後半の演習までに事例を読んで家庭訪問計画、健康相談計画を立てる。（45分）	駒形三和子
4	健康教育 （健康教育の特徴、場の理論、動機づけ、KAPモデル、保健信念モデル、ヘルスビリーフモデル、ヘルスリテラシー）	保健師が行う健康教育の目的を理解し、健康教育を企画するための理論およびモデルを踏まえた健康教育の展開方法について学ぶ。 （予習）テキスト(1)第5章p186～193を読む。（30分） （復習）健康教育の理論について学びを整理する。（30分）	渡邊 路子
5	健康教育 （テーマ、対象把握、学習内容、教材案、評価計画、演習準備）	健康教育を企画・実施・評価するための具体的な方法を事例を通して学ぶ。また、対象者の理解を深めるためのシナリオ・媒体を作成する際の留意点について学ぶ。 （予習）テキスト(1)p194～202を読む。（30分） （復習）健康教育を企画・実施・評価する際のポイントを整理する。（30分）	渡邊 路子

《専門教育科目 専門科目 地域社会と看護》

科目名	公衆衛生看護支援技術	授業科目番号	2313210
担当者氏名	渡邊 路子、平澤 則子、駒形 三和子、山崎 節子、田辺 生子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	グループ支援 (グループ支援の定義・理念、目的、対象、特徴、進め方、地域活動の特徴)	グループの理論について概観し、保健師活動に係るグループの種類と特性について学ぶ。グループの発展過程における支援のあり方と役割について学ぶ。 (予習)グループワーク等のグループ活動のメリットとデメリットを各々3つ考える。(30分) (復習)配布資料およびテキスト(1)p203～212を読み、学びを整理する。(60分)	山崎 節子
7	地区組織活動 (定義・理念、目的、展開)	地区組織活動の展開における保健師の役割について事例や映像資料を活用しながら考える。 (予習)テキスト(1)p213～218を読む。(30分) (課題)グループ支援における保健師の役割について800字程度にまとめ、提出する。(90分)	山崎 節子
8	社会資源の開発 (社会資源、開発、事業化、施策化)	社会資源の開発の目的、特徴について、学ぶ。保健師が行う事業化、施策化とはどのようなものかを理解する。事例を通じて保健師が行う社会資源の開発の実践について理解する。 (予習)今までの学習の中で、健康上の問題で地域を巻き込んで解決したほうが良いと思われる課題を1つ以上挙げる。(30分) (復習)テキスト(1)p289～245を読み、講義内容と合わせ学びをまとめる。(30分)	平澤 則子
9	地域ケアシステム (地域ケアシステム、地域づくり・まちづくり、地域共生社会)	地域ケアシステム構築において、課題になること、保健師活動として目指すもの、活動の評価について事例を展開しながら学ぶ。 (予習)テキスト(1)p289～245を読んでくる。(30分) (課題)地域ケアシステムにおける保健師の役割について800字程度にまとめ提出する。(30分)	平澤 則子
10	家庭訪問演習計画 (こんにちは赤ちゃん訪問、家庭訪問計画、乳幼児の発育・発達)	「こんにちは赤ちゃん訪問」の事例を用いた家庭訪問計画を立案し、教員から指導を受け修正する (事前課題)「こんにちは赤ちゃん訪問」の事例を読んで家庭訪問計画を立て、指定された日時までに提出する。(60分)	駒形三和子 平澤 則子 渡邊 路子 山崎 節子 田辺 生子
11	家庭訪問演習 (家庭訪問のプロセス、訪問時のマナー、乳児の体重測定、1日体重増加量)	「こんにちは赤ちゃん訪問」の事例を用いて、訪問計画～訪問～訪問記録のプロセスを体験する。 (事前課題)指定された日時までに、修正した家庭訪問計画のコピーを提出する。(45分) (当日持参物品)母子手帳、電卓	駒形三和子 平澤 則子 渡邊 路子 山崎 節子 田辺 生子
12	家庭訪問演習 (家庭訪問のプロセス、訪問時のマナー、乳児の体重測定、1日体重増加量、訪問記録)	「こんにちは赤ちゃん訪問」の事例を用いて、訪問計画～訪問～訪問記録のプロセスを体験する。 (課題)記録の提出(60分)	駒形三和子 平澤 則子 渡邊 路子 山崎 節子 田辺 生子
13	健康相談演習計画 (特定健康診査、特定保健指導、ヘルスビリーフモデル)	「特定保健指導」の事例を用いた健康教育計画を立案し、教員から指導を受け修正する (事前課題)「特定保健指導」の事例を読んで健康相談計画を立て、指定された日時までに提出する。(60分)	駒形三和子 平澤 則子 渡邊 路子 山崎 節子 田辺 生子
14	健康相談演習 (特定保健指導、ヘルスビリーフモデル)	「特定保健指導」の事例を用いて、健康相談計画～健康相談～相談記録のプロセスを体験する。 (事前課題)指定された日時までに、修正した健康相談計画のコピーを提出する。(60分) (当日持参物品)聴診器	駒形三和子 平澤 則子 渡邊 路子 山崎 節子 田辺 生子
15	健康相談演習 (特定保健指導、ヘルスビリーフモデル)	「特定保健指導」の事例を用いて、健康相談計画～健康相談～相談記録のプロセスを体験する。 (課題)記録の提出(60分)	駒形三和子 平澤 則子 渡邊 路子 山崎 節子 田辺 生子

科目名	統計分析法			授業科目番号	1101030
担当者氏名	船津 誠也			実務経験のある 教員等による授業科目	
授業方法	講義	単位	1単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	3年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		○1-1 幅広い教養と多様性を理解する力、○4-1 看護学を探究する意欲、 を追究する基礎的研究能力 4-2 看護			

《授業の概要》

統計に必要な数字やデータ間の関係性を明らかにする方法だけでなく、実践的な例題を通じてデータが持つ「意味」を考える機会とします。講義では、「データから読み取れる特徴、集計、整理する方法」「一部のデータから全体を推計する方法」「データ間の関係性を分析する方法」を学び、受講者の興味関心に基づき、医療分野のみならず、趣味や日常生活に統計学が役立つイメージの理解」に結びつけることを目標にします。本科目は情報活用法の授業を受講していることを前提としている。

《授業の到達目標》

知識・技能の観点：基本的な統計用語を説明できる。検定、推定の仕組みを説明できる。統計ソフトを使用して平均、分散の検定ができる。思考・判断・表現の観点：各種のデータに関して、どのような処理をすればよいか考えることができる。

《評価の方法》

課題提出により評価する。統計ソフトを使用して平均、分散の検定ができる(40%)。各種のデータに関して、どのような処理をすればよいか考えることができる(40%)。グループ発表への参加(20%)。

《テキスト》

『[新版] 身近な統計』（石崎克也、渡辺美智子 著 放送大学教育振興会 2024年）

《参考図書》

『事例で学ぶExcel統計』（羽山博 著 日経BP 2022年）

《履修上の留意点》

Excelを使用して実習を行なうため、必ずPCを持参すること。
課題は必ず自分で作成すること。（他人のものを流用した場合は失格とする。）

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	ガイダンス	授業の進め方および日常生活における統計等について解説する。さらに統計を使うことの利点、統計の限界などについて説明する。	船津 誠也
2	変数の相関（変数の性質）	変数の相関についてExcelを使って学修する。テキスト第13章を読んでくる（60分）	船津 誠也
3	正規分布（ガウス分布、平均値、中央値、最頻値）	正規分布についてExcelを使って学修する。テキスト第8章を読んでくる（60分）	船津 誠也
4	母集団と標本の関係（母集団、標本抽出）	母集団と標本の関係についてExcelを使って学修する。テキスト第9章を読んでくる（60分）	船津 誠也
5	標本統計（標本分布）	標本統計についてExcelを使って学修する。テキスト第10章を読んでくる（60分）	船津 誠也

科目名	統計分析法	授業科目番号	1101030
担当者氏名	船津 誠也		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	推定(推定)	調査対象のデータから全体の特徴を推定する方法を解説し、Excelを使って学修する。テキスト第10章を読んでもくる(60分)	船津 誠也
7	質的データのばらつきを表やグラフで要約する(質的データ)	質的データの特徴と分布の意味を解説する。テキスト第2章を読んでもくる(60分)	船津 誠也
8	量的データのばらつきを表やグラフで要約する(量的データ)	量的データのばらつきを記述する方法、情報の読み取り方を解説する。テキスト第3章を読んでもくる(60分)	船津 誠也
9	データのばらつきを数値でまとめる(測定誤差)	分布の特徴を数値で表すことの意味、代表値としての平均値、中央値、最頻値の特徴を解説する。テキスト第4章を読んでもくる(60分)	船津 誠也
10	統計的仮説検定1(帰無仮説、対立仮説)	標本から仮説の真偽を判定するための統計的検定について学修する。テキスト第11章を読んでもくる(60分)	船津 誠也
11	統計的仮説検定2(有意水準)	母平均に関する検定を学修する。テキスト第11章を読んでもくる(60分)	船津 誠也
12	アンケート調査1(調査項目)	調査の目的と質問項目の作成、検討を行なう。グループ分けを行ない、各グループで何について調査を行なうか、を検討する。今までに学んだ統計方法を復習しておく(60分)	船津 誠也
13	アンケート調査2(調査対象)	各グループにて調査の目的と質問項目の作成、検討を行なう。授業終了後、次の授業までに各グループでアンケート調査を行なう。今までに学んだ統計方法を復習しておく(60分)	船津 誠也
14	アンケート調査3(統計的分析)	各グループでアンケート調査の結果をまとめ、調査対象の傾向を統計的に分析し、考察する。今までに学んだ統計方法を復習しておく(60分)	船津 誠也
15	アンケート調査4(結果プレゼン)	各グループのアンケート調査の結果を発表する。	船津 誠也

科目名	医療英語			授業科目番号	1102110
担当者氏名	川崎 眞理子			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	1単位	時間	
必・選	選択	開講年次	3年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		1-1 幅広い教養と多様性を理解する力、○5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力			

《授業の概要》

「ベーシック英語」「看護に活かすコミュニケーション英語」で獲得した能力を基盤とし、看護や医療に関連する英語読解力、英語表現力を発展させる。看護や医療に関する英語による情報を（ニュースや学術論文）を聴解・読解し、内容を口頭や文面で発信する力を養う。同時に、英語による看護実践に必要な英語力を向上させる。加えて、国際社会・多様な文化における看護職の役割を認識する。

具体的には次の3点を検討・考察する： 健康課題と取組み EBP（実証に基づいた実践） 国際社会における今後の看護職に求められる役割や責任

《授業の到達目標》

英語による看護実践や研究に必要な英語運用能力(4技能)を身に付けている。

保健・医療・福祉の現状と課題について理解できる。

EBPの必要性を理解し、必要な研究報告を読み取れる。

Society 5.0において看護職に求められる役割や責任を認識している。

《評価の方法》

授業内情報共有20%(、課題(多読多聴他自主学习20%、プレゼンテーション35%、レポート25%)80%()

提出物はグーグルクラスルームにて校閲・コメント付記・採点を行います。

《テキスト》

『CLIL Health Explorations』（Chad L. Godfrey 他著 三修社 2023年）

《参考図書》

適宜紹介

《履修上の留意点》

データベース等による文献検索や文献の引用方法を理解しておいてください。本授業はCollaborative Learning Communityです。主体的・対話的で深い学びを実現するよう協働することを全員に求めます。担当教員は、学習者の協働学習を支援します。シラバスは最適な学修の促進と支援のために適宜変更します。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	ガイダンス 文献検索	シラバス確認（授業の進み方、評価方法、評価基準） グループ・担当分担、自己分析、目標設定 データベースや電子ジャーナル・グーグルスカラーを活用し縦横に文献を検索し、テーマをしぼる 授業外学習：多読多聴・課題（約2時間/週）	川崎眞理子
2	医療英語 論文 (Nutrition, fitness)	医療英語(Nutrition, fitness) Academic Paperの概要、背景や目的を読む ムーブ・表現を確認する 授業外学習：多読多聴・課題（約4時間/週）	川崎眞理子
3	医療英語 論文 (Osteoporosis)	医療英語(Osteoporosis) Academic Paperの方法と結果を読む ムーブ・表現を確認する レビュー論文を選ぶ 授業外学習：多読多聴・課題（約4時間/週）	川崎眞理子
4	医療英語 論文 (Chronic diseases)	医療英語(Chronic diseases) Academic Paperの結論と考察を読む ムーブ・表現を確認する 授業外学習：多読多聴・課題（約4時間/週）	川崎眞理子
5	医療英語 EBP (Streee, sleep, addiction)	医療英語(Streee, sleep, addiction) EBP レビュー中間発表 授業外学習：多読多聴・課題（約4時間/週）	川崎眞理子

科目名	医療英語	授業科目番号	1102110
担当者氏名	川崎 真理子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	医療英語 PBL (Brain illness)	医療英語(Brain illness) PBL(仮題解決型学習) 授業外学習:多読多聴・課題(約4時間/週)	川崎真理子
7	医療英語 (Presentation, Discussion)	医療英語(CAM) 授業外学習:多読多聴・課題(約4時間/週)	川崎真理子
8	課題発表 (Presentation, Discussion)	英語で効果的な発表を行い、意見交換を行う 最終課題 授業外学習:多読多聴・課題(約4時間/週)	川崎真理子
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

科目名	保健医療福祉行政論			授業科目番号	2210020
担当者氏名	五十嵐 直子			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	3年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力、○5-2 地域社会に貢献する態度			

《授業の概要》

保健医療福祉行政論は、公衆衛生看護を实践するための基礎となるとともに、地域で包括的に住民をケアするための基礎となる科目でもあり、保健師にとっても看護師にとっても必要な科目である。そこで、地域住民がより良い暮らしを営むことを支援する基盤となる保健医療福祉の歴史を理解することから始まり、制度と行政の仕組みを理解する。また、現在の日本の保健医療福祉行政の現状を知り、評価と課題を抽出し、対策を考える。

《授業の到達目標》

1. 保健医療福祉行政の根拠、公衆衛生の定義を説明できる。
2. 保健医療福祉行政のしくみと保健師の役割について説明できる。
3. 保健医療福祉計画の経過と評価についてそのプロセスを説明できる。
4. 日本の保健医療福祉行政の現状から課題と対策を考察できる。

《評価の方法》

学習態度10%、授業中の発言、態度をもとに評価する（到達目標の1・2・3・4）
定期試験90%（到達目標の1・2・3）

《テキスト》

『標準保健師講座 保健医療福祉行政論 第6版』（藤内修二他著 医学書院 2025年）
『国民衛生の動向 2023/2024』（厚生労働統計協会編 厚生労働統計協会 2023年）
適宜ハンドアウト配布

《参考図書》

《履修上の留意点》

保健医療福祉行政を理解することは、地域における保健師業務のみならず臨床で看護を含めた看護職全体に必要な不可欠であり、広い視野と幅広い分野で活躍出来る看護職として行政の仕組みを理解することは重要である事を認識し履修すること。

《備考》

保健師教育課程必修科目

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	保健医療福祉行政の基本となるもの (日本国憲法第25条、健康の定義、公衆衛生、ヘルスプロモーション、ソーシャルキャピタル)	ガイダンス 保健医療福祉行政の根拠、公衆衛生の理念と戦略について理解する。 (予習)教科書P2～19を読む。(60分) 自分にとっての健康の意味を考えてみる (復習)講義のポイントをノートにまとめる。(60分)	五十嵐直子
2	保健医療福祉制度の変遷 ー公衆衛生の基盤形成 (英国で始まった近代公衆衛生の歴史と日本の近代公衆衛生の歴史)	公衆衛生の歴史から公衆衛生の本質と現在の施策の連続性を学ぶ。 (予習)教科書p22～34を読む。(60分) (復習)ポイントをノートにまとめる。(60分)	五十嵐直子
3	保健医療福祉制度の変遷 保健医療福祉行政の動向(平成以降) (保健所法から地域保健法へ) 各分野における政策の転換と充実1	保健所法から地域保健法への改正とその内容。少子化対策の進展。平成以降の保健医療福祉行政について各分野における政策の転換について学ぶ。(生活習慣病対策、母子保健対策、児童虐待防止対策) (予習)教科書P35～44を読む。(60分) (復習)講義のポイントをノートにまとめる。(60分)	五十嵐直子
4	保健医療福祉制度の変遷 保健医療福祉行政の動向(平成以降) 各分野における政策の転換と充実2	平成以降の保健医療福祉行政について各分野における政策の転換について学ぶ。(障害者(児)対策、高齢者保健福祉対策、認知症対策、精神保健対策、自殺対策・依存症対策) (予習)教科書P45～53を読む。(60分) (復習)講義のポイントをノートにまとめる。(60分)	五十嵐直子
5	保健医療福祉制度の変遷 保健医療福祉行政の動向(平成以降) 各分野における政策の転換と充実2(感染症法、難病対策、災害対策)	第4回に続いて各分野における政策の転換について学ぶ。 (歯科口腔保健対策、感染症対策、がん対策、難病対策、災害対策) (予習)教科書P53～60を読む。(60分) (復習)講義のポイントをノートにまとめる。(60分)	五十嵐直子

《専門教育科目 専門基礎科目 健康と社会のシステム》

科目名	保健医療福祉行政論	授業科目番号	2210020
担当者氏名	五十嵐 直子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	国・都道府県・市区町村の行政のしくみと役割 行政における保健師の役割と活動 (保健行政、保健師活動指針、統括保健師)	保健行政の体系と役割の理解及び、様々な行政部門で働く保健師の業務や体制を理解する。 (予習)教科書P62～82を読む。(60分) (復習)講義のポイントをノートにまとめる。(60分)	五十嵐直子
7	保健医療福祉の財政 公衆衛生に関する国際的な活動 (財政、予算、国際協力)	国と地方公共団体の財政のしくみについて理解する。 保健医療分野の国際協力のしくみを理解する。 (予習)教科書P83～96を読む。(60分) (復習)講義のポイントをノートにまとめる。(60分)	五十嵐直子
8	地域保健行政と保健師活動 地域保健体系における都道府県と市町村の役割分担と保健師活動 (保健所都市町村保健センター)	地域保健行政における公的機関 都道府県と市町村の役割分担と保健師活動、関係機関との連携について学ぶ (予習)教科書100～126を読む。(60分) (復習)講義のポイントをノートにまとめる。(60分)	五十嵐直子
9	社会保障制度と政策 社会保障制度の理念としくみ 医療制度と政策 (社会保障の法規、医療制度と医療保険のしくみ)	社会保障制度の概念・目的・制度体系について学ぶ。 医療制度と医療保険のしくみについて理解する。 (予習)教科書P124～143を読む。(60分) (復習)講義のポイントをノートにまとめる。(60分)	五十嵐直子
10	社会保障制度と政策 医療制度としくみ医療提供体制の管理と整備 (医療提供体制、医療安全、医療計画、地域医療構想)	医療対策と医療提供体制について学ぶ。 医療安全のための対策について学ぶ。 (予習)教科書P143～157を読む。(60分) (復習)講義内容をノートにまとめる。(60分)	五十嵐直子
11	介護保険制度 (介護保険、介護保険サービス、地域包括支援センター 地域支援事業、保健師の役割)	社会保障制度としての介護保険制度について学ぶ。 介護保険制度の概要、介護保険サービスの内容、地域包括ケアシステム等と保健師の役割。 (予習)教科書P157～172を読む。(60分) (復習)講義のポイントをノートにまとめる。(60分)	五十嵐直子
12	社会保障・社会福祉の制度 (公的年金、公的扶助、児童福祉)	社会保障制度のうち公的年金制度、労働保険について学ぶ。 社会福祉の制度について、生活保護、児童福祉、高齢者福祉、障害者福祉の概要について学ぶ。 (予習)教科書P173～194を読む。(60分) (復習)講義のポイントをノートにまとめる。(60分)	五十嵐直子
13	保健医療福祉の計画と評価 地方公共団体の保健医療福祉計画 保健計画の策定プロセス (基本構想と分野別計画、保健計画策定への住民参加)	地方公共団体の保健医療福祉計画の種類とその目的について理解する。 地方公共団体における保健計画策定のプロセスについて学ぶ。 (予習)教科書P196～218を読む。(60分) (復習)講義のポイントをノートにまとめる。(60分)	五十嵐直子
14	保健医療福祉の計画と評価 保健計画の策定プロセス 保健計画の推進と評価 (目標値の設定方法、エンパワメント、住民への周知、評価の実際)	13回に続いて保健計画のプロセスについて学ぶと共に保健計画の推進と評価について学ぶ。 (予習)教科書P218～233を読む。(60分) (復習)講義のポイントをノートにまとめる。(60分)	五十嵐直子
15	演習：保健事業の立案プロセスを学ぶ 保健医療福祉行政論のまとめ	事例から保健事業の実際についてプロセスを学ぶ。 授業全体について振り返り内容をまとめる。 (予習)教科書P234～254を読む。事例について自分ならどうするか考えてみる。(60分) (復習)事例についてもう一度講義内容に沿ってまとめる。(60分)	五十嵐直子

《専門教育科目 専門科目 看護の基本》

科目名	看護倫理			授業科目番号	2311060
担当者氏名	樋本 まゆみ			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	必修	開講年次	3年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		1-1 幅広い教養と多様性を理解する力、○1-2 人間の尊厳・権利を尊重する力、○ 1-3 他者の自己決定を擁護する力			

《授業の概要》

看護倫理の歴史の変遷から倫理的課題と概念を理解し、倫理の原則、倫理規定から看護職者に求められる倫理観について学習する。また、医療・看護の場で直面する倫理的問題やジレンマについて理解を深め、その問題解決のために活用できる法的仕組みや意思決定理論を学習する。また、事例を用いて倫理的な問題・葛藤についてグループワークで検討し、その患者にとって最も適切であると判断・行動できるための理論的根拠を考察し、看護職者として責務が果たせる基礎的能力を身につける。専門科目の看護の基本となるものに位置づけられている。各科目との連携がある。

《授業の到達目標》

1. 看護倫理の基礎が理解できる
2. 徳の倫理・原則の倫理・ケアの倫理について理解し、看護倫理の重要な用語について説明できる
3. 倫理的問題・ジレンマに対して倫理的意思決定のステップを用いて学習しグループワークにおいて検討できる

《評価の方法》

定期試験90%(達成目標1.2.3) 倫理的意思決定のステップ(グループワークの取り組み、記録物)10%(到達目標1.3)

《テキスト》

- 『看護倫理 改訂版第3版』(小西恵美子編 南江堂 2021年)
『看護職の基本的責務 2025年版』(手島恵 監修 日本看護協会出版会 2025年)

《参考図書》

- 『看護実践の倫理』(サラ T. フライ 他著 日本看護協会出版会 2010年)

《履修上の留意点》

授業中に対応する教科書のページを熟読しておくこと。倫理はそれぞれの価値の違いを知る学問でもあるため、積極的に意見交換ができることを望みます。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	看護倫理についての基礎知識	科目のガイダンス(学習目的・到達目標・学習方法・受講上の注意など) 看護倫理の基礎知識と歴史の変遷 (予習) 指定教科書第1章を熟読する(約30分) (復習) 受講後、教員の解説を踏まえ、テキストに沿って内容をまとめておく(60分)	樋本まゆみ
2	看護倫理のアプローチ	徳の倫理・原則の倫理・ケアの倫理、看護職の倫理綱領について事例を交えながら説明されたことを理解する。 (予習) 指定教科書第2章を熟読する(約30分) (復習) 受講後、教員の解説を踏まえ、テキストに沿って内容をまとめておく(60分)	樋本まゆみ
3	看護倫理に関係する重要な言葉	倫理に関係する重要な言葉(和、コンパッション、共感、道徳的感受性と道徳的レジリエンスなど)について理解する。 (予習) 指定教科書第3章を熟読する(約30分) (復習) 受講後、教員の解説を踏まえ、テキストに沿って内容をまとめておく(60分)	樋本まゆみ
4	看護倫理に関係する重要な言葉	倫理に関係する重要な言葉を理解する。(対象者を中心とした看護、患者の尊厳、看護アドボカシー、協力と協働、パターナリズムなど) (予習) 指定教科書第3章を熟読する(約30分) (復習) 受講後、教員の解説を踏まえ、テキストに沿って内容をまとめておく(60分)	樋本まゆみ
5	看護職の責任－倫理的責任と法的責任、	看護職の責任－倫理的責任と法的責任について理解する。 (予習) 指定教科書P109～P130を熟読する(約30分) (復習) 受講後、教員の解説を踏まえ、テキストに沿って内容をまとめておく(60分)	樋本まゆみ

科目名	看護倫理	授業科目番号	2311060
担当者氏名	樋本 まゆみ		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	事例検討	倫理的意思決定のステップと事例検討、原則の倫理や看護職の倫理綱領について理解する。 (予習) 指定教科書第4章を熟読する(約30分) (復習) 受講後、グループワークでまとめたステップシートと根拠をまとめる(60分)	樋本まゆみ
7	事例検討と発表	倫理的意思決定のステップと事例検討、原則の倫理や看護職の倫理綱領に基づく検討を行う。授業内にステップシートについてコメントを行う。 (予習) ステップシートの作成を行う(約30分) (復習) グループワークと発表の振り返りとまとめる(60分)	樋本まゆみ
8	事例発表と全体のまとめ	倫理的意思決定のステップと事例検討、原則の倫理や看護職の倫理綱領に基づく検討の発表と全体のまとめ 授業内にステップシートを提出する。 (予習) ステップシート完成させる(約30分) (復習) 倫理的意思決定のステップについて書籍を読み、行ったことを振り返る(60分)	樋本まゆみ
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

科目名	老年看護援助論			授業科目番号	2312100
担当者氏名	多田 健一、角山 裕美子、青柳 直樹			実務経験のある教員等による授業科目	○
授業方法	演習	単位	1単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	3年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力		○2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度、○2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力、2-3 エビデンスに基づく看護実践力			

《授業の概要》

高齢者のあらゆる健康レベルや多様な療養・生活の場に応じた看護を展開するために、事例を用いて、生活機能に焦点をあてた看護過程の展開を学ぶ。高齢者の特徴である加齢に伴う諸機能の変化、複数の疾患や薬剤による影響、環境変化から日常生活に及ぼす影響を捉え、目標志向型思考により高齢者の望む生活の実現にむけた看護を学ぶ。また、老年看護に必要なコミュニケーション技法および日常生活援助技術を体験型の演習で学ぶ。

《授業の到達目標》

1. 体験型演習を通して、高齢者の心身機能の変化を捉え、必要な看護ケアを説明できる。 2. 高齢者の状態をアセスメントし、生活機能を整える看護を計画できる。 3. 認知症をもつ高齢者のコミュニケーション方法を述べられる。 4. 高齢者の多様な生活・療養の場における看護を述べられる。 5. 高齢者のリスクマネジメントについて述べられる。 6. エンドオブライフケアで求められる老年看護の役割を述べられる。

《評価の方法》

課題レポート・小テスト50%(到達目標1.2.3)、定期試験50%(到達目標3.4.5.6)

《テキスト》

- 『系統看護学講座 老年看護学』（北川公子 他著 医学書院 2018年）【2年次購入済】
- 『系統看護学講座 老年看護 病態・疾患論』（鳥羽研二 他著 医学書院 2018年）【2年次購入済】
- 『ウェルネスの視点にもとづく老年看護過程 第3版』（奥宮暁子 他著 医歯薬出版株式会社 2024年）

《参考図書》

- 『生活機能からみた老年看護過程 第4版』（山田律子他編集 医学書院 2020年）

《履修上の留意点》

課題レポートの提出場所および提出期限については、授業時に説明を行う。また、実施した小テスト・課題レポートに関して、評価を加えて定期試験前に返却しフィードバックを行う。当科目の学修に関連する重要な科目は、1,2年次の専門教育科目に加え、特に老年看護学概論、老年看護援助論 であり、高齢者およびその看護について理解をすすめていく。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	授業ガイダンス (高齢者の特徴を生かした看護過程、生活行動モデルによる看護過程、目標志向型思考)	授業ガイダンス ・高齢者の特徴をいかした看護過程 ・生活行動モデルによる看護過程 ・目標志向型思考 ・演習事例の看護過程の展開方法 (予習) 高齢者の特徴をいかした看護過程、看護過程の展開 テキスト 3.pp2～20を読む(30分) (復習) 本日の授業内容の整理(30分)	多田 健一
2	高齢者疑似体験 (高齢者疑似体験)	高齢者疑似体験 演習 ・高齢者体験グッズを着着した高齢者疑似体験 (予習) 既習の高齢者に関する知識の復習(30分) (復習) 演習後、課題レポート にまとめる(30分)	多田 健一 角山裕美子 青柳 直樹
3	看護過程の展開 (事例展開)	事例展開 演習 ・介護老人保健施設に入所している高齢者の事例展開についての説明 ・介護老人保健施設に入所している高齢者の小グループでの事例展開(アセスメント) (予習) 事例を読み込んでおく(30分) (復習) 生活機能の観点からアセスメントをする(30分)	多田 健一 角山裕美子 青柳 直樹
4	看護過程の展開 (事例展開)	事例展開 演習 ・介護老人保健施設に入所している高齢者の小グループでの事例展開(アセスメント/全体像) (予習) アセスメントした内容から、不明な点を明らかにしておく(30分) (復習) 生活機能の観点からアセスメントした内容をもとに、全体像を捉える(30分)	多田 健一 角山裕美子 青柳 直樹
5	看護過程の展開 (事例展開)	事例展開 演習 ・介護老人保健施設に入所している高齢者の小グループでの事例展開(アセスメント/全体像) (予習) 捉えた全体像から看護課題を見出す(30分) (復習) 捉えた全体像から、優先順位を見出す(30分)	多田 健一 角山裕美子 青柳 直樹

科目名	老年看護援助論	授業科目番号	2312100
担当者氏名	多田 健一、角山 裕美子、青柳 直樹		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	看護過程の展開 (事例展開)	事例展開 演習 ・介護老人保健施設に入所している高齢者の小グループでの事例展開(看護計画) (予習)抽出された看護課題から看護目標を立てる(30分) (復習)具体的な看護計画となっているか確認する(30分)	多田 健一 角山裕美子 青柳 直樹
7	看護過程の展開 (事例展開)	事例展開 演習 ・介護老人保健施設に入所している高齢者の小グループでの事例展開(看護計画) (予習)具体的な看護計画となっているか確認する(30分) (復習)個別性のある看護計画となっているか確認する(30分)	多田 健一 角山裕美子 青柳 直樹
8	看護過程の展開 (事例展開)	事例展開 演習 ・介護老人保健施設に入所している高齢者の事例展開(全体のまとめ) (予習)個別性のある看護計画となっているか確認する(30分) (復習)全体として一貫性のある看護過程になっているか確認する(30分)	多田 健一
9	認知症高齢者とのコミュニケーション(シミュレーション演習)	演習 演習 ・認知症高齢者とのコミュニケーションの実際 (予習)事前課題に取り組む(30分) (復習)実践をもとに振り返りを行いレポートする(30分)	多田 健一 角山裕美子 青柳 直樹
10	高齢者の食生活を支える看護技術 (口腔ケア、ポジショニング)	演習 演習 ・高齢者の食生活を支える口腔ケア、ポジショニングの実際をグループ単位で体験型演習で学ぶ。 (予習)事前課題に取り組む(30分) (復習)事後課題に取り組む(30分)	多田 健一 角山裕美子 青柳 直樹
11	高齢者の排泄を支える看護技術 (陰部洗浄) (おむつ交換)	演習 演習 ・高齢者の排泄を支える看護技術であるおむつ交換、陰部洗浄の実際をグループ単位で体験型演習で学ぶ。 (予習)事前課題に取り組む(30分) (復習)事後課題に取り組む(30分)	多田 健一 角山裕美子 青柳 直樹
12	多様な生活・療養の場での老年看護 (介護老人保健施設) (特別養護老人ホーム) (地域密着型サービス) (介護予防)	外部講師による講義 ・保健医療福祉施設での老年看護 ・居住施設での老年看護 ・地域に暮らす高齢者の介護予防 (予習)テキスト1.pp365～373を読む(30分) (復習)本日の授業内容の整理(30分)	多田 健一
13	人生100年時代に求められる老年看護 (最新の老年看護)	老人看護専門看護師(GCNS)による講義 ・老年看護エキスパートによる実践事例の紹介 ・老年看護の最新技術 ・次世代に求められる老年看護の役割 (予習)GCNSの役割について調べておく(30分) (復習)本日の授業内容の整理(30分)	多田 健一
14	高齢者のリスクマネジメント (医療安全) (救命救急) (災害)	・高齢者と医療安全 ・高齢者と救命救急 ・高齢者と災害 (予習)テキスト1.pp388～406を読む(30分) (復習)本日の授業内容の整理(30分)	角山裕美子
15	エンドオブライフケア (意思決定支援) (終末期医療) (多職種連携)	・高齢者にとっての死、高齢者の意思決定支援、高齢者の終末期医療 ・多職種連携による生を支える援助 (予習)テキスト1.p348～358を読む(30分) (復習)今までの学習から老年看護の役割をまとめる(30分)	青柳 直樹 多田 健一

科目名	小児看護援助論			授業科目番号	2312150
担当者氏名	伊藤 文子、沼野 博子、永谷 智恵、船岡 未恵			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	演習	単位	1単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	3年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		○2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度、○2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力、2-3 エビデンスに基づく看護実践力			

《授業の概要》

子どもの権利を擁護し、子どもと家族に安全で安楽なケアを提供するために科学的な根拠や子どもの成長・発達、特性に基づいた看護技術や態度を学修する。具体的には「子どもの観察・測定」「フィジカルアセスメント」「子どもと家族の観察技術や関わり方」「検査・処置・ケアを受ける子どものプレパレーション」について実践的に学修する。また、事例を通して健康・発達・生活・家族の状況をアセスメントし、子どもと家族の状況に応じた看護過程の展開を小グループでディスカッションを行いながら主体的に学修する。位置づけ：子どもと家族の概要、子どもの権利、成長・発達、発達課題と特性の理解は小児看護学概論を基礎とする。健康問題のある子どもと家族の看護は小児看護援助論を基礎とする。

《授業の到達目標》

1. 子どもの成長発達を理解し、子どもが主体的に検査、処置、ケアに取り組むための看護援助ができる
2. 子どもの最善の利益を目指した看護を実践することができる
3. 子どもの特徴を捉え、病態治療、成長発達、生活、家族の根拠に基づいたアセスメントから看護を導き出すことができる
4. 主体的に学習に取り組み、グループ活動を通して互いに協力し合いながら、積極的に課題を達成することができる

《評価の方法》

提出物（事前・事後学習課題、演習記録）（80％）（到達目標1・2・3）
グループワークの参加度、貢献度（20％）（到達目標4）

《テキスト》

1. 『ナースング・グラフィカ 小児看護学 小児看護技術』（中野綾美編 メディカ出版 2023年）
2. 『発達段階を考えたアセスメントにもとづく小児看護過程 第2版』（荃津智子 編著 医歯薬出版 2021年）

《参考図書》

『写真でわかる小児看護技術 アドバンス』（山元恵子監修 インターメディカ 2022年）

《履修上の留意点》

テキスト、小児看護学概論・小児看護援助論のテキストと講義資料を精読し、事前学習課題に取り組む。課題は「ワークブック」として提示し、提出された課題は次回演習日に返却する。演習はA/Bグループに分かれ、ディスカッションやグループワークを行うため、学習課題に取り組む主体的に参加しましょう。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	小児看護学援助論 のオリエンテーション：講義 看護過程・演習の概要と進め方 (ゴードンの機能的健康パターン)	オリエンテーション 看護過程演習の目的・目標・進め方、各記録用紙の記載方法 看護技術演習の目的・目標・進め方	伊藤 文子 沼野 博子 永谷 智恵 船岡 未恵
2	看護技術演習 バイタルサイン測定、フィジカルアセスメント (子どもの認知発達、安全安楽、援助関係を形成する技術、シミュレーション)	Aグループ 看護技術演習 バイタルサイン測定、フィジカルアセスメント 【事前・事後課題】ワークブック(事前課題90分、事後課題30分) Bグループ 看護過程演習 情報整理、アセスメント 【事前課題】事例の情報を読み、わからない用語等を調べる(60分) 【事後課題】アセスメント用紙に情報を整理し、アセスメントを記載して事例を理解する(30分)	船岡 未恵 沼野 博子 永谷 智恵 伊藤 文子
3	看護過程演習 情報整理、アセスメント (アセスメントパターンを用いた情報整理、根拠に基づいたデータ解釈・分析)	Aグループ 看護技術演習 バイタルサイン測定、フィジカルアセスメント 【事前・事後課題】ワークブック(事前課題90分、事後課題30分) Bグループ 看護過程演習 情報整理、アセスメント 【事前課題】事例の情報を読み、わからない用語等を調べる(60分) 【事後課題】アセスメント用紙に情報を整理し、アセスメントを記載して事例を理解する(30分)	船岡 未恵 沼野 博子 永谷 智恵 伊藤 文子
4	看護技術演習 バイタルサイン測定、フィジカルアセスメント (子どもの認知発達、安全安楽、援助関係を形成する技術、シミュレーション)	Aグループ 看護過程演習 情報整理、アセスメント 【事前課題】事例の情報を読み、わからない用語等を調べる(60分) 【事後課題】アセスメント用紙に情報を整理し、アセスメントを記載して事例を理解する(30分) Bグループ 看護技術演習 バイタルサイン測定、フィジカルアセスメント 事前・事後課題】ワークブック(事前課題90分、事後課題30分)	伊藤 文子 船岡 未恵 沼野 博子 永谷 智恵
5	看護過程演習 情報整理、アセスメント (アセスメントパターンを用いた情報整理、根拠に基づいたデータ解釈・分析)	Aグループ 看護過程演習 情報整理、アセスメント 【事前課題】事例の情報を読み、わからない用語等を調べる(60分) 【事後課題】アセスメント用紙に情報を整理し、アセスメントを記載して事例を理解する(30分) Bグループ 看護技術演習 バイタルサイン測定、フィジカルアセスメント 事前・事後課題】ワークブック(事前課題90分、事後課題30分)	伊藤 文子 船岡 未恵 沼野 博子 永谷 智恵

科目名	小児看護援助論	授業科目番号	2312150
担当者氏名	伊藤 文子、沼野 博子、永谷 智恵、船岡 未恵		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	看護技術演習 プレパレーション (検査・処置・ケアを受ける 子どもの特徴、病気の理解、 子どもの主体性、最善の利益 、遊びの活用)	Aグループ 看護技術演習 プレパレーション 【事前・事後課題】ワークブック(事前課題90分、事後課題30分) Bグループ 看護過程演習 アセスメント、関連図 【事後課題】演習を踏まえてアセスメント用紙、関連図を修正する(90分)	沼野 博子 永谷 智恵 伊藤 文子 船岡 未恵
7	看護過程演習 アセスメント、関連図 (根拠に基づいたデータ解釈 ・分析、成長発達、家族、生 活の変化との関連性、対象の 強み)	Aグループ 看護技術演習 プレパレーション 【事前・事後課題】ワークブック(事前課題90分、事後課題30分) Bグループ 看護過程演習 アセスメント、関連図 【事後課題】演習を踏まえてアセスメント用紙、関連図を修正する(90分)	沼野 博子 永谷 智恵 伊藤 文子 船岡 未恵
8	看護技術演習 プレパレーション (検査・処置・ケアを受ける 子どもの特徴、病気の理解、 子どもの主体性、最善の利益 、遊びの活用)	Aグループ 看護過程演習 アセスメント、関連図 【事後課題】演習を踏まえてアセスメント用紙、関連図を修正する(90分) Bグループ 看護技術演習 プレパレーション 【事前・事後課題】ワークブック(事前課題90分、事後課題30分)	伊藤 文子 船岡 未恵 沼野 博子 永谷 智恵
9	看護過程演習 アセスメント、関連図 (根拠に基づいたデータ解釈 ・分析、成長発達、家族、生 活の変化との関連性、対象の 強み)	Aグループ 看護過程演習 アセスメント、関連図 【事後課題】演習を踏まえてアセスメント用紙、関連図を修正する(90分) Bグループ 看護技術演習 プレパレーション 【事前・事後課題】ワークブック(事前課題90分、事後課題30分)	伊藤 文子 船岡 未恵 沼野 博子 永谷 智恵
10	看護技術演習 輸液管理、点滴固定 (小児の点滴管理の特徴、安 全安楽、子どもの事故防止)	Aグループ 看護技術演習 輸液管理、点滴固定 【事前・事後課題】ワークブック(事前課題90分、事後課題30分) Bグループ 看護過程演習 関連図、問題の明確化 【事後課題】演習をふまえ関連図、問題の明確化を修正する 事前に類似する看護問題の記載のある書籍を借用し、グループワーク に活用できるようにする(30分)	沼野 博子 永谷 智恵 伊藤 文子 船岡 未恵
11	看護過程演習 関連図、問題の明確化 (成長発達、家族、生活の変 化との関連性、対象の強み)	Aグループ 看護技術演習 輸液管理、点滴固定 【事前・事後課題】ワークブック(事前課題90分、事後課題30分) Bグループ 看護過程演習 関連図、問題の明確化 【事後課題】演習をふまえ関連図、問題の明確化を修正する 事前に類似する看護問題の記載のある書籍を借用し、グループワーク に活用できるようにする(30分)	沼野 博子 永谷 智恵 伊藤 文子 船岡 未恵
12	看護技術演習 輸液管理、点滴固定 (小児の点滴管理の特徴、安 全安楽、子どもの事故防止)	Aグループ 看護過程演習 関連図、問題の明確化 【事後課題】演習をふまえ関連図、問題の明確化を修正する 事前に類似する看護問題の記載のある書籍を借用し、グループワーク に活用できるようにする(30分) Bグループ 看護技術演習 輸液管理、点滴固定 【事前・事後課題】ワークブック(事前課題90分、事後課題30分)	伊藤 文子 船岡 未恵 沼野 博子 永谷 智恵
13	看護過程演習 関連図、問題の明確化 (成長発達、家族、生活の変 化との関連性、対象の強み)	Aグループ 看護過程演習 関連図、問題の明確化 【事後課題】演習をふまえ関連図、問題の明確化を修正する 事前に類似する看護問題の記載のある書籍を借用し、グループワーク に活用できるようにする(30分) Bグループ 看護技術演習 輸液管理、点滴固定 【事前・事後課題】ワークブック(事前課題90分、事後課題30分)	伊藤 文子 船岡 未恵 沼野 博子 永谷 智恵
14	看護過程演習 看護計画立案 (RUMBAの法則、対象の 個別性、根拠に基づく具体的 援助)	A・Bグループ 看護過程演習 看護計画立案	伊藤 文子 船岡 未恵
15	看護過程演習 アセスメント・看護計画発表 (主体的参加)	A・Bグループ 看護過程演習 アセスメント・看護計画発表 グループで検討したアセスメント・看護計画について発表、全体討議 【事後課題】課題を修正し提出する(90分)	伊藤 文子 船岡 未恵

《専門教育科目 専門科目 生涯発達と看護》

科目名	母性看護援助論			授業科目番号	2312190
担当者氏名	森 美由紀、太田 操、佐藤 初美			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	演習	単位	1単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	3年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度、○2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力、○2-3 エビデンスに基づく看護実践力			

《授業の概要》

妊娠・出産・育児期の健康問題や家族支援にかかわる看護援助の方法論をもとに、母子の事例を用いた看護過程の学習と看護技術を学ぶ。褥婦の全身・生殖器の復古と回復を助けるための看護援助、母親・家族の役割適応を支援する看護援助を学ぶとともに、新生児の出生直後から胎外生活への移行や退院までのウェルビーイングを助長する看護援助、退院後の生活指導に關する看護援助について学ぶ。

《授業の到達目標》

1. 母性看護学領域で看護実践するための基礎である看護過程（情報整理、アセスメント、看護診断、看護計画）を展開することができる。
2. 母性看護学領域で求められるケア技術を演習により習得できる。

《評価の方法》

看護過程演習50%：詳細は演習ガイド評価表-1参照（到達目標1）

技術演習50%：事前・事後レポート15%、授業態度35%（到達目標2）

《テキスト》

1. 『系統看護学講座 母性看護学[2] 母性看護学各論』（森恵美 他著 医学書院）
2. 『写真でわかる母性看護技術アドバンス』（平澤美恵子、村上睦子監修 インターメディカ）
3. 『ウェルネスの視点にもとづく母性 看護過程第4版』（太田操編著 医歯薬出版）

《参考図書》

1. 『パーフェクト臨床実習ガイド 母性看護』（堀内成子編 照林社）
2. 『病気がみえる vol.10 産科』（井上裕美 他監修 Medic Media）

《履修上の留意点》

・母性看護学概論・母性看護援助論 で学んだ理論と知識を活用して、マタニティサイクルにある対象者への看護を深める科目である。講義中は活発な議論を望みます。

・看護過程および事前・事後レポートの提出物は、領域主催の実習オリエンテーション時に返却する。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	母性看護援助論 ガイダンス 看護過程 1 （母性看護過程、ウェルネス 看護診断、短期目標と長期目 標、セルフケア）	授業ガイダンス 母性看護領域における看護過程（ウェルネス看護診断を含む）とは。 予習：概論や援助論 の講義資料やテキストを復習しておく(60分) 復習：事例の看護過程の課題をすすめる(90分)	太田 操 森 美由紀 佐藤 初美
2	看護過程 2 （産褥・新生児への影響要因 、退行性変化）	(1)事例の基礎情報から産褥・新生児期に与える影響についてアセスメント (2)(1)を考慮しながら退行性変化(褥婦の全身の復古、生殖器の復古)について情報収集・アセスメント・アセスメント結論を導く。 予習：概論や援助論 の講義資料やテキストを復習しておく(60分) 復習：事例の看護過程の課題をすすめる(90分)	太田 操 森 美由紀 佐藤 初美
3	看護過程 3 （進行性変化、母乳育児）	(3) 進行性変化（乳房の変化、母乳育児の状況）について（1）を考慮しながら情報収集・アセスメント・アセスメント結論を導く。 予習：概論や援助論 の講義資料やテキストを復習しておく(60分) 復習：事例の看護過程の課題をすすめる(90分)	太田 操 森 美由紀 佐藤 初美
4	看護過程 4 （新生児、胎外生活適応、 母児相互作用、親性形成、 子育てサポート）	(4) 新生児の健康状態、母（父）児相互作用や親性の形成・子育てサポート体制について（1）を考慮しながら情報収集・アセスメント・アセスメント結論を導く。 予習：概論や援助論 の講義資料やテキストを復習しておく(60分) 復習：事例の看護過程の課題をすすめる(90分)	太田 操 森 美由紀 佐藤 初美
5	看護過程 5 （アセスメント結論、統合図 、ウェルネス看護診断、看護 計画の立案）	(5) (2)～(4)のアセスメント結論から統合図を作成し、看護診断を導く。また、統合図から看護診断の優先度を根拠を示しながら導く。看護診断から看護計画（短期目標および達成日、具体策：OP, TP, EP）を立案する。 予習：概論や援助論 の講義資料やテキストを復習しておく(60分) 復習：事例の看護過程の課題をすすめる(90分)	太田 操 森 美由紀 佐藤 初美

科目名	母性看護援助論	授業科目番号	2312190
担当者氏名	森 美由紀、太田 操、佐藤 初美		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	看護過程6 (看護過程のまとめ)	グループ毎に、これまで行ってきた看護過程のまとめを行う。 予習：これまで行った看護過程の展開を復習しておく(60分) 復習：事例の看護過程を完成させる(90分)	太田 操 森 美由紀 佐藤 初美
7	技術演習1：技術演習ガイダンス	(1)母性看護援助論 で修得する技術についての概要ガイダンス (2)グループ毎に、事前に必要な知識・技術(手順・留意点等)の学習をすすめる。 予習：援助論 の講義資料やテキストを復習しておく(60分) 復習：配布資料による事前課題をすすめる(90分)	太田 操 森 美由紀 佐藤 初美
8	技術演習2：妊娠期1-1 (妊婦健康診査、レオポルド触診、胎児モニタリング、浮腫)	妊娠期の支援(妊婦健康診査技術支援)：レオポルド触診(最良聴取部位の確認)・胎児心拍数聴取(ドップラー法、NSTによる胎児モニタリング含)・浮腫の観察を学ぶ。 予習：技術演習 の事前課題(60分) 復習：技術演習 の事後課題を提出(60分)	太田 操 森 美由紀 佐藤 初美
9	技術演習3：妊娠期1-2 (妊婦健康診査、レオポルド触診、胎児モニタリング、浮腫)	妊娠期の支援(妊婦健康診査技術支援)：レオポルド触診(最良聴取部位の確認)・胎児心拍数聴取(ドップラー法、NSTによる胎児モニタリング含)・浮腫の観察を学ぶ。 予習：技術演習 の事前課題(60分) 復習：技術演習 の事後課題を提出(60分)	太田 操 森 美由紀 佐藤 初美
10	技術演習4：産褥期1-1 (退行性変化、進行性変化、母乳育児支援、ポジショニング、ラッチオン)	子宮復古への支援：子宮底・硬度・悪露の観察とアセスメントなどの実際を学ぶ。 母乳育児支援：乳房の観察、ポジショニング・ラッチオンの観察とアセスメントの実際を学ぶ。 予習：技術演習 の事前課題(60分) 復習：技術演習 の事後課題を提出(60分)	太田 操 森 美由紀 佐藤 初美
11	技術演習5：産褥期1-2 (退行性変化、進行性変化、母乳育児支援、ポジショニング、ラッチオン)	子宮復古への支援：子宮底・硬度・悪露の観察とアセスメントなどの実際を学ぶ。 母乳育児支援：乳房の観察、ポジショニング・ラッチオンの観察とアセスメントの実際を学ぶ。 予習：技術演習 の事前課題(60分) 復習：技術演習 の事後課題を提出(60分)	太田 操 森 美由紀 佐藤 初美
12	技術演習6：新生児1-1 (新生児の観察、バイタルサイン測定、沐浴の可否、新生児のケア)	新生児の観察(バイタル・全身観察・黄疸・体重測定)の実際を学ぶ。 沐浴の可否を考えることができる。 新生児の支援技術：児の抱き方、着替え、おむつ交換、排気の方法などの実際を学ぶ。 予習：技術演習 の事前課題(60分) 復習：技術演習 の事後課題を提出(60分)	太田 操 森 美由紀 佐藤 初美
13	技術演習7：新生児1-2 (新生児の観察、バイタルサイン測定、沐浴の可否、新生児のケア)	新生児の観察(バイタル・全身観察・黄疸・体重測定)の実際を学ぶ。 沐浴の可否を考えることができる。 新生児の支援技術：児の抱き方、着替え、おむつ交換、排気の方法などの実際を学ぶ。 予習：技術演習 の事前課題(60分) 復習：技術演習 の事後課題を提出(60分)	太田 操 森 美由紀 佐藤 初美
14	技術演習8：新生児2-1 (新生児の清潔支援、沐浴)	新生児の清潔への支援：沐浴、ドライテクニクの実際を学ぶ。 予習：技術演習 の事前課題(60分) 復習：技術演習 の事後課題を提出(60分)	太田 操 森 美由紀 佐藤 初美
15	技術演習9：新生児2-2 (新生児の清潔支援、沐浴)	新生児の清潔への支援：沐浴、ドライテクニクの実際を学ぶ。 予習：技術演習 の事前課題・沐浴DVDの視聴 復習：技術演習 の事後課題を提出	太田 操 森 美由紀 佐藤 初美

科目名	精神看護援助論			授業科目番号	2312230
担当者氏名	藤田 勇、板山 稔、成田 みぎわ			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	演習	単位	1単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	3年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		○1-2 人間の尊厳・権利を尊重する力、 2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力、 ○2-3 エビデンスに基づく看護実践力			

《授業の概要》

精神看護学概論・精神看護援助論 で学んだ内容をもとに、精神に健康問題を持つ人とその家族についての事例を通して、入院から社会生活までの看護を理解するとともに、精神に特徴的な疾患や症状をもつ人に対しての具体的な看護援助方法を学習する。さらに地域で暮らす精神に障がいをもつ人の看護についても理解する。

《授業の到達目標》

- 1. 精神に特徴的な疾患や症状に応じた看護方法を理解できる。
- 2. 精神看護学で看護過程を展開する方法を理解できる。
- 3. 精神に障がいのある方の支援について考察できる。

《評価の方法》

定期試験50%（到達目標1.3）、事例展開（個人）30%（到達目標1.2.3）、事例展開（グループ）20%（到達目標1.2.3）で算出し、60点以上を合格とする。

《テキスト》

- 1. 『系統看護学講座 精神看護学 精神看護の基礎』（武井麻子 他著 医学書院 2024年）
- 2. 『系統看護学講座 精神看護学 精神看護の展開』（武井麻子 他著 医学書院 2024年）

《参考図書》

参考書：『精神科リハビリテーション看護（精神看護エクスペール）』（坂田三允 総編集 中山書店 2009年） 『これからの精神看護学』（森千鶴著 ピラールプレス 2016年） 配布資料：授業に関連したDVD

《履修上の留意点》

シラバスをふまえ、授業で取り上げるテーマについて、テキストを中心に予習して授業に臨むこと。
配布された資料に目を通し、しっかりと復習すること。
事例展開については、グループ発表後に各担当教員が講評する。最終提出の事例は実習オリエンテーション時に返却する。

《備考》

本科目は「精神看護学概論」「精神看護援助論」で学んだ内容をもとに学習し、精神看護実習の履修要件科目である。

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	統合失調症患者の症状アセスメント うつ病患者の症状アセスメント (統合失調症、うつ病、アセスメント)	DVDの視聴内容をもとに症状をアセスメントする。 (予習) 統合失調症、うつ病およびアセスメントの視点について予習してくる(60分)。 (復習) 学んだ内容を授業資料を活用しまとめること(60分)。	藤田 勇 板山 稔 成田みぎわ
2	統合失調症患者の疑似体験 (患者・看護師体験)	VRをもとに、どのような対応をするか考える。 (予習) 統合失調症患者のケアについて予習してくる(60分)。 (復習) 学んだ内容を授業資料を活用しまとめること(60分)。	藤田 勇 板山 稔 成田みぎわ
3	事例を用いた看護過程の展開 個人作業による情報の整理 (統合失調症、うつ病、情報の整理)	統合失調症、うつ病の患者の事例を通して、看護過程の展開において必要となる対象者の情報を整理する。 実習で用いる記録用紙を使用し、説明(講義)と個人作業による演習を交互に行う。 (予習) 事例を読み、分からない用語等を調べておく(60分)。 (復習) 記録用紙に沿って、情報の整理を完成させる(60分)。	板山 稔
4	事例を用いた看護過程の展開 個人作業によるアセスメント (アセスメント、セルフケアモデル)	統合失調症、うつ病の患者の事例を通して、得られた情報をもとに、個人でアセスメント記録用紙にそって分析・解釈を行う。 (予習) 精神看護援助論 の第2回「精神看護におけるアセスメント方法」の資料を読んでおく(60分)。 (復習) 記録用紙にそって記入を進め、期限までに提出する(提出内容と方法については講義内で別途指示する)(60分)。	板山 稔
5	精神科臨床に用いられる尺度など (GAF、PANSS、ハミルトンうつ病評価尺度、CP換算値など)	精神科臨床で用いられる代表的な尺度について理解する。また、CP換算値についても理解する。 (予習) 精神科臨床で用いられる代表的な尺度について各自で調べてくる(60分)。 (復習) 学んだ内容を授業資料を活用しまとめること(60分)。	藤田 勇 板山 稔 成田みぎわ

《専門教育科目 専門科目 生涯発達と看護》

科目名	精神看護援助論	授業科目番号	2312230
担当者氏名	藤田 勇、板山 稔、成田 みぎわ		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	プロセスレコードを用いたカンファレンスの体験 (プロセスレコード、カンファレンス、グループリフレクション)	各自が記載したプロセスレコードを用いてグループメンバーと振り返り、自己の感情・思考と言動との不一致に気づき、対象との対人関係で生じている事象や自己の対人関係の特徴などについて理解を深める。 (予習) プロセスレコードを作成し、事前に提出しておく(提出方法については別途指示する)(60分)。 (復習) プロセスレコードの振り返りシートを記入する(60分)。	板山 稔
7	精神科における治療的技法の体験 元気回復行動プラン (自分自身の取り扱い説明書)	各自のストレス解消法を基に元気回復行動プランを理解する。 (予習) 自分自身のストレス解消法をまとめてくる(60分)。 (復習) 自分自身の元気回復行動プランを作成する(60分)。	藤田 勇 板山 稔 成田みぎわ
8	事例を用いた看護過程の展開 グループワークによるアセスメント (アセスメント、セルフケアモデル)	統合失調症、うつ病の患者の事例について、個人作業でアセスメントしたそれぞれの結果をもとにグループワーク行う。より多面的にアセスメントし、看護上の課題を検討する。 (予習) 精神看護援助論 の第10・11回「統合失調患者の看護」、第12回「気分障害患者の看護」の資料を読んでおく(60分)。 (復習) グループワークの結果を記録用紙にそってまとめる(60分)。	藤田 勇 板山 稔 成田みぎわ
9	事例を用いた看護過程の展開 グループワークによる看護ケアの立案 (ケアプラン)	統合失調症、うつ病の患者の事例について、グループワークを通して看護ケアプランを作成する。 (予習) 精神看護援助論 の第10・11回「統合失調患者の看護」、第12回「気分障害患者の看護」の資料を読んでおく(60分)。 (復習) グループワークの結果を記録用紙にそってまとめ、期限までに提出する(提出方法については講義内で別途指示する)(60分)。	藤田 勇 板山 稔 成田みぎわ
10	事例を用いた看護過程の展開 グループワークによる看護過程の発表・統合失調症事例 (統合失調症、アセスメント、ケアプラン)	統合失調症事例を担当したグループが看護過程の結果を発表する。発表以外のグループを含めて全体での質疑応答や意見交換を行い、統合失調症患者の看護について理解を深める。(予習) 発表グループは発表の役割分担を決め、準備を整えておく。それ以外のグループは、発表に対して質問や意見を述べられるように事例を読んでおく(60分)。 (復習) 他のグループの発表内容を参考にし、各自の内容を加筆する(60分)。	藤田 勇 板山 稔 成田みぎわ
11	事例を用いた看護過程の展開 グループワークによる看護過程の発表・うつ病事例 (うつ病、アセスメント、ケアプラン)	うつ病事例を担当したグループが看護過程の結果を発表する。発表以外のグループを含めて全体での質疑応答や意見交換を行い、うつ病患者の看護について理解を深める。(予習) 発表グループは発表の役割分担を決め、準備を整えておく。それ以外のグループは、発表に対して質問や意見を述べられるように事例を読んでおく(60分)。(復習) 他のグループの発表内容を参考にし、各自の内容を加筆する(60分)。	藤田 勇 板山 稔 成田みぎわ
12	精神科における治療的技法の体験 認知行動療法 (柔軟な思考、問題解決能力)	認知行動療法について理解する。 (予習) 自分なりに認知行動療法を調べてくる(60分)。 (復習) 学んだ内容を授業資料を活用しまとめること(60分)。	藤田 勇 板山 稔 成田みぎわ
13	精神科における治療的技法の体験 SST (社会生活技能訓練)	SSTの目的、方法、看護師の役割を理解する。 (予習) 援助論 で学修したSSTについて調べてくる(60分)。 (復習) 学んだ内容を授業資料を活用しまとめること(60分)。	藤田 勇 板山 稔 成田みぎわ
14	精神症状の観察と援助 シミュレーション演習 (事前テスト、オリエンテーション)	幻聴のある統合失調症患者の事例に対し、グループに分かれて課題を検討し、対処方法を考える。 (予習) 入院形態、統合失調症の症状、治療内容、治療環境について調べてくる(60分)。 (復習) 事前テストの内容について間違った問題は教科書等で確認する(60分)。	藤田 勇 板山 稔 成田みぎわ
15	精神症状の観察と援助 シミュレーション演習 (ブリーフィング、シミュレーション、デブリーフィング)	幻聴のある統合失調症患者の事例に対し、グループに分かれて課題を検討し、対処方法を考える。 (予習) 入院形態、統合失調症の症状、治療内容、治療環境について調べてくる(60分)。 (復習) 事前テストの内容について間違った問題は教科書等で確認する(60分)。	藤田 勇 板山 稔 成田みぎわ

科目名	地域・在宅看護援助論			授業科目番号	2313190
担当者氏名	山崎 節子、菅原 京子、田辺 生子			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	演習	単位	1単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	3年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		○2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力、 2-3 エビデンスに基づく看護実践力、 ○3-2 多職種と連携・協働する力			

《授業の概要》

在宅療養者と家族の実際の生活に根ざした看護実践のために必要な知識・技術について、講義と演習を通して学ぶ。具体的には、訪問看護に関わる制度や統計データ、地域・在宅看護学の枠組みに沿った看護計画の立案、一般的なケア、専門的なケア、緊急的なケア、社会資源、多職種連携などについてグループワークを通じて多角的な視点から習得する。

《授業の到達目標》

- 1. 在宅療養者と家族の生活の質を高めるための看護援助を考え、述べることができる。
- 2. 在宅療養者とその家族の紙上事例に対する看護過程を展開することができる。
- 3. 在宅療養者とその家族の状況に応じた看護技術を実施することができる。
- 4. 在宅療養者と家族の生活の質を高めるための社会資源の活用を対象者の状況に応じて考えることができる。

《評価の方法》

提出物 90%（演習に係る学習の記録物70%、看護計画の内容20%）（到達目標の1.2.3.4）
授業（グループワークを含む）への取り組み状況 10%（到達目標の1.2.3.4）

《テキスト》

- 『系統看護学講座 地域・在宅看護論[1] 地域・在宅看護の基盤』（河原加代子他著 医学書院 2024年）
- 『系統看護学講座 地域・在宅看護論[2] 地域・在宅看護の実践』（河原加代子他著 医学書院 2024年）

《参考図書》

- 『基礎からわかる地域・在宅看護論』（池西静江編著 照林社 2021年）
- 『療養者が望む暮らしを支える地域・在宅看護過程』（尾崎章子・蒔田寛子編著 医歯薬出版 2023年）

《履修上の留意点》

- ・演習要項を読み、事前に提示する課題に真摯に取り組み、講義内容と関連する先修科目の理解と合わせて、演習に臨んでください。
- ・地域・在宅看護学実習に向けた演習科目です。講義で使用した資料および教科書の復習してください。
- ・提出物はグループ単位での提出分と3種の課題レポート以外は最終回にまとめて返却します。

《備考》

演習要項と記録用紙を一括して配布します。初回にA4のフラットファイル1枚を持参してください。

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	ガイダンス 在宅療養者と家族への看護 訪問看護師の仕事	【講義】訪問看護師の仕事の実際について映像資料等から学ぶ。 【演習】訪問かばんを用意し、地域・在宅看護学実習室2で在宅療養場面を体験する。 (予習) 訪問かばんに入れるものを調べ、訪問看護師の1日の仕事の流れをイメージする。(30分) (復習) 家庭訪問の基本と療養環境の特徴について整理する。(30分)	山崎 節子 田辺 生子 菅原 京子
2	在宅療養者と家族への看護 初回訪問(1)	【演習】初回訪問時の対応を演習要項の事例(COPD)のロールプレイを通じて学ぶ(訪問時のマナー、訪問計画、訪問時必要物品の準備、情報収集等)。 (予習) 演習要項の事例を読む。(30分) (復習[課題]) 実施したロールプレイについて振り返り、評価する。(30分)	山崎 節子 田辺 生子 菅原 京子
3	在宅療養者と家族への看護 初回訪問(2)	【演習】実施したシナリオロールプレイについて話し合い、グループで評価する。 (予習) 演習要項の事例を読む。(30分) (復習[課題]) 実施したロールプレイについて振り返り、評価する。(30分)	山崎 節子 田辺 生子 菅原 京子
4	在宅療養者と家族への看護 地域・在宅における看護過程 (看護目標・看護計画の立案)	【講義】地域・在宅における看護過程を物語の視点と尾崎らの「地域・在宅看護過程におけるアセスメントガイド」を用いて展開する方法について学ぶ(記録用紙の説明を含む)。 (予習) 2年次配布事例を読む。(30分) (復習) 講義内容について各自が使いやすいように工夫してまとめる。(30分)	山崎 節子 田辺 生子 菅原 京子
5	在宅療養者と家族への看護 事例の展開(1) (事例の理解) (看護目標・看護計画の立案)	【講義】演習要項の事例(COPD)について映像資料を含めた解説からケアの方向性と留意点を考える。 【演習】グループで事例を読み、看護目標・看護計画を立案する。 (予習) 事例を読み、わからない用語について調べる。(30分)	山崎 節子 田辺 生子 菅原 京子

科目名	地域・在宅看護援助論	授業科目番号	2313190
担当者氏名	山崎 節子、菅原 京子、田辺 生子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	在宅療養者と家族への看護事例の展開(2) (初回訪問・看護過程)	【演習】グループで初回訪問時の看護計画等を立案・展開する。 (予習)看護計画の立案について復習し、記録記録用紙・記載方法を確認する。(30分) (復習)立案した計画を修正する。(30分)	山崎 節子 田辺 生子 菅原 京子
7	在宅における状況に応じた看護技術 専門的なケア(1) (医療機器)	【演習】在宅酸素療法の機器について医療機器メーカー看護師から学ぶ。 (予習)在宅酸素療法の管理について、観察ポイントを調べる。(30分) (復習[課題])演習から学んだことや考えたことを500字程度でまとめる。(60分)	山崎 節子 田辺 生子 菅原 京子
8	在宅における状況に応じた看護技術 社会資源(1) (法制度・多職種連携)	【講義】 【演習】グループで分担して2年次配布事例に係る法律・制度・社会資源についてシートにまとめ、発表する。 (予習)在宅療養を支える制度や社会資源について調べる。(30分)	山崎 節子 田辺 生子 菅原 京子
9	在宅療養者と家族への看護事例の展開(3) (2回目訪問・1週間後 看護過程)	【演習】グループで2回目訪問(1週間後)の看護計画等を立案・展開する。 (予習)事例を読み、気づいたことを記載し、自分なりの看護計画を考える。(30分) (復習)立案した計画を修正する。(30分)	山崎 節子 田辺 生子 菅原 京子
10	在宅における状況に応じた看護技術 物品の工夫	【演習】グループで在宅での使用物品の工夫について考え、製作する。 (予習)在宅療養で役に立つ物品3つ考え、調べる。(30分) (復習)演習要項のシートに記載する。(30分)	山崎 節子 田辺 生子 菅原 京子
11	在宅における状況に応じた看護技術 困難例 (シナリオロールプレイ)	【演習】グループで分担し、2年後と6年後の事例のシナリオを作成し、ロールプレイを行う。 (予習)ロールプレイのシナリオを考え、作成する。(30分) (復習)ロールプレイの記録と評価を行い、対応に関して振り返る。(30分)	山崎 節子 田辺 生子 菅原 京子
12	在宅における状況に応じた看護技術 社会資源(2) (法制度・多職種連携)	【演習】グループで分担して2年次配布事例に係る法律・制度・社会資源についてシートにまとめ、発表する。 (予習)在宅療養を支える制度や社会資源について調べる。(30分)	山崎 節子 田辺 生子 菅原 京子
13	在宅における状況に応じた看護技術 専門的なケア(2) (ストーマ・褥瘡)	【演習】在宅での皮膚・排泄ケアについて認定看護師から学ぶ。 【演習】地域・在宅看護実習室にて、スライディンググローブを作成し、試用する。併せて摘便モデルを体験する。 (復習[課題])講師の講義から学んだことや考えたことを500字程度でまとめる。(60分)	山崎 節子 田辺 生子 菅原 京子
14	在宅における状況に応じた看護技術 専門的なケア(3) (災害)	【演習】災害に関するDVDを視聴し先修の習内容も交えながらグループで災害時の支援について話し合う。 (復習[課題])地域における災害時の対応のポイントを500字程度でまとめる。(60分)	山崎 節子 田辺 生子 菅原 京子
15	地域・在宅における看護まとめ (グループ討議)	【講義】これまでの学びを全体で共有する。 (予習)これまでの学びを振り返り、わからない点を3つ挙げる。(30分) (復習)グループ討議の内容について整理する。(30分)	山崎 節子 田辺 生子 菅原 京子

科目名	公衆衛生看護支援技術			授業科目番号	2313220
担当者氏名	駒形 三和子、平澤 則子、渡邊 路子、菅原 京子			実務経験のある教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	選択	開講年次	3年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力		2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力、○2-3 エビデンスに基づく看護実践力、○5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力			

《授業の概要》

事例を基にした地域看護診断を通して、地域の特性と地域で生活する人々の健康と生活のニーズをアセスメントし、健康課題を明らかにするプロセスを実践的に学ぶ。健康課題に優先順位をつけ、健康課題を解決するための保健事業計画を地域の社会資源を踏まえ立案し、公衆衛生看護活動における保健師の役割を考える。

《授業の到達目標》

1. 地区踏査の意義を理解し、観察ポイントを意識した地区踏査が実施できる。
2. 既存資料の分析と地区踏査をふまえ健康課題を抽出し、優先順位をつけることができる。
3. 健康課題を解決するための方法を考え、公衆衛生看護活動計画を立案できる。
4. 保健事業計画の策定のポイントを踏まえ、計画策定の留意点と保健師の役割について考察できる。

《評価の方法》

授業貢献度 10%（授業中の発言、態度をもとに評価する。）

演習評価 50%、演習記録 20%、レポート 20%（到達目標1, 2, 3, 4）

《テキスト》

適宜資料配布

《参考図書》

『地域特性がみえてくる地域診断』（都築千景 編著 医歯薬出版 2020年）

『地域保健福祉活動のための地域看護アセスメントガイド 第2版』（佐伯和子編著 医歯薬出版 2018年）

《履修上の留意点》

3年次前期の「地域診断論」で学んだ内容を深め、4年次の「個人・家族・集団・組織の支援実習」および「公衆衛生看護活動展開論実習論」につなげていく演習科目です。

本講を選択する場合は、「地域診断論」を必ず受講してください。

《備考》

保健師教育課程必修科目 地域診断論で学んだ内容を深め、整理して具体的な地域看護活動につなげていく科目です。

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	地域の情報収集 [既存資料] (資料の読み取り、分類、比較)	ガイダンス/演習地域の紹介。事例についての既存資料から得られたデータをよみとりアセスメントし、足りない情報や明らかにしたいことをまとめる。 (予習) 地域診断論での既存資料の収集～分析の流れを確認する(30分) (課題) 指定された日時までに収集した資料の整理とアセスメントをした資料を提出。(30分)	駒形三和子
2	地域の情報収集 [地区踏査計画] (地区踏査計画、住民へのインタビュー計画)	グループに分かれ、学生同士で地区踏査計画を立て、出会えた住民へのインタビュー内容とインタビューの際の留意点についてまとめる。 (予習) 地区視診ガイドラインを確認する(20分) (課題) 指定された日時まで地区踏査計画と住民へのインタビュー内容を提出(40分)	駒形三和子 平澤 則子 渡邊 路子 菅原 京子 田辺 生子 山崎 節子
3	地域の情報収集 [地区踏査] (地区踏査、地区視診、ウィンドシールドサーベイ、地区踏査の実施、地域の観察ポイント、住民インタビュー)	グループに分かれ大学周辺地域の地区踏査を実施し、出会えた住民にインタビューの許可を得た後にインタビューする。 (予習) 住民インタビューを想定し、インタビューの練習をしておく(20分)	駒形三和子 平澤 則子 渡邊 路子 菅原 京子 田辺 生子 山崎 節子
4	地域の情報収集 [地区踏査] (地区踏査、地区視診、ウィンドシールドサーベイ、地区踏査の実施、地域の観察ポイント、住民インタビュー)	グループに分かれ大学周辺地域の地区踏査を実施し、出会えた住民にインタビューの許可を得た後にインタビューする。 (復習) 得られた情報から、地区踏査の意義と計画を立てる際に必要な視点、住民インタビューの際の留意点を振り返る。(30分) (課題) 個人で大学周辺地域の地区踏査で得られた情報を地区踏査記録にまとめる。(30分)	駒形三和子 平澤 則子 渡邊 路子 菅原 京子 田辺 生子 山崎 節子
5	地域の情報分析 (データとアセスメントの整理、分類・統合、マッピング)	個人でデータ収集・アセスメントした資料や地区踏査記録を持ちよりグループで共有する。グループで話し合い、グループとしての資料の整理をしながらアセスメントを深める。	駒形三和子 平澤 則子 渡邊 路子 菅原 京子 田辺 生子 山崎 節子

《専門教育科目 専門科目 地域社会と看護》

科目名	公衆衛生看護支援技術	授業科目番号	2313220
担当者氏名	駒形 三和子、平澤 則子、渡邊 路子、菅原 京子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	地域の情報分析 (データとアセスメントの整理、分類・統合、マッピング、地域アセスメント)	地域アセスメント記録を活用して、グループで話し合いながら情報を整理し、地域の健康問題や地域の強みを集約し健康課題を明らかにする。	駒形三和子 平澤 則子 渡邊 路子 菅原 京子 田辺 生子 山崎 節子
7	健康課題の抽出 (健康問題、健康課題、顕在的課題、潜在的課題、支援の方向性)	地域アセスメントから考えられる健康課題を列記し、潜在的な課題や支援の方向性をグループで話し合いながら、保健分野で解決可能な健康課題に絞り込む。	駒形三和子 平澤 則子 渡邊 路子 菅原 京子 田辺 生子 山崎 節子
8	優先順位の判断と支援の方向性 (優先順位の考え方、対象理解、支援の方向性)	抽出した健康課題のグループとしての優先順位を話し合い、優先順位の根拠を文章化する。優先順位の高い課題の中から保健師として取り組むべき健康課題とその解決の方向性について考える。	駒形三和子 平澤 則子 渡邊 路子 菅原 京子 田辺 生子 山崎 節子
9	保健事業計画策定の実際と策定のポイント (総合計画、保健計画、保健事業計画、計画策定プロセス、事業化、施策化)	外部講師より保健事業計画策定の実際について説明を聞き、保健事業計画作成のプロセスと策定のポイントについて考える。 (予習) 地域診断論で学んだ地域診断～保健事業計画へのプロセスを振り返る。(30分) (復習) 外部講師の説明と既習の知識をまとめ、保健事業計画作成のプロセスと策定のポイントについてノートにまとめる。(30分)	駒形三和子 外部講師
10	公衆衛生看護活動計画立案のグループ演習 (長期目標、短期目標)	公衆衛生看護活動計画として取り上げた、健康課題の解決に向けた活動についてグループで話し合い、課題が解決された姿をイメージした長期目標と年度内に到達可能な具体的な短期目標を設定する。 (課題) 時間内に終了しなかった場合は、次回までにまとめる。(30分)	駒形三和子 平澤 則子 渡邊 路子 菅原 京子 田辺 生子 山崎 節子
11	公衆衛生看護活動計画立案のグループ演習 (対象選定、保健事業、会場、予算、従事者、活動内容)	目標達成のための活動計画を具体的に6W3H1Fを念頭に作成する。 (課題) 時間内に終了しなかった場合は、次回までにまとめる。(30分)	駒形三和子 平澤 則子 渡邊 路子 菅原 京子 田辺 生子 山崎 節子
12	公衆衛生看護活動計画立案のグループ演習 (評価計画、企画評価、実施評価、結果評価)	活動計画の評価について、長期目標、短期目標と照らし合わせながら考え企画評価、実施評価、結果評価について評価項目を設定する。 保健事業計画をまとめ、プレゼンテーションの準備をする。 (課題) 時間内に終了しなかった場合は、次回までにまとめる。(30分)	駒形三和子 平澤 則子 渡邊 路子 菅原 京子 田辺 生子 山崎 節子
13	公衆衛生看護活動計画のプレゼンテーション	グループ毎に公衆衛生看護活動計画のプレゼンテーションを実施し、ディスカッションする。	駒形三和子 平澤 則子 渡邊 路子 菅原 京子 田辺 生子 山崎 節子
14	公衆衛生看護活動計画のプレゼンテーション	グループ毎に公衆衛生看護活動計画のプレゼンテーションを実施し、ディスカッションする。 (課題) 今までの授業やプレゼンテーションを振り返り、公衆衛生看護活動における保健師の役割についてまとめておく。(30分)	駒形三和子 平澤 則子 渡邊 路子 菅原 京子 田辺 生子 山崎 節子
15	公衆衛生看護活動計画～保健事業計画へ	公衆衛生看護活動計画から保健事業計画を立案する過程を今までの授業を振り返りながら考え、保健事業計画策定のポイントを踏まえ、計画策定の留意点と保健師の役割についてレポートにまとめる準備をする。 (課題) 保健事業計画策定のポイントを踏まえ、計画策定の留意点と保健師の役割についてのレポートおよび演習記録を提出期限までに提出する(120分) 演習記録は3年次修了までに返却する。	駒形三和子 平澤 則子 渡邊 路子 菅原 京子 田辺 生子 山崎 節子

科目名	地域診断論			授業科目番号	2313100
担当者氏名	駒形 三和子、平澤 則子、渡邊 路子、山崎 節子、田辺 生子			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	選択	開講年次	3年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力、○5-2 地域社会に貢献する態度			

《授業の概要》

ヘルスプロモーションの理念に基づき、健康で暮らしやすい地域づくりをめざした地域看護活動の目的と方法について学習する。地域を看護の対象として認識し、社会との関連で健康課題を理解し、地域で生活する人々の健康と生活のニーズを、多角的にアセスメントする具体的方法を学ぶ。また、人々のニーズをいかした地域看護活動計画について考える。

《授業の到達目標》

1. 地域における地域診断の意義と技法を理解し活用することができる。
2. 地域診断に必要な情報（データ）の種類を知り、データ分析してアセスメントできる。
3. 地域の健康課題の抽出及び健康課題の優先順位の決定方法を説明できる。
4. 地域の健康課題・健康問題に添った地域看護活動の方向性を説明できる。

《評価の方法》

授業貢献度 10%（授業中の発言、態度をもとに評価する。）
技術演習 40%、定期試験 40%、レポート 10%（到達目標1, 2, 3, 4,）

《テキスト》

- (1) 『地域特性がみえてくる地域診断』（都築千景 編著 医歯薬出版 2020年）
- (2) 『国民衛生の動向 2023-2024』（厚生労働統計協会編 厚生労働統計協会 2023年）

《参考図書》

『地域保健福祉活動のための地域看護アセスメントガイド 第2版』（佐伯和子編著 医歯薬出版 2018年）
『地域看護診断 第2版』（金川克子・田高悦子 編 東京大学出版会 2011年）

《履修上の留意点》

2年次までの公衆衛生看護学概論および援助論、公衆衛生学、保健統計学、疫学の学びを統合して理解を深めるとともに、既習の学びを活用してデータ分析・アセスメントすることを心がけてください。技術演習は個人ワークとグループワークを織り交ぜて展開する予定です。担当教員との積極的な意見交換で、有意義な講義・演習となることを期待します。

《備考》

保健師教育課程必修科目 科目の位置づけ：保健師活動の基盤となる地域をアセスメントする基本的な技術を学ぶ科目です。

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	地域診断の意義 (地域診断の目的、地域特性、鳥の目、虫の目、コミュニティ・アズ・パートナーモデル、プリシード・プロシードモデル、エスノグラフィ)	ガイダンス 保健師の行う地域診断の目的と特徴および地域診断の技法について、活用できる理論やモデルと関連させながら学ぶ (予習) 自分の出身地(または居住地)の市町村のホームページを閲覧し、地域の特徴 強み 改善した方が良いところについて200文字程度でまとめる(30分) (復習) テキスト(1) p1～p5を読む(20分)	駒形三和子
2	地域診断の展開過程 (地区視診、地区踏査、既存資料、マッピング、資料の読み取り、分類、比較、分析)	地域診断に必要な情報(データ：地域の特性、環境、地域で活用できる資源等)の種類とその入手方法、地域特性を掴むためのデータ分析・アセスメントの技法を事例をもとにしたミニ演習をとおして理解する (予習) テキスト(1) p24～p29を読む(15分) (課題) 次回までに、ミニ演習の事例の分析から考えられる健康課題を1つあげる(30分)	駒形三和子
3	地域診断の展開過程 (データの記述、推論、要約、看護問題、健康課題、要因、背景、優先順位、地域ケア実践の方向性)	アセスメントした資料の取舍選択・整理・統合、健康課題の抽出、優先順位付けの考え方と資料化のポイントを学ぶ (予習) テキスト(1) p6～p18を読む(30分) (復習) 講義で解いた保健師国家試験問題の振り返り(20分) 【次回ノートPC持参】	駒形三和子
4	地域診断演習 【個人】 (地域特性の把握)	演習ガイダンス 対象地域の情報収集と分析 (予習) 前回までの講義資料の振り返り(30分) (復習) 収集したデータの読み取りと整理(30分)	駒形三和子 平澤 則子 渡邊 路子 山崎 節子 田辺 生子
5	地域診断演習 【個人】 (データ分析・アセスメント)	データの比較・分析・推論 (予習) 整理したデータの分類、比較データの収集、不明な点を担当教員に確認(60分) (復習) 分析したデータの整理(30分)	駒形三和子 平澤 則子 渡邊 路子 山崎 節子 田辺 生子

科目名	地域診断論	授業科目番号	2313100
担当者氏名	駒形 三和子、平澤 則子、渡邊 路子、山崎 節子、田辺 生子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	地域診断演習 【個人】 (健康課題の抽出)	分析・推論したデータの取捨選択と加工、健康課題の抽出 (予習) 分析したデータを担当教員に提出し、意見交換(60分) (復習) 資料の整理、抽出した健康課題の要因・背景を考え記述(30分)	駒形三和子 平澤 則子 渡邊 路子 山崎 節子 田辺 生子
7	地域診断演習 【グループ】 (健康課題の優先順位、地域ケアの方向性)	グループ内発表 グループ毎に各自が捉えた地域特性と健康課題の発表を行い、それぞれの共通点、相違点を話し合う。グループとしての地域特性と健康課題をまとめ、健康課題の優先順位、地域ケアの方向性を検討 (予習) テキスト(1) p17～p23を読む(20分) (復習) グループで話し合った内容を整理し、全体発表準備(30分)	駒形三和子 平澤 則子 渡邊 路子 山崎 節子 田辺 生子
8	地域診断演習 【グループ】 (健康課題の優先順位、地域ケアの方向性)	全体発表、質疑 グループとしての地域特性と健康課題、健康課題の優先順位、地域ケアの方向性を発表、意見交換 (課題) 課題レポート「保健師活動における地域診断の意義について考えたこと」演習自己評価表と共に提出期限までに提出(60分)*レポートは4年次の保健師課程の実習指導につなげるため教員サイドで保管します。	駒形三和子 平澤 則子 渡邊 路子 山崎 節子 田辺 生子
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

科目名	健康教育論			授業科目番号	2313110
担当者氏名	渡邊 路子、駒形 三和子、田辺 生子			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	選択	開講年次	3年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		○2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力、○2-3 エビデンスに基づく看護実践力、 5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力			

《授業の概要》

人々が地域において健康な生活を送るうえで、個人・家族・集団に対して、看護専門職が教育的役割を果たすことが求められていることから、教育指導力の基礎となる知識や方法を習得することを目的とする。対象者が主体的に行動変容し自己管理能力を高めるための健康教育の根拠となる理論やモデルを学ぶとともに、健康教育の対象、場、方法を理解し、対象者の特性に応じた効果的な健康教育の展開方法を習得する。

位置づけ：保健師教育課程必修科目です。2年次後期公衆衛生看護支援技術 で学んだ知識をもとに、ブラッシュアップした健康教育の展開を目指します。公衆衛生看護支援技術 、及び地域診断論の知識をもとに健康教育を企画・実施・評価します。

《授業の到達目標》

1. 公衆衛生看護における健康教育の位置づけについて述べることができる。
2. 健康教育に関連する理論やモデルについて述べることができる。
3. 健康教育の技術について述べることができる。
4. 効果的な健康教育を展開することができる。

《評価の方法》

演習 60%(到達目標1.2.3.4)・レポート30%(到達目標1.2.3)

学習態度10 %

《テキスト》

- (1)『公衆衛生看護学 第3版』（上野昌江、和泉京子 編 中央法規出版 2022年）
- (2)『国民衛生の動向 2023-2024』（厚生労働統計協会編 厚生労働統計協会 2023年）

《参考図書》

『標準保健師講座[2]公衆衛生看護技術』（中村裕美子 他著 医学書院 2023年）

適宜、ハンドアウトを配布する。

《履修上の留意点》

2年次後期公衆衛生看護支援技術 で学んだ知識をもとに、ブラッシュアップした健康教育の展開を目指します。地域診断論の知識をもとに健康教育を企画・実施・評価します。

《備考》

保健師教育課程必修科目

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	ガイダンス 公衆衛生看護における健康教育と展開方法(健康教育・健康課題の抽出・展開過程)	ガイダンス / 公衆衛生看護における健康教育の展開方法についての一連の過程について確認する。 (予習)テキスト6章および2年次後期公衆衛生看護支援技術 配布のレジュメを読む。地域でどのような健康教育が行われているか調べてくる。(60分) (復習)地域のニーズ・健康課題から健康教育の展開について再確認する。(30分)	渡邊 路子
2	健康教育の展開 (地域のニーズ・健康課題の抽出・内容の絞り込み)	地域のニーズ・健康課題から健康教育のテーマを設定する。グループワーク (予習)地域のニーズ・健康課題・健康教育のテーマを考えてくる。(30分) (復習)抽出された健康課題・テーマについて、再確認する。(30分)	渡邊 路子 駒形三和子 田辺 生子
3	健康教育の展開 (企画書)	健康教育の企画書の作成。グループワーク (予習)地域の健康課題から抽出された健康教育のテーマに沿って企画書(案)を考えてくる。(30分) (復習)企画書の内容が、健康教育の対象者・目的に沿っているか再度確認する。(30分)	渡邊 路子 駒形三和子 田辺 生子
4	健康教育の展開 (指導案・シナリオ)	健康教育の指導案・シナリオを作成する。グループワーク (予習)企画書をもとに指導案を考えてくる。(30分) (復習)企画書と指導案及びシナリオの整合性を確認する。(30分)	渡邊 路子 駒形三和子 田辺 生子
5	健康教育の展開 (媒体作成)	健康教育の指導案作成の技術と実施の過程について理解する。グループワーク (予習)媒体の準備。(60分) (復習)効果的な媒体であるか再確認する。(30分)	渡邊 路子 駒形三和子 田辺 生子

科目名	健康教育論	授業科目番号	2313110
担当者氏名	渡邊 路子、駒形 三和子、田辺 生子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	健康教育の展開 (リハーサル)	健康教育の媒体作成とリハーサルを行い、効果的な健康教育実施に向けて準備する。グループワーク (予習)シナリオのインプット、媒体の確認。(60分) (復習)リハーサルを踏まえて、本番に向けて準備す。(60分)	渡邊 路子 駒形三和子 田辺 生子
7	健康教育の実際 (健康教育)	健康教育を実施する。プレゼンテーション (予習)実施に向けて準備する。(30分) (復習)実施した健康教育を振り返る。(30分)	渡邊 路子 駒形三和子 田辺 生子
8	健康教育の評価・まとめ (評価指標、PDCAサイクル、 地域の健康課題解決)	実施した健康教育を評価する。さらに、授業全体を振り返り、対象者の 特定を踏まえた効果的な健康教育とはについて考える。グループワーク 他 (予習)第1回～7回の講義・演習を振り返る。(30分) (復習)健康教育に関連する過去の国家試験問題を調べて解いてみる。 (30分)	渡邊 路子 駒形三和子 田辺 生子
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

科目名	災害看護活動論			授業科目番号	2313150
担当者氏名	春川 一樹			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	演習	単位	1単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	3年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		○2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力, ○2-3 エビデンスに基づく看護実践力, 5-2 地域社会に貢献する態度			

《授業の概要》

過去の災害の経験と教訓を共有し、災害対応における共通の言語と原則、被災者の生命と健康の維持のために必要な知識や応急処置について、演習やグループワークを通じて学ぶ。災害看護論を基盤に実際に県内外で発生した地震・雪害・台風・豪雨・原子力災害について振り返り、看護職および地域住民の視点から災害種別毎の被害想定や防災・減災対策を考える。また、居住地のハザードマップを確認し、災害への備えを検討する。

《授業の到達目標》

1. 大規模災害時のマネジメントにおける基本的な考え方（CSCATTT）を述べることができる 2. START法のトリアージを行うことができる 3. 災害時の応急処置（三角巾による固定、搬送）を行うことができる 4. 地域特性を踏まえた地震・雪・台風・豪雨・原子力災害の被害を想定することができ、防災・減災対策を考えることができる

《評価の方法》

定期試験：60% （到達目標1.2.4） 実技確認：30% （到達目標3）
授業態度：10% グループワークによる発言や参加態度をもとに評価します（到達目標4）

《テキスト》

『新体系 看護学全書 看護の統合と実践 災害看護学』（小井土雄一、石井美恵子編 メヂカルフレンド社 2020年）
『看護診断ハンドブック 第12版』（リンダ J. カルベニート 医学書院 2023年）

《参考図書》

『多職種連携で支える災害医療 身につけるべき知識・スキル・対応力』医学書院
『ファーストエイド すべての看護職のための緊急・応急処置』へるす出版

《履修上の留意点》

- ・ご自身の居住地のハザードマップに関心を持ち、居住地の災害のリスクを知りましょう。
- ・演習やグループワークでは活発なディスカッションをして、皆さんと学びを共有しましょう。
- ・災害看護初期対応の演習では、『看護診断ハンドブック 第12版』を使用します。

《備考》

応急処置の演習では、三角巾を使用しますので各自が準備してください。

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	災害看護初期対応(指揮・命令、安全、情報伝達、インシデントコマンドシステム)	(講義・演習)大規模災害時のマネジメントにおける基本的な考え方(CSCATTT)について学ぶ (予習)テキスト1章(p1~46)に目を通し、CSCSTTTの概念について述べられるようにしておく(15分) (復習)演習の内容を振り返り再学習する(10分)	春川 一樹
2	災害看護初期対応(評価、トリアージ、ゾーニング)	(講義・演習)大規模災害時のマネジメントにおける基本的な考え方(CSCATTT)について、多数傷病者の受け入れ準備について学ぶ (予習)テキスト1章(p1~46)に目を通し、CSCSTTTの概念について述べられるようにしておく(15分) (復習)演習の内容を振り返り再学習する(10分)	春川 一樹
3	災害看護初期対応(一次トリアージ、治療、搬送、看護師の役割)	(講義・演習)START法のトリアージ、トリアージエリア別の看護について学ぶ (予習)テキスト2章(p61~66)に目を通し、START法トリアージについて述べられるようにしておく。看護診断、看護計画について再学習しておく(15分) (復習)演習の内容を振り返り再学習する(10分)	春川 一樹
4	災害看護初期対応(赤・黄・緑・黒エリアの傷病者の特徴)	(講義・演習)トリアージエリア別の看護について学ぶ (予習)看護診断、看護計画について再学習しておく(15分) (復習)演習の内容を振り返り再学習する(10分)	春川 一樹
5	災害時の避難所設営(避難所、CSCAHHH、避難行動要支援者)	(講義・演習)地震災害発生直後に、自らの生命を守るための行動を学ぶ (予習)テキスト6章(p153~181)に目を通し、キーワードについて説明できるようにしておく(15分) (復習)演習の内容を振り返り再学習する(10分)	春川 一樹

科目名	災害看護活動論	授業科目番号	2313150
担当者氏名	春川 一樹		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	災害時の避難所設営(一次トリアージ、ヘルスケアトリアージ)	(講義・演習) 要配慮者対応の共通言語(CSCAHHH)を学ぶ (予習) テキスト6章(p153~181)に目を通し、キーワードについて説明できるようにしておく(15分) (復習) 演習の内容を振り返り再学習する(10分)	春川 一樹
7	災害時の避難所設営(指定避難所、生活環境のアセスメント、避難生活による健康問題)	(講義・演習) 避難所の生活環境をアセスメントし、避難所で生じやすい健康問題と予防対策について学ぶ (予習) テキスト6章(p153~181)に目を通し、キーワードについて説明できるようにしておく(15分) (復習) 演習の内容を振り返り再学習する(10分)	春川 一樹
8	災害時の避難所設営(深部静脈血栓症予防、感染症予防、避難所のレイアウト)	(講義・演習) 避難所の生活環境を改善する方法を学ぶ (予習) テキスト6章(p153~181)に目を通し、キーワードについて説明できるようにしておく(15分) (復習) 演習の内容を振り返り再学習する(10分)	春川 一樹
9	応急処置(三角巾、包帯、搬送)(A・Bチーム)	(講義・演習) 災害時の応急処置(三角巾による固定と搬送方法)について学ぶ (予習) 参考図書などをもとに、三角巾の使用方を学習しておく(10分) (復習) 演習の内容を振り返り再学習する(10分)	春川 一樹
10	応急処置(三角巾、包帯、搬送)(A・Bチーム)	(講義・演習) 災害時の応急処置(三角巾による固定と搬送方法)について学ぶ (予習) 参考図書などをもとに、三角巾の使用方を学習しておく(10分) (復習) 演習の内容を振り返り再学習する(10分)	春川 一樹
11	ガイダンス・地震災害(都市部・山間部・過疎地域の環境、社会の特徴、防災減災対策)	(講義・グループワーク) 地域特性を踏まえた地震災害による被害を想定し、防災・減災対策を検討する (予習) 学校や居住地のハザードマップを確認しておく(15分) (復習) 講義・演習の内容を振り返り再学習する(10分)	春川 一樹
12	雪害(大雪による社会への影響、病院への影響、防災減災対策)	(講義・グループワーク) 地域特性を踏まえた雪害(大雪)による被害を想定し、防災・減災対策を検討する (予習) 学校や居住地のハザードマップを確認しておく(15分) (復習) 講義・演習の内容を振り返り再学習する(10分)	春川 一樹
13	台風・豪雨災害(内水氾濫・外水氾濫、防災減災対策)	(講義・グループワーク) 地域特性を踏まえた台風・豪雨災害による被害を想定し、防災・減災対策を検討する (予習) 学校や居住地のハザードマップを確認しておく(15分) (復習) 講義・演習の内容を振り返り再学習する(10分)	春川 一樹
14	原子力災害(放射線・放射性物質・汚染・被ばく・社会への影響、防災減災対策)	(講義・グループワーク) 地域特性を踏まえた原子力災害による被害を想定し、防災・減災対策を検討する (予習) 学校や居住地のハザードマップを確認しておく(15分) (復習) 講義・演習の内容を振り返り再学習する(10分)	春川 一樹
15	被害想定演習(ハザードマップ・DMAT・被災地支援)	(講義・グループワーク) ハザードマップをもとに、居住地の被害想定と課題を明らかにする (予習) 学校や居住地のハザードマップを確認しておく(15分) (復習) 講義・演習の内容を振り返り再学習する(10分)	春川 一樹

科目名	看護学研究法			授業科目番号	2314070
担当者氏名	板山 稔、近藤 ふさえ			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	3年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		○1-2 人間の尊厳・権利を尊重する力、○4-1 看護学を探究する意欲、 4-2 看護を 追究する基礎的研究能力			

《授業の概要》

看護学における研究（看護研究）に必要な基礎的な知識を習得する。看護研究の意義や目的を理解し、研究デザインに応じたデータ収集方法や分析手法、倫理的配慮等について学ぶ。これらの知識をもとに文献検索、文献レビュー、文献クリティークを実際に行い、関心のあるテーマから研究課題を見つけ、研究計画書の作成を体験する。

《授業の到達目標》

1. 看護における研究の意義や目的を説明できる。
2. 研究における一連のプロセス（文献検討、研究課題の明確化、研究デザインの検討、研究方法の具体化、データ収集と分析、結果と考察のまとめ）が説明できる。
3. 研究における倫理的問題と具体的配慮について説明できる。
4. 研究論文のクリティーク方法を理解し、論文のクリティークを行うことができる。
5. 関心のある研究課題について、様式にそって研究計画書を作成することができる。

《評価の方法》

研究計画書70%：書式は授業の中で提示（到達目標1・2・3・4・5）、クリティーク課題20%：書式は授業の中で提示（到達目標2・3・4）、授業参加態度10%：授業中の発言、質問をもとに評価（到達目標1・2・3・4・5）

《テキスト》

『系統看護学講座 看護研究』（坂下玲子 他著 医学書院 2023年）

《参考図書》

参考図書等は授業内で適宜紹介します

《履修上の留意点》

研究計画書はコメントを付して、後期の看護課題研究のオリエンテーション時に返却します。クリティークの課題は次の講義時に返却し解説します。量的研究に関しては「統計分析法」とあわせて理解を深めてください。本科目は4年次の看護課題研究（卒業研究）につながる重要な科目です。配付資料等は必ずファイルに綴じ、4年次に活用してください。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	看護研究とは (看護研究、研究疑問、研究プロセス、研究計画書)	研究の意義・目的、看護研究と看護実践との関連等について理解し、研究のプロセスや研究計画書の基本事項、研究論文の構造について学ぶ。 予習：テキスト第1章を読む(60分) 復習：講義内容を振り返り、自己の研究疑問をリストアップしてみる(60分)	板山 稔 近藤ふさえ
2	研究疑問の立て方と研究デザイン (リサーチクエスション、研究デザイン)	リサーチクエスションの立て方や研究デザインの種類を理解する。自己の疑問をリサーチクエスションとして精練させる方法について学び、研究デザインに照らし合わせて考える。 予習：テキスト第2章を読む(60分) 復習：講義内容を振り返り、リサーチクエスションと研究デザインを検討してみる(90分)	板山 稔 近藤ふさえ
3	文献レビューとその方法 (文献検索、文献レビュー、データベース、クリティーク)	文献検索の方法を理解し、実際にデータベースを活用して興味のあるテーマに関連する文献を検索する。 予習：テキスト第3章を読む(60分) 復習：文献検索を継続し、関心があるテーマに関連した文献を読んでみる(90分)	板山 稔 近藤ふさえ
4	質的研究デザイン 質的研究の特徴と分析方法 (質的記述的研究、インタビュー、コード、カテゴリー)	質的研究のデザインの特徴を理解し、質的研究における研究参加者の条件や選び方、データの収集方法、データ分析の方法と結果の示し方等について学ぶ。 予習：テキスト第5章の「質的研究デザイン」、第6章の「インタビューデータの収集」第7章「質的データ分析」を読む(60分) 復習：テキスト及び配付資料の内容を整理し理解を深める(60分)	板山 稔 近藤ふさえ
5	文献研究と事例研究 (文献研究、文献レビュー、事例研究)	文献研究や事例研究の目的・方法・成果を理解し、研究のまとめ方や研究論文としての構成について学ぶ。 予習：テキスト第12章の「文献研究」を読む(60分) 復習：テキスト及び配付資料の内容を整理し理解を深める(60分)	板山 稔 近藤ふさえ

科目名	看護学研究法	授業科目番号	2314070
担当者氏名	板山 稔、近藤 ふさえ		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	量的研究デザイン 量的研究の特徴 (量的研究、標本抽出、アンケート、尺度、実験研究)	量的研究のデザインの特徴を理解し、量的研究における標本抽出の方法、アンケートや測定等によるデータの収集方法について学ぶ。 予習：テキスト第5章の「量的研究デザイン」、第6章の「アンケートデータ収集」を読む(60分) 復習：テキスト及び配付資料の内容を整理し理解を深める(60分)	板山 稔 近藤ふさえ
7	量的研究デザイン 量的研究の分析方法 (帰無仮説、対立仮説、有意水準)	量的研究のデザインに応じた基本的な統計的検定の方法や結果の示し方等について学ぶ。 予習：テキスト第7章の「量的データ分析」を読む(60分) 復習：テキスト及び配付資料の内容を整理し理解を深める(60分)	板山 稔 近藤ふさえ
8	研究における倫理的配慮 (倫理原則、倫理的配慮、インフォームドコンセント、個人情報保護、倫理審査委員会)	研究において遵守すべき倫理原則や擁護すべき権利について理解し、倫理的配慮の具体的な対応方法について学ぶ。 予習：テキスト第4章を読む(60分) 復習：テキスト及び配付資料の内容を整理し理解を深める(60分)	板山 稔 近藤ふさえ
9	文献クリティーク (クリティーク、論文構成)	量的・質的研究のクリティークのポイントを理解し、論文の構成を意識して深く読み込み、様式にそってクリティークを行う。 予習：テキスト第3章の「文献の読み方」、第9章の「付録 文献クリティークの実践」を読む(60分) 復習：様式にそって指定された文献をクリティークし、期限までに提出する(90分)	板山 稔 近藤ふさえ
10	文献クリティーク (クリティーク、論文構成)	行ったクリティークの結果をグループ内で発表し、ディスカッションを通して文献クリティークを深める。 予習：自己課題のクリティークの内容をグループ内で説明できるように準備しておく(30分) 復習：自己のクリティーク内容を振り返り、不足していた内容について加筆修正する(60分)	板山 稔 近藤ふさえ
11	文献クリティーク (クリティーク)	自己のクリティーク内容と照らし合わせながら量的・質的研究のクリティークの解説を聞き、クリティークのスキルを高める。クリティークのポイントを踏まえて、自分の研究課題に関連する文献を読み込む。 予習：自分の研究課題に関連する論文を探しておく(60分) 復習：クリティークのポイントを踏まえて、自分の研究課題に関連する文献を読み込む(90分)	板山 稔 近藤ふさえ
12	研究論文の書き方・発表の仕方 (論文構成、抄録、口演発表、示説発表)	論文の構成と内容、書き方の基本事項を理解する。発表形式の相違と特徴を理解し、効果的なプレゼンテーションの方法を理解する。 予習：テキスト第9章を読む(60分) 復習：テキスト及び配付資料の内容を整理する(60分)	板山 稔 近藤ふさえ
13	研究計画書の作成 (研究テーマ、研究背景、研究目的、研究方法、倫理的配慮)	研究計画書の意義、形式(記載項目)と内容、作成上の注意点について理解する。自己の研究疑問に合わせて、配付する用紙にそって研究計画のアウトラインを検討する。 予習：テキスト第8章を読む(60分) 復習：研究計画書の項目にそって研究計画書のアウトラインを検討する(90分)	板山 稔 近藤ふさえ
14	研究計画書の作成 (研究テーマ、研究背景、研究目的、研究方法、倫理的配慮)	これまでの学習内容をもとに、研究計画書作成における疑問点に関して教員の指導や助言を受けながら研究計画書の作成を進める。 予習：研究計画書の項目にそって記載を進め、疑問点を明確にする(90分) 復習：研究計画書の項目にそって記載を進め、疑問点を明確にする(90分)	板山 稔 近藤ふさえ
15	研究計画書の作成 (研究テーマ、研究背景、研究目的、研究方法、倫理的配慮)	これまでの学習内容をもとに、研究計画書作成における疑問点に関して教員の指導や助言を受けながら研究計画書を完成させる。 予習：研究計画書の項目にそって記載を進め、疑問点を明確にする(90分) 復習：研究計画書の項目にそって記載を進め、期限までに研究計画書を完成させる(90分)	板山 稔 近藤ふさえ

科目名	家族看護論			授業科目番号	2315010
担当者氏名	斎藤 まさ子			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	選択	開講年次	3年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		1-1 幅広い教養と多様性を理解する力, ○3-2 多職種と連携・協働する力, ○5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力			

《授業の概要》

家族をシステムとしてとらえ看護する家族看護の理論を学ぶ。具体的には家族の発達周期、システムとしての家族の理解、アセスメントモデルなどである。また看護過程を学び、臨床から在宅まで、それぞれの場で暮らす家族を地域の中で看護する方法について事例を通して学ぶ。

《授業の到達目標》

1. 家族の概念や形態、機能について、表現することができる。
2. 家族の健康問題によって発生する家族問題と援助の必要性について、説明できる。
3. 家族看護過程の概要について、述べるができる。
4. 地域の資源と多職種連携について、述べるができる。

《評価の方法》

レポート課題 40% 課題については講義の中で提示する。A4用紙1600字程度。(到達目標1, 2, 4)
学習態度 60% 演習の記録内容、プレゼンテーション、授業の参加度で評価する。(到達目標 2,3,4)

《テキスト》

特になし

《参考図書》

『あなたの知らない「家族」』(柳原清子著 医学書院 2001年)
『系統看護学講座 家族看護学』(上別府圭子他著 医学書院 2024年)

《履修上の留意点》

講義と演習形式で進めます。提示した事例について、家族看護過程を考え、それをプレゼンテーションしてもらいます。活発なディスカッションを望みます。レポートは、次の講義時に返却します。

《備考》

保健師教育課程必修科目

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	家族看護とは(1)(家族の多様性、家族看護、特徴、ねらい)	ある家族の事例を読み、レポートを書く。 (予習) 家族がテーマの小説や映画1つを選び、家族について考えたことをノートに記してくる(120分)。 (復習) 授業で学習したことを読み返す(60分)。	斎藤まさ子
2	家族看護とは(2)(事例を読み解く、家族の多様性、ジェノグラム)	(1)の事例の家族メンバーの様々な思いについてディスカッションする。さらに、事例を用いてジェノグラムを書き、発表する。 (予習) 事例について振り返りノートにまとめる(120分)。 (復習) 授業で学習したことを読み返す(60分)。	斎藤まさ子
3	家族の情報整理(家族の概念、家族の健康、家族構造)	家族の健康、家族の構造について学習する。 (予習) 配布資料をノートにまとめる(120分)。 (復習) 授業で学習したことを読み返す(60分)。	斎藤まさ子
4	家族の機能と現代家族の課題(育児機能、セルフケア機能、家族の様相と健康ニーズ)	家族の育児やセルフケア、現代家族の様相と課題について学習する。さらに、現代家族の特徴と自分の家族について、レポートを書く。 (予習) 配布資料をノートにまとめる(120分)。 (復習) 授業で学習したことを読み返す(60分)。	斎藤まさ子
5	看護と家族の接点(危機理論、家族システム理論、地域の資源と多職種協働)	看護対象として家族を知る、さらに看護介入の基礎を理解する。 (予習) 自分の家族を援助対象として捉えると仮定して、どう説明するか。実際に書いてくる(120分)。 (復習) 授業で学習したことを読み返す(60分)。	斎藤まさ子

科目名	家族看護論	授業科目番号	2315010
担当者氏名	斎藤 まさ子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	家族看護について(家族アセスメント、家族の適応状況、家族の対応能力、発達課題)	事例の全体構造を記録用紙に整理し、家族看護過程の構造を学ぶ。 (予習) 配布資料をノートにまとめる(120分)。 (復習) 授業で学習したことを読み返す(60分)。	斎藤まさ子
7	成人の家族看護(1)(事例展開)	ある家族の事例について、問題の明確化まで考える。 (予習) 配布資料をノートにまとめる(120分)。 (復習) 授業で学習したことを読み返す(60分)。	斎藤まさ子
8	成人の家族看護(2)(事例展開)	ある家族の事例について、援助計画の方向性を考える。 (予習) これまでの学びを整理してくる(120分)。 (復習) 授業で学習したことを読み返す(60分)。	斎藤まさ子
9	小児と家族看護(1)病気や障害のある子ども、社会的、身体的・心理的背景、事例展開)	小児患者の家族について学習し、事例をアセスメントする。 (予習) 事例を読みノートにまとめて来る(120分)。 (復習) 事例アセスメントの見直しをする(60分)。	斎藤まさ子
10	小児と家族看護(2)(事例展開)	事例の援助の方向性について考え、プレゼンテーションする。 (予習) 事例の援助の方向性について整理してくる(120分)。 (復習) 学びを整理する(60分)。	斎藤まさ子
11	高齢者介護と家族看護(1)(介護負担、介護における幸福感、高齢者虐待)	高齢者介護を行う家族について学習し、事例をアセスメントする。 (予習) 事例を読みノートにまとめて来る(120分)。 (復習) 事例アセスメントの見直しをする(60分)。	斎藤まさ子
12	高齢者介護と家族看護(2)(事例展開)	事例の援助の方向性について考え、プレゼンテーションする。 (予習) 事例の援助の方向性について整理してくる(120分)。 (復習) 学びを整理する(60分)。	斎藤まさ子
13	精神を病む人と家族看護(1)(社会的・文化的背景、身体的・心理的背景)	精神障害者と暮らす家族について学習し、事例をアセスメントする。 (予習) 事例を読みノートにまとめて来る(120分)。 (復習) 事例アセスメントの見直しをする(60分)。	斎藤まさ子
14	精神を病む人と家族看護(2)(事例展開、まとめ)	事例の援助の方向性について考え、プレゼンテーションする。 (予習) 事例を読みノートにまとめて来る(120分)。 (復習) 学びを整理する(60分)。	斎藤まさ子
15	まとめ、レポート作成	家族看護について、振り返る。さらに、レポートを書く。 (予習) 授業全体の資料を見て気付いたことや疑問点を書いてくる(120分)。 (復習) 学びを整理する(60分)。	斎藤まさ子

《専門教育科目 専門科目 生涯発達と看護》

科目名	成人看護学実習			授業科目番号	2312050
担当者氏名	広井 貴子、目黒 優子、近藤 ふさえ			実務経験のある教員等による授業科目	○
授業方法	実習	単位	2単位	時間	90時間
必・選	必修	開講年次	3年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力		2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力、○2-3 エビデンスに基づく看護実践力、○2-4 自己の看護実践を振り返る力			

《授業の概要》

急性期・周手術期にある成人を受け持ち、患者とその家族の健康上の問題を理解し、問題解決に向けた看護援助を主体的に考え、集中管理・治療・ケアなどの生命の危機状態にある患者や家族ケアを学ぶ。看護過程を展開していく過程で、患者とその家族の個別性を捉え、変化に応じた看護援助のあり方を考え、看護を創造し発展できる能力を養う。さらに、退院にむけて保健医療福祉チームにおける多職種連携において看護の役割を学ぶとともに自己の看護観を発展させる。

位置づけ：成人期の特徴と健康問題、理論・概念の学習は、成人看護概論、成人看護援助論 ・ ・ を基礎とする。

《授業の到達目標》

急激に健康状態が変化した対象および家族を総合的に把握し、治療過程と看護について説明できる 対象の回復過程に沿った看護計画を立案し、早期回復・セルフケア促進に必要な看護援助を実践できる 退院に向け、多職種連携、社会資源の活用や生活を支える支援方法について説明できる 急性期や重症の状態にある対象・家族およびその看護の特徴について説明できる 対象・対象を取り巻く人々の倫理的課題を理解し、看護学生として責任ある行動をとることができる

《評価の方法》

実習における看護援助（実習態度、意欲を含む）カンファレンスの参加状況、実習記録、面談など実習評価表で評価する。100%（到達目標1～7）

《テキスト》

《参考図書》

実習中に必要に応じて指定する。

《履修上の留意点》

先修科目：基礎看護学実習、成人看護学概論、成人看護援助論、成人看護援助論、成人看護援助論 を修得していること。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1		1. 実習期間：2週間 2. 実習場所、実習内容、実習時間（予習・復習含む）については、実習要項を参照する。	広井 貴子 目黒 優子 近藤ふさえ
2		3. 実習目的 急性期・周手術期にある侵襲的治療を必要とする対象者とその家族の特徴を総合的に理解し、科学的根拠に基づいた回復および適応への援助を行い、退院に向けた多職種連携を学ぶ。さらに看護過程の展開を通して、対象者の発達段階と健康レベルに応じた個別的な看護の実践方法を学び、看護の基本的な知識・技術・態度を学修する。	
3		4. 実習内容 急性期・周手術期にある対象者を受け持ち、対象者とその家族の健康上の問題を理解し、問題解決に向けた看護援助を主体的に考え、生命の危機状態にある対象者や家族ケアを学ぶ。看護過程を展開し、個別性を捉え、看護を創造し発展できる能力を養う。さらに、退院にむけて保健医療福祉チームにおける多職種連携において看護の役割を学ぶとともに自己の看護観を発展させる。	
4		5. 事前学習：1) 受け持ちが予測される疾患の病態生理、症状、検査、術式、治療と生体の影響、看護、2) 急性期における合併症（呼吸、循環、消化器系、疼痛、神経障害、術後せん妄、感染など）3) 退院支援への援助（120分） 看護技術について；1) バイタルサイン測定（血圧は電子血圧計）とフィジカルアセスメント2) 臥床患者のベッドメイキング3) 車いすの移乗・移送4) 清潔の援助5) 排泄の援助（陰部洗浄）（120分）	
5			

科目名	成人看護学実習	授業科目番号	2312050
担当者氏名	広井 貴子、目黒 優子、近藤 ふさえ		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

《専門教育科目 専門科目 生涯発達と看護》

科目名	成人看護学実習			授業科目番号	2312060
担当者氏名	目黒 優子、近藤 ふさえ、広井 貴子			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	実習	単位	3単位	時間	135時間
必・選	必修	開講年次	3年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力、○2-4 自己の看護実践を振り返る力、 ○3-2 多職種と連携・協働する力			

《授業の概要》

慢性的な疾患をとともに生活している対象者および家族を理解し、QOLの維持・向上を目指したセルフケア能力や健康問題に適応する能力を支援する看護実践について学修する。

先修科目、重要な関連科目「成人看護学概論」「成人看護援助論」「成人看護援助論」「基礎看護学実習」「病態治療論～」「薬理学」

《授業の到達目標》

成人看護学実習 実習要項 . 実習目標 1～7 参照

《評価の方法》

成人看護学実習 実習要項 V. 評価 1)、2) 参照

《テキスト》

適宜提示します。

《参考図書》

成人看護学概論、成人看護援助論 ～ で引用したテキストおよび配布資料

《履修上の留意点》

実習オリエンテーションで提示された事前学習に取り組んで実習に臨むこと。各自で健康管理に留意し体調を整えて実習に臨むこと。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1		成人看護学実習 実習要項 参照 【実習施設】長岡西病院、小千谷さくら病院、見附市立病院	目黒 優子 近藤ふさえ 広井 貴子
2			
3			
4			
5			

科目名	成人看護学実習	授業科目番号	2312060
担当者氏名	目黒 優子、近藤 ふさえ、広井 貴子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

《専門教育科目 専門科目 生涯発達と看護》

科目名	老年看護学実習			授業科目番号	2312110
担当者氏名	青柳 直樹、角山 裕美子、多田 健一			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	実習	単位	2単位	時間	90時間
必・選	必修	開講年次	3年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		2-3 エビデンスに基づく看護実践力，○2-4 自己の看護実践を振り返る力，○3-2 多職種と連携・協働する力			

《授業の概要》

介護老人保健施設に入所している高齢者を受け持ち、目標志向型思考の視点で看護過程を展開する。看護過程の展開にあたり援助的人間関係を築き、高齢者の発達課題、生活史や信条、家族の状況、疾病や老化が日常生活に及ぼす影響をアセスメントし、健康の維持・増進を考え、高齢者のQOL向上を考えた看護を実践する。

《授業の到達目標》

実習要項の実習目標を参照

《評価の方法》

実習要項の実習評価を用いて評価する（100％）（到達目標1～5）

《テキスト》

老年看護学概論、老年看護援助論、老年看護援助論 の講義資料、及びテキスト

《参考図書》

『実践！高齢者のフィジカルアセスメント』（角濱春美著 メディカ出版 2017年）

《履修上の留意点》

先習科目として、老年看護学実習に際し前提となる科目は、基礎教育科目、専門教育科目のほか、老年看護学概論、老年看護援助論、老年看護援助論 が必要である。また、実習の履修要件科目として、基礎看護学実習、老年看護学概論、老年看護援助論、老年看護援助論 を修得していることが必要である。

《備考》

2年次開講科目の老年看護学概論、老年看護援助論、3年次前期開講科目の老年看護援助論 を重要な関連科目とする。

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1		1. 実習期間：2週間 2. 実習場所：介護老人保健施設（桃李園、ぶんすい） 3. 実習内容：実習要項参照	青柳 直樹 角山裕美子 多田 健一
2		4. 事前学習：（1）高齢者に多くみられる疾患と看護、（2）介護老人保健施設の目的・役割・機能、看護職が果たす役割と多職種連携について、ノートにまとめる。（3）既習の日常生活援助技術を復習する。（180分）。	
3		事前学習：老年看護学概論、老年看護援助論 および老年看護援助論の講義資料とテキストをもう一度復習しておくこと。 加えて、高齢者への援助で必要となる看護技術実践に向けて、看護技術の復習や練習をして実習に臨むこと。 事後学習：実習の一連の過程を経て、自己の老年看護観についてレポートとしてまとめること。	
4			
5			

科目名	老年看護学実習	授業科目番号	2312110
担当者氏名	青柳 直樹、角山 裕美子、多田 健一		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

《専門教育科目 専門科目 生涯発達と看護》

科目名	老年看護学実習			授業科目番号	2312120
担当者氏名	多田 健一、角山 裕美子、青柳 直樹			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	実習	単位	2単位	時間	90時間
必・選	必修	開講年次	3年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		3-2 多職種と連携・協働する力、○3-3 保健医療福祉制度と看護の役割、○5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力			

《授業の概要》

地域で生活する高齢者の健康保持・増進・疾病予防・介護予防や日々の暮らしをさまざまな側面からサポートする仕組み、保健医療福祉・介護の連携・協働、地域住民の生活を守る包括的・継続的支援について学ぶ。地域密着型サービスのケアを通し、高齢者がくらし慣れた地域で生活していくためのケアのあり方を考察する。地域包括支援センターでは、高齢者のくらしを地域でサポートするための拠点として、「介護予防ケアマネジメント」「包括的・継続的ケアマネジメント」「総合相談」「権利擁護」の実際を通して、個人・地域特性に応じた健康環境づくりや健康保持増進に関連する地域の組織的な暮らしを地域で包括的・継続的に支援することの意義を考察する。

《授業の到達目標》

実習要項の実習目標を参照

《評価の方法》

実習要項の実習評価を用いて評価する（100％）（到達目標1～5）

《テキスト》

老年看護学概論、老年看護援助論 および の講義資料、テキスト

《参考図書》

『地域特性がみえてくる地域診断 地域包括支援センターの活動充実を目指して』（都筑千景 編著 医歯薬出版 2020年）

《履修上の留意点》

先習科目として、基礎教育科目、専門教育科目のほか、老年看護学概論、老年看護援助論、老年看護援助論 が前提となる。
また、履修要件として基礎看護学実習、老年看護学概論、老年看護援助論、老年看護学概論 の習得が必要である。
また、実習要項および事前のオリエンテーションで示された事前学習を必ず行い、実習に臨むこと。

《備考》

当該科目は、2年次の老年看護学概論、老年看護援助論、3年次の老年看護援助論 を重要な関連科目としている。

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1		1. 実習期間：2週間 2. 実習場所：地域包括支援センター（長岡市、見附市）、高齢者総合ケアセンターこぶし園（各サポートセンター）、シルバー人材センター 3. 実習内容：実習要項参照 事前学習：実習要項に記載している内容について、テキスト等を用いてノートにまとめること。（180分）	多田 健一 角山裕美子 青柳 直樹
2			
3			
4			
5			

科目名	老年看護学実習	授業科目番号	2312120
担当者氏名	多田 健一、角山 裕美子、青柳 直樹		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

《専門教育科目 専門科目 生涯発達と看護》

科目名	小児看護学実習			授業科目番号	2312160
担当者氏名	船岡 未恵、永谷 智恵、伊藤 文子、沼野 博子			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	実習	単位	2単位	時間	90時間
必・選	必修	開講年次	3年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		○2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度， 2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力， ○2-3 エビデンスに基づく看護実践力			

《授業の概要》

保育所、病院、重症児施設での実習を通して子どもとの関わりから成長発達を理解し、さまざまな健康状態に応じた子どもと家族の看護実践から小児看護に必要な知識・技術・態度を修得する。保育所では地域で生活する子どもたちと関わり、健康な子どもの成長発達や子育て支援の実際を学ぶ。病院では健康障がい有する子どもを受け持ち、小児看護における看護過程を実施する。重症児施設では障がいのある子どもとその家族に必要な療育支援の実際を学ぶ。

《授業の到達目標》

実習要項にある実習目標を参照

《評価の方法》

実習要項にある実習評価で評価(100%)

《テキスト》

購入済み

《参考図書》

小児看護学概論、小児看護援助論、小看護援助論 で使用したテキスト、参考図書、講義資料

《履修上の留意点》

履修条件を確認する

実習要項を参考に実習に関連した既習の知識や技術を復習し、実習に臨む

体調管理を徹底し、積極的な態度で実習に臨む

《備考》

先行科目：小児看護学実習は、既習の小児看護学概論、小児看護援助論、小看護援助論 を基盤にして展開する。

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1		1. 実習期間：2週間 2. 実習場所：保育所、病院、重症児施設、 3. 実習内容：実習要項参照 4. 事前課題：実習要項参照(120分)	船岡 未恵 永谷 智恵 伊藤 文子 沼野 博子
2			
3			
4			
5			

科目名	小児看護学実習	授業科目番号	2312160
担当者氏名	船岡 未恵、永谷 智恵、伊藤 文子、沼野 博子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

科目名	母性看護学実習			授業科目番号	2312200
担当者氏名	佐藤 初美、太田 操、森 美由紀			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	実習	単位	2単位	時間	90時間
必・選	必修	開講年次	3年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		○2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度、○2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力、○2-3 エビデンスに基づく看護実践力			

《授業の概要》

周産期にある母性看護の対象者（妊産褥婦・新生児・胎児を含む）とその家族に対して、既習の知識・技術・対応を統合し、ウェルネス看護の視点で個別性のある看護過程を展開する。

実習は病院やクリニックの産婦人科病棟、外来（助産師外来、母乳外来）などで学ぶ。また、女性と家族が次世代を産み育てるために、家庭や地域における継続的な母子支援も体験する。具体的には、産後ケア施設や子育て支援施設での実習など、多様な場で学ぶ。

《授業の到達目標》

1. 産褥期にある母性の特性と健康問題の理解を深め、看護過程を展開できる。2. 母子支援は妊娠期から子産み子育て期まで継続して実践されていることを説明できる。3. 妊娠分娩産褥期および早期新生児期にある母性の特性と健康問題に応じた看護実践ができる。4. 生命の尊厳の認識を深めると共に自らの母性・父性・親子・家族について考えケア提供者としての成長を図ることができる。

《評価の方法》

到達目標に則った行動目標20項目に対し、実習記録、学習態度、自己学習状況、カンファレンスへの参加状況に基いて、評価基準1～5点を配し、評価する（到達目標1,2,3,4）。60点以上を合格とする。

《テキスト》

母性看護援助論 で使用したテキスト一式（『系統看護学講座 母性看護学[2] 母性看護学各論』（森恵美 他著 医学書院）、『新訂版 写真でわかる母性看護技術アドバンス』（平澤美恵子 他著 インターメディカ）、『ウェルネスの視点にもとづく母性 看護過程第4版』（太田操編著 医歯薬出版））

《参考図書》

『病気が見えるvol.10 産科（第4版）』Medic Media

《履修上の留意点》

実習前には、母性看護学概論、母性看護援助論、母性看護援助論 で学んだ知識を整理し、実習事前ノートを作成して臨むこと。母性看護学実習対象者の特性を考慮して、対象者の安全・安楽、羞恥心やプライバシーに配慮し、人権尊重の理念と個人情報保護を徹底する。そのために実習前に技術練習をして臨むこと。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	母性看護学実習	1. 実習場所： 1) 病院：柏崎総合医療センター、小千谷総合病院 長岡赤十字病院、立川総合病院、たかき医院	佐藤 初美 太田 操 森 美由紀
2	(継続的な母子支援)	2) 子育て施設・産後ケア施設： ＜長岡市運営＞ 産後ケア施設：ままりラ西・ままりラ三和 子育て支援施設：子育ての駅てくてく・子育ての駅ちびっこ広場 ＜個人運営＞ 産後ケアハウスねんねこ	
3	(周産期・妊産褥婦の看護・ウェルネス看護の視点・産褥期変化・胎外生活適応過程)	2. 実習期間：2週間 1) 病院の病棟実習1週間 2) 病院の外来・地域実習1週間：産婦人科外来・子育て施設・産後ケア施設	
4		3. 実習内容 母性看護学実習要項参照	
5		4. 事前学習 1) 指定項目に基づいた産褥・新生児期の看護に必要な基礎的知識・妊婦健康診査など外来実習に必要な基礎的知識 180分 2) 実習に必要な看護技術について事前学習 90分	

科目名	母性看護学実習	授業科目番号	2312200
担当者氏名	佐藤 初美、太田 操、森 美由紀		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

科目名	精神看護学実習			授業科目番号	2312240
担当者氏名	藤田 勇、板山 稔、成田 みぎわ			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	実習	単位	2単位	時間	90時間
必・選	必修	開講年次	3年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力，○2-4 自己の看護実践を振り返る力， ○3-2 多職種と連携・協働する力			

《授業の概要》

精神看護学実習では、患者 - 看護師関係を築きながら、精神に障がいをもつ個人を生物的・心理的・社会的に捉え、強みを活かした健康回復への支援を実施する。関係構築の過程を通して対象者の体験を把握する能力と自己洞察の能力を養う。さらに、精神保健福祉における多職種チームの中での看護師の役割について理解し、看護者として対象者が地域で生活を営む上での必要な援助について理解する。病棟実習、社会復帰施設での実習を行う。

《授業の到達目標》

1. 対象者との相互関係の中で精神に障がいを持つ人を多面的な視点でとらえ、説明することができる 2. コミュニケーション技術を用いて、対象者との関係を発展させることができる 3. 対象者を一人の生活者としてとらえ、セルフケア能力を高めるための個別的援助をすることができる 4. 対象者が地域で生活するために、多職種と連携し、社会資源を活用した援助方法を考えることができる 5. 地域で行われている精神保健・医療・福祉活動を知り、看護の役割を述べることができる。

《評価の方法》

実習中は適宜面接を行い、最終的には実習目的・実習目標の達成度について、評価表を用いて評価する（100％）（到達目標1・2・3・4・5）。

《テキスト》

学科作成の実習要項。精神看護学実習に関連する授業のテキストおよび資料。

《参考図書》

『精神看護学 学生 - 患者のストーリーで綴る実習展開』（田中美恵子編著 医歯薬出版 2024年）
『パーフェクト臨床実習ガイド 精神看護』（萱間真美編 照林社 2015年）

《履修上の留意点》

実習に関連した既習学習をしっかりと復習して臨むこと。
体調を整え、積極的に実習に臨むこと。

《備考》

先修科目：基礎看護学実習、精神看護学概論、精神看護援助論、精神看護援助論

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1		1. 実習期間：2週間 2. 実習場所：田宮病院、デイケア、社会福祉施設 3. 実習内容：実習要項参照 事前学習：精神看護の基本的技法、主な精神疾患の特徴と治療・看護、精神保健福祉法、地域精神保健福祉制度など（120分）。	藤田 勇 板山 稔 成田みぎわ
2			
3			
4			
5			

科目名	精神看護学実習	授業科目番号	2312240
担当者氏名	藤田 勇、板山 稔、成田 みぎわ		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

科目名	地域・在宅看護学実習			授業科目番号	2313200
担当者氏名	山崎 節子、菅原 京子、田辺 生子、平澤 則子			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	実習	単位	2単位	時間	90時間
必・選	必修	開講年次	3年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		○2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力、 2-4 自己の看護実践を振り返る力、 ○5-2 地域社会に貢献する態度			

《授業の概要》

訪問看護ステーションでは、在宅療養者のご自宅を訪問し、療養環境を踏まえた訪問看護過程を展開する。そのために、療養者と家族の思いを実際に聴き、人生の物語の観点から課題を抽出し、看護目標・計画を考えていく。さらに、地域の中の社会資源を知り、その活用の実際と多職種連携について考える。また、複数の多様な訪問看護ステーションでの実習の経験を学内カンファレンスで共有し、地域・在宅看護のあり方について考察する。これらを通じて、地域で生活するさまざまな健康レベルにある人びとへの看護のあり方を理解し、看護実践の基盤とする。

《授業の到達目標》

1. 訪問看護を通して、在宅療養者とその家族の特徴を理解し述べることができる。 2. 在宅療養において、援助課題を評価し、本人と家族の特徴に応じた訪問看護計画を立案・実施することができる。 3. 訪問看護の実習を通して在宅で行う看護技術の特徴とその方法を説明することができる。 4. 在宅療養を支援する社会資源と多職種連携について述べることができる。 5. 在宅ケアシステムにおける訪問看護ステーションの機能と訪問看護の役割について述べることができる。

《評価の方法》

実習状況 70%（実習内容30%・態度20%・カンファレンス20%）（到達目標の1.2.3.4.5）

提出物 30%（実習記録20%・レポート10%）（到達の1.2.3.4.5）

《テキスト》

『系統看護学講座 地域・在宅看護論[1] 地域・在宅看護の基盤』（河原加代子他著 医学書院 2024年）

『系統看護学講座 地域・在宅看護論[2] 地域・在宅看護の実践』（河原加代子他著 医学書院 2024年）

《参考図書》

『療養者が望む暮らしを支える地域・在宅看護過程』（尾崎章子・蒔田寛子編著 医歯薬出版 2023年）

《履修上の留意点》

・先修科目（地域・在宅看護学概論、地域・在宅看護援助論 及び ）、実習関連要項、事前学習を踏まえて、実習に臨んでください。 ・常に療養者と家族の立場を考え、尊厳、人権擁護、守秘義務、安全・倫理面への配慮、時間管理に留意して行動してください。 ・実習記録は成績評価確定後にレポートと評価表を除いて返却します。

《備考》

履修要件：基礎看護学実習 、地域・在宅看護学概論、地域・在宅看護援助論 及び を修得していること。

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1		1. 実習時間：2週間（2単位90時間） 2. 実習場所：訪問看護ステーション 3. 実習内容（実習要項参照） 事前学習（180分）の内容については実習要項を参照こと。	山崎 節子 田辺 生子 菅原 京子 駒形三和子 渡邊 路子 平澤 則子
2			
3			
4			
5			

科目名	地域・在宅看護学実習	授業科目番号	2313200
担当者氏名	山崎 節子、菅原 京子、田辺 生子、平澤 則子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

《基礎教育科目 基礎教育科目 表現力養成》

科目名	英文講読			授業科目番号	1102120
担当者氏名	川崎 眞理子			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	選択	開講年次	4年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	○4-1 看護学を探究する意欲、 4-2 看護を追究する基礎的研究能力				

《授業の概要》

「ベーシック英語」「看護に活かすコミュニケーション英語」「医療英語」等で獲得した能力を基盤とし、看護や医療の分野に関する英文記事や英語論文の講読を通して、職業人として必要とされる、より高次の英語読解能力を獲得する。「課題研究」のテーマなど関心の高いテーマについて自ら英文記事や英語論文を検索して情報を収集し、英文を正確に読んで内容を理解するとともに、書かれている内容を要約し、わかりやすく発表する能力を養成する。発表の場は、研究報告などの研究会や学術研究発表会などを想定する。報告までの過程において、課題に主体的・計画的に取組み、学習者同士支援し合うなど、深く学び合う（協働学習）姿勢を求めます。なお本シラバスは、時間割や履修人数によって学修成果の最適化のために変更することがあります。不明・不安なことは、グーグルクラスルームの機能を活用して共有するなどして快適に学修しましょう。

《授業の到達目標》

適切な文献検索ができる（Abstractを読める）

研究論文の構成を理解し、研究倫理に即した解題（レビュー）報告ができる

Academic Languageを使うことができる

《評価の方法》

文献解題x2(40%) 文献報告(20%) 報告発表会への参画（発表・質疑・コメント）（20%）協働学習活動の様子など(20%)
提出物はグーグルクラスルームにて校閲・コメント・採点を行う。

《テキスト》

なし

《参考図書》

適宜紹介

《履修上の留意点》

電子ジャーナルやデータベース、文書作成アプリや校閲アプリが利用できる環境を整備しておいてください。

《備考》

本科目は、3年次前期配置の選択科目「医療英語」を履修していなくても、履修できます。

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	Theme, References, Searching	関心のあるテーマについて討議(日英情報量の差を実感する) 各自の目標を作成する 研究のしくみ 資料の種類 検索の基本(電子ジャーナル、データベース他) 図書館	川崎眞理子
2	Type of research Type of paper (article) Plagiarism	研究の種類による報告形式、報告表現の違いを発見する 意図しない剽窃行為を防ぐ 推敲の重要性 自分のデータベースを作る	川崎眞理子
3	Research report	自分の研究テーマまたはその他関心のある学術報告、準学術報告を解題し、紹介する 1本目 質問したり、意見を述べたりする	川崎眞理子
4	Research report	自分の研究テーマまたはその他関心のある学術報告、準学術報告を解題し、紹介する 1本目 質問したり、意見を述べたりする	川崎眞理子
5	Research report	自分の研究テーマまたはその他関心のある学術報告、準学術報告を解題し、紹介する 2本目 質問したり、意見を述べたりする	川崎眞理子

科目名	英文講読	授業科目番号	1102120
担当者氏名	川崎 真理子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	Research report	自分の研究テーマまたはその他関心のある学術報告、準学術報告を解題し、紹介する 2本目 質問したり、意見を述べたりする	川崎真理子
7	Mock conference presentation	模擬研究会前半	川崎真理子
8	Mock conference presentation	模擬研究発表後半	川崎真理子
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

科目名	韓国語			授業科目番号	1102080
担当者氏名	黄 仁祚			実務経験のある 教員等による授業科目	
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	選択	開講年次	4年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		○1-1 幅広い教養と多様性を理解する力、5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力			

《授業の概要》

看護の国際化を鑑み、隣国である韓国の文化の理解と教養を養う。具体的には、韓国語の学び方の特徴、韓国語がどのような言語であるかをまず学ぶ。そのうえで、ハングル文字と発音にフォーカスして文字と発音が一致することを修得する。また、簡単なあいさつなどの日常会話を学ぶ。韓国文化を理解するために、韓国の歴史、文化などを講義の中で多数紹介していく。韓国語の基本を学ぶとともに、韓国文化の理解に努める科目である。

《授業の到達目標》

1. 韓国語の文字の読み、書きができる。
2. 入門レベルによる、基礎文法を理解し、簡単なコミュニケーションをとることができる。
3. 韓国の社会と文化を理解することができる。

《評価の方法》

定期試験 60%。(到達目標1.2.3)、小テスト 20%。(到達目標1.3)
学習態度 20% 授業中の発言、態度をもとに評価する。(到達目標の1.2.3)

《テキスト》

『最新チャレンジ!韓国語 <第2版>』(阪堂千津子、金 順玉 著 白水社 2024年)

《参考図書》

『楽しく学べる韓国語1』(李 美賢、李 貞旻 著 白水社 2025年)

《履修上の留意点》

ペアー活動が多いため、積極的に授業に参加することを希望する。また、はじめて学ぶ言語なのでCDを活用しながら習った単語や文章を朗読することも必要である。

《備考》

授業の理解度を問う小テストを2回程度実施する。

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	韓国語とハングル (韓国語の特徴とハングルの仕組み)	ガイダンス 韓国語の特徴とハングルの仕組みを学び、理解する。また、韓国語で自己紹介をする。 予習: p p . 6~7 CDを聞いて読んでくる。(20分) 復習: ハングルの仕組みをノートに整理する。(40分)	黄 仁祚
2	1課 基本母音と合成母音 (基本母音、合成母音)	基本母音10個と合成母音11個の中、4個を学び、理解した上で、読みトレーニングをする。 予習: p p . 8~10 CDを聞いて読んでくる。(20分) 復習: p p . 9~11 表と問題を完成する。 p9 単語をすべて覚える。(40分)	黄 仁祚
3	2課 基本子音 (基本子音)	基本子音14個の中、4個を学び、理解した上で、読みトレーニングをする。 予習: p p . 12~13 CDを聞いて読んでくる。(20分) 復習: p 13 基本母音と習った子音を組み合わせ書いて読む。学習した基本母音の単語をローマ字で書く。(40分)	黄 仁祚
4	2課 基本子音 (基本子音)	基本子音14個の中、5個を学び、理解した上で、読みトレーニングをする。 予習: p p . 12~13 CDを聞いて激音を読んでくる。(30分) 復習: p 13 基本母音と習った子音を組み合わせ書いて読む。学習した基本母音の単語をローマ字で書く。(60分)	黄 仁祚
5	2課 基本子音 (激音)	基本子音14個の中、激音4個を学び、理解した上で、読みトレーニングをする。 予習: p p . 12~14 CDを聞いて読んでくる。(30分) 復習: p p . 14~15 CDを聞いて問題を完成する。 p 14 単語をすべて覚える。(60分)	黄 仁祚

科目名	韓国語	授業科目番号	1102080
担当者氏名	黄 仁祚		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	2課 ほかの子音 (濃音)	他の子音である濃音5個を学び、理解した上で、読みトレーニングをする。 予習: p p . 16 ~ 17 CDを聞いて読んでくる。(30分) 復習: p p . 16 ~ 17 CDを聞いて問題を解く。p 18 単語をすべて覚える。(60分)	黄 仁祚
7	3課 合成母音 (合成母音)	合成母音11個の中、7個を学び、理解した上で、読みトレーニングをする。 予習: p 18 CDを聞いて読んでくる。(30分) 復習: p 19 表と問題を完成する。p 19 単語をすべて覚える。(60分)	黄 仁祚
8	4課 パッチム (パッチム)	パッチム「ng」、「n」、「m」、「l」を学び、理解した上で、読みトレーニングをする。 予習: p p . 22 ~ 23 CDを聞いて読んでくる。(30分) 復習: パッチム「ng」、「n」、「m」、「l」の配った資料をノートにまとめること。p 22 単語をすべて覚える。(60分)	黄 仁祚
9	4課 パッチム (パッチム)	パッチム「k」、「t」、「p」を学び、理解した上で、読みトレーニングをする。 予習: p p . 23 ~ 25 CDを聞いて読んでくる。(30分) 復習: パッチム「k」、「t」、「p」の配った資料をノートにまとめること。p 24 問題を完成する。(60分)	黄 仁祚
10	4課 発音上手になるためのコツ (連音化)	発音が上手になるため連音化を学び、理解した上で、読みトレーニングをする。 予習: p p . 26 ~ 27 読んでくる。(30分) 復習: 授業中で解いた問題をまとめる。(60分)	黄 仁祚
11	日本語のハングル表記 (日本語のハングル表記のルール)	日本語のハングル表記のルールを学び、理解した上で、日本の都市名や自分の名前をハングルで書くトレーニングをする。 予習: p p . 20 ~ 21 CDを聞いて読んでくる。(30分) 復習: 授業中で解いた問題をまとめ、読む。(60分)	黄 仁祚
12	2つの子音のパッチム (2つの子音のパッチムの読み方)	2つの子音のパッチム11個とその読み方を学び、理解した上で、短文読みトレーニングをする。 予習: p 28 CDを聞いて読んでくる。(30分) 復習: 授業中で配ったプリントを読んでまとめておく。(60分)	黄 仁祚
13	5課 私は~です (~は~です(か)、~ではありません)	名詞の肯定文「~は~です」とその否定文「~ではありません」を学び、理解した上で、読みトレーニングをする。 予習: p p . 30 ~ 33 CDを聞いて読んでくる。(30分) 復習: p p . 32 ~ 33 CDを聞いて問題を解く。p p . 32 ~ 33 単語をすべて覚える。(60分)	黄 仁祚
14	5課 私は~です (かしこまった「です、ます」体)	動詞のかしこまった「です、ます」体を学び、理解した上で、読みトレーニングをする。(30分) 予習: p p . 34 ~ 36 CDを聞いて読んでくること。 復習: 授業中に配ったプリントを読んで問題を解く。p 36 単語をすべて覚える。(60分)	黄 仁祚
15	復習 韓国語の表現について (構文)	授業全体について振り返り、内容をまとめる。 予習: 既習内容の疑問点をまとめておく。(60分) 復習: 既習内容のCDを聞きながら、発音練習をする。(60分)	黄 仁祚

《基礎教育科目 基礎教育科目 表現力養成》

科目名	中国語			授業科目番号	1102070
担当者氏名	白 雪晴			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	選択	開講年次	4年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		○1-1 幅広い教養と多様性を理解する力、 5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力			

《授業の概要》

看護の国際化を鑑み、隣国である中国の文化の理解と教養を養う。具体的には、中国語がどのような言語であるのかをまず学ぶ。そのうえで、発音の基礎、簡単な決まり文句、挨拶などの日常会話、自己紹介などを学ぶ。また、動詞、目的語や時を表す名詞の位置などの基本的な語順についても学ぶ。中国文化を理解するために、テーマを設定して調べ学習をする。言語の基本を学ぶこととともに、中国文化の理解に努める科目である。

《授業の到達目標》

中国語の基礎をしっかりと身につけ、各自が自習できる程度に達するように。中国の文化及び現状に触れ、日中文化に対して考えるようになり、日本の社会に役立つ人間づくりに努める。自信がつくられ、より魅力的な人間を目指す。

《評価の方法》

定期試験60% 提出物20% 授業態度20%

《テキスト》

『LOVE！上海 初級中国語』（楊凱栄・張麗群著 朝日出版社 2015年）

《参考図書》

《履修上の留意点》

テキスト購入を必須の要件とする。
授業後、教材についているCDを繰り返し聞くこと。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	中国と中国語について 発音 1 と自己紹介	中国について。中国語はどういう言語か 声調、単母音、子音を繰り返し発音し、一人ひとりに気を配り、自分の 名前の読み方を覚え、自己紹介をできるように。練習問題も出す、提出 が必要。	白 雪晴
2	中国の現状など 発音 2 とあいさつ	中国の最新ニュース 1 回目の勉強内容を復習してから、母音の半分を進む。簡単な挨拶の勉 強。練習問題を出して、ピンインや簡体字を書いてもらう。提出が必要 。	白 雪晴
3	中国の旧暦の祝日 発音 3	中国の旧暦は何か 1回目と2回目の内容を復習し、母音を全部マスターする。これで中国語 のピンインが完了 練習問題を出して、授業中完成してもらう。	白 雪晴
4	中国の新暦の祝日 発音 4 中国語発音のルール	婦人の日、教師の日など ピンインの復習 第三声の変調、「一」「不」の変調、轻声、r 化 練習問題	白 雪晴
5	中国の旬の話す 第1課 動詞述語文	判断する動詞「～是～」 人称代名詞 動詞の「姓」「叫」、名前の言い方 「吗」疑問文 練習問題	白 雪晴

《基礎教育科目 基礎教育科目 表現力養成》

科目名	中国語	授業科目番号	1102070
担当者氏名	白 雪晴		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	中国の新語 第2課 助動詞の「想」	「の」に相当する「的」 指示代名詞 動詞の「在」 疑問詞疑問文 練習問題	白 雪晴
7	中国の若者文化 第3課 形容詞述語文	動詞の「在」 数の数え方 量詞「二」「両」 練習問題	白 雪晴
8	中国の職業事情 第4課 連動文	動詞の「有」、その否定「没有」 時間量の言い方 練習問題	白 雪晴
9	中国の世界遺産 第5課 疑問詞	中国のお金の単位 「也」と「都」 「～が好きです」の「喜欢」 練習問題	白 雪晴
10	第6課 「怎么」の2つの使い方	助動詞「想」 動詞の重ね型 年齢の言い方 練習問題	白 雪晴
11	中国のなぞなぞを使用 第7課 副詞と前置詞	「也」と「都」 年月日、曜日の言い方 2つの否定「不」と「没」 「在」の動詞、前置詞の違い 練習問題	白 雪晴
12	中国の早口言葉練習 第8課 反復疑問文	動詞文と助動詞入る文の反復疑問文 実現した「了」「動詞+过」 動詞の重ね型 時刻の言い方	白 雪晴
13	中国の飲食文化 第9課 進行形の3つの形	選択疑問文の「～还是～」 連動文 副詞の「还」 練習問題	白 雪晴
14	中国の酒文化 第10課 動詞の持続形	主題文 方位詞 3つのできる。「会」「能」「可以」 練習問題	白 雪晴
15	まとめと復習 第11課 動詞の補語	変化の「了」 「挺---的」 前置詞の「离」 練習問題	白 雪晴

科目名	キャリアデザイン			授業科目番号	1104020
担当者氏名	藤田 勇			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	選択	開講年次	4年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		○3-3 保健医療福祉制度と看護の役割、 4-1 看護学を探究する意欲、○5-2 地域社会に貢献する態度			

《授業の概要》

キャリアデザインとは何かを理解し、何を大切に仕事に取り組むのかを考える。また、自己の傾向を知り、自己理解と他者理解にむけてグループディスカッションを行う。さらに、専門職とは何か、プロフェッショナルとして求められる倫理、役割、機能について考える。また、看護師・保健師・助産師に関する情報を収集し、3年間の学びを振りかえるとともに看護専門職としての自己の将来像を考える。そして、これらのグループワークで得たものを発表・意見交換する。

《授業の到達目標》

1. 自分の人生におけるキャリアについてまとめることができる。
2. キャリアデザインについて理解し、自分の職業に対する価値観について述べるができる。
3. 専門職者として働き、学び続ける意義について述べるができる。

《評価の方法》

課題レポート A4用紙1200字程度 30%（到達目標3） 毎回のコメントシートの評価 30%（到達目標1・2）
自分史の作成及び発表（プレゼンテーション含む）40%（到達目標1）

《テキスト》

特になし

《参考図書》

1. 『看護師のためのキャリアデザインBOOK』（濱田安岐子監修 つちや書店 2022年）
2. 『看護師のためのキャリアナビ』（荒神裕之監修 秀和システム 2021年）

《履修上の留意点》

キャリアデザイン と のまとめである。内容が重複することもある。講義でパソコンを使用するので各自準備する。
課題レポートについてはコメントをして返却をする。毎回のコメントシートについては次回の授業で振り返りをする。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	イントロダクション (キャリア理論)	本授業の学習内容、方法について概説する。 (予習) キャリアデザイン で学んだことを振り返る。 キャリアデザイン で学びたいことをまとめておく。(30分) (復習) 配布資料に目を通す。(30分)	藤田 勇
2	キャリアアンカーとは (キャリアアンカー)	臨床で求められるキャリア形成について理解する。“キャリアアンカーとは何か”について理解し、自己の職業に対する価値について振り返る。 (予習) 自己の職業観を振り返る。(30分) (復習) 配布資料に目を通す。(30分)	藤田 勇
3	キャリアアップ (専門看護師・認定看護師の 仕事紹介、学び続けるために)	看護専門職として学び続けることの意義について学ぶ。 (予習) 専門看護師・認定看護師について既習の知識の確認をする。(30分) (復習) 映像を視聴し、感想をまとめる。(30分)	藤田 勇
4	専門職として求められる看護 師像 (専門職、看護師像)	グループワーク。“求められる看護師像”についてパワーポイントにまとめ発表する。 (予習) “求められる看護師像”について自分の考えをまとめる。(30分) (復習) “求められる看護師像”について振り返る。(30分)	藤田 勇
5	自己理解、他者理解 (チーム、人間関係、自己理 解)	グループワーク。チームの中での人間関係について学び、自己の傾向を知る。 (復習) 本日の学びを振り返る。(30分)	藤田 勇

科目名	キャリアデザイン	授業科目番号	1104020
担当者氏名	藤田 勇		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	自分史作成 (キャリアデザイン、自分史)	演習 。パワーポイントで、ライフサイクルにおける自分のキャリアデザインを作成する。	藤田 勇
7	自分史作成 (キャリアデザイン、自分史)	演習 。自分史を完成させ発表の準備をする。	藤田 勇
8	自分史の発表 (キャリアデザイン、自分史)	演習 。自分史の発表をし、他者が作成したキャリアデザインを共有する。 (復習)感想をまとめる。(60分)	藤田 勇
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

《専門教育科目 専門科目 生涯発達と看護》

科目名	成人看護学実習			授業科目番号	2312070
担当者氏名	広井 貴子、目黒 優子、近藤 ふさえ			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	実習	単位	1単位	時間	45時間
必・選	必修	開講年次	4年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		○2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力、○3-1 地域のネットワークを共有する力、5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力			

《授業の概要》

成人期の健康についての地域特性や社会資源に関する資料・健康指標、健康に対する考え方を外来看護師への相談内容、外来通院の患者、健康増進活動をしている地域住民との交流を通して知り、個人及び地域の健康課題を見出す。次に、地域住民の生活習慣病に対する認識を高め、健康の維持・増進にむけた地域住民向けのイベントの企画・運営をしてヘルスプロモーション活動につなげる。また、成人期の発達課題である子育て、仕事や老親の扶養など健康との関連について考察する。

位置づけ：成人期の特徴と健康問題、理論・概念の学習は、成人看護概論、成人看護援助論、成人看護学実習を基礎とする。

《授業の到達目標》

1．地域特性や社会資源に関する資料・健康指標を活用して、地域の健康問題について説明できる。2．地域（自分の居住地あるいは長岡市）のフィールドワークを行い保健医療福祉施設マップを作成する。3．地域住民との交流から、健康に対するニーズや健康課題について明らかにする。4．成人期の健康課題に対するヘルスプロモーション活動を創造する。

《評価の方法》

実習における態度、意欲、カンファレンスの参加状況、実習記録、面談など実習評価表で評価する。100%（到達目標1～4）

《テキスト》

《参考図書》

実習中に必要に応じて指定する。

《履修上の留意点》

先修科目：基礎看護学実習、成人看護学概論、成人看護援助論、成人看護援助論、成人看護援助論を修得していること。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1		1. 実習期間：1週間 2. 実習地域：学生が生活している地域 3. 実習時間：9時～16時（余った時間は復習時間とする）	広井 貴子 目黒 優子 近藤ふさえ
2		実習目的：成人期の人々の健康を支える環境を理解する。地域で生活する人々の健康に対する認識に触れ、個人特性及び地域特性に対応した健康づくりについて学修する。	
3		実習内容：成人期の健康についての地域特性や社会資源に関する資料・健康指標、健康に対する考え方を健康増進活動をしている地域住民との交流を通して知り、個人及び地域の健康課題を見出す。次に、地域住民の生活習慣病に対する認識を高め、健康の維持・増進にむけた地域住民向けのヘルスプロモーション活動を学ぶ。また、成人期の発達課題である子育て、仕事や老親の扶養など健康との関連について考察する。	
4		事前学習 1) 新潟県下の成人期の健康問題について調べる。（120分） 2) 地域で生活する人の健康増進活動について調べる。（180分）	
5			

科目名	成人看護学実習	授業科目番号	2312070
担当者氏名	広井 貴子、目黒 優子、近藤 ふさえ		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

《専門教育科目 専門科目 地域社会と看護》

科目名	公衆衛生看護活動展開論実習			授業科目番号	2313120
担当者氏名	渡邊 路子、平澤 則子、駒形 三和子、菅原 京子			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	実習	単位	3単位	時間	135時間
必・選	選択	開講年次	4年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		○ 2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力， ○ 2-4 自己の看護実践を振り返る力， 5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力			

《授業の概要》

保健所および市町村の組織について担当者から説明を受け、保健所・市町村における保健事業・地域看護活動に参加し、公衆衛生看護の目的・目標について理解を深め、地域住民の健康を支援する保健師の役割を学ぶ。また、保健医療福祉チームにおける保健師の役割と連携・協働の重要性を学び、行政看護領域における看護管理の実際と行政保健師の役割を学ぶ。また、産業保健における看護活動の実際を理解し、職業生活を支える労働衛生管理のあり方と看護職の役割について学ぶ。

位置づけ：公衆衛生看護関連科目を基礎とする。

《授業の到達目標》

1. 実習地域の健康課題を把握し、実習施設（保健所、市町村）で取り組まれている保健事業や地域看護活動との関連について考察し、保健師の役割を理解する。 2. 産業保健における看護活動の実際を理解し、職業生活を支える看護職の役割を理解し、述べるができる。 3. 学校保健活動の実際を理解し、学齢期の健康課題に応じた養護教諭を役割理解し、述べるができる。 詳細については実習要項参照

《評価の方法》

評価表をもとに、実習状況（実習内容、態度、目標の達成度）、実習記録、レポートによって評価する。（到達目標 1.2.3）
評価面接時にフィードバックする。

《テキスト》

- 1) 『標準保健師講座[1] 公衆衛生看護学概論』（標美奈子 他著 医学書院 2020年）
2) 『標準保健師講座[2] 公衆衛生看護技術』（中村裕美子 他著 医学書院 2021年）
3) 『標準保健師講座[3] 対象別公衆衛生看護活動』（松田正己 他著 医学書院 2019年）

《参考図書》

『国民衛生の動向 2024-2025』（厚生労働統計協会編 厚生労働統計協会 2024年）

《履修上の留意点》

実習要項を熟読して実習に臨んでください。
先修科目：〔生涯発達と看護〕〔地域社会と看護〕におけるすべての実習科目およびへき地看護論、看護関係法規を除く、保健師教育課程の科目

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1		1. 実習時間：3週間（3単位135時間） 2. 実習場所：長岡保健所・長岡市または柏崎保健所・柏崎市 長岡市内の事業所、新潟大学長岡附属小中学校 3. 実習内容:実習要項参照 4. 事前課題:実習要項の通り(120分)	渡邊 路子 平澤 則子 駒形三和子 菅原 京子 田辺 生子 山崎 節子
2			
3			
4			
5			

科目名	公衆衛生看護活動展開論実習	授業科目番号	2313120
担当者氏名	渡邊 路子、平澤 則子、駒形 三和子、菅原 京子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

《専門教育科目 専門科目 地域社会と看護》

科目名	個人・家族・集団・組織の支援実習			授業科目番号	2313130
担当者氏名	駒形 三和子、平澤 則子、渡邊 路子、菅原 京子			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	実習	単位	2単位	時間	90時間
必・選	選択	開講年次	4年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		○2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力、○2-4 自己の看護実践を振り返る力、 5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力			

《授業の概要》

大学周辺の地区をフィールドとして実習を行う。担当した地区の地域診断を行い、明らかになった健康課題解決に向けて健康相談会や健康教育を実施する。

前半実習は、地区踏査、高齢者世帯等への家庭訪問、地域組織の代表者（町内会長、民生委員、健康推進員、食生活改善推進員等）や関係機関（コミュニティセンター、地域包括支援センター等）への聞き取りを実施して、地域で生活する人々の健康課題を健康、生活、社会的条件との関連から検討し、健康課題解決に向けて公衆衛生看護活動計画を立案する。

後半実習は、1週目の実習内容をふまえ、地区で生活する住民とともに地区の健康課題や解決策を考え、健康課題解決に向けて健康相談会や健康教育を実施する。位置づけ：保健師活動の基本的な技術を住民との関わりを通して学ぶ科目です。

《授業の到達目標》

1. 地域診断を実施して、地域で生活する人々の健康課題を健康、生活、社会的条件と関連させ、述べることができる。
2. 健康課題解決に向けて地域の強みを踏まえた公衆衛生看護活動計画を立案することができる。
3. 立案した公衆衛生看護活動計画をもとに、個人、家族、集団、組織を対象とした支援活動を実施することができる。
4. 実習を通して地域で生活する人々とのパートナーシップと協働活動について考察することができる。

《評価の方法》

評価表をもとに、実習状況（実習内容、態度、目標の達成度）、実習記録によって総合的に評価する。（到達目標1, 2, 3, 4）

《テキスト》

- 1) 『標準保健師講座[1] 公衆衛生看護学概論』（標美奈子 他著 医学書院 2019年）
- 2) 『標準保健師講座[2] 公衆衛生看護技術』（中村裕美子 他著 医学書院 2020年）
- 3) 『地域特性がみえてくる地域診断』（都築千景 編著 医歯薬出版 2020年） 4) 『国民衛生の動向 2024-2025』

《参考図書》

- 1) 『地域保健福祉活動のための地域看護アセスメントガイド 第2版』（佐伯和子編著 医歯薬出版 2018年）
- 2) 『地域看護診断 第2版』（金川克子、田高悦子編 東京大学出版会 2011年）

《履修上の留意点》

実習要項を熟読して実習に臨んでください。

先修要件科目：〔生涯発達と看護〕〔地域社会と看護〕におけるすべての実習科目およびへき地看護論、看護関係法規を除く、保健師教育課程科目

《備考》

保健師教育課程必修科目

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1		1. 実習時間：2週間（2単位90時間） 2. 実習場所：長岡市深才地域 3. 実習内容（実習要項参照） 事前課題：実習要項参照	駒形三和子 平澤 則子 渡邊 路子 菅原 京子 田辺 生子 山崎 節子
2			
3			
4			
5			

《専門教育科目 専門科目 地域社会と看護》

科目名	個人・家族・集団・組織の支援実習	授業科目番号	2313130
担当者氏名	駒形 三和子、平澤 則子、渡邊 路子、菅原 京子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

科目名	看護管理論			授業科目番号	2314010
担当者氏名	樋本 まゆみ			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	必修	開講年次	4年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		○1-2 人間の尊厳・権利を尊重する力, ○3-2 多職種と連携・協働する力, 4-1 看護学を探究する意欲			

《授業の概要》

看護を提供するために必要な組織づくりや看護管理の考え方について学ぶ。「看護管理」のもつ印象は、看護管理者のための職務と捉えられやすい。今日、管理の概念や知識は看護職が専門職業人として当然にもつべき必要な概念として位置づけられる。看護管理の目的・機能について理解し、質の高い看護を提供するためのシステムの基礎を学ぶ。組織、医療制度と法律、人的資源管理、看護の提供システム、看護の質保証、継続教育などについて学習し、組織の一員として、また保健医療チームの一員としての役割と責任について理解する。専門科目の看護の統合と実践に位置付けられており、各科目と連携している。

《授業の到達目標》

- 1. 看護管理の基礎が理解できる。
- 2. 組織、医療制度と法律を含む看護提供システムが理解できる。
- 3. 保健医療チームの一員としての役割と責任が理解できる。

《評価の方法》

- 小テスト 10%（到達目標の1.2）
- 定期試験 90%（到達目標の1.2.3）

《テキスト》

『系統看護学講座 看護の統合と実践[1] 看護管理』（上泉和子 他編 医学書院 2024年）

《参考図書》

『看護職の基本的責務 2025年版』（手島恵 監修 日本看護協会出版会 2025年）

《履修上の留意点》

書籍の予習・復習をするとともに、インターネット等で時事問題などを含む情報を看護管理に引き寄せながら学ぶこと。授業の復習を必ず行うこと。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	看護におけるマネジメント	ガイダンス・看護管理とは何か、看護におけるマネジメントが理解できる。（看護管理の定義・マネジメントの変遷、考え方） （予習）指定教科書第1章を熟読する（30分） （復習）講義内容を理解できるようにまとめておく（90分）	樋本まゆみ
2	看護ケアのマネジメント	1. 看護ケアのマネジメントが理解できる。（看護職の機能・患者の権利の尊重・チーム医療・看護業務の実践） （予習）指定教科書第2章を熟読する（30分） （復習）講義内容を理解できるようにまとめておく（90分）	樋本まゆみ
3	看護職としてのセルフマネジメント	1. 看護職としてのセルフマネジメントが理解できる。（看護職のキャリア形成・看護職の専門職としての成長・ストレスマネジメント） （予習）指定教科書第3章を熟読する（30分） （復習）講義内容を理解できるようにまとめる（90分）	樋本まゆみ
4	看護サービスマネジメント	1. 看護サービスマネジメントについて理解できる。（組織・看護サービス提供システム・人・物の管理など） （予習）指定教科書第4章を熟読する（30分） （復習）講義内容を理解できるようにまとめる（90分）	樋本まゆみ
5	マネジメントに必要な知識と技術	1. マネジメントに必要な知識と技術について理解できる。（人を動かす理論と組織について） （予習）指定教科書第5章を熟読する（30分） （復習）講義内容を理解できるようにまとめる（90分）	樋本まゆみ

科目名	看護管理論	授業科目番号	2314010
担当者氏名	樋本 まゆみ		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	看護を取り巻く諸制度	1.看護職について理解できる。(看護職の法と制度・看護教育・専門看護師など) (予習)指定教科書第6章を熟読する(30分) (復習)講義内容を理解できるようにまとめる(90分)	樋本まゆみ
7	看護を取り巻く諸制度	1.医療制度、看護制度と制作について理解できる。(医療制度・医療法・診療報酬など) (予習)指定教科書第6章を熟読する(30分) (復習)講義内容を理解できるようにまとめる(90分)	樋本まゆみ
8	まとめ	授業全体を振り返り、内容をまとめる。 (予習)今までの授業内容を外観し纏める(30分) (復習)全ての講義内容について、総復習を行う(90分)小テストを含む	樋本まゆみ
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

科目名	国際看護論			授業科目番号	2314020
担当者氏名	中村 勝			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	選択	開講年次	4年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		○1-1 幅広い教養と多様性を理解する力、 5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力			

《授業の概要》

グローバル化社会にともなう多様な文化や医療・看護に対する視野を広げ、国際保健医療（グローバルヘルス）や看護の在り方について学ぶ。具体的には、世界の宗教と文化や保健医療の実際について理解し、人々の生活に関連する異文化看護についての基本的な知識を習得する。さらに日本に求められる国際支援政策、国際協力活動における看護師の役割、そして、医療や看護における諸外国との協力関係について具体例をとおして学ぶ。
異文化看護について、国際保健医療の視点を交えて教授する。また、国内の在留外国人に対応するコミュニケーション方法や看護について具体的に説明する。我が国の国際支援政策、国際協力活動における看護師の役割や諸外国との協力関係について、国連の政策をもとに教授する。

《授業の到達目標》

1. 国際看護の主要概念やグローバルヘルスの基礎知識を説明できる。
2. 国際協力の仕組みや諸外国との協力をはじめとする国際看護活動を説明できる。
3. 世界の保健医療に関する現状と看護について理解できる。
4. 多様な文化社会的背景をもつ対象者への看護を理解できる。

《評価の方法》

学習態度 10% 授業中の発言、態度をもとに評価する。（到達目標1.2.3.4）
レポート課題 90% 課題については講義の中で提示する。（到達目標1.2.3.4）

《テキスト》

『系統看護学講座 看護の統合と実践[3]災害看護学・国際看護学』（庄野泰乃 他編 医学書院 2024年）
毎回、資料を配付する。

《参考図書》

適宜紹介する。

《履修上の留意点》

テーマごとに自己学習を行い、基本的知識を得て出席することが望ましい。日常生活の中で国際保健に関わるニュース等に関心を持つようにしてください。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	国際看護学 グローバル化 世界人権宣言 三大感染症 国際救援 国際協力	・ガイダンス ・国際看護学とは何か （予習）テキストp234～249を熟読し、ノートにまとめる。 （復習）授業を振り返り、国際看護の意義について調べる。	中村 勝
2	グローバルヘルス 人間の安全保障 持続可能な開発目標	・グローバルヘルスの沿革と課題 （予習）テキストp251～259を熟読し、ノートにまとめる。 （復習）授業を振り返り、グローバルヘルスの意義について調べる。	中村 勝
3	国際機関 政府機関 国際救援の調整 開発協力 国際協力機構（JICA）	・国際機関と国際協力のしくみ （予習）テキストp259～268を熟読し、ノートにまとめる。 （復習）授業を振り返り、国際機関と国際協力のしくみについて調べる。	中村 勝
4	文化理解 異文化理解 レイニンガーの看護理論	・異文化と看護 （予習）テキストp270～273を熟読し、ノートにまとめる。 （復習）授業を振り返り、文化を考慮した看護の重要性について調べる。	中村 勝
5	国際看護活動の展開過程 コミュニティ・アズ・パート ナーモデル PDCAサイクル プロジェクト・サイクル・マ ネジメント	・国際看護活動の展開 （予習）テキストp277～281を熟読し、ノートにまとめる。 （復習）授業を振り返り、国際看護活動の展開方法について調べる。	中村 勝

科目名	国際看護論	授業科目番号	2314020
担当者氏名	中村 勝		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	開発途上国 プライマリヘルスケア ヘルスプロモーション 貧困 社会的弱者	・国際協力と看護 (予習)テキストp283～302を熟読し、ノートにまとめる。 (復習)授業を振り返り、国際協力と看護の役割について調べる。	中村 勝
7	国際救援活動 災害医療 災害関連死 災害とこころのケア	国際救援と看護/災害看護学の基本概念 (予習)テキストp303～350を熟読し、ノートにまとめる。 (復習)授業を振り返り、国際救援と看護の役割について調べる。	中村 勝
8	未定	トピック/まとめ (予習)テキストを再度熟読し、理解する。 (復習)授業を振り返り、グローバルヘルスと看護職の役割について理解する。	中村 勝
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

《専門教育科目 専門科目 看護の統合と実践》

科目名	統合実践演習			授業科目番号	2314050
担当者氏名	目黒 優子、沼野 博子、藤田 勇、佐藤 初美、多田 健一			実務経験のある教員等による授業科目	○
授業方法	演習	単位	1単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	4年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力		○2-3 エビデンスに基づく看護実践力、2-4 自己の看護実践を振り返る力、○4-1 看護学を探究する意欲			

《授業の概要》

本演習では、各専門分野で学修した基礎的な知識および技術の統合を図るとともに、チームメンバーとの協働および看護実践に対する自己の課題を明確化して「統合実践実習」に繋げていくことを目的とする。演習の課題としては、複数受け持ち患者の観察および対応、タイムスケジュール管理、危険予知トレーニング（KYT）などが挙げられる。演習の方法としては、チーム検討をもとに、VRやシミュレーションを活用して実践的に学ぶ。

重要な関連科目と科目の位置づけ：「統合実践実習」につながる科目である。先修科目：「基礎看護技術演習 ～ 」, 「チーム医療論」, 「疾病治療論 ～ 」, 2年次までの基礎看護学実習 ～ および3年次までの領域別実習すべて

《授業の到達目標》

1. 事例の患者の看護実践を理解し、看護計画を立案できる。
2. 複数患者の看護援助を、優先順位と時間管理を考慮して実践できる。
3. 医療現場に潜む危険について予測し、発生を予防する行動ができる。
4. 看護専門職者としての自己の課題について述べるができる。

《評価の方法》

レポート:60%（到達目標1.2.3.4）、演習参加態度:40%（到達目標1.2.3）

《テキスト》

《参考図書》

1. 『系統看護学講座 看護の統合と実践[1] 看護管理、看護の統合と実践[2] 医療安全』医学書院
2. 『ナースিং・グラフィカ 看護の統合と実践(1): 看護管理、看護の統合と実践(2): 医療安全』メディカ出版

《履修上の留意点》

学びを深めるためにはチームワーク・コミュニケーションが重要です。さらに各個人がチームとして協力していくことで、初めて成果が生まれます。そのためには、各個人であらかじめ事前学習をして積極的に取り組むようにしましょう。レポートは提出期限までに提出し、コメントと共に返却する。

《備考》

演習時の記録用紙は、ポータルサイトからダウンロードが可能です。

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	オリエンテーション（アセスメント）	オリエンテーション 演習1：事例のアセスメント・看護問題の明確化 （予習）「アセスメントを行う時のポイント」「フィジカルアセスメント」についてまとめておく。(30分) （復習）事後課題をまとめる。(30分)	目黒優子 沼野博子 藤田 勇 佐藤初美 多田健一
2	VRによる患者の状態観察（VR演習、グループワーク）	演習2：各患者の観察の実施 VR演習：A氏、F氏の状態をVRで観察を行う （予習）「2型糖尿病」「誤嚥性肺炎」の病態生理、症状、治療、看護についてまとめておく。(30分) （復習）事後課題をまとめる。(30分)	目黒優子 沼野博子 藤田 勇 佐藤初美 多田健一
3	VRによる患者の状態観察（VR演習、グループワーク）	演習2：各患者の観察の実施 VR演習：A氏、F氏の状態をVRで観察を行う （予習）「2型糖尿病」「誤嚥性肺炎」の病態生理、症状、治療、看護についてまとめておく。(30分) （復習）事後課題をまとめる。(30分)	目黒優子 沼野博子 藤田 勇 佐藤初美 多田健一
4	VRによる患者の状態観察（VR演習、グループワーク）	演習2：各患者の観察の実施 VR演習：A氏、F氏の状態をVRで観察を行う （予習）「2型糖尿病」「誤嚥性肺炎」の病態生理、症状、治療、看護についてまとめておく。(30分) （復習）事後課題をまとめる。(30分)	目黒優子 沼野博子 藤田 勇 佐藤初美 多田健一
5	受け持ち患者を複数受け持った時の対応（シミュレーション演習、複数受け持ち患者、グループワーク）	演習3：複数患者の状態・環境の確認 受け持ち患者の病室を訪し、それぞれの患者の状態および環境を確認してアセスメントする （予習）「受け持ち患者を複数受け持つ時のポイント」についてまとめておく。(30分) （復習）事後課題をまとめる。(30分)	目黒優子 沼野博子 藤田 勇 佐藤初美 多田健一

科目名	統合実践演習	授業科目番号	2314050
担当者氏名	目黒 優子、沼野 博子、藤田 勇、佐藤 初美、多田 健一		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	受け持ち患者を複数受け持った時の対応(シミュレーション演習、複数受け持ち患者、グループワーク)	演習3: 複数患者の状態・環境の確認 受け持ち患者の病室を訪室し、それぞれの患者の状態および環境を確認してアセスメントする (予習)「受け持ち患者を複数受け持つ時のポイント」についてまとめておく。(30分) (復習)事後課題をまとめる。(30分)	目黒優子 沼野博子 藤田 勇 佐藤初美 多田健一
7	受け持ち患者を複数受け持った時の対応(シミュレーション演習、複数受け持ち患者、グループワーク)	演習3: 複数患者の状態・環境の確認 受け持ち患者の病室を訪室し、それぞれの患者の状態および環境を確認してアセスメントする (予習)「受け持ち患者を複数受け持つ時のポイント」についてまとめておく。(30分) (復習)事後課題をまとめる。(30分)	目黒優子 沼野博子 藤田 勇 佐藤初美 多田健一
8	受け持ち患者を複数受け持つ時のタイムスケジュール管理(複数受け持ち患者、グループワーク)、危険予知トレーニング	演習4: 複数受け持ち患者のタイムスケジュール管理 タイムマネジメント管理、患者対応課題 全体発表 多重課題のまとめ (予習)「危険予知(KYT)」について調べる。(30分) (復習)事後課題をまとめる。(30分)	目黒優子 沼野博子 藤田 勇 佐藤初美 多田健一
9	受け持ち患者を複数受け持つ時のタイムスケジュール管理(複数受け持ち患者、グループワーク)、危険予知トレーニング	演習4: 複数受け持ち患者のタイムスケジュール管理 タイムマネジメント管理、患者対応課題 全体発表 多重課題のまとめ (予習)「危険予知(KYT)」について調べる。(30分) (復習)事後課題をまとめる。(30分)	目黒優子 沼野博子 藤田 勇 佐藤初美 多田健一
10	受け持ち患者を複数受け持つ時のタイムスケジュール管理(複数受け持ち患者、グループワーク)、危険予知トレーニング	演習4: 複数受け持ち患者のタイムスケジュール管理 タイムマネジメント管理、患者対応課題 全体発表 多重課題のまとめ (予習)「危険予知(KYT)」について調べる。(30分) (復習)事後課題をまとめる。(30分)	目黒優子 沼野博子 藤田 勇 佐藤初美 多田健一
11	危険予知トレーニング(VR演習、グループワーク)	演習5: 危険予知トレーニング VR演習 (予習)「ストレッチャー移乗」「経管栄養法」原理・原則についてまとめておく。(30分) (復習)事後課題をまとめる。(30分)	目黒優子 沼野博子 藤田 勇 佐藤初美 多田健一
12	危険予知トレーニング(VR演習、グループワーク)	演習5: 危険予知トレーニング VR演習 (予習)「ストレッチャー移乗」「経管栄養法」原理・原則 についてまとめておく。(30分) (復習)事後課題をまとめる。(30分)	目黒優子 沼野博子 藤田 勇 佐藤初美 多田健一
13	危険予知トレーニング(VR演習、グループワーク)	演習5: 危険予知トレーニング VR演習 (予習)「ストレッチャー移乗」「経管栄養法」原理・原則についてまとめておく。(30分) (復習)事後課題をまとめる。(30分)	目黒優子 沼野博子 藤田 勇 佐藤初美 多田健一
14	危険予知トレーニング(シミュレーション演習、演習まとめ)	演習6: 危険予知トレーニング シミュレーション演習 危険予知トレーニングの演習まとめ (予習)「ストレッチャー移乗」「経管栄養法」原理・原則 についてまとめておく。(30分) (復習)事後課題をまとめる。(30分)	目黒優子 沼野博子 藤田 勇 佐藤初美 多田健一
15	危険予知トレーニング(シミュレーション演習、演習まとめ)	演習6: 危険予知トレーニング シミュレーション演習 危険予知トレーニングの演習まとめ (予習)「ストレッチャー移乗」「経管栄養法」原理・原則についてまとめておく。(30分) (復習)事後課題をまとめる。(30分)	目黒優子 沼野博子 藤田 勇 佐藤初美 多田健一

《専門教育科目 専門科目 看護の統合と実践》

科目名	統合実践実習			授業科目番号	2314060
担当者氏名	渡邊 路子			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	実習	単位	2単位	時間	90時間
必・選	必修	開講年次	4年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		○2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力, ○3-2 多職種と連携・協働する力, 4-1 看護学を探究する意欲			

《授業の概要》

これまでに学んだ知識・技術を統合し、対象者個々のニーズを的確に判断し、優先順位を考慮した看護実践を行うことで、判断能力・実践能力を身につける。また、看護管理者やリーダーシップ・メンバーシップの役割を学ぶことで、看護におけるマネジメントの基礎的能力を身につける。対象者および家族の健康の回復過程において、様々な役割・機能を担っている医療機関・施設との連携や多職種協働の実際を学ぶことで、その中での看護師の役割を認識する。統合実践実習を通して、自己の責任と能力を的確に認識し、実施した看護について責任をもつ必要性や今後の課題を明らかにする。

位置づけ：3年次までに修得した実習科目及び講義科目の知識・技術を基礎とする。

《授業の到達目標》

1．複数の対象者の状態を把握し、看護援助の優先順位を判断して個別性に合わせた看護援助を実践できる。2．看護管理者の役割および看護管理について説明できる。3．多職種が協働して対象者・家族を支援するうえでの看護師の役割について説明できる。4．看護チームにおけるリーダーシップ、メンバーシップについて説明できる。5．組織として行われる医療安全の取り組みについて説明できる。6．専門職業人としての倫理観を高め、自己成長していくための課題を表現できる。

《評価の方法》

実習中は適宜面接を行う。最終的には、実習目的・実習の到達目標の達成度について評価表を用いて評価する

《テキスト》

《参考図書》

《履修上の留意点》

3年次までに履修した科目の知識、技術、培った実習態度を統合して主体的に実習に臨んでください。

《備考》

先修科目：3年次配当科目の〔生涯発達と看護〕〔地域社会と看護〕におけるすべての実習科目

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1		1. 実習期間：2週間 2. 実習場所：オリエンテーション時に提示する 3. 実習内容：学内オリエンテーション、臨地で実習、学内で実習の振り返り、全体発表会 4. 予習・復習 60分/日 詳細は、実習要項を参照する	各担当教員
2			
3			
4			
5			

科目名	統合実践実習	授業科目番号	2314060
担当者氏名	渡邊 路子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

科目名	看護課題研究			授業科目番号	2314080
担当者氏名	近藤 ふさえ			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	演習	単位	2単位	時間	60時間
必・選	必修	開講年次	4年	開講期	通年（前期）
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		○1-2 人間の尊厳・権利を尊重する力，○4-1 看護学を探究する意欲，4-2 看護を 追究する基礎的研究能力			

《授業の概要》

研究課題別・指導教員別にグループに分かれ、1・2年次の「情報処理法」「情報活用法」「問題解決法」「統計分析法」や、3年次の「看護研究法」などで修得した知識を生かして、研究計画、研究発表会、実施報告書の完成までのプロセスを学ぶ。

研究課題は看護実践に関するものとし、各自の研究計画を設定する。グループまたは個別の指導を受けながら、資料収集や分析、報告、意見交換などを繰り返し、研究成果に関する成果発表へと結び付ける。これらの過程を通して、看護研究の実践的な方法や最新の知識と技術を自ら学び続ける素養を身につける。

《授業の到達目標》

1. 看護学における関心や疑問に基づき研究テーマを探求し、文献検討を踏まえて研究目的を明確にできる 2. 目的に沿った研究方法を検討し、研究計画書の構成に沿って計画書を作成できる 3. 研究を実施する上で必要な倫理的配慮を検討できる 4. 研究計画書に基づきデータを収集・分析し、結果を既存の知識と関連付け考察できる 5. 作成規定に従い研究論文を作成し、口頭発表することができる

《評価の方法》

「看護研究課題 評価表」（資料5）を参考に、研究への取り組み、研究計画書、研究論文などを考慮して指導教員が総合的に評価する。

《テキスト》

特に指定なし

《参考図書》

『系統看護学講座 看護研究』（坂下玲子 他著 医学書院 2023年）

《履修上の留意点》

看護学研究法での学習内容を復習して参加する。研究は各指導教員の指示に従い、積極的に実施する。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1		ゼミナール形式で実施する。 ・研究テーマの決定 ・研究計画書の作成 ・倫理チェック ・研究の実施	各担当教員
2		・論文作成 ・研究の口頭発表 期間：4月～11月 内容：「看護課題研究」要項を参照	
3			
4			
5			

科目名	看護課題研究	授業科目番号	2314080
担当者氏名	近藤 ふさえ		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

科目名	リハビリテーション看護			授業科目番号	2315030
担当者氏名	近藤 ふさえ、沼野 博子			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	選択	開講年次	4年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		○1-2 人間の尊厳・権利を尊重する力、○2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力、 3-2 多職種と連携・協働する力			

《授業の概要》

生活機能に障がいをもった人とその家族が生活の再構築をはかり、その人にとっての最適な生活の営みを目指したリハビリテーション看護の理論と方法論を学修する。

主に運動機能障害、高次脳機能障害、嚥下機能障害、排泄機能障害を事例をとおして、リハビリテーション看護の役割と機能および倫理的諸問題を考察する。

位置づけ：臨地実習で遭遇した事例を想起しながらリハビリテーション看護の理解を深める。

《授業の到達目標》

1. リハビリテーション看護の概念と変遷を説明できる。
2. リハビリテーション看護における対象理解に関連する主要概念を説明できる。
3. 生活機能障害のある人への援助を説明できる。
4. 他職種チームの連携と協働を説明できる。

《評価の方法》

各授業で提示される課題レポート100%（到達目標1～4）

《テキスト》

指定はありません。授業内で資料を配布します。

《参考図書》

『リハビリテーション看護』南江堂 『ナースング・グラフィカ：リハビリテーション看護』メディカ出版

《履修上の留意点》

1. 各回の予習と復習（約60分）を行い、授業に参加しましょう。 2. 日常生活における生活機能（姿勢保持、認知、みる、聞く、話す）に興味をもちましょう。 3. 授業内レポートのフィードバックは次回授業開始前に行う。また最終レポートでは内容によって個別にフィードバックする。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	リハビリテーション看護(リハビリテーション、障がい、看護の専門性) 生活の再構築へのアセスメントと援助(ICF、二次障害、廃用症候群、ADL評価)	ガイダンス/リハビリテーション・リハビリテーション看護の概念と変遷および看護の専門性/不働・低活動がもたらす弊害とその予防(活動・参加の促進) 学習方法: 講義 予習: リハビリテーションの語源と変遷を調べる。(30分) 復習: リハビリテーション看護の専門性、役割と機能を整理。(60分) 活動の促進に向けた予防的リハビリテーションを考える。	近藤ふさえ
2	生活機能障害のある人とその家族の理解 (スティグマ、喪失と悲嘆、受容、QOL、セルフケア)	障がい経験の多様性 セルフケア支援のためのセルフケアのとらえ方 学習方法: 講義、GW 予習: 病者役割、スティグマの意味を調べる。(45分) 復習: リハビリテーションにおけるセルフケア支援を考察する。(45分)	近藤ふさえ
3	回復過程とリハビリテーション看護 (急性期、回復期、維持期、終末期)	急性期、回復期、維持期、終末期リハビリテーション期の看護 学習方法: 講義、GW 予習: 健康の回復過程を調べる。(30分) 復習: 事例における各期の特徴、看護の目的と視点を整理する。(90分)	近藤ふさえ
4	障がいのある子どもの「リハビリテーション」 (発達過程における機能障害、生活への影響)	障がいをもつ子どものリハビリテーションの特徴と看護 学習方法: 講義、事例学習 予習: 鎖肛・食道閉鎖について調べる(30分) 復習: 発達段階毎の特徴と支援を整理する(30分)	沼野 博子
5	生活機能障害とリハビリテーション (嚥下機能障害、排泄機能障害)	生活機能の中でも「嚥下機能」と「排泄機能」に障がいのある人と家族の看護 学習方法: 講義、事例学習 予習: 嚥下プロセス、排泄プロセスを再確認する。(45分) 復習: 資料を読み返す。国家試験過去問題を行う。(45分)	近藤ふさえ 非常勤講師 順天堂大学 ・准教授

《専門教育科目 専門科目 特論》

科目名	リハビリテーション看護	授業科目番号	2315030
担当者氏名	近藤 ふさえ、沼野 博子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	生活機能障害とリハビリテーション (運動機能/ 高次脳機能障害)	「運動機能」と「認知機能」に障がいのある成人期の人と家族の看護 学習方法：講義、事例学習 予習：認知、高次脳機能障がいの意味、症状を調べる。(45分) 復習：資料を読み返す。国家試験過去問題を行う。(45分)	近藤ふさえ
7	他職種連携と協働 (地域包括ケアシステム、他職種、連携、協働)	姿勢が生活行動へ及ぼす影響 ケアに活かすポジショニング、移動起居動作介助のポイント リハビリテーションセンターの役割と病棟での看護ケアに期待すること 予習：基礎看護学(ボディメカニズム、姿勢)(30分) 復習：多職種間連携における看護の役割を考える。(60分)	近藤ふさえ 長岡西病院 理学療法士
8	倫理的問題および法律、施策 (アドボカシー、倫理原則)	リハビリテーション看護における倫理的諸問題 障害者の権利に影響する施策の変遷 学習方法：講義、GW 予習：障害者のアドボカシーの意味を調べる。(30分) 復習：倫理的諸問題への対応を考察する。(90分)	近藤ふさえ
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

科目名	へき地看護論			授業科目番号	2315020
担当者氏名	平澤 則子			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	選択	開講年次	4年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		○1-1 幅広い教養と多様性を理解する力、○3-2 多職種と連携・協働する力、5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力			

《授業の概要》

へき地の意味と地域特性、その生活と健康の関連を考え、へき地で求められる看護の役割を考える。そのうえで、新潟県について学習を進める。新潟県は山間部や離島があり、医療偏在という課題を抱えている。交通条件及び自然的、経済的、社会的条件に恵まれない山間地や離島など、医療の確保が困難である地域における看護活動について、地域の基幹病院の果たす役割も含めて理解する。また、調べ学習をグループで行い、現状から課題を抽出し、看護に求められる役割について考察するとともに、自己の課題についても考察する。

位置づけ：地域包括ケア論と関連づけて地域の特性に応じた看護を考究する科目である。

《授業の到達目標》

1. へき地に住む人々の生活を理解し、人々の健康との関連を説明することができる。
2. へき地における看護活動の現状と地域の社会資源の整備状況を捉え、看護の機能・役割を述べることができる。
3. へき地医療、へき地看護活動の特徴と課題を考えることができる。

《評価の方法》

定期試験60%（到達目標2・3）と課題レポート40%（到達目標1・2・3）により目標達成度を最終的に評価する。課題レポートの評価は、発表会時にコメントを付して行う。

《テキスト》

第8次新潟県地域医療計画（概要版）（新潟県ホームページから各自印刷する。）

《参考図書》

『自分たちで生命を守った村』（菊地武雄著 岩波書店 1968年）

《履修上の留意点》

新潟県医療構想と新潟県第8次医療計画を読むための時間を確保して、授業が始まるまでに読み進めておくこと。各回の授業で次回までの課題を提示するが、準備して臨むこと。課題レポートはへき地看護の実践例を調べ他地域での適用可能性を提案する内容でまとめ、発表および全体討議を行う。

《備考》

保健師教育課程必修科目

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	ルーラルな視点からみた「へき地看護」の基本を理解する。 実践者の体験記録をとおして「へき地看護」の魅力を実感する。(へき地看護)	新潟県内のへき地に住む人々の、健康と生活の質が向上するための保健・医療・福祉及び関係機関や住民との連携・協働の実態を知る。 (事前学習)「へき地とは?」「へき地に暮らす人々の健康を支援する専門職」について調べる。(30分) (復習)授業の内容を整理し、配布資料を読み直しポイントをまとめる。(30分)	平澤 則子
2	へき地の意味を理解し、地域特性と生活の関連について情報収集およびグループワークを通して探る。(へき地暮らし)	調べ学習の発表と討議を通して、へき地の地域特性と生活の関連についての理解を深める。 (事前学習)へき地を1つ選び、その地域の歴史的・文化的・地理的・社会的特徴と、それらが人々の生活・健康に与える影響についてまとめる。(30分) (復習)授業の内容を整理し、配布資料を読み直しポイントをまとめる。(30分)	平澤 則子
3	岩手県沢内村の医療、国のへき地保健医療対策、新潟県第7次地域医療計画の取り組みを理解する。(沢内村 地域医療計画)	国のへき地保健医療対策の経緯を理解する。岩手県沢内村の保健活動を理解する。新潟県第8次地域医療計画と取組を理解する。 (事前学習)文献、インターネット等を参考に沢内村の保健活動について調べる。新潟県第8次医療計画を読み、(30分) (復習)国のへき地医療保健対策と比較しながら新潟県第8次医療計画を読み直し、県版計画の特徴を考える。(30分)	平澤 則子
4	へき地における地域医療と看護を学ぶ。(オンライン診療テレナーシング)	へき地出張診療所の看護師が担う地域医療・看護の実際を学ぶ。 (予習)文献やインターネットでへき地出張診療所、へき地医療拠点病院のオンライン診療、テレナーシングについて調べる。(30分) (復習)授業の内容を整理し、配布資料を読み直しポイントをまとめる。へき地で求められる看護の役割を考える。(20分)	平澤 則子
5	へき地看護に必要な概念を学ぶ(プライマリ・ヘルスケア、協働連携) へき地看護に必要な概念を学ぶ(セルフケア、慢性疾患ケアモデル)	プライマリ・ヘルスケア、セルフケア、慢性疾患ケアモデルの概念を理解する。関係機関や住民との協働連携の実態を理解する。 (事前学習)上記の概念について調べ、ワークシートに記載する。(30分) (復習)授業の内容を整理し、配布資料を読み直しポイントをまとめる。(30分)	平澤 則子

科目名	へき地看護論	授業科目番号	2315020
担当者氏名	平澤 則子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	県内外のへき地における看護の特徴や機能・役割、課題について情報収集し分析する。(へき地看護)	第2回で取上げたへき地における看護実践を調べ、特徴や機能・役割、課題について情報収集し分析する。 (事前学習) 配布資料を読み、必要な情報とデータの所在、分析方法を考える。(30分) (復習) 分析を深める。(30分)	平澤 則子
7	分析結果を発表する。(へき地看護) グループワーク	分析結果を発表し、各地におけるへき地看護の実際について共有する。 (事前学習) プレゼンテーションの準備をする。資料はパワーポイントで作成する。(30分) (復習) へき地における看護職の専門性と能力について考察を深める。(30分)	平澤 則子
8	分析結果を発表する。(へき地看護) 全体討議 へき地で働く看護職に求められる専門性(まとめ)	ディスカッションを通してへき地で働く看護職に求められる専門性と能力について考えるとともに、へき地看護のこれからの課題について考える。 (予習) 事前課題レポートを作成し、持参する。(40分) (復習) 授業の内容を整理し、ポイントをまとめる。(20分)	平澤 則子
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

科目名	リーダーシップ論			授業科目番号	1103030
担当者氏名	樋本 まゆみ			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	演習	単位	1単位	時間	30時間
必・選	選択	開講年次	4年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		○3-1 地域のネットワークを共有する力、 地域社会に貢献する態度			
		3-2 多職種と連携・協働する力、○5-2			

《授業の概要》

リーダーシップとは、対人関係に現れる影響関係をいう。グループが目標を達成する過程で、互いにどのような影響を受けるのか、リーダーシップとは何か、ラボラトリー方式の体験学習と集団決定法を組み合わせる。グループの中で、自己の態度や行動の傾向を知り、自己のありようを検討する。体験を通して自己理解、他者理解を深め、互いの関係性の中から、リーダーシップの役割や責任について理解する。また、保健医療チームの一員として、看護者のリーダーシップのあり方について考える。基礎教育科目の人間力養成として位置づけられており、各科目と連携している。

《授業の到達目標》

- 1.組織の中でのリーダーシップとメンバーシップを理解する
- 2.リーダーシップに関する理論を理解する
- 3.リーダーシップの体験学習の中から自己理解と他者理解をする

《評価の方法》

- 1.筆記試験 50%（到達目標1.2.3）
- 2.グループワーク50%（到達目標1.2.3）

《テキスト》

『看護にいかすリーダーシップ』（諏訪茂樹著 医学書院 2021年）

《参考図書》

『系統看護学講座 看護の統合と実践[1] 看護管理』（上泉和子 他編 医学書院 2024年）（看護管理論の必修授業で購入済みである）

《履修上の留意点》

事前に指示された教科書のページを読んでおくこと。積極的にディスカッションを行うこと。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	ガイダンス リーダーシップとは	科目の説明（授業方法、テスト、グループワーク、課題に関すること） リーダーシップとは （予習）看護管理 看護の統合と実践1 第5章を熟読する（30分） （復習）事前に学習した内容と授業での学びを整理する（90分）	樋本まゆみ
2	組織マネジメントとリーダーシップ・メンバーシップ	組織とは、集団の中のリーダーシップの定義を理解する （予習）看護管理 看護の統合と実践1 第5章を熟読する（30分） （復習）事前に学習した内容と授業での学びを整理する（90分）	樋本まゆみ
3	リーダーシップの歴史的変遷	リーダーシップの歴史的変遷を理解する （予習）指定教科書のこれまでのリーダーシップの流れを熟読する（30分） （復習）事前に学習した内容と授業での学びを整理する（90分）	樋本まゆみ
4	リーダーシップの理論	さまざまなリーダーシップ理論に関する説明について理解する（交流分析を含む） （予習）事前に配布した資料と、指定教科書のこれまでのリーダーシップの流れを熟読する（30分） （復習）事前に学習した内容と授業での学びを整理する（90分）	樋本まゆみ
5	リーダーシップと理論のワーク	交流分析手法を使用し、自身の傾向と他者の傾向を理解する （予習）指定教科書のこれまでのリーダーシップの流れを熟読する（30分） （復習）事前に学習した内容と授業での学びを整理する（90分）	樋本まゆみ

科目名	リーダーシップ論	授業科目番号	1103030
担当者氏名	樋本 まゆみ		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	動機づけとリーダーシップ	集団、集団過程、集団力学、組織文化、コミュニケーションを理解する (予習) 看護管理学のリーダーシップとマネジメントを熟読する(30分) (復習) 事前に学習した内容と授業での学びを整理する(90分)	樋本まゆみ
7	リーダーシップの体験学習説明	リーダーシップ学習の重要性、意識と行動を変化させる体験学習について理解する (予習) 指定教科書のリーダーシップの体験学習を熟読する(30分) (復習) 事前に学習した内容と授業での学びを整理する(90分)	樋本まゆみ
8	リーダーシップの体験学習演習・リフレクション	リーダーシップの体験学習とリフレクション (予習) 指定教科書のこれまでのリーダーシップの流れを熟読する(30分) (復習) 事前に学習した内容と授業での学びを整理する(90分)	樋本まゆみ
9	リーダーシップの体験学習説明(発達適応モデル)	発達適応モデルの説明 (予習) 指定教科書の発達適応モデルを熟読する(30分) (復習) 事前に学習した内容と授業での学びを整理する(90分)	樋本まゆみ
10	リーダーシップの体験学習(発達適応モデルに基づく演習)	ラウンドモデルの体験学習を行う (予習) 指定教科書のラウンドモデルのところを熟読する(30分) (復習) 事前に学習した内容と気づきのノートで学びを整理する(90分)	樋本まゆみ
11	リーダーシップの体験学習(発達適応モデルに基づく演習のリフレクション)	ラウンドモデル体験学習リフレクションを行い体験と理論を結びつける (予習) 前回の演習のまとめの振り返りをしておく(30分) (復習) 事前に学習した内容と授業での学びを整理する(90分)	樋本まゆみ
12	リーダーシップの体験学習説明(保健医療チームにおけるアサーション)	アサーションが理解できる 保健医療チームの中の看護師 (予習) アサーションを熟読する(30分) (復習) 事前に学習した内容と授業での学びを整理する(90分)	樋本まゆみ
13	リーダーシップの体験学習	保健医療チームの看護師としてのアサーションの体験学習 (予習) アサーションについてまとめる(30分) (復習) 事前に学習した内容と授業での気づきと学びを整理する(90分)	樋本まゆみ
14	リーダーシップの体験学習(リフレクション)	アサーションの体験学習後のリフレクション (予習) アサーションについての気づきと学びをまとめる(30分) (復習) 事前に学習した内容と授業での気づきと学びを整理する(90分)	樋本まゆみ
15	まとめ リーダーシップについて	リーダーシップ・メンバーシップをとおして、自己理解、他者理解をについてまとめ 保健医療チームの一員として看護者の在り方を理解する (予習) いままでの学習の振り返りを行う(30分) (復習) 今までの振り返り内容と授業での気づきと学びを整理する(90分)	樋本まゆみ

科目名	民族と宗教			授業科目番号	1105060
担当者氏名	郷堀 ヨゼフ			実務経験のある 教員等による授業科目	
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	選択	開講年次	4年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		1-1 幅広い教養と多様性を理解する力、○5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力			

《授業の概要》

世界の主要宗教と民族性についての基礎知識を学ぶ。ユダヤ教、キリスト教、イスラム教、仏教を取り上げる。現代社会において、宗教や信仰の問題が持つ意味について民族性と関連させて考えを深める。後半では、日本の民族性と仏教を中心に学ぶ。正月やお盆の生活文化に意味を考えるとともに、本学と同母体である長岡西病院の仏教に基づくホスピスで法曹の講話を聞く機会を設け、現代における仏教の意義、ターミナルケアに対して果たしうる役割についても考察する。

《授業の到達目標》

世界の宗教と民族の多様性を理解し、自文化を捉え直すと共に、人間関係や医療等の文化的背景を考えることによって学習者自身の認識及び生活感覚への理解を深め、医療福祉の社会的／文化的基盤を成す宗教性や民族性への理解を到達目標とする。

《評価の方法》

終講レポート（50％）、小レポート（30％）、授業参画度（20％）をもって評価する。

《テキスト》

特に指定しないが、毎回レジュメや資料を配布し、テーマごとの参考文献や資料を提示する。

《参考図書》

『福祉人類学』（郷堀ヨゼフ著 国書刊行会 2025年）
『宗教ってなんだろう？』（島園進著 平凡社 2017年）

《履修上の留意点》

必要な資料はその都度配布する。又、できるだけ視覚資料（PPT等）を使用する。
多様性を尊重し、他民族・他宗教・他者への差別的発言などに注意していただきたい。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	ガイダンス	本科目の内容、講義の概要及びレポート等について説明を行う。多文化や多様性とは何かについて考えて、他者や異文化との出会いと共生について考える。	郷堀ヨゼフ
2	民族とは何か、宗教とは何か、文化とは何か	宗教学及び民族学（文化人類学）の主要な概念とキーワードについて紹介する。民族性・宗教・信仰・スピリチュアリティなどを中心に考える。	郷堀ヨゼフ
3	人生の旅 1：誕生	妊娠・出産・誕生にまつわる文化的現象を取り上げて、日本と世界の宗教・民族の相違点と共通点について論じる。スーダン・メキシコなどを事例を提示し、通過儀礼としての誕生・出産について考え、近現代の出産のあり方（文化）について考える。	郷堀ヨゼフ
4	人生の旅 2：成長	子どもにまつわる文化や成熟の儀（成長の儀礼）にフォーカスし、日本と世界の宗教・民族（南アジア）の相違点と共通点について論じる。	郷堀ヨゼフ
5	人生の旅 3：婚姻と家族	男女関係・婚礼の文化に注目しながら、日本と世界の宗教・民族（中央アジア）の相違点と共通点について論じる。	郷堀ヨゼフ

科目名	民族と宗教	授業科目番号	1105060
担当者氏名	郷堀 ヨゼフ		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	人生の旅4:死	看取り・死の概念・葬送儀礼の文化に注目しながら、日本と世界の宗教・民族の相違点と共通点について論じる。看取りやターミナルケアにおける宗教、特に仏教の役割や意義について考える。	郷堀ヨゼフ
7	人生の旅5:死後の世界	先祖・異界・死後の世界にフォーカスし、日本と世界の宗教・民族の相違点と共通点について論じる。悲嘆(グリーフケア)における宗教、特に仏教の役割と意義について考える。	郷堀ヨゼフ
8	世界の宗教1:ユダヤ教	ユダヤ教の教義と教理、そして歴史についてレビューし、タルムードなどの代表的な書物や教典を紹介しながら、そのエッセンスについて考える。さらに、ユダヤ教徒の生活について紹介する。	郷堀ヨゼフ
9	世界の宗教2:仏教	仏教の教義と教理、そして歴史についてレビューし、仏典を紹介しながら、そのエッセンスについて考えると共に上座部仏教と大乘仏教に代表される各地の仏教のあり方をみていく。さらに、仏教徒の生活について紹介する。	郷堀ヨゼフ
10	世界の宗教3:キリスト教	キリスト教の教義と教理、そして歴史と宗派についてレビューし、聖書などの代表的な書物や教典を紹介しながら、そのエッセンスについて考える。さらに、各地のキリスト教徒の生活について紹介する。	郷堀ヨゼフ
11	世界の宗教4:イスラム教	イスラム教の教義と教理、そして歴史や宗派についてレビューし、クルアーンなどの代表的な書物や教典を紹介しながら、そのエッセンスについて考える。さらに、イスラム教徒の生活について紹介する。	郷堀ヨゼフ
12	世界の宗教5	ヒンズー教など世界各地の宗教や土着信仰について紹介し、それぞれの特徴を取り上げながらそのエッセンスについて考える。	郷堀ヨゼフ
13	日本の民族性・日本の宗教性	日本の年中行事などを紹介しながら、これらの根底に流れている宗教・信仰の基盤について考える。日本人の死生観や異界観(他界観)について紹介し、現代人にとっての意義・意味について考える。	郷堀ヨゼフ
14	宗教と看護	長岡西病院のビハーク病棟などの実践を紹介しながら、宗教と医療(看護)との接点や関係性について考える。	郷堀ヨゼフ
15	まとめ	全体の振り返りを行い、宗教・信仰の在り方や意味について考える。医療従事者(看護師)の視点から民族・宗教に関する知識・認識の意味・意義・重要性について整理する。	郷堀ヨゼフ

科目名	経済と政策			授業科目番号	1106040
担当者氏名	鯉江 康正			実務経験のある 教員等による授業科目	
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	選択	開講年次	4年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		1-1 幅広い教養と多様性を理解する力、○3-3 保健医療福祉制度と看護の役割			

《授業の概要》

政治と経済には密接なかわりがあることを理解する。経済は「物の流れ、通貨の流れ、人の流れ、情報の流れ」として現れることを具体的な事例を基に理解する。一方、政治は経済の流れを調整する役割を持っていることを理解する。政治の動きで経済は重要な影響を受ける。それは、日本の政治だけでなく、世界の政治が影響することを事例で学習する。例えば、アメリカ大統領選挙や国防の問題などである。それらを踏まえて、日本における経済政策と労働・社会保障、医療等の社会政策についての基礎を学習する。

《授業の到達目標》

1. 経済社会の仕組みを述べるができる。（例：なぜ、高所得者と低所得者がいるのか。生活水準の違いは何が原因しているのか。インフレ率が違うのはなぜか。就職氷河期はなぜ起こるのか。） 2. 経済へのより機敏な参加者になる。（例：自分の所得のどれだけを消費し、どれだけを貯蓄し、その貯蓄をどのように運用するのか。） 3. 経済政策の影響を判断できる。（例：増税による公共投資か減税か。健康投資と経済成長。市場システムと計画経済の評価。）

《評価の方法》

学習態度15%（ミニッツペーパーにおいて、講義内容を記入すること）、課題15%（講義中の練習問題と同様の形式）、定期試験70%（持ち込み不可、講義中の練習問題および課題と同様の形式）

《テキスト》

特になし。随時プリント類を配布する。

《参考図書》

『マンキュー入門経済学（第3版）』（N・グレゴリー・マンキュー著 東洋経済新報社 2019年）

《履修上の留意点》

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	ガイダンス 第1章 経済学の十大原理 (希少性、効率性と公平性、 トレードオフ、機会費用、限 界原理、インセンティブ、交 易)	ガイダンス/経済学を学ぶ上で基礎となる考え方を講義する。具体的には、人々は目標の間のトレードオフに直面していること、行動の費用は機会費用によって測られること、限界的便益や限界的費用をもとに行動すること、人々はさまざまなインセンティブに反応すること、交易は人を豊かにすることなどを学ぶ。(復習)講義中に行う練習問題を復習しておくこと(60分)。	鯉江 康正
2	第1章 経済学の十大原理 (市場経済、計画経済、市場 の失敗、外部性、市場支配力 、政府の役割、生産性、イン フレーション、失業)	経済学を学ぶ上で基礎となる考え方を講義する。具体的には、通常の場合は市場が人々の効用を最大化すること、例外的に市場の失敗が存在する場合には政府の役割が重要であること、生産性が生活水準を決定すること、社会はインフレと失業のトレードオフに直面していることなどを学ぶ。(予習)今回講義の資料を読んでおくこと(30分)。(復習)講義中に行う練習問題を復習しておくこと。第1章の課題を出します(90分)	鯉江 康正
3	第2章 需要と供給の作用 (市場、競争市場、需要曲線 、正常財、劣等財、代替財、 補完財、供給曲線)	活動主体である売り手と買い手の行動を表す需要と供給を講義する。需要量の決定要因には財の価格、所得、代替財および補完財の価格、嗜好、予想、買い手の数などがある。また、供給量の決定要因には生産する財の価格、投入価格、技術、予想、売り手の数などがある。これらの決定要因の変化の影響を学ぶ。(予習)今回講義の資料を読んでおくこと(30分)。(復習)講義中に行う練習問題を復習しておくこと(60分)	鯉江 康正
4	第2章 需要と供給の作用 (市場均衡、均衡価格、均衡 取引量、超過供給、超過需要 、市場均衡の変化)	市場均衡を説明し、さまざまな要因が変化した時の市場均衡を講義する。需要と供給の理論を用いることによって、市場経済において需要と供給がどのように価格を決定するのか、またその価格が経済の希少な資源をどのように配分するのかなどを学ぶ。(予習)今回講義の資料を読んでおくこと(30分)。(復習)講義中に行う練習問題を復習しておくこと。第2章の課題を出します(90分)。	鯉江 康正
5	第3章 政府の政策 (価格の上限規制、家賃規制 、価格の下限規制、最低賃金 、価格規制の評価)	政府が家賃規制や最低賃金などの価格規制をかけた時の影響を講義する。具体的事例として、原油価格の引き上げによって生じたガソリン・スタンドの行列を引き起こしたのは誰か、家賃統制の短期と長期の影響、最低賃金は本当に若年労働者を救うのかどうかを学ぶ。(予習)今回講義の資料を読んでおくこと(30分)。(復習)講義中に行う練習問題を復習しておくこと(60分)。	鯉江 康正

科目名	経済と政策	授業科目番号	1106040
担当者氏名	鯉江 康正		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	第3章 政府の政策 (税金、売り手への課税、買い手への課税、弾力性と税の帰着)	政府が売り手や買い手に課税した時の影響を講義する。税金を売り手から取る場合と買い手から取る場合の違いを考える。また、議会が給与税を企業側に負担させようと考えた時にそれが可能かどうかを学ぶ。さらに、負担割合が決まる仕組みを弾力性という概念を用いて学ぶ。(予習)今回講義の資料を読んでおくこと(30分)。(復習)講義中に行う練習問題を復習しておくこと。第3章の課題を出します(90分)。	鯉江 康正
7	第4章 市場の効率性 (厚生経済学、支払許容額、消費者余剰、費用、生産者余剰、総余剰、効率性、公平性、市場の失敗)	余剰の概念を用いて、通常市場が効率的であることを講義する。取引から生じる買い手の便益が消費者余剰で測られ、売り手の利得が生産者余剰で測られることを示す。その上で、競争市場における取引が社会全体の余剰を最大化することを学ぶ。例外として、市場の失敗があることを紹介する。(予習)今回講義の資料を読んでおくこと(30分)。(復習)講義中に行う練習問題を復習しておくこと。第4章の課題を出します(90分)	鯉江 康正
8	第5章 外部性 (正の外部性、負の外部性、外部性の内部化、外部性に対する公共政策、矯正税、コースの定理、取引費用)	外部性を説明し、外部性がある場合には市場が効率的でないことを講義する。外部性が存在する場合には、私的費用と社会的費用、私的価値と社会的価値が乖離するため、競争市場は社会全体の余剰を最大化できない。その場合にできる公共政策、当事者間による解決法を学ぶ。(予習)今回講義の資料を読んでおくこと(30分)。(復習)講義中に行う練習問題を復習しておくこと。第5章の課題を出します(90分)。	鯉江 康正
9	第6章 国民所得の測定 (ミクロ経済学、マクロ経済学、国内総生産GDP、消費、投資、政府支出、純輸出、名目GDP、実質GDP、GDPデフレーター)	GDPとそれに関連する指標について講義する。GDPとそれに関連する指標の違いを説明する。また、名目GDPと実質GDPの違いを理解したうえで、GDPは経済厚生の良い尺度であるかどうかを考える。(予習)今回講義の資料を読んでおくこと(30分)。(復習)講義中に行う練習問題を復習しておくこと。第6章の課題を出します(90分)。	鯉江 康正
10	第7章 生計費の測定 (消費者物価指数、インフレ率、コアCPI、生産者物価指数、物価スライド制、名目利子率、実質利子率)	さまざまな物価指数の違いを説明し、生計費の実質と名目の違いを講義する。インフレーションはマクロ経済的成果に影響を与える一項目として多くの注目を集めている。ここではインフレ率をどのように測定するのか、異時点間の金額比較をどのようにするのかを学ぶ。(予習)今回講義の資料を読んでおくこと(30分)。(復習)講義中に行う練習問題を復習しておくこと。第7章の課題を出します(90分)。	鯉江 康正
11	第8章 生産と成長 (生産性、物的資本、人的資本、天然資源、技術知識、生産関数、限界生産力逓減、キャッチアップ効果)	一国経済の生活水準を決定する要因について講義する。世界の国々の経済成長を概観し、生活水準は生産性に依存していることを認識する。その上で、生産性を決定する要因を学び、生産性を向上させる公共政策を考える。(予習)今回講義の資料を読んでおくこと(30分)。(復習)講義中に行う練習問題を復習しておくこと。第8章の課題を出します(90分)。	鯉江 康正
12	第9章 貯蓄、投資と金融システム (金融システム、債券、株式、金融仲介機関、投資信託、国民貯蓄、民間貯蓄、政府貯蓄、財政黒字、財政赤字)	金融システムを説明したうえで、様々な政策が利率に及ぼす影響を講義する。具体的には、金融システムとマクロ経済変数、とりわけ貯蓄と投資の関係を検証する。その後、金融市場において、利率が価格の役割を果たし、資金の需給をバランスさせるように調整されることを学ぶ。(予習)今回講義の資料を読んでおくこと(30分)。(復習)講義中に行う練習問題を復習しておくこと。第9章の課題を出します(90分)。	鯉江 康正
13	第10章 総需要と総供給 (景気後退、不況、総需要と総供給のモデル、総需要曲線、総供給曲線)	景気変動を説明したうえで、それに影響を与える総需要曲線と総供給曲線についてについて講義する。その後、どのような要因が総需要曲線や総供給曲線をシフトさせるのかを学ぶ。(予習)今回講義の資料を読んでおくこと(30分)。(復習)講義中に行う練習問題を復習しておくこと(60分)。	鯉江 康正
14	第10章 総需要と総供給 (マクロ経済変動分析、長期均衡、均衡物価水準、自然産出量水準、総需要のシフトの影響、総供給のシフトの影響)	社会現象や政策によって、物価水準と産出量がどう変化するかを講義する。総需要曲線をシフトさせた出来事として、大恐慌と第2次世界大戦、2008年～2009年の大不況を紹介する。また、総供給曲線をシフトさせた出来事として、石油ショックを紹介する。(予習)今回講義の資料を読んでおくこと(30分)。(復習)講義中に行う練習問題を復習しておくこと(60分)。第10章の課題を出します。	鯉江 康正
15	まとめ	本講義のまとめとして、ポイントを説明する。併せて、第10章の課題の解説も行う。(予習)第1～14回の講義資料を読んでおくこと(60分)。(復習)試験に向けて、練習問題や課題の復習を行っておくこと(120分)。	鯉江 康正

《基礎教育科目 基礎教育科目 社会の理解》

科目名	国際ボランティア論			授業科目番号	1106050
担当者氏名	川崎 眞理子			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	選択	開講年次	4年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		○1-1 幅広い教養と多様性を理解する力、 5-2 地域社会に貢献する態度			

《授業の概要》

英語科目においては、医療看護福祉健康に関わるテーマを使って、言語としての英語のみならず、コンテンツも学んできた。また災害支援の知識も身につけた。ここでは既習の知識と言語能力を活用し、国際社会の平和と安定について、現在の世界の情勢を知り、平和とは何かについて自己の考えを明確にする。また、平和な社会の実現のためにどのような貢献ができるかについて、国際的視野で考える。貢献の一つであるボランティア活動の歴史的背景や理念・方針について先行研究等より知り、各自の考えを共有・討議する。活発かつ持続している国内外のボランティア活動を取り上げ、課題について考え、報告・発表する。

《授業の到達目標》

国際社会の多様性を理解し、適切に行動できる。
平和と安定を実現するための共生・協働の重要性を認識し、実現の努力ができる。
自分の見解を根拠を示してまとめることができる。
国内外のボランティア活動に関心を持ち、自分にできる貢献についての考えを発表できる。

《評価の方法》

授業への参画30%（ ）、ミニリサーチペーパー（紹介、意見、提案等）40%（ ）、プレゼンテーション20%（ ）、その他提出物10%（ ）課題はグーグルクラスルーム上で校閲・コメント付記・採点を行う。

《テキスト》

なし

《参考図書》

適宜紹介する

《履修上の留意点》

授業は協働学習の場です。主体的に取り組みに加えて、自己との対話(省察など)や他者との対話(意見交換・討議)を求めます。シラバスは最適な学修の促進と支援のために変更することがあります。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	ボランティア活動にいて知る (自己評価、ボランティア、異文化理解)	授業方針と計画ならびに評価方法を確認します。 ボランティア活動について、知っていることや考えていることをシェア しましょう 授業外学習：課題1 ボランティア活動の歴史的背景、理念、意義等を分 担して調べてまとめる(約4時間/週)	川崎眞理子
2	ボランティア活動と文化 (歴史、文化、宗教)	課題1の発表と討議 授業外学習：課題2 ボランティア意識と文化・宗教の関係について調 べてまとめる(約4時間/週)	川崎眞理子
3	ボランティア意識と文化、 JICA (ボランティア意識、文化、 宗教)	課題2の発表と討議 授業外学習：課題3 資料1を読んで、概要をまとめる(約4時間/週)	川崎眞理子
4	JICA, MSF等とその活動 (JICA, MSF, 国際支援活動 、ミニリサーチ)	課題3の発表と討議 JICA(国際協力機構)の活動を知る その意義と課題を考える 授業外学習：課題4 資料2を読んで、概要をまとめる(約4時間/週)	川崎眞理子
5	ボランティア活動の課題、今 後ボランティア活動 その1 (批判的検討、問題発見、課 題解決)	ミニリサーチペーパーにおける論理の展開を考える その1 互いの立場、論拠を批判的に検討し合うことにより、自己の主張をわか りやすく論述する 授業外学習：ミニリサーチペーパー(約4時間/週)	川崎眞理子

科目名	国際ボランティア論	授業科目番号	1106050
担当者氏名	川崎 真理子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	ボランティア活動の課題、今後ボランティア活動 その2 (批判的検討、問題発見、課題解決)	ミニリサーチペーパーにおける論理の展開を考える その2 互いの立場、論拠を批判的に検討し合うことにより、自己の主張をわかりやすく論述する ミニリサーチペーパー進捗確認 授業外学習：ミニリサーチペーパーを仕上げる(約4時間/週)	川崎真理子
7	アカデミックプレゼンテーション (リサーチペーパー、プレゼンテーション)	ミニリサーチペーパーを提出する プレゼンテーションの組み立て 授業外学習：課題7 ミニリサーチペーパーのプレゼンテーションのスライドと原稿を作成する(約4時間/週)	川崎真理子
8	プレゼンテーション、ピアレビュー、リフレクション (ピアレビュー、リフレクション)	ミニリサーチペーパーの発表と質疑応答・講評	川崎真理子
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

《専門教育科目 専門基礎科目 健康と社会のシステム》

科目名	看護関係法規			授業科目番号	2210040
担当者氏名	菅原 京子			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	必修	開講年次	4年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		3-3 保健医療福祉制度と看護の役割, ○4-1 看護学を探究する意欲, ○5-1 地域・ 国際社会の健康ニーズを理解する力			

《授業の概要》

質の高い看護を提供できる専門職として、理解しておかなければならない法について、看護法、医事法、保健衛生法、薬務法等について学ぶ。知識として学ぶだけではなく、その内容の根拠や看護との関係に着目しながら学習する。それまで学んだ他の科目や日常生活での経験、マスメディアやインターネットからの情報、実習での経験と関連付けて学び、日常生活とかけ離れたものではないことも学習するとともに、社会人となるためのレディネスとしての保健・医療・福祉関連の法の学修を統合させる。

《授業の到達目標》

1. 日本国憲法と関係法規の関連を説明できる。
2. 看護法、医事法、薬務法の基本を説明できる。
3. 保健衛生法、福祉法とその他の関係法規との基本を説明できる。
4. 看護職として仕事をする上での看護関連法規の重要性を再認識できる。

《評価の方法》

定期試験90%、授業貢献度10%（到達目標1, 2, 3, 4）

《テキスト》

『ナースング・グラフィカ 看護をめぐる法と制度』（平林勝政 他編 メディカ出版 2025年）

《参考図書》

『系統看護学講座 健康支援と社会保障制度[4] 看護関係法令』（森山幹夫著 医学書院 2025年）

《履修上の留意点》

《備考》

保健師教育課程必修科目 本科目は4年次に履修することから、それまでに学修した科目との統合を図ること。

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	ガイダンス 法の概念と保健師助産師看護 師法(関係法規・基本となる 法規)	当該科目のガイダンスを受ける。法の概念を学び、関係法規とは何か、 なぜ関係法規を学ぶのかを考え、その意義を見出す。具体的には、日本 国憲法、衛生法、厚生行政のしくみを理解する。また、保健師助産師看 護師法が必須であることを理解する。 (予習)日本国憲法を確認する。(30分) (復習)法の概念についてノートにまとめる。(30分)	菅原 京子
2	保健師助産師看護師法と看護 師の人材確保の促進に関する 法律(保健師・助産師・看護 師・免許取得要件・業務・義 務・人材確保)	保健師助産師看護師法について、目的・定義・付属法令・免許・業務・ 義務等について講義で理解する。また、国家試験について自身の受験を イメージしながら理解する。さらに、看護師の人材確保の促進に関する 法律の目的や定義を社会状況と照らし合わせながら理解する。(予 習)保健師助産師看護師法、看護師の人材確保の促進に関する法律の目 的や定義を確認する。(30分)(復習)授業内容をノートにまとめる (30分)	菅原 京子
3	医療法、医師法、その他の資 格に関する法(医療法・医師 に関する法律・他職種に関す る法律)	医療法の目的・定義について理解する。保健医療福祉に関係した看護職 以外の職種を規定する法規について理解する。 (予習)大学と関連する病院や施設(実習等で学んだ施設)の概要を確認 する。(30分) (復習)講義内容をノートにまとめる。(60分)	菅原 京子
4	医療を支える法規 (医療・介護・移植医療・人 の死・緊急時)	医療・介護の提供に関する法、移植医療に関する法、人の死に関する法 、緊急時の看護・医療に関する法について理解する。 (予習)医療を支えるさまざまな法の名称を調べる。(30分) (復習)講義内容をノートにまとめる。(60分)	菅原 京子
5	共通保健法と分野別保健法 (地域保健・健康増進・精神 保健・母子保健・学校保健・ 高齢者保健)	地域保健法と健康増進法について、目的や内容を講義を通して、また既 存の学習内容とも照らし合わせて理解する。また、分野別の保健法につ いて、目的や内容を講義を通して、さらに既存の学習内容とも照らし合 わせて理解する。 (予習)保健法にはどのようなものがあるか、テキストの目次を活用して 名称を調べる。(30分)(復習)授業内容をノートにまとめる。(60分)	菅原 京子

科目名	看護関係法規	授業科目番号	2210040
担当者氏名	菅原 京子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	薬機法、その他の法 (薬事・環境衛生・社会保険・福祉・労働)	薬機法・環境衛生法・社会保険法・福祉法・労働法・環境法に関する法について、目的や内容を講義を通して、また既存の学習内容とも照らし合わせて理解する。 (予習) 薬務やその他の法にはどのようなものがあるか、テキストの目次を活用して名称を調べる。(30分) (復習) 授業内容をノートにまとめる。(60分)	菅原 京子
7	感染症、食品に関する法 (感染症予防・感染症の患者に対する医療・新感染症・食品安全)	感染症に関する法の目的や内容について、既存の学習内容と照らし合わせて理解する。感染症予防、食品安全に関して、普段の生活を送るうえでの関連法の必要性について考える。 (予習) 感染症に関する法と食品に関する法にはどのようなものがあるか、テキストの目次を活用して名称を調べる。(30分)(復習) 授業内容をノートにまとめる。(30分)	菅原 京子
8	看護と法についてのまとめ (看護関係法令・健康支援・社会保障)	看護関係法規を理解することが、対象の健康支援につながることを講義を通して理解する。関係法規に関する様々な国家試験レベルの問題を解きながら、本講義内容のまとめをする。 (予習) 7回目までの講義内容の確認をする。(45分)(復習) 自己の学習が不十分と思われる内容を再学習する(30分)	菅原 京子
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

科目名	災害看護活動論			授業科目番号	2313160
担当者氏名	広井 貴子			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	演習	単位	1単位	時間	30時間
必・選	選択	開講年次	4年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		○3-1 地域のネットワークを共有する力、○5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力、5-2 地域社会に貢献する態度			

《授業の概要》

静穏期における災害看護について、災害看護活動論で行ったフィールドワークを基に看護職者として災害時の看護方策を考える。一般市民に対し、平時における減災に向けた防災指導について企画することができる。被災地でのトリアージ、各災害場面におけるチーム医療・看護者としての役割について理解を深める。

位置づけ：学んだ知識と実習施設がある地域の特性や大学周囲の環境を把握し、医療者として災害にどう向き合うかを4年次の後期で学ぶ。

《授業の到達目標》

1. 地域に発生しやすい自然災害を理解し、減災にむけて知識を深め、備えについて説明できる。
2. シミュレーションから被災現場からトリアージ・応急処置・病院受け入れまでの流れを理解し、看護職の役割を述べることができる。
3. 中越地震や東日本大震災、原発被害地などの発災から復興までを学ぶことができる。

《評価の方法》

1. グループワーク参加態度、事前課題の準備20%(到達目標1.2.3)
2. レポート：地域への指導案20%(到達目標1)、見学感想20%(到達目標1.2)、まとめのレポート40%(到達目標1.2.3)

《テキスト》

1. 『シミュレーションで学ぶ避難所の立ち上げから管理運営 HAPPY』(山崎達枝監修 荘道社 2016年)

《参考図書》

『事例を通して学ぶ避難所・仮設住宅の看護ケア』(黒田裕子、神崎初美著 日本看護協会出版会 2012年)

『演習で学ぶ災害看護』(小原真理子監修 南山堂 2010年)

《履修上の留意点》

演習、現地見学、災害支援の考察などから災害看護に関して多様な学びを深めます。積極的に参加できるように予習や必要物品の準備を忘れないようにそろえること。

レポートはコメントを入れて次の授業に返却します。

《備考》

中越地震被災地見学、長岡震災アーカイブセンターの見学は現地集合、現地解散。交通費・施設見学費は実費になります。

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	災害発生時急性期の避難所運営 (HUG(避難所運営ゲーム)、避難所)	(演習)・(模擬)教室や体育館の平面図に避難所として受け入れ体制を企画する。多数被災者の受け入れ、多職種との関わりなど、管理運営を模擬体験する。 (予習)テキスト1をよく読み込み。意見交換できるよう手法を理解し授業に望むこと(120分)(復習)次の授業では、各グループで立案した企画を発表することができるよう再確認し備える(60分)	広井 貴子
2	災害発生時急性期の避難所運営 (HUG(避難所運営ゲーム)、避難所)	(演習)(模擬)平面図にどれだけ適切に配置できたのか、工夫した点などを各グループ発表し、全体討議としより学びを深める。 (予習)テキスト1をよく読み込み演習につなげられるよう熟読する。(120分)(復習)各グループでまとめた企画が、円滑な避難所運営に繋がれたか、被災者に適切な対応につながったのか、よくできた点とできなかった点を振り返る。(60分)	広井 貴子
3	傷病者への手当 (三角巾・包帯での被覆・骨折時の固定)	(演習)三角巾・包帯を用いた被覆、適切に圧迫されていること、出来上がりが綺麗であること。骨折時の固定ができること。 (予習)3年生時に配布したプリントを参照し三角巾を用いた被覆法の練習を行う。(30分) (復習)演習で学んだこと、スムーズにポイントを抑えて綺麗に被覆できるように練習すること。(30分)	広井 貴子
4	傷病者への手当 (三角巾・包帯での被覆・骨折時の固定) ・担架による傷病者の搬送	(演習)前授業の復習、担架による搬送訓練(平坦・階段の搬送) (予習)三角巾・包帯の被覆の練習(30分) (復習)演習で行った実技、上手くできないところを練習する。(30分)	広井 貴子
5	段ボール使用した簡易ポータブルトイレの作成 (災害時用トイレ)	災害発生時、ライフラインが途絶えた場合にトイレの問題は喫緊であり、あるものを工夫して利用することで健康障害を回避できるようにする。 (演習)段ボールを利用してポータブルトイレの作成 (予習)作成方法(資料)をよく読み理解し授業に望むこと 段ボールを準備する(30分)	広井 貴子

科目名	災害看護活動論	授業科目番号	2313160
担当者氏名	広井 貴子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	DIG(災害図上訓練) 1 (防災・減災)	想像力を高めて「もしも」に備える！ 自然災害をイメージし、防災・減災につながる行動へ (グループワーク) 長岡市ハザードマップ、等高線、気象概要などから長岡市内の自然災害に関する。被災状況を理解し発表する。 (予習) ハザードマップを入手し事前学習(60分) (復習) 次の授業で指導案が作成できるよう不足部分を準備する。(60分)	広井 貴子
7	DIG(災害図上訓練) 2 (防災・減災)	(グループワーク) 前授業1で行った結果を基に、地域への指導案を作成し、発表しグループ間で意見交換。 (予習) 指導案作成に向けて準備。(60分) (復習) 指導案の不足部分を追加修正 1週間後に提出する。(60分)	広井 貴子
8	中越地震被災地見学 1 (災害復興)	中越地震被災地見学 (予習) 宮本 匠氏・稲垣文彦氏などの中越地震後の復興に関する論文を読むこと。(60分) (復習) 本日の見学の内容をまとめる。(30分)	広井 貴子
9	中越地震被災地見学 2 (災害復興)	中越地震被災地見学 中越地震の被災地を見学し、復興について考える。 (予習) 中越地震に関する書物を読み知識を得て被災地を訪問する。(60分) (復習) 感想文を1600字程度にまとめ、1週間後に提出する(60分)	広井 貴子
10	長岡震災アーカイブセンター 見学 1	中越地震による被害や地震からの復興に関して学びを深める。 震災アーカイブスを見学し、説明を聞くことで震災への備え、被災人対応等について学ぶ。 (予習) 中越地震について調べる(120分) (復習) 本日の学びをまとめる。(60分)	広井 貴子
11	長岡震災アーカイブセンター 見学 2	中越地震による被害や地震からの復興に関して学びを深める。 震災アーカイブスを見学し、説明を聞くことで震災への備え、被災人対応等について学ぶ。 (予習) 中越地震について調べる (復習) 本日の学びをまとめる。	広井 貴子
12	能登半島地震における支援と復興について考える	能登半島地震における被災者支援について、報道資料から課題と支援について考え、災害対応に関する理解を深める。グループワークで支援内容をまとめる。 (予習) 能登半島地震に関して被災者の報道資料を収集し、確認する(120分) (復習) 本日の学びをまとめる(60分)	広井 貴子
13	能登半島地震における支援と復興について考える	能登半島地震における被災者支援について、報道資料から課題と支援について考え、災害対応に関する理解を深める。グループワークで支援内容をまとめる。 (予習) 能登半島地震に関して被災者の報道資料を収集し、確認する(60分) (復習) 本日の学びをまとめる(60分)	広井 貴子
14	東日本大震災被災地の被害状況と復興について	被災地の被害と復興状況を文献、映像等の情報から調べてまとめる。 (予習) 関連する文献、情報を調べる。(120分) (復習) 学びをまとめる(60分)	広井 貴子
15	まとめ	授業から学んだことをグループワークする。 学びを2000字程度にレポートする。タイトルは問わないが、自身が考える災害に関する看護職の役割に関して内容に加える。講義終了後1週間以内に提出する。	広井 貴子

科目名	看護情報論			授業科目番号	2314030
担当者氏名	船津 誠也			実務経験のある 教員等による授業科目	
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	選択	開講年次	4年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		1-2 人間の尊厳・権利を尊重する力、○3-1 地域のネットワークを共有する力			

《授業の概要》

看護におけるさまざまな「データ・情報・知識」について、蓄積・検索・分析・活用という観点から学習し、看護情報学の基礎を身につける。個人情報の保護に関する法律やガイドラインに基づく適切な情報の取り扱いなど、情報倫理や情報管理の意義について学ぶ。学術情報の検索と活用、医療情報システム、健康教育や患者教育における情報の活用方法、健康情報とメディア等、幅広く理解を深める。また、看護・医療における情報活用の意義及び看護活動における記録や報告等の情報の伝達の仕方、個人情報の取扱い、病院の情報システムにおける情報管理、地域保健医療ネットワークについて理解する。

《授業の到達目標》

1. 看護におけるデータ・情報の特徴について説明できる。
2. コンピュータリテラシと情報リテラシーおよび情報倫理と法について説明できる。
3. 看護の現場でコンピュータを使用した情報がどのように活用され管理されているのか説明できる。

《評価の方法》

定期試験 90%（到達目標1.2.3） 授業への参加度 10%（到達目標1.2.3）授業での積極的発言を期待する。

《テキスト》

『エッセンシャル看護情報学 2025年版』（太田勝正、前田樹海 編著 医歯薬出版 2025年）

《参考図書》

『系統看護学講座 別巻 看護情報学 第3版』（中山和弘著 医学書院 2021年）

《履修上の留意点》

テキストを事前に読んで、授業に臨むこと。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	イントロダクション （看護情報学）	本授業の学習内容と学び方、評価について概説する。看護情報を何のために学ぶのかについて説明し、看護情報学教育の歴史と現状について理解する。 （予習）テキストp1～11を読む（60分）。 （復習）配布資料に目を通す（60分）。	船津 誠也
2	看護情報とは （看護データ・情報の特徴、情報の活用と記録）	看護におけるデータ・情報の特徴や情報の活用の概要について理解する。 （予習）テキストp12～21を読む（60分）。 （復習）配布資料に目を通す（60分）。	船津 誠也
3	コンピュータリテラシー （情報の定量化、コンピュータの基本構成、インターネット）	コンピュータに関する基礎的知識やインターネットに仕組みについて理解する。 （予習）テキストp22～41を読む（60分）。 （復習）配布資料に目を通す（60分）。	船津 誠也
4	情報リテラシー （情報リテラシー、情報セキュリティ、情報発信）	情報リテラシーや情報セキュリティについて理解する。 （予習）テキストp42～56を読む（60分）。 （復習）配布資料に目を通す（60分）。	船津 誠也
5	情報倫理と法1 （情報倫理、プライバシーと守秘義務）	情報倫理およびプライバシーと守秘義務について理解する。 （予習）テキストp57～75を読む（60分）。 （復習）配布資料に目を通す（60分）。	船津 誠也

科目名	看護情報論	授業科目番号	2314030
担当者氏名	船津 誠也		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	情報倫理と法2 (個人情報保護法)	個人情報保護法に関する法律について理解する。 (予習) テキストp76～100を読む(60分)。 (復習) 配布資料に目を通す(60分)。	船津 誠也
7	医療情報システムの実際 (病院情報システム・電子カルテシステム)	診療・看護で扱う医療情報システムの特徴と実際について理解する(電子カルテ含む)。 (予習) p101～1114を読む(60分)。 (復習) 配布資料に目を通す(60分)。	船津 誠也
8	看護用語の標準化 (看護用語、標準化)	これまでの学びの中から、看護情報の取り扱いに関する留意事項をまとめる。 (予習) p115～132を読む(60分)。 (復習) 配布資料に目を通す(60分)。	船津 誠也
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

科目名	医療安全論			授業科目番号	2314040
担当者氏名	樋本 まゆみ			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	選択	開講年次	4年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度，○2-3 エビデンスに基づく看護実践力，○2-4 自己の看護実践を振り返る力			

《授業の概要》

医療安全における基礎的知識を理解するとともに、医療の現場の取り組みの実際と医療安全対策における看護職者の責任と役割について学ぶ。リスク発生の原因とヒューマンエラーの関連について理解し、現場で発生するインシデント、アクシデントのリスク管理について学ぶ。授業は参加型とし、医療事故の実態調査と分析、与薬や輸液、転倒転落のシミュレーション・リフレクションを行い、グループによる事例分析などの演習を組み入れる。専門科目の看護の統合と実践に位置づけられており、各科目との連携がある。

《授業の到達目標》

- 1. 医療安全の基礎的知識が理解できる。
- 2. 医療安全対策と看護職者の責任が理解できる。
- 3. 事例を通して、インシデント・アクシデントのリスク管理が理解できる。

《評価の方法》

学習態度 10%授業中の発言、態度をもとに評価（到達目標1.2）
筆記試験 90%（到達目標1.2.3）

《テキスト》

『系統看護学講座 看護の統合と実践[2] 医療安全』（川村治子著 医学書院 2023年）

《参考図書》

《履修上の留意点》

グループ討議においては、主体的に参加するとともに、他者の意見を傾聴し、チームで学ぶことの意義を実感する。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	医療安全を学ぶ意義を理解する	ガイダンス 医療安全を学ぶ意義を理解する。 （予習）指定教科書序論と教科書全体を概観する（30分） （復習）教科書を用いて、講義内容をまとめる（90分）	樋本まゆみ
2	医療安全の基礎を学ぶ	医療安全の基礎と事故防止の考え方を理解する。 （予習）指定教科書第1章を熟読する（30分） （復習）教科書を用いて、授業で解説された点をまとめる（90分）	樋本まゆみ
3	看護職に必要な医療安全（診療の補助、療養上の世話、患者間違い）	診療の補助で起こる事故と事故防止，療養上で起こる事故と事故防止、共通しておこる患者間違いを理解する。 （予習）指定教科書第2章を熟読する（30分） （復習）教科書を用いて、授業で解説された点をまとめる（90分）	樋本まゆみ
4	組織的な安全管理の取り組み	組織的な安全管理の取り組みと労働安全上の事故防止について理解する。 （予習）指定教科書第3章第7.8章を熟読する（30分） （復習）授業で解説された点をまとめる（90分）	樋本まゆみ
5	医療安全とコミュニケーション	チーム医療におけるコミュニケーションの重要性について理解する。 （予習）指定教科書第5章を熟読する（30分） （復習）授業で解説された点をまとめる（90分）	樋本まゆみ

科目名	医療安全論	授業科目番号	2314040
担当者氏名	樋本 まゆみ		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	事例から学ぶ医療安全(RCA分析の講義)	RCA・なぜなぜ分析について資料およびインターネットなどで学習する。 (予習) 配布資料やインターネット等で自己学習を行う(30分) (復習) グループワークを通して、分析方法と理解したことを記載する(90分)	樋本まゆみ
7	事例から学ぶ医療安全(RCA分析・演習)	前回講義内容を十分理解しながら、分析の考え方がわかるようにする。 (予習) 配布する資料を読み把握する(30分) (復習) グループワークを通して、分析方法と理解したことを記載する(90分)	樋本まゆみ
8	まとめ・リフレクション	今までの授業での振り返りを行う。 (予習) それぞれの授業の振り返りを行う(30分) (復習) 医療安全管理において、どのようなことが重要かを授業を含めて解説されたことをもう一度、総まとめておくこと(90分)	樋本まゆみ
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

《専門教育科目 専門科目 看護の統合と実践》

科目名	看護実践力演習			授業科目番号	2314090
担当者氏名	広井 貴子、大崎 美奈子			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	演習	単位	1単位	時間	30時間
必・選	選択	開講年次	4年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度、○2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力、○2-3 エビデンスに基づく看護実践力			

《授業の概要》

看護実践力を向上させるために、自己の課題に沿って看護技術の練習を行う。第1回目に看護基礎技術の到達度チェックを行い、自己の課題を明らかにする。また、卒業時看護技術到達項目の中で共通する課題を明らかにし、到達度が低い項目に着目した演習計画を立てて実践的にグループ演習を行う。同時に、受け持ち患者を想定した状況設定を行い、看護の手順や対象者の尊厳を考えた実施計画と実践を練習する。対象者への説明や指導の場面では、ロールプレイなどを取り入れてより現実的な演習とする。最終的には、グループ間で相互評価を行い、学生自身の気づきと相互評価力を育成する。

位置づけ：基礎看護学、成人看護学、老年看護学、小児看護学、母性看護学、精神看護学、地域・在宅看護学の領域実習すべてを基礎とし、卒業年度において学生自身の看護技術到達度をもとに卒業後の専門職としての自己の課題を明らかにする

《授業の到達目標》

1. 新卒看護師に求められる看護実践能力について述べることができる。
2. 看護基礎技術の到達度について自己の課題を明らかにすることができる。
3. 自己の看護実践能力の評価結果にそった看護実践を行うことができる。

《評価の方法》

予習課題や復習内容への取り組み（20％）（到達目標1～3）、レポート（看護技術到達度の考察）（20％）（到達目標1～3）、実践課題への取り組み（60％）（到達目標1～3）

《テキスト》

なし

《参考図書》

『看護技術プラクティス』（竹尾恵子監修 学研メディカル秀潤社 2019年） 『患者さんが安心できる検査説明ガイドブック』（東京慈恵会医科大学附属病院グリーンカウンター 編 医学書院 2014年）

《履修上の留意点》

自己の看護実践能力や到達度を知り、その向上促進方法を自分自身で把握していくことが大切です。グループワークは、課題について各自資料を作成し、チームのメンバーとして協力しておこなってください。レポートはコメントを入れて次回授業で返却します。

《備考》

1～3年次に記載した技術経験録を第1回目に持参してください。

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	看護実践能力と臨床看護実践能力 (臨床判断能力、倫理的判断能力、リスク・マネジメント)	新卒看護師に求められる臨床看護実践能力 ・新人看護研修の概要(厚生労働省) ・看護実践能力とは (予習)技術経験録の記載見直し(30分) (復習)個々の看護技術到達度表(3年次まで)の記載を再確認し、演習項目として希望する内容を考える(30分)	広井貴子 大崎美奈子
2	看護技術到達度の振り返り (看護技術項目、到達度、情報リテラシー)	看護技術経験度 看護技術、情報リテラシー、小テストと自己採点 (予習)看護専門用語集を読み返す(45分) (復習)分野別専門用語を計画的に復習する(30分)	広井貴子 大崎美奈子
3	患者・家族とのコミュニケーション (患者・家族指導、検査・処置の説明)	患者・家族とのコミュニケーション場面の振り返り (予習)患者・家族指導場面を振り返って(個別レポート)(90分) (復習)新たな指導場面について資料をまとめる(30分)	広井貴子 大崎美奈子
4	演習候補技術 (技術項目の達成度、演習計画、アルゴリズム)	演習内容について 演習候補技術の選定とアルゴリズム作成(個別) (予習)選定した演習項目についての資料を読み込む(45分) (復習)状況に合わせたアルゴリズム・手順のポイントを修正する(30分)	広井貴子 大崎美奈子
5	個別演習 (演習の組み立て)	演習候補技術の選定とアルゴリズムにそった個別演習 (予習)不足した知識を調べ、修正したアルゴリズムを準備する(60分) (復習)不足した知識を調べる(45分)	広井貴子 大崎美奈子

《専門教育科目 専門科目 看護の統合と実践》

科目名	看護実践力演習	授業科目番号	2314090
担当者氏名	広井 貴子、大崎 美奈子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	個別演習 (situation based training 、パートナー、クリティーク)	状況設定のある看護ケア場面の設定 situation based training 説明を受けた後、自分で設定する (予習) 看護技術項目と看護ケアの流れを作成する(60分) (復習) 個別演習および指導の結果をまとめる(30分)	広井貴子 大崎美奈子
7	グループ演習 (予行演習、教員による指導)	看護技術項目を個別のケアや時間の流れにそって演習 演習パートナーの選定 (予習) パートナーへの看護ケア計画(演じる内容)の説明資料作成(60分) (復習) 資料の精選(60分)	広井貴子 大崎美奈子
8	グループ演習 (予行演習、教員による指導)	看護技術項目を個別のケアや時間の流れにそって演習 演習グループ内でクリティーク (予習) 修正した説明資料の準備(60分) (復習) 資料の精選と修正(45分)	広井貴子 大崎美奈子
9	グループ演習 (予行演習、教員による指導)	看護技術項目を個別のケアや時間の流れにそって演習 (予習) 修正した説明資料の準備(60分) (復習) 資料の精選と修正(45分)	広井貴子 大崎美奈子
10	グループ演習成果の中間評価 (実演に向けて再確認)	看護ケア計画案を時間の流れにそって実演 (指導後に修正) (予習) 実際の場面として時間配分を設定する(45分) (復習) 時間配分や内容の再確認(30分)	広井貴子 大崎美奈子
11	修正後の練習 (演習内容の推敲)	看護ケア状況設定の最終修正 グループでケア看護ケア計画と技術をクリティーク (予習) 実際の場面として時間配分を設定する(30分) (復習) クリティークを踏まえた時間配分や内容の再確認(30分)	広井貴子 大崎美奈子
12	修正後の練習 (演習内容の推敲)	看護ケア計画の状況設定案の流れの修正と練習 (予習) 実際の場面として時間配分を設定する(30分) (復習) クリティークを踏まえた時間配分や内容の再確認(30分)	広井貴子 大崎美奈子
13	発表準備 1 (発表のポイント、演じ方、 場面設定)	看護ケア場面のロールプレイ(看護師役)の発表練習をグループで行う (予習) 同僚へのクリティークの基本を復習する(30分) (復習) 個別に練習を重ねる(30分)	広井貴子 大崎美奈子
14	発表準備 2 (発表のポイント、演じ方、 場面設定)	看護ケア場面のロールプレイ(看護師役)の発表練習 (予習) 看護ケア場面の進行表を改訂する(30分)	広井貴子 大崎美奈子
15	状況設定のある看護ケア 発表 (発表時間、クリティーク、 評価)	看護ケア計画のロールプレイ(看護師役)の発表と評価 (予習) 練習結果を制限時間内にまとめる(60分) (復習) タイムラインを含めた発表原稿を清書し、提出する(45分)	広井貴子 大崎美奈子

科目名	看護課題研究			授業科目番号	2314080
担当者氏名	近藤 ふさえ			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	演習	単位	2単位	時間	60時間
必・選	必修	開講年次	4年	開講期	通年（後期）
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		○1-2 人間の尊厳・権利を尊重する力，○4-1 看護学を探究する意欲，4-2 看護を 追究する基礎的研究能力			

《授業の概要》

研究課題別・指導教員別にグループに分かれ、1・2年次の「情報処理法」「情報活用法」「問題解決法」「統計分析法」や、3年次の「看護研究法」などで修得した知識を生かして、研究計画、研究発表会、実施報告書の完成までのプロセスを学ぶ。

研究課題は看護実践に関するものとし、各自の研究計画を設定する。グループまたは個別の指導を受けながら、資料収集や分析、報告、意見交換などを繰り返し、研究成果に関する成果発表へと結び付ける。これらの過程を通して、看護研究の実践的な方法や最新の知識と技術を自ら学び続ける素養を身につける。

《授業の到達目標》

1．看護学における関心や疑問について文献レビューを行い、研究の背景をまとめるをとおして研究テーマ、目的を明確にできる 2．目的をふまえ研究方法を検討し、研究計画書の構成に沿って計画書を作成できる 3．研究を実施する上で必要な倫理的配慮を検討し倫理的行動がとれる。研究計画書に基づきデータを収集・分析し、結果を既存の知識と関連付け考察できる 5．作成規定に従い研究論文を作成し、口頭発表することができる

《評価の方法》

「看護課題研究評価ルーブリック」を用いて指導教員が総合的に評価する。

《テキスト》

『系統看護学講座 看護研究』（坂下玲子 他著 医学書院 2023年）（3年次「看護学研究法」で使用したもの）

《参考図書》

《履修上の留意点》

看護学研究法での配布資料や自作の「研究計画書」のコメントを参考にを復習を行い、自己の学習課題を明らかにする。研究活動は各指導教員のアドバイスを受けながら、自己の研究課題に積極的に取り組むことを期待する。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1		ゼミナールおよび個別指導の形式で研究プロセスを学習する。 研究期間：4月～11月 学習内容：看護課題研究要項に準ずる。 論文提出：2025年10月24日（金）16時30分締切り 発表期間：2025年11月14日（金）	各担当教員
2			
3			
4			
5			

科目名	看護課題研究	授業科目番号	2314080
担当者氏名	近藤 ふさえ		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

科目名	緩和・ターミナルケア看護論			授業科目番号	2315040
担当者氏名	近藤 ふさえ、広井 貴子、沼野 博子、多田 健一			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	選択	開講年次	4年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		○1-1 幅広い教養と多様性を理解する力、○1-2 人間の尊厳・権利を尊重する力、 1-3 他者の自己決定を擁護する力			

《授業の概要》

緩和・ターミナルケアを取り巻く医療・看護の現状を把握する。一人ひとりの自己決定を尊重するとともに、倫理的視点から考えることを学習する。

発達段階（小児・AYA世代・成人・老年期）にある人の死の捉え方、心理や家族の抱える課題、介入方法およびビハラー病棟での看護の実践についてオムニバス形式で授業を行う。

位置づけ：臨地実習では体験することが少なかった緩和・ターミナル期になる対象者とその家族の看護の理解を深め、キャリア形成の礎とする。

《授業の到達目標》

1. 緩和ケア及びターミナル期ケアの歴史について説明できる。2. 各発達段階（小児・AYA世代・成人・老年期）における患者・家族への緩和ケア・ターミナルケアの現状と課題を説明できる。3. 講義や演習をとおり、人の生と死について考え、述べるができる。4. 緩和ケアをおこなう医療チームにおける看護師の役割について考え、述べるができる。

《評価の方法》

各授業で提示される課題レポート100%（到達目標1～4）

《テキスト》

『緩和ケア』（恒藤暁、田村恵子 編 医学書院 2020年）

《参考図書》

1. 『終末期看護：エンド・オブ・ライフ・ケア』メヂカルフレンド社 2. 『緩和・ターミナル看護論』ヌーヴェルヒロカワ
3. 『ナースング・グラフィカ 成人看護学(6)：緩和ケア』メディカ出版 4. DVD「がん専門看護師 田村恵子の仕事」

《履修上の留意点》

1. 事前に提示する課題に真摯に取り組みグループワークで活用していく。
2. レポートの提出期限や提出場所については授業内で説明する。
3. レポートのフィードバックは授業の始まりに行う。最終レポートはコメント入れ返却する。

《備考》

先修科目：なし

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	イントロダクション 「自分の人生」という物語の 生から最終章をどう迎えるか	学習内容及び方法、評価について概説する。緩和ケアを学ぶ意義について理解する。 映画「Life 天国で君に会えたら」2007年 視聴視点 およびグループワーク 生命をおびやかす疾患の診断を受けた時の患者とその家族のこころの動き 人生の最終段階に近づいている時の患者とその家族のこころの動き	近藤ふさえ
2	イントロダクション 「自分の人生」という物語の 生から最終章をどう迎えるか	学習内容及び方法、評価について概説する。緩和ケアを学ぶ意義について理解する。 映画「Life 天国で君に会えたら」2007年 視聴視点 およびグループワーク 生命をおびやかす疾患の診断を受けた時の患者とその家族のこころの動き 人生の最終段階に近づいている時の患者とその家族のこころの動き	近藤ふさえ
3	緩和ケアの歴史の変遷と現状 (ターミナルケア)	緩和ケアの歴史の変遷と現状 チーム基盤型学習(予習した内容を 予習：テキストp2～18をよみ歴史的変遷と主要用語の定義を調べる(約60分) 復習：主要用語を整理する。	近藤ふさえ
4	死を避けられない患者・家族 への援助 (患者の心理、家族の心理、 チームアプローチ)	患者、家族の心理に触れ、患者・家族が抱える課題について考える。また、チームアプローチの意義について学ぶ。 (予習) テキストp20～34、p243～248を読む。選んだ書籍を読み、患者・家族が抱える課題と看護者の役割について考えてくる。(60分) (復習) 配布資料から学習のまとめをする。(30分)	広井貴子
5	死を避けられない患者・家族 への援助 (患者の心理、家族の心理、 チームアプローチ)	患者、家族の心理に触れ、患者・家族が抱える課題について考える。また、チームアプローチの意義について学ぶ。 (予習) テキストp20～34、p243～248を読む。選んだ書籍を読み、患者・家族が抱える課題と看護者の役割について考えてくる。(60分) (復習) 配布資料から学習のまとめをする。(30分)	広井貴子

《専門教育科目 専門科目 特論》

科目名	緩和・ターミナルケア看護論	授業科目番号	2315040
担当者氏名	近藤 ふさえ、広井 貴子、沼野 博子、多田 健一		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	むずかしい場面でのコミュニケーション (緩和ケア、コミュニケーション)	緩和ケアにおけるコミュニケーションや家族ケアについて学ぶ。 (予習) テキストp38～55を読む。(45分) (復習) 配布資料から学習のまとめをする。(45分)	広井貴子
7	むずかしい場面でのコミュニケーション (緩和ケア、コミュニケーション)	【演習】パッドニュース、患者が思いを訴えたとき、家族との関わりなど行う。 (予習) パッドニュースへの対応について調べる。(45分) (復習) 演習や実習での体験と知識とを統合させてパッドニュースへの対応考えをまとめる。(45分)	広井貴子
8	我が国におけるACPおよびDNARの現状と課題	ACPとDNARの概念および歴史的背景、現状と課題を学ぶ。 (予習) ACPとDNARの概念を調べる。(45分) (復習) 歴史的背景をふまえ現状と課題を整理する。(45分)	多田健一
9	ACPおよびDNARの実際	ACPとDNARの概念および歴史的背景、現状と課題を学ぶ。 (予習) ACPとDNARの概念を調べる。(45分) (復習) 歴史的背景をふまえ現状と課題を整理する。(45分)	多田健一
10	小児・AYA世代の死のとりえ方 患者および家族への緩和・ターミナルケアの現状と課題 (子どもの死の理解、小児緩和ケア)	子どもの死のとりえ方や終末期にある子どもの心理について学ぶ。終末期における子どもと家族の看護について考える。 (予習) テキストp152～164を読む(45分) (復習) 小児看護援助論 テキストp252～267を読む(45分)	沼野博子
11	小児・AYA世代の患者および家族への緩和・ターミナルケアの現状と課題 (こどもホスピス、子どものエンドオブライフケア)	子どものエンドオブライフケアにおける課題とこどもホスピスでの支援の実際を学ぶ。 (予習) こどもホスピスについて調べる(30分) (復習) 子どものエンドオブライフケアに関する考えをまとめる(60分)	沼野博子 (特別講師)
12	終末期における退院支援と在宅看取り	終末期における退院支援・退院調整のプロセス及び自宅で最後を迎える患者・家族へのケアを学ぶ。 (予習) テキストp116～129を読む。(45分) (復習) 配布資料から学習のまとめをする。(45分)	近藤ふさえ (特別講師)
13	緩和ケアにおける身体症状における治療と看護 臨死期のケア (看取り、セデーション)	がん終末期、非がん(慢性疾患の終末期)における全身状態の変化およびセデーションの概念を学ぶ。 (予習) テキストp224～253を読む。(30分) (復習) セデーションおよびセデーションを受ける患者・家族への看護を考察する。(60分)	近藤ふさえ
14	長岡西病院_ビハール病棟における看護の実際と課題	ビハール病棟における事例をととして、緩和・ターミナル期にある人の生活支援、臨死期のケア、遺族へのケアの実際を理解する。 (予習) テキストp2～17および第1・2回授業資料を復習する。(30分) (課題学習) 講義をととして終末期看護について考察する。(60分)	近藤ふさえ 長岡西病院 ビハール病棟 看護師
15	緩和ケアに携わる看護師へのケア～看護師自身の心の揺らぎ～ (バーンアウト、ストレスマネジメント)	緩和ケアに携わる看護師のストレスマネジメントについて学ぶ。 (予習) テキストp256～264を読む。(30分) (復習) 配布資料から学習のまとめをする。(60分)	近藤ふさえ

科目名	認知症ケア論			授業科目番号	2315050
担当者氏名	角山 裕美子、青柳 直樹、多田 健一、袖山 悦子			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	選択	開講年次	4年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		1-2 人間の尊厳・権利を尊重する力、○2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力、○3-2 多職種と連携・協働する力			

《授業の概要》

認知症の病態と関連要因の理解と、認知症とともに生きる人の体験を通して、認知症の人のその人らしさを支える視点および家族ケアの視点から看護展開できる基礎的能力を養う。具体的には、認知症ケアにおける倫理的課題を取り上げ、権利擁護における看護の役割を学ぶ。また、認知症の人の生活環境の整え方やリスクマネジメント、ケア技法について学習する。

《授業の到達目標》

1. 認知症の症状を呈する疾患のうち四大認知症の種類と疫学を説明できる。 2. 認知症の検査と診断と治療が分かる。 3. 認知症の中核症状と行動・心理症状が説明できる。 4. 認知症と共に生きる人の心情が表現できる。 5. 認知症の人の倫理的課題・尊厳について意見交換できる。 6. 認知症の人とその家族を支えるサポートシステムが述べられる。 7. 認知症の人の生活環境からリスクマネジメントが考えられる。 8. 認知症の人とのコミュニケーション方法の原則を修得できる。

《評価の方法》

レポート50% 課題について講義の中で提示する。(到達目標：1,4,5,6,8)
定期試験50%。(到達目標：1,2,3,6,7,8)

《テキスト》

なし

《参考図書》

『認知症の人びとの看護』第4版(中島紀恵子 責任編集 医歯薬出版 2024年)

《履修上の留意点》

認知症の治療や看護は日進月歩である。参考図書から認知症ケアの課題が見出せるように学習して臨み、レポートやディスカッションで自己の考えを述べられるようにすること。レポート・課題については授業で説明する。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	授業ガイダンス 認知症の疫学、施策 (認知症の疫学) (認知症施策の変遷)	ガイダンス、科目概要 ・認知症疾患患者の動向と社会背景 ・認知症施策の動向 ・認知症に対する社会の認識・理解 (予習)実習で受け持った認知症の患者への看護について、レポートする。(60分)。(復習)認知症の人が地域でくらし続けるために必要なことをノートにまとめる(60分)。 【レポート 5点】	袖山 悦子
2	四大認知症 (認知症とは) (四大認知症の病態・治療) 若年性認知症	・アルツハイマー型認知症の特徴と治療 ・レビー小体型認知症の特徴と治療 ・脳血管性認知症の特徴と治療 ・前頭側頭型認知症の特徴と治療 ・認知症の薬物療法・非薬物療法 ・若年性認知症 (予習)4大認知症の病態・症状について調べ、ノートにまとめる(60分)。(復習)4大認知症の看護についてまとめる(60分)。	袖山 悦子
3	認知症の人とのコミュニケーション (認知症、コミュニケーション能力、認知症VR)	・認知症の人のコミュニケーションの特徴 ・コミュニケーション能力のアセスメント ・アルツハイマー型認知症のコミュニケーションの特徴 (予習)既習のコミュニケーション技法をノートにまとめる(60分)。(復習)認知症の人のコミュニケーション技法についてまとめる(60分)。 【課題 5点】	角山裕美子
4	認知症の人の生活環境・治療環境 (認知症、治療環境、リロケーションダメージ、リスクマネジメント)	認知症の人の生活・療養環境・治療環境とリスクマネジメント ・認知症の人にとっての環境アセスメントの視点 認知症の人の療養環境 ・治療を受ける認知症の人の看護(事例を通して) (予習)既習の知識から、認知症の人に影響する環境要因をノートにまとめる(60分)。(復習)認知症の人と環境の関係性についてまとめる(60分)。	角山裕美子
5	認知症ケアの倫理的課題 (認知症ケア時の倫理的問題) (アドボカシー)	認知症ケアの倫理的問題 ・認知症ケア時に生じる倫理的問題 ・認知症当事者の声(DVD) ・認知症の人の意思決定支援 ・アドボカシー ・倫理的ジレンマ (予習)認知症ケア時に起こりやすい倫理的問題を考え、ノートにまとめる(60分)。(復習)倫理的問題の解決に向けて自己の考えをまとめる(60分)	袖山 悦子

《専門教育科目 専門科目 特論》

科目名	認知症ケア論	授業科目番号	2315050
担当者氏名	角山 裕美子、青柳 直樹、多田 健一、袖山 悦子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
6	認知症の人の終末期と看護 (認知症者の終末期)	認知症の人の終末期看護 ・認知症の人の終末期とは ・認知症者のQOL ・認知症の人の意思の尊重と介護家族の支援 ・終末期の身体的変化 (予習) 既習の高齢者の終末期看護について、ノートにまとめる(60分)。 (復習) 授業を振り返り、認知症の終末期ケアについて自己の考えをまとめる(60分)。	青柳 直樹
7	認知症のケア技法 (ユマニチュード) (パーソンセンタードケア)	認知症のケア技法 ・ユマニチュード ・パーソンセンタードケア (予習) ユマニチュード、パーソンセンタードケアについて調べ、ノートにまとめる(60分)。 (復習) 授業を振り返り、ユマニチュードの技法について自己の活用方法を考えノートにまとめる(60分)。	青柳 直樹
8	認知症の人の権利擁護、家族への支援方法のまとめと新たな社会資源の開発 (認知症、権利擁護、社会保障制度)	社会資源の活用と課題 ・介護保険制度 ・成年後見制度、日常生活自立支援事業 ・高齢者虐待防止法 ・地域包括支援センター ・認知症の人と家族の会 (予習) 認知症の人の権利擁護に関する制度・関連法規について調べ、ノートにまとめる(60分)。(復習) 認知症の人を支える新たな社会資源についての考えまとめる(60分)。	青柳 直樹
9	認知症の心情・介護家族の理解 (病名告知の受け止め) (今の自分・未来の自分) (認知症に対する社会の目)	・認知症の人の手記から認知症の病名告知から現在までの気持ちの変化 ・認知症の病名告知を受けた介護家族の気持ちとその変化 ・上記についての手記を読み、発表資料を作成する。 (予習) 認知症の人の手記を1冊読み、感想をまとめる(60分)。 (復習) グループディスカッションと事前学習を統合させ発表資料を見直す(60分)。	多田 健一
10	認知症の心情・介護家族の理解 (病名告知の受け止め) (今の自分・未来の自分) (認知症に対する社会の目)	・認知症の人の手記から認知症の病名告知から現在までの気持ちの変化 ・認知症の病名告知を受けた介護家族の気持ちとその変化 ・上記についてまとめた資料を発表し、学びを共有する。 (予習) 発表に向けた資料を見直し、発表準備を行う(60分)。 (復習) 各グループの発表から認知症の人とその家族の心情の理解につなげまとめる(60分)。【レポート 10点】	多田 健一
11	認知症の人への支援制度 (認知症介護者の講演)	認知症の人への支援制度について認知症家族による実体験の講演から学ぶ / ・認知症の人を支える家族の介護負担 ・認知症の人の介護で得られたこと ・介護における社会資源の活用方法 (予習) 介護保険等認知症施策について調べノートにまとめる(60分)。 (復習) 家族会の講演内容と事前学習を統合させまとめる(60分)。 【レポート 10点】	角山裕美子
12	フィールドワーク (認知症の人とのコミュニケーション) (グループホーム) (小規模多機能型居宅介護) (生活機能を整える看護)	グループホームや小規模多機能型居宅介護でのフィールドワーク ・認知症の人とのコミュニケーション ・認知症の人の日常生活(日・週・年単位) ・認知症の人の生活の楽しみ ・家族との交流 (予習) 地域で暮らす認知症の人が住み慣れた場所で暮らし続けるために活用可能な施設の機能、役割を復習する(60分)。	角山裕美子
13	フィールドワーク (認知症の人とのコミュニケーション) (グループホーム) (小規模多機能型居宅介護) (生活機能を整える看護)	グループホームや小規模多機能型居宅介護でのフィールドワーク 同上	角山裕美子
14	フィールドワークのまとめ (認知症の人とのコミュニケーション) (地域でくらす認知症高齢者)	グループホームや小規模多機能型居宅介護でのフィールドワークのまとめ フィールドワークでの学びについて、グループディスカッションを行い、発表原稿を作成する(発表方法等については授業で説明する)	角山裕美子
15	フィールドワークのまとめ (認知症の人とのコミュニケーション) (地域でくらす認知症高齢者)	グループホーム見学発表 グループもしくは個人単位で発表して、学びを共有する。 (復習) 発表から得た学びを含めて、レポートする(60分)。 【レポート 20点】	角山裕美子

2025年度 実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

科目名	担当教員	履修学年	単位数	授業方法	実務経験内容	実務経験を活かした教育内容
ベーシック英語	川崎 眞理子	1	2	講義	通訳・翻訳業	現場におけるコミュニケーション、補助ツールの効果的使用を重視
地域活動論	平澤 則子, 田辺 生子, 大平 富美	1	2	講義	保健師活動、助産師	社会福祉協議会やNPO活動、地域の住民組織の活動の講義と看護職の連携・協働
発達心理学	宮崎 隆穂	1	2	講義	臨床心理士、公認心理師として臨床活動（主に心療内科・教育領域）	発達障害の早期発見の重要性
人体の構造と機能Ⅰ	堀江 正男	1	2	講義	医師としての実務経験を有する。	実務経験を活かして、人体の構造と機能に関する基礎的な知識を教示する。
人体の構造と機能Ⅱ	堀江 正男	1	2	講義	医師としての実務経験を有する。	実務経験を活かして、人体の構造と機能に関する基礎的な知識を教示する。
看護学概論	樋本 まゆみ	1	2	講義	看護管理者・看護師	看護師・看護管理者の経験を持ち、看護実践的な事例や現象と原理・原則・理論を学習する。
基礎看護技術演習Ⅰ	大平 富美, 大崎 美奈子, 樋本 まゆみ	1	2	演習	看護師・助産師として病院勤務の実務経験を有する（大平） 看護師（6年間）として病院勤務の実務経験を有する（大崎） 看護管理者・看護師（樋本）	実務経験を活かして、基本的な日常生活援助技術や看護技術について、実践的に教育する科目である（大平） 実務経験を活かして、看護技術について実践的に教育する科目である。（大崎） 実務経験を活かして、看護技術について実践的に教育する科目である。（樋本）
基礎看護学実習Ⅰ	大崎 美奈子, 樋本 まゆみ, 大平 富美	1	1	実習	看護師（6年間）として病院勤務の実務経験を有する（大崎） 看護管理者・看護師（樋本） 看護師・助産師として病院勤務の実務経験を有する（大平）	実務経験を活かして、実践的に教育する科目である。（大崎） 実務経験を活かして、実践的に教育する科目である。（樋本） 実務経験を活かして、実践的に教育する科目である（大平）
チーム医療論	青柳 直樹	1	1	講義	看護管理、看護師業務、看護教育	看護管理業務、一般的な看護業務、院内教育内容の実務経験を活かし、多職種連携の実際、多職種連携の必要性を講義する。その学習内容からチーム医療について理解を深められる授業とする。
地域包括ケア論	平澤 則子, 永谷 智恵, 板山 稔	1	1	講義	保健師活動、助産師、看護師	高齢者、母子、精神障害者の地域生活を支える地域包括ケアの実際と多職種連携
日本国憲法	三浦 三厳	1	2	講義	弁護士としての実務経験を有する。	実務経験を活かして、憲法に関する基礎的な知識を教示する。

2025年度 実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

科目名	担当教員	履修学年	単位数	授業方法	実務経験内容	実務経験を活かした教育内容
福祉と保障	佐藤 和也	1	2	講義	社会福祉士・介護支援専門員として、介護施設等及び大学・専門学校の非常勤講師等の実務経験を有する。	実務経験を活かして、介護保障・医療保障・所得保障・公的扶助・地域包括ケアシステム・医療と福祉の連携・社会福祉の歴史の基礎的知識を教示する。
人体の構造と機能Ⅲ	堀江 正男	1	1	講義	医師としての実務経験を有する。	実務経験を活かして、人体の構造と機能に関する基礎的な知識を教示する。
病理病態学	高塚 尚和	1	1	講義	法医解剖医（約25年）と病理診断医（約5年半）としての経験があり、現在も法医解剖の実務に従事している。	法医解剖業務や病理診断業務で経験した事例を写真で紹介し、実際の疾病の姿を視覚的に提示することで理解力向上に努めている。
看護援助論	樋本 まゆみ, 大平 富美, 大崎 美奈子	1	2	講義	看護管理者・看護師（樋本） 看護師（6年間）として病院勤務の実務経験を有する（大平） 看護師・助産師として病院勤務の実務経験を有する（大崎）	ヘンダーソンの理論を使用し日常生活援助の14項目を基に意思力・体力・知識の充足・未充足を分析し自立に向けた支援の計画立案を行う。（看護師経験の中でも実際に実施してきた）（樋本） 実務経験を活かして、問題解決思考について教育する科目である。科目責任者（樋本）に準ずる。（大平） 実務経験を活かして、問題解決思考について教育する科目である。科目責任者（樋本）の教育内容に準ずる。（大崎）
基礎看護技術演習Ⅱ	樋本 まゆみ, 大平 富美, 大崎 美奈子	1	2	演習	看護管理者・看護師（樋本） 看護師・助産師として病院勤務の実務経験を有する（大平） 看護師（6年間）として病院勤務の実務経験を有する（大崎）	実務経験を活かして、看護技術について実践的に教育する科目である。（樋本） 実務経験を活かして、看護技術について実践的に教育する科目である。（大平） 実務経験を活かして、看護技術について実践的に教育する科目である。（大崎）
公衆衛生看護学概論	平澤 則子, 菅原 京子, 渡邊 路子	1	2	講義	行政保健師、産業保健師	行政及び産業における公衆衛生看護活動の実務経験を踏まえた講義を行う。
疾病治療論Ⅰ(循環器)	伊藤 正洋	2	1	講義	医師として病院勤務の実務経験を有する。	実務経験を活かして、循環器疾患の基礎的な知識や診療について、医学的観点から教示する。
疾病治療論Ⅱ(呼吸器・消化器)	佐藤 和弘, 高村 昌昭	2	1	講義	医師として病院勤務の実務経験を有する。	実務経験を活かして、呼吸器・消化器疾患の基礎的な知識や診療について、医学的観点から教示する。

2025年度 実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

科目名	担当教員	履修学年	単位数	授業方法	実務経験内容	実務経験を活かした教育内容
薬理学	佐合 絵里	2	1	講義	薬剤師として病院勤務の実務経験を有する。	実務経験を活かして、薬理に関する基礎的な知識を教示する。
疾病治療論Ⅲ（内分泌・代謝、腎）	八幡 和明, 中野 正明	2	1	講義	医師として病院勤務の実務経験を有する。	実務経験を活かして、内分泌・代謝・腎疾患の基礎的な知識や診療について、医学的観点から教示する。
公衆衛生学	鈴木 翼	2	2	講義	医師（臨床医、産業医）としての実務経験を有する。	実務経験を生かして、公衆衛生の基本的知識が現場での実践にどのように活かされるかを教示する。
基礎看護技術演習Ⅲ	大崎 美奈子, 大平 富美, 樋本 まゆみ	2	2	演習	看護師（6年間）として病院勤務の実務経験を有する（大崎） 看護師・助産師として病院勤務の実務経験を有する（大平） 看護管理者・看護師（樋本）	実務経験を活かして、看護技術について実践的に教育する科目である。（大崎） 実務経験を活かして、看護技術について実践的に教育する科目である。（大平） 実務経験を活かして、看護技術について実践的に教育する科目である。（樋本）
成人看護学概論	近藤 ふさえ	2	1	講義	内科、整形外科病棟、人工透析室	看護師・臨地実習指導担当者としての成人期にある対象者およびその家族に対する看護体験した事例をふまえて講義をする。
成人看護援助論Ⅰ	広井 貴子	2	2	講義	手術棟勤務（手術室看護、周手術期看護）約20年の看護師経験	看護師・臨地実習指導担当者としての成人期にある対象者およびその家族に対する看護体験した事例をふまえて講義をする。
成人看護援助論Ⅱ	目黒 優子	2	2	講義	看護師として病院勤務の実務経験を有する。	実務経験を活かして、基本的な診療の補助技術や看護技術について、実践的に教育する科目である。
老年看護学概論	角山 裕美子	2	1	講義	看護師（6年）としての実務経験を有する。	実務経験を活かして、高齢者の身体的、精神的、社会的、スピリチュアルな側面から捉え、加齢現象と日常生活に及ぼす影響を理解できるような講義を展開し、高齢者観を育めるような授業とする。
小児看護学概論	永谷 智恵	2	1	講義	小児病棟	臨床経験を活かし、体験事例などを用いて講義を行う

2025年度 実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

科目名	担当教員	履修学年	単位数	授業方法	実務経験内容	実務経験を活かした教育内容
母性看護学概論	太田 操, 森 美由紀, 佐藤 初美	2	1	講義	看護師・助産師	学生の理解が進むよう助産師としての臨床経験を基に、具体的なケア場면을提示している。（太田） テキスト内の知識を学習する中で、助産師として臨床（産科病棟）で働いた経験から実際の看護現象（具体例）の提示をし講義することで学生の理解が進む。（森） 助産師としての産科病棟および外来勤務経験から、女性の生涯における健康支援について具体例を提示することができる。思春期の性の健康管理について小中高校で講義しており、思春期のヘルスプロモーションに関して具体例を提示することができる。（佐藤）
精神看護学概論	板山 稔	2	1	講義	看護師として病院等に16年間勤務	精神科病棟、精神科デイケア、精神科訪問看護での臨床経験を活かして、メンタルヘルスや精神看護における基礎的知識を教示する
公衆衛生看護活動論Ⅰ	駒形 三和子, 平澤 則子, 渡邊 路子, 山崎 節子	2	2	講義	行政保健師、産業保健師	行政及び産業における公衆衛生看護活動の実務経験を踏まえた講義を行う。
災害看護論	春川 一樹	2	1	講義	看護師として病院勤務の実務経験を有する。 DMTA隊員として災害派遣の実務経験を有する。	実務経験を活かして、災害医療・災害看護の基礎的知識を教示する。
地域・在宅看護学概論	菅原 京子, 田辺 生子	2	1	講義	訪問看護、家庭訪問	地域・在宅における看護及び訪問の実務経験を踏まえた講義を行う。
看護に活かすコミュニケーション英語	川崎 眞理子	2	2	講義	通訳・翻訳業	現場におけるコミュニケーション、補助ツールの効果的使用を重視
疾病治療論Ⅳ(造血器・運動器)	山田 修, 星野 正	2	1	講義	医師として病院勤務の実務経験を有する。	実務経験を活かして、造血器・運動器疾患の基礎的な知識や診療について、医学的観点から教示する。
疾病治療論Ⅴ(脳神経・精神)	笠井 英世, 渡部 和成	2	1	講義	医師として病院勤務の実務経験を有する。 （笠井） 精神科臨床医として48年、統合失調症治療専門医として25年の実績。精神保健指定医。日本精神神経学会精神科専門医・指導医。（渡部）	実務経験を活かして、脳神経疾患の基礎的な知識や診療について、医学的観点から教示する。（笠井） 精神科看護に必要な臨床的専門知識・技術を教育する。（渡部）
疾病治療論Ⅵ（婦人科、免疫・アレルギー・膠原病）	安田 雅子, 中野 正明	2	1	講義	医師として病院勤務の実務経験を有する。	実務経験を活かして、婦人科・免疫・アレルギー・膠原病疾患の基礎的な知識や診療について、医学的観点から教示する。

2025年度 実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

科目名	担当教員	履修学年	単位数	授業方法	実務経験内容	実務経験を活かした教育内容
保健統計学	鈴木 翼	2	2	講義	医師（臨床医、産業医）としての実務経験を有する。	実務経験を生かして、統計学の知識・考え方が現場での実践にどのように活かされるかを教示する。
疫学	鈴木 翼	2	2	講義	医師（臨床医、産業医）としての実務経験を有する。	実務経験を生かして、疫学の知識・考え方が現場での実践にどのように活かされるかを教示する。
基礎看護学実習Ⅱ	大平 富美, 樋本 まゆみ, 大崎 美奈子	2	2	実習	看護師・助産師として病院勤務の実務経験を有する（大平） 看護管理者・看護師（樋本） 看護師（6年間）として病院勤務の実務経験を有する（大崎）	医療機関にて実務経験をもつ教員が、患者との信頼関係の構築や看護過程の展開について、実際の看護活動の体験を通じた教育を行う。（大平） 実務経験を活かして、実践的に教育する科目である。（樋本） 実務経験を活かして、実践的に教育する科目である。科目責任者（大平）の教育内容に準ずる。（大崎）
成人看護援助論Ⅲ	広井 貴子, 目黒 優子	2	1	演習	看護師として病院勤務の実務経験を有する。	看護師・臨地実習指導担当者としての成人期にある対象者およびその家族に対する看護体験した事例をふまえて講義をする。
老年看護援助論Ⅰ	青柳 直樹, 角山 裕美子, 多田 健一, 袖山 悦子	2	2	講義	看護管理者（9年）、看護師業務（15年）、教育責任者（9年）（青柳） 看護師（6年）（角山） 看護師（10年）（多田）	担当教員がそれぞれの実務経験を活かし、高齢者の加齢変化や高齢者に特有な疾患とその看護、高齢者の生活と家族を支える看護、多職種連携について学生の理解を深められるような講義を展開する。
小児看護援助論Ⅰ	沼野 博子, 永谷 智恵, 伊藤 文子, 船岡 未恵	2	2	講義	内科(病棟・外来)、ICU、小児(病棟・外来)（沼野） 小児病棟（永谷） 小児病棟（慢性期・子どものこころ）、小児科外来（伊藤） 小児病棟（急性期、慢性期）、小児科外来、地域保健（船岡）	看護師として子どもおよびその家族に対し看護した事例をふまえて講義をする。（沼野） 臨床経験を活かし、体験事例などを用いて講義を行う（永谷） 実務経験を活かし、子どもと家族の看護について講義する（伊藤） 看護師としての実務経験を活かし、子どもと家族の看護について講義する（船岡）

2025年度 実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

科目名	担当教員	履修学年	単位数	授業方法	実務経験内容	実務経験を活かした教育内容
母性看護援助論Ⅰ	森 美由紀, 太田 操, 佐藤 初美	2	2	講義	看護師・助産師	学生の理解が進むよう助産師としての臨床経験を基に、具体的なケア場면을提示している。（太田） テキスト内の知識を学習する中で、助産師として臨床（産科病棟）で働いた経験から実際の看護現象（具体例）の提示をし講義することで学生の理解が進む。（森） アドバンス助産師として認定されている。助産師としての勤務経験（病棟・外来）を基に、対象の理解を深めるための事例提供やアドバイス、対象に必要な看護の実際を提示することができる。（佐藤）
精神看護援助論Ⅰ	板山 稔, 藤田 勇, 成田 みぎわ	2	2	講義	看護師として病院等に勤務	精神科病棟、精神科デイケア、精神科訪問看護での臨床経験を活かして、精神看護における援助に必要な知識を教示し、実践的な教育を行う
公衆衛生看護活動論Ⅱ	渡邊 路子, 平澤 則子, 駒形 三和子	2	2	講義	行政保健師、産業保健師	行政及び産業における公衆衛生看護活動の実務経験を踏まえた講義を行う。
地域・在宅看護援助論Ⅰ	菅原 京子, 田辺 生子, 山崎 節子	2	2	講義	訪問看護、家庭訪問	地域・在宅における看護及び訪問の実務経験を踏まえた講義を行う。
公衆衛生看護支援技術Ⅰ	渡邊 路子, 平澤 則子, 駒形 三和子, 山崎 節子, 田辺 生子	2	2	講義	行政保健師、産業保健師	行政及び産業における公衆衛生看護活動の実務経験を踏まえた講義を行う。
医療英語	川崎 真理子	3	1	講義	通訳・翻訳業	現場におけるコミュニケーション、補助ツールの効果的使用を重視
保健医療福祉行政論	五十嵐 直子	3	2	講義	県庁における保健医療行政経験、健康対策課長補佐1年、医務薬事課長補佐2年、医師看護職員確保対策課長 3年	行政の場における保健師の役割について事例に基づき具体的に講義を行う
看護倫理	樋本 まゆみ	3	1	講義	看護管理者・看護師・救命救急士・専任医療安全管理者	倫理の基本と徳の倫理、原則の倫理、ケアの倫理など臨床での倫理的葛藤場面や意思決定の場면을ふくめ、理論的に説明し学習する。
老年看護援助論Ⅱ	多田 健一, 角山 裕美子, 青柳 直樹	3	1	演習	看護師（10年）（多田） 看護師（6年）（角山） 看護管理者（9年）、看護師業務（15年）、 教育責任者（9年）（青柳）	担当教員がそれぞれの実務経験を活かし、看護過程の指導および援助技術演習の指導を行う。

2025年度 実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

科目名	担当教員	履修学年	単位数	授業方法	実務経験内容	実務経験を活かした教育内容
小児看護援助論Ⅱ	伊藤 文子, 沼野 博子, 永谷 智恵, 船岡 未恵	3	1	演習	小児病棟（慢性期・子どものこころ）、小児科外来（伊藤） 内科(病棟・外来)、ICU、小児(病棟・外来)（沼野） 小児病棟（永谷） 小児病棟（急性期、慢性期）、小児科外来、地域保健（船岡）	実務経験を活かし、子どもと家族の看護における看護過程の展開について教育する（伊藤） 看護師として子どもおよびその家族に対し看護した事例をふまえて演習をする。（沼野） 臨床経験を活かし、小児看護技術演習を行う（永谷） 看護師としての実務経験を活かし、子どもと家族への技術や看護過程の展開について実践的に教育する（船岡）
母性看護援助論Ⅱ	森 美由紀, 太田 操, 佐藤 初美	3	1	演習	看護師・助産師	学生の理解が進むよう助産師としての臨床経験を基に、具体的なケア場面を提示している。（太田） 助産師として臨床（産科病棟）で働いた経験をもとに、対象の捉え方やケアのバリエーションを講義演習に活かせる。また、技術の実施の際に必要なコツや留意点などへの助言が可能である。（森） 助産師としての勤務経験（病棟・外来）を基に、妊娠期～分娩・産褥新生児期まで、対象の理解を深めるためのアドバイスや事例提供、対象に必要な看護の実際を提示することができる。（佐藤）
精神看護援助論Ⅱ	藤田 勇, 板山 稔, 成田 みぎわ	3	1	演習	看護師として精神科病院勤務	精神科病棟、精神科デイケア、精神科訪問看護での臨床経験を活かして、精神看護における対象者支援に必要な思考過程と技術に関して実践的な指導を行う
地域診断論	駒形 三和子, 平澤 則子, 渡邊 路子, 山崎 節子, 田辺 生子	3	1	講義	行政保健師、産業保健師	行政及び産業における公衆衛生看護活動の実務経験を踏まえた講義を行う。
健康教育論	渡邊 路子, 駒形 三和子, 田辺 生子	3	1	講義	行政保健師、産業保健師	行政及び産業における公衆衛生看護活動の実務経験を踏まえた講義を行う。
災害看護活動論Ⅰ	春川 一樹	3	1	演習	看護師として病院勤務の実務経験を有する。 DMAT隊員として災害派遣の実務経験を有する。	実務経験を活かして、災害医療・災害看護の基礎的知識を教示する。
地域・在宅看護援助論Ⅱ	菅原 京子, 田辺 生子, 山崎 節子	3	1	演習	訪問看護、家庭訪問	地域・在宅における看護及び訪問の実務経験を踏まえた講義と指導を行う。
公衆衛生看護支援技術Ⅱ	駒形 三和子, 平澤 則子, 渡邊 路子, 菅原 京子, 田辺 生子, 山崎 節子	3	2	講義	行政保健師、産業保健師	行政及び産業における公衆衛生看護活動の実務経験を踏まえた講義を行う。

2025年度 実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

科目名	担当教員	履修学年	単位数	授業方法	実務経験内容	実務経験を活かした教育内容
看護学研究法	板山 稔, 近藤 ふさえ	3	2	講義	看護師として病院等に勤務	精神科病棟、精神科デイケア、精神科訪問看護での臨床経験を活かして、精神看護における援助に必要な知識を教示し、実践的な教育を行う
家族看護論	斎藤 まさ子	3	2	講義	心身のケアが必要な家族員を抱える家族への支援の実践、あるいは支援者の相談対応をしている。	多様で実際に即した家族理解につなげる。
成人看護学実習Ⅰ	広井 貴子, 目黒 優子, 近藤 ふさえ	3	2	実習	看護師として病院勤務の実務経験を有する	実務経験を活かして、基本的な診療の補助技術や看護技術について、実践的に教育する科目である。
成人看護学実習Ⅱ	目黒 優子, 近藤 ふさえ, 広井 貴子	3	3	実習	看護師として病院勤務の実務経験を有する。	実務経験を活かして、基本的な診療の補助技術や看護技術について、実践的に教育する科目である。
老年看護学実習Ⅰ	青柳 直樹, 角山 裕美子, 多田 健一	3	2	実習	看護管理者（9年）、看護師業務（15年）、 教育責任者（9年）（青柳） 看護師（6年）（角山） 看護師（10年）（多田）	担当教員がそれぞれの実務経験を活かしながら、学生が実習を通して高齢者の生活の場における目標志向型思考による看護過程の展開の理解を深め、高齢者観を養えるような実習指導を行う。
老年看護学実習Ⅱ	多田 健一, 角山 裕美子, 青柳 直樹	3	2	実習	看護師（10年）（多田） 看護師（6年）（角山） 看護管理者（9年）、看護師業務（15年）、 教育責任者（9年）（青柳）	担当教員がそれぞれの実務経験を活かし、地域で生活する高齢者を支える社会資源についての学びを得られるように実習指導を行う。
小児看護学実習	船岡 未恵, 永谷 智恵, 伊藤 文子, 沼野 博子	3	2	実習	小児病棟（急性期、慢性期）、小児科外来、 地域保健（船岡） 小児病棟（永谷） 小児病棟（慢性期・子どものこころ）、小児科外来（伊藤） 内科(病棟・外来)、ICU、小児(病棟・外来)（沼野）	看護師としての実務経験を活かし、子どもと家族を対象にした看護について実践的に教育する（船岡） 臨床経験を活かし実践的に実習指導を行う（永谷） 実務経験を活かして小児看護について実践的に教育する（伊藤） 看護師として子どもおよびその家族に対し看護した事例をふまえて実習をする。（沼野）

2025年度 実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

科目名	担当教員	履修学年	単位数	授業方法	実務経験内容	実務経験を活かした教育内容
母性看護学実習	佐藤 初美, 太田 操, 森 美由紀	3	2	実習	看護師・助産師	学生の理解が進むよう助産師としての臨床経験を基に、具体的なケア場面を提示している。（太田） 助産師として臨床（産科病棟）で働いた経験をもとに、対象の捉え方やケアのバリエーションを実習に活かせる。また、技術の実施の際に必要なコツや留意点などへの助言が可能である。（森） 助産師としての勤務経験（病棟・外来）を基に、妊娠期～分娩・産褥新生児期まで、学生が対象の理解を深め必要な看護を展開するための助言と実施への支援ができる。（佐藤）
精神看護学実習	藤田 勇, 板山 稔, 成田 みざわ	3	2	実習	看護師として精神科病院勤務	精神科病棟、精神科デイケア、精神科訪問看護での臨床経験を活かして、精神看護における対象者支援に必要な思考過程と技術に関して実践的な指導を行う
地域・在宅看護学実習	山崎 節子, 菅原 京子, 田辺 生子, 平澤 剛子, 渡邊 路子, 駒形 三和子	3	2	実習	訪問看護、家庭訪問	地域・在宅における看護及び訪問の実務経験を踏まえた実習指導を行う。
中国語	白 雪晴	4	2	講義	講師としての実務経験を有する。	実務経験を活かした講義を行う。
英文講読	川崎 真理子	4	1	講義	通訳・翻訳業	現場におけるコミュニケーション、補助ツールの効果的使用を重視
キャリアデザインⅡ	藤田 勇	4	1	講義	精神科病院・看護専門学校教員・大学教員	精神科病院・看護専門学校・大学とキャリアアップの経験を活かし、キャリアデザインについての学習内容が深まるよう
成人看護学実習Ⅲ	広井 貴子, 目黒 優子, 近藤 ふさえ	4	1	実習	看護師として病院勤務の実務経験を有する	臨地実習指導担当者として学生が体験した事例について、看護の視点で実践的に教育する科目である。
公衆衛生看護活動展開論実習	渡邊 路子, 平澤 剛子, 駒形 三和子, 菅原 京子, 田辺 生子, 山崎 節子	4	3	実習	行政保健師、産業保健師	行政及び産業における公衆衛生看護活動の実務経験を踏まえた実習指導を行う。
個人・家族・集団・組織の支援実習	駒形 三和子, 平澤 剛子, 渡邊 路子, 菅原 京子, 田辺 生子, 山崎 節子	4	2	実習	行政保健師、産業保健師	行政及び産業における公衆衛生看護活動の実務経験を踏まえた実習指導を行う。
看護管理論	樋本 まゆみ	4	1	講義	看護管理者・看護師・救命救急士・専任医療安全管理者	看護管理者の経験と看護管理の理論を含む基礎教育を組み合わせた教育内容とする。

2025年度 実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

科目名	担当教員	履修学年	単位数	授業方法	実務経験内容	実務経験を活かした教育内容
国際看護論	中村 勝	4	1	講義	国際協力機構（JICA）ボランティアとしてスリランカ国内の村落で健康支援活動を行った。国内の国際NGOで組織の運営に関わった。	講義、演習科目のほか海外研修・国際交流活動などで学生を引率指導した。
統合実践演習	目黒 優子, 沼野 博子, 藤田 勇, 佐藤 初美, 多田 健一	4	1	演習	看護師として病院勤務の実務経験を有する。	実務経験を活かして、基本的な診療の補助技術や看護技術について、実践的に教育する科目である。
統合実践実習	渡邊 路子	4	2	実習	病院及び施設に看護師として勤務	実務経験を踏まえた実習指導を行う。
へき地看護論	平澤 則子	4	1	講義	保健師活動	へき地医療と看護、テレナーシングやオンライン診療
リハビリテーション看護	近藤 ふさえ, 沼野 博子	4	1	講義	整形外科病棟（近藤） 小児病棟（沼野）	看護師・臨地実習指導担当者としての成人期にある対象者およびその家族に対する看護体験した事例をふまえて講義をする。（近藤） 臨地実習指導担当者として学生が受け持った患者の看護をとおして体験した事例をふまえて講義をする。（沼野）
リーダーシップ論	樋本 まゆみ	4	1	演習	看護管理者・看護師・救命救急士・専任医療安全管理者	看護管理者などさまざまなリーダーとしての活動をしてきた。それを踏まえ、理論と基礎教育をあわせた教育内容とする。
国際ボランティア論	川崎 真理子	4	1	講義	通訳・翻訳業	現場におけるコミュニケーション、補助ツールの効果的使用を重視
看護関係法規	菅原 京子	4	1	講義	行政保健師	行政における公衆衛生看護活動の実務経験を踏まえた講義を行う。
災害看護活動論Ⅱ	広井 貴子	4	1	演習	看護師として病院勤務の実務経験を有する	看護師としての実務経験を活かして講義を行う。
医療安全論	樋本 まゆみ	4	1	講義	看護管理者・看護師・救命救急士・専任医療安全管理者	専任医療安全管理者の経験と医療安全に関する理論と基礎教育を合わせた教育内容とする。
看護実践力演習	広井 貴子, 大崎 美奈子	4	1	演習	手術棟勤務（手術室看護、周手術期看護）約20年の看護師経験（広井） 看護師（6年間）として病院勤務の実務経験を有する（大崎）	看護師・臨地実習指導担当者としての成人期にある対象者およびその家族に対する看護体験した事例をふまえて講義をする。（広井） 実務経験を活かして、看護技術について実践的に教育する科目である。（大崎）

2025年度 実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

科目名	担当教員	履修学年	単位数	授業方法	実務経験内容	実務経験を活かした教育内容
緩和・ターミナルケア看護論	近藤 ふさえ, 広井 貴子, 沼野 博子, 多田 健一	4	2	講義	緩和ケア病棟勤務、緩和ケア認定看護師教育課程主任教員（広井） 緩和ケア病棟、新潟県看護協会緩和ケア認定看護師主任教員（沼野） 療養病棟、回復期リハビリテーション病棟（多田）	看護師・臨地実習指導担当者としての成人期にある対象者およびその家族に対する看護体験した事例をふまえて講義をする。（広井） 臨地実習指導担当者として学生が受け持った患者の看護をとおして体験した事例をふまえて講義をする。（沼野） 療養病棟で経験した看取りの事例、回復期リハビリテーション病棟で経験した退院支援の事例をふまえて講義をする。（多田）
認知症ケア論	角山 裕美子, 青柳 直樹, 多田 健一, 袖山 悦子	4	2	講義	看護師（6年）（角山） 看護師（10年）（多田） 看護管理者（9年）、看護師業務（15年）、教育責任者（9年）（青柳）	担当教員がそれぞれの実務経験を活かし、実務経験を活かし、認知症疾患の病態および治療、看護について理解を深められるような授業とする。
看護課題研究	各担当教員	4	2	演習	病院及び施設に看護師として勤務	実務経験を踏まえた研究指導を行う。